

人体の構造と機能 I Anatomy and Physiology I				
倉本 展行(クラモト ノブユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**  
 「人体の構造と機能」は看護師を含む医療専門職の教育において基礎となる重要な科目である。生命体の成り立ちを個体、器官、細胞レベルで理解するために、生命体の構造と機能及び機能調節などに関する基本的知識を修得する。本科目では、「解剖学」「組織学」の基礎から学習を始め、「骨格」「関節」の全容を学習すると共に、全身を取りまく「骨格筋」と、骨格筋による「運動」を学習する。さらに、「末梢神経系」の支配について学習する。

**授業方法と留意点**  
 授業方法は「講義」を中心として、人体臓器模型等を用いた演習形式学習も行う。授業は指定席で実施することができる。できるだけ毎回小テストを実施するので、普段からの学習習慣を身につけるようにすること。

**科目学習の効果（資格）**  
 看護師国家試験

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 なぜ看護職に人体の構造と機能の知識が必要か？  
 【内容・方法 等】 「人体の構造と機能」を概説するとともに、看護師にとっての「人体の構造と機能」の知識の重要性を、実地経験に基づいて看護職経験教員が説明する。  
 【事前・事後学習課題】 レポート「なぜ人体の構造と機能の知識が重要か？」の作成提出
- 第2回** 【授業テーマ】 細胞、組織、臓器・器官の成り立ちと生命維持の仕組み  
 【内容・方法 等】 細胞の機能及び細胞、組織、臓器・器官の成り立ちについて説明する。また、人体の正常機能を維持するための仕組みについて説明する。  
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第3回** 【授業テーマ】 骨の構造、発生・成長、機能  
 【内容・方法 等】 人体の骨の構造・機能、発生と成長、全身の骨格について説明する。  
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第4回** 【授業テーマ】 人体の骨格  
 【内容・方法 等】 人体の骨格（連結を含む）について説明する。  
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第5回** 【授業テーマ】 筋の構造・機能  
 【内容・方法 等】 骨格筋、心筋、平滑筋の構造と機能について説明する。  
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第6回** 【授業テーマ】 筋の収縮とその特徴  
 【内容・方法 等】 骨格筋、心筋、平滑筋の収縮の仕組み、収縮の特徴について説明する。  
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第7回** 【授業テーマ】 体幹の骨格と筋  
 【内容・方法 等】 脊柱、胸郭、背部の筋、胸部の筋、腹部の筋について説明する。  
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第8回** 【授業テーマ】 上肢の骨格と筋  
 【内容・方法 等】 上肢帯の骨格、自由上肢の骨格、上肢帯の筋群、上腕の筋群、前腕の筋群、手の筋群、上肢の運動について説明する。  
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第9回** 【授業テーマ】 下肢の骨格と筋  
 【内容・方法 等】 下肢帯の骨格、自由下肢の骨格、下肢帯の筋群、大腿の筋群、下腿の筋群、足の筋群、下肢の運動について説明する。  
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第10回** 【授業テーマ】 頭頸部の骨格と筋

- 【内容・方法 等】 脳頭蓋、顔面頭蓋、頭部の筋、頸部の筋について説明する。  
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第11回** 【授業テーマ】 自律神経系の機能  
 【内容・方法 等】 自律神経系（交感神経と副交感神経）の特徴・機能について説明する。  
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第12回** 【授業テーマ】 自律神経系の構造  
 【内容・方法 等】 交感神経系と副交感神経系の構造について説明する。  
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第13回** 【授業テーマ】 自律神経系の調節  
 【内容・方法 等】 自律神経系の神経伝達物質、受容体、調節について説明する。  
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第14回** 【授業テーマ】 筋の神経支配  
 【内容・方法 等】 に骨格筋、心筋、平滑筋の神経支配について説明する。  
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第15回** 【授業テーマ】 総合演習  
 【内容・方法 等】 問題演習等を通して本科目範囲の理解を深めるとともに、問題解決能力を育成する。  
 【事前・事後学習課題】 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して定期試験に備える。

**評価方法（基準）**  
 小テスト（30%）、定期試験（70%）により総括評価する。レポート提出は必須とする。

**教材等**  
 教科書…『系統看護学講座・解剖生理学』医学書院（3,800円＋税）  
 『メディカルイメージブック・解剖学』医歯薬出版（1,600円＋税）  
 『人体の構造と機能 I II 講義ノート』

**参考書…特になし**  
**学生へのメッセージ**  
 『人体の構造と機能 I II 講義ノート』を活用しながら授業をまとめ、小テストを通して、普段からの学習習慣を身につけてください。

**関連科目**  
 人体の構造と機能 II、III、IV  
**担当者の研究室等**  
 1号館7階薬学部毒性学研究室

人体の構造と機能 II Anatomy and Physiology II				
倉本 展行(クラモト ノブユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**  
 「人体の構造と機能」は看護師を含む医療専門職の教育において基礎となる重要な科目である。生命体の成り立ちを個体、器官、細胞レベルで理解するために、生命体の構造と機能及び機能調節などに関する基本的知識を修得する。本科目では、「消化器系器官」の構造と機能を学習して栄養の消化と吸収を理解する。また、「呼吸器系器官」「血液系」の構造と機能を学習して呼吸と血液のはたらきを理解する。また、すでに学習した「自律神経系」の機能による内臓の調節について、理解を深める。

**授業方法と留意点**  
 授業方法は「講義」を中心として、人体臓器模型等を用いた演習形式学習も行う。授業は指定席で実施することがある。できるだけ毎回小テストを実施するので、普段からの学習習慣を身につけるようにすること。

**科目学習の効果（資格）**  
 看護師国家試験

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 口・咽頭・食道の構造と機能  
 【内容・方法 等】 口、咽頭、食道の構造と機能について説明する。

- 【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第2回** **【授業テーマ】** 胃の構造と機能  
**【内容・方法 等】** 胃の構造、運動、機能、調節について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第3回** **【授業テーマ】** 小腸の構造と機能  
**【内容・方法 等】** 小腸の構造、運動、機能、調節について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第4回** **【授業テーマ】** 大腸の構造と機能  
**【内容・方法 等】** 大腸の構造、運動、機能、調節について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第5回** **【授業テーマ】** 膵臓の構造と機能  
**【内容・方法 等】** 膵臓の構造と機能について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第6回** **【授業テーマ】** 肝臓・胆嚢の構造と機能  
**【内容・方法 等】** 肝臓と胆嚢の構造と機能について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第7回** **【授業テーマ】** 栄養素の消化と吸収  
**【内容・方法 等】** 栄養素（糖質、タンパク質、脂質）の消化・吸収とビタミンやミネラルの吸収について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第8回** **【授業テーマ】** 呼吸器の構造  
**【内容・方法 等】** 気道、肺、胸膜の構造について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第9回** **【授業テーマ】** 呼吸  
**【内容・方法 等】** 呼吸運動、呼吸気量、ガスの運搬と交換について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第10回** **【授業テーマ】** 呼吸の調節  
**【内容・方法 等】** 呼吸の神経調節について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第11回** **【授業テーマ】** 血液  
**【内容・方法 等】** 赤血球、白血球、血小板の種類と働きについて説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第12回** **【授業テーマ】** 血漿  
**【内容・方法 等】** 血漿タンパク質の種類と働きについて説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第13回** **【授業テーマ】** 止血と血液凝固  
**【内容・方法 等】** 止血の機構と血小板凝集、血液凝固について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して小テストに備える。
- 第14回** **【授業テーマ】** フィジカルアセスメント演習  
**【内容・方法 等】** 血中酸素濃度、ストレス、呼吸機能（ピークフロー）の測定方法の習得し、測定値の変動を考察すること生理学の理解を高める（看護職経験教員による演習）。  
**【事前・事後学習課題】** 演習の方法・結果・考察のレポートの作成
- 第15回** **【授業テーマ】** 総合演習  
**【内容・方法 等】** 問題演習等を通して本科目範囲の理解を深めるとともに、問題解決能力を育成する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートの作成を中心とした復習及びメディカルイメージブックを活用して定期試験に備える。
- 評価方法（基準）**

小テスト（30%）、定期試験（70%）により総括評価する。レポート提出は必須とする。

**教材等**

**教科書**…『系統看護学講座・解剖生理学』医学書院（3,800円＋税）  
『メディカルイメージブック・解剖学』医歯薬出版（1,600円＋税）  
『人体の構造と機能ⅠⅡ講義ノート』

**参考書**…特になし

**学生へのメッセージ**

『人体の構造と機能ⅠⅡ講義ノート』を活用しながら授業をまとめ、小テストを通して、普段からの学習習慣を身につけてください。

**関連科目**

人体の構造と機能Ⅰ、Ⅲ、Ⅳ

**担当者の研究室等**

1号館7階薬学部毒性学研究室

**人体の構造と機能ⅠⅠⅠ**

Anatomy and Physiology Ⅲ

荻田 喜代一（オギタ キヨカス）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

「人体の構造と機能」は看護師を含む医療専門職の教育において基礎となる重要な科目である。生命体の成り立ちを個体、器官、細胞レベルで理解するために、生命体の構造と機能及び機能調節などに関する基本的知識を修得する。本科目では、「循環器系器官」「泌尿器系器官」の構造と機能を学習して血液の循環と調節及び尿生成と体液の調節を理解する。また、「内分泌系器官」の構造と機能を学習して内臓機能の調節を理解する。

**授業方法と留意点**

授業方法は「講義」を中心として、人体臓器模型等を用いた演習形式学習も行う。復習の評価のために、毎回小テストを実施する。

**科目学習の効果（資格）**

看護師国家試験

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** **【授業テーマ】** 心臓の構造  
**【内容・方法 等】** 心臓の位置と外形、心臓の部屋と弁、心臓壁、心臓の血管と神経について模型等を用いて説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第2回** **【授業テーマ】** 心臓の機能  
**【内容・方法 等】** 心臓の興奮と伝播、心電図について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第3回** **【授業テーマ】** 心臓の機能  
**【内容・方法 等】** 心臓の収縮とその調節について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第4回** **【授業テーマ】** 末梢循環系の構造  
**【内容・方法 等】** 血管の構造、肺循環、全身の動脈系、全身の静脈系について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第5回** **【授業テーマ】** 血液の循環調節  
**【内容・方法 等】** 血圧、血液循環について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第6回** **【授業テーマ】** 血液の循環調節  
**【内容・方法 等】** 血圧調節、微小循環、循環器系の病態生理について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第7回** **【授業テーマ】** リンパ系の構造と機能  
**【内容・方法 等】** リンパ管の構造、リンパ循環について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第8回** **【授業テーマ】** 体液の調節と尿の生成  
**【内容・方法 等】** 腎臓の構造と機能、糸球体の構造と機能、尿管の構造と機能について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第9回** **【授業テーマ】** 体液の調節と尿の生成  
**【内容・方法 等】** 傍糸球体装置、腎臓から分泌される生理活

- 性物質、排泄路の構造について説明する。
- 【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第10回** **【授業テーマ】** 体液の調節と尿の生成  
**【内容・方法 等】** 尿の貯蔵と排尿、体液調節について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第11回** **【授業テーマ】** 内分泌系による内臓機能の調節  
**【内容・方法 等】** ホルモンの化学構造と作用機序、内分泌系器官について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第12回** **【授業テーマ】** 内分泌系による内臓機能の調節  
**【内容・方法 等】** 視床下部-下垂体系、甲状腺、副甲状腺（上皮小体）について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第13回** **【授業テーマ】** 内分泌系による内臓機能の調節  
**【内容・方法 等】** 腎臓、副腎、性腺の構造と分泌ホルモンの機能について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第14回** **【授業テーマ】** 内分泌系による内臓機能の調節  
**【内容・方法 等】** ホルモン分泌調節、ホルモンによる生体機能調節について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートの作成することにより復習し、小テストに備える。
- 第15回** **【授業テーマ】** 人体解剖見学  
**【内容・方法 等】** 人体の胸部、腹部、頭部を中心とした解剖の見学を通して、内臓の位置、色、構造等について理解する。  
**【事前・事後学習課題】** 事前に人体模型等で主な臓器について学習する（授業時間以外に補習として実施するので必ず出席すること）。事後にレポートを提出すること

**評価方法（基準）**  
小テスト（30%）、定期試験（70%）により総括評価する。小テストに無断で欠席した場合には、その日の点数は「0点」とする。また、いかなる理由でも欠席が続いた場合には減点することがある。人体解剖見学の評価は、事前学習(10点)、当日受講態度(10点)、レポート(10点)で行い、小テストの評価に加える。100点満点のうち、60点で合格とする。

**教材等**  
教科書…『系統看護学講座・解剖生理学』医学書院（3,800円＋税）  
参考書…特になし

**学生へのメッセージ**  
授業のまとめノートの作成や小テストを通して、普段からの学習習慣を身につけてください。疑問をもったときには遠慮なく質問してください。

**関連科目**  
人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅳ

**担当者の研究室等**  
1号館6階 薬理学研究室

人体の構造と機能Ⅳ Anatomy and Physiology IV				
米 山 雅 紀 (ヨネヤマ マサノリ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**  
「人体の構造と機能」は看護師を含む医療専門職の教育において基礎となる重要な科目である。生命体の成り立ちを個体、器官、細胞レベルで理解するために、生命体の構造と機能及び機能調節などに関する基本的知識を修得する。  
本科目では、「神経系器官・感覚器系器官」の構造と機能、「生体防御機構」を学習して生体情報の伝達・受容と調節や生体防御反応について理解する。また、「生殖器系器官」の構造と機能を学習して生殖・発生・老化のしくみを理解する。

**授業方法と留意点**  
授業方法は「講義」を中心として、人体臓器模型等を用いた演習形式学習も行う。授業はすべて指定席で実施する。できるだけ小テストを実施するので、普段からの学習習慣を身につけるようにしてください。

**科目学習の効果（資格）**  
看護師国家試験

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**  
**第1回** **【授業テーマ】** 神経系の構造と機能  
**【内容・方法 等】** 神経細胞と支持細胞、神経細胞の興奮と伝播、シナプス伝達について説明する。

- 【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートを作成すること。
- 第2回** **【授業テーマ】** 脊髄と脳  
**【内容・方法 等】** 脊髄の構造の機能、脳の構造と機能について説明する。
- 第3回** **【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートを作成すること。  
**【授業テーマ】** 脊髄神経と脳神経  
**【内容・方法 等】** 脊髄神経の構造と機能、脳神経の構造と機能、運動性上行路、感覚性下行路について説明する。
- 第4回** **【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートを作成すること。  
**【授業テーマ】** 脳の高次機能  
**【内容・方法 等】** 脳波と睡眠、記憶、本能と情動行動、内臓調節機能について説明する。
- 第5回** **【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートを作成すること。  
**【授業テーマ】** 眼の構造と機能  
**【内容・方法 等】** 眼球の構造、眼球付属器、視覚について説明する。
- 第6回** **【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートを作成すること。  
**【授業テーマ】** 耳の構造と機能  
**【内容・方法 等】** 耳の構造、聴覚、平衡感覚について説明する。
- 第7回** **【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートを作成すること。  
**【授業テーマ】** 味覚、嗅覚、疼痛  
**【内容・方法 等】** 味覚器と味覚、嗅覚器と嗅覚、痛みの分類、疼痛発生機序について説明する。
- 第8回** **【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートを作成すること。  
**【授業テーマ】** 生体防御  
**【内容・方法 等】** 皮膚・粘膜における防御、貪食作用・細胞傷害物質による防御、免疫による防御について説明する。
- 第9回** **【授業テーマ】** 体温  
**【内容・方法 等】** 熱の出納、体温の分布と測定、体温調節について説明する。
- 【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートを作成すること。
- 第10回** **【授業テーマ】** 男性生殖器  
**【内容・方法 等】** 男性生殖器の構造と機能について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートを作成すること。
- 第11回** **【授業テーマ】** 女性生殖器  
**【内容・方法 等】** 女性生殖器の構造と機能について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートを作成すること。
- 第12回** **【授業テーマ】** 受精と胎児発生  
**【内容・方法 等】** 生殖細胞と受精、初期発生と着床、胎児と胎盤について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートを作成すること。
- 第13回** **【授業テーマ】** 成長と老化  
**【内容・方法 等】** 小児期の成長、老化について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートを作成すること。
- 第14回** **【授業テーマ】** 体表から見た人体の構造  
**【内容・方法 等】** 体表から触知できる骨格部分・骨格筋・血管を各自が確認して部位の名称を確認する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業のまとめノートを作成すること。
- 第15回** **【授業テーマ】** 総合演習  
**【内容・方法 等】** 人体の生理について問題演習を通して学習する。複数の看護学部教員とともに指導にあたる。  
**【事前・事後学習課題】** 問題演習の復習

**評価方法（基準）**  
筆記試験100点満点の60点以上で合格とする。ただし、小テスト等の一定割合を評価に入れることもある。

**教材等**  
教科書…『系統看護学講座・解剖生理学』医学書院（3,800円＋税）  
参考書…特になし

**関連科目**  
人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ

**担当者の研究室等**  
1号館6階 薬理学研究室

代謝栄養学 Biochemical Nutriology				
竹 内 健 治 (タケウチ ケンジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**  
糖質、脂質、タンパク質（アミノ酸）、ビタミン、ミネラルの五大栄養素を中心に、その構造、性質、役割など生化学的な特徴を理解する。また、摂取した食物の消化、吸収の機序を知り、どのように体内で代謝され生体のエネルギーや構成成分になるのかについて、体内で起こる種々の化学反応とその反応を触媒している酵素の役割を中心に理解する。さらに、栄養不足や栄養過多、代謝異常に伴う疾患についてその発症機構を分子レベ

ルで理解する。

**授業方法と留意点**

教科書の内容に沿って、プロジェクター、プリントなどを用いて講義する。

**科目学習の効果（資格）**

生物系科目全般の基礎となる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 イントロダクション「栄養と代謝総論」  
 【内容・方法 等】 私たちは毎日食事をして栄養をとらなければ生きていけない。なぜ栄養が必要なのだろうか？食事はそのままの形で、生きていくのに必要なエネルギーとなるのだろうか？  
 【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第2回** 【授業テーマ】 栄養素各論「糖質」  
 【内容・方法 等】 栄養素としての糖質の基本構造と種類、さらにその役割を理解する。  
 【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第3回** 【授業テーマ】 糖質の代謝①  
 【内容・方法 等】 食べた糖質が、どのように消化吸収されるかを理解する。  
 【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第4回** 【授業テーマ】 糖質の代謝②  
 【内容・方法 等】 細胞内で糖質がどのように代謝され、利用されるのかを理解する。  
 【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第5回** 【授業テーマ】 栄養素各論「脂質」  
 【内容・方法 等】 栄養素としての脂質の基本構造と種類、さらにその役割を理解する。  
 【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第6回** 【授業テーマ】 脂質の代謝①  
 【内容・方法 等】 食べた脂質が、どのように消化吸収されるかを理解する。  
 【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第7回** 【授業テーマ】 脂質の代謝②  
 【内容・方法 等】 細胞内で脂質がどのようにエネルギーを生み出すかを理解する。  
 【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第8回** 【授業テーマ】 栄養素各論「アミノ酸、タンパク質」  
 【内容・方法 等】 栄養素としてのアミノ酸とタンパク質の基本構造と種類、さらにその役割を理解する。  
 【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第9回** 【授業テーマ】 アミノ酸とタンパク質の代謝  
 【内容・方法 等】 食べたタンパク質の消化、吸収と、アミノ酸の代謝を理解する。  
 【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第10回** 【授業テーマ】 体の中での酵素の役割  
 【内容・方法 等】 私たちの体温は37℃、pHは中性である。このような緩和な状況で栄養を代謝できるのは体内に酵素があるおかげである。  
 【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第11回** 【授業テーマ】 栄養素各論「ヌクレオチド、核酸」  
 【内容・方法 等】 ヌクレオチドと核酸の基本構造と種類、さらにその役割を理解する。  
 【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第12回** 【授業テーマ】 遺伝情報  
 【内容・方法 等】 遺伝情報がどのように保存され、どのように次世代へ伝わるのかを理解する。  
 【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第13回** 【授業テーマ】 栄養素各論「ビタミン」  
 【内容・方法 等】 栄養素としてのビタミンの基本構造と種類、さらにその役割を理解する。  
 【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第14回** 【授業テーマ】 代謝異常と疾患  
 【内容・方法 等】 遺伝情報に誤りがあると、それが原因で代謝異常がおこることを理解する。  
 【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解しておくこと。
- 第15回** 【授業テーマ】 エネルギー代謝の統合と制御  
 【内容・方法 等】 代謝のバランスが崩れたときに、どのようなことが起こるかを理解する。  
 【事前・事後学習課題】 授業で説明した内容を整理し、理解し

ておくこと。

**評価方法（基準）**

小テストと課題（25%）、定期試験（75%）で評価する。

**教材等**

教科書…"三井和浩編 『ナーシング・グラフィカ②人体の構造と機能－臨床生化学』メディカ出版（2,600円＋税）"  
 参考書…"中山和久編 『レーニンジャーの 新生化学 [第5版] [上・下]』 廣川書店（各8,800円＋税）"

**学生へのメッセージ**

代謝栄養学の観点からみると、健康とは、食物の消化・吸収から代謝、および老廃物の排出という人体の活動が正常に営まれることであり、疾病はこの正常な営みが崩れた場合に起こる。代謝栄養学の知識は、他領域の分野を学習するための基礎であり、それらの習得に役立つことは間違いない。講義内容についての質問はいつでも受け付けますので、気軽にたずねてください。

**関連科目**

生物系科目全般の基礎となる。

**担当者の研究室等**

1号館5階 生化学研究室

**食生活論**  
Dietary Life

浅野 真理子 (アサノ マリコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

私達は毎日食材を調理し、食事をするという習慣的な食生活を営んでいる。近年、健康食品ブームなど人々の食への関心が高まっている一方で、経済成長やライフスタイルの変化は私達の食生活にも大きな影響を及ぼし、栄養バランスのひずみなどが大きな社会問題となっている。本科目では、人間にとって「食べる」とはどのようなことかについて、生理的・精神的・社会的な機能などから考える。また、各ライフステージにおける食の特徴や役割について学習する。

**授業方法と留意点**

授業は講義形式で行う。教科書と各回に配布するプリントを活用する。

**科目学習の効果（資格）**

生活から切り離すことのない「食」について理解を深めるとともに、各ライフステージにおける食の特徴や役割を理解することで、今後の履修科目の理解につながることを期待する。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 食生活の概念  
 【内容・方法 等】 はじめに食生活の概念と、食生活論を学ぶ意義について学習する。  
 【事前・事後学習課題】 講義で配布したプリントや板書したノート、また図書館の書籍等を利用して授業内容を復習しておく。
- 第2回** 【授業テーマ】 食生活の変遷—日本・世界の食文化—  
 【内容・方法 等】 古代から現代に至るまで、ヒトは何をどのように食べてきたのか、「おいしさ」と食文化について学習する。  
 【事前・事後学習課題】 講義で配布したプリントや板書したノート、また図書館の書籍等を利用して授業内容を復習しておく。
- 第3回** 【授業テーマ】 食品と栄養  
 【内容・方法 等】 私たちが普段何気なく口にしている食品について理解を深める。  
 【事前・事後学習課題】 講義で配布したプリントや板書したノート、また図書館の書籍等を利用して授業内容を復習しておく。
- 第4回** 【授業テーマ】 食生活の機能—生理的機能1—  
 【内容・方法 等】 食品の生理的機能について学習する。  
 【事前・事後学習課題】 講義で配布したプリントや板書したノート、また図書館の書籍等を利用して授業内容を復習しておく。
- 第5回** 【授業テーマ】 食生活の機能—生理的機能2—  
 【内容・方法 等】 食品の生理的機能について学習する。  
 【事前・事後学習課題】 講義で配布したプリントや板書したノート、また図書館の書籍等を利用して授業内容を復習しておく。
- 第6回** 【授業テーマ】 食生活の機能—生理的機能3および精神的・社会的・文化的機能—  
 【内容・方法 等】 食品の生理的機能および精神的・社会的・文化的機能について学習する。  
 【事前・事後学習課題】 講義で配布したプリントや板書したノート、また図書館の書籍等を利用して授業内容を復習しておく。
- 第7回** 【授業テーマ】 ライフステージにおける食の特徴と役割—妊

- 娠期—  
【内容・方法 等】 妊娠期における栄養と食生活について学習する。  
【事前・事後学習課題】 講義で配布したプリントや板書したノート、また図書館の書籍等を利用して授業内容を復習しておく。
- 第8回 【授業テーマ】 ライフステージにおける食の特徴と役割—乳幼児期—  
【内容・方法 等】 乳幼児期における栄養と食生活について学習する。  
【事前・事後学習課題】 講義で配布したプリントや板書したノート、また図書館の書籍等を利用して授業内容を復習しておく。
- 第9回 【授業テーマ】 ライフステージにおける食の特徴と役割—学童期—  
【内容・方法 等】 学童期における栄養と食生活について学習する。  
【事前・事後学習課題】 講義で配布したプリントや板書したノート、また図書館の書籍等を利用して授業内容を復習しておく。
- 第10回 【授業テーマ】 ライフステージにおける食の特徴と役割—思春期—  
【内容・方法 等】 思春期における栄養と食生活について学習する。  
【事前・事後学習課題】 講義で配布したプリントや板書したノート、また図書館の書籍等を利用して授業内容を復習しておく。
- 第11回 【授業テーマ】 ライフステージにおける食の特徴と役割—成人期—  
【内容・方法 等】 成人期における栄養と食生活について学習する。  
【事前・事後学習課題】 講義で配布したプリントや板書したノート、また図書館の書籍等を利用して授業内容を復習しておく。
- 第12回 【授業テーマ】 ライフステージにおける食の特徴と役割—高齢期—  
【内容・方法 等】 高齢期における栄養と食生活について学習する。  
【事前・事後学習課題】 講義で配布したプリントや板書したノート、また図書館の書籍等を利用して授業内容を復習しておく。
- 第13回 【授業テーマ】 食生活の現状と課題1  
【内容・方法 等】 遺伝子組み換えなど食材の安全性や、食中毒・食品汚染などの安全性の問題について学習する。  
【事前・事後学習課題】 講義で配布したプリントや板書したノート、また図書館の書籍等を利用して授業内容を復習しておく。
- 第14回 【授業テーマ】 食生活の現状と課題2  
【内容・方法 等】 栄養素の摂取状況と健康状態の変遷と課題について学習する。  
【事前・事後学習課題】 講義で配布したプリントや板書したノート、また図書館の書籍等を利用して授業内容を復習しておく。
- 第15回 【授業テーマ】 これからの食生活  
【内容・方法 等】 現代社会の「食」を取り巻く背景から、食の役割、これからの食生活について学習する。最後にまとめの小テストを行う。  
【事前・事後学習課題】 まとめの小テストを行うので、これまでの授業内容をしっかりと復習して講義に望むこと。
- 評価方法 (基準)  
定期試験小テストおよび課題などから総合的に判断する。
- 教材等  
教科書…"渡邊早苗、寺本房子、丸山千寿子、藤尾ミツ子編 『保健・医療・福祉のための栄養学 (第3版)』 医歯薬出版株式会社 (2,400+税) "  
参考書…"山本茂、奥田豊子、濱口郁枝編 『食育・食生活論—社会・環境と健康—』 講談社サイエンティフィク (2,400+税) "
- 学生へのメッセージ  
「食」は私たちが生きていく上で切り離すことのできないものです。しっかりと理解し、自分の食生活にも応用して下さい。
- 関連科目  
生化学、栄養学
- 担当者の研究室等  
1号館2階 非常勤講師室

病理学総論  
Pathology

小崎 篤志 (コサキ アツシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

看護において、身体の構造や機能のメカニズム、それらの障害である疾病を理解する事は重要である。本科目は、医学的対応が必要となる成人各期に起り得る疾病を身体の系統臓器別に取り上げ、疾病の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。本科目では、主に消化器および代謝内分泌疾患に関して講義を行い、これらの基礎知識を修得し、各疾患の患者への的確な観察や看護援助さらには充実した生活を送るための支援が行えるように理解を深める。

授業方法と留意点

下記の授業計画に沿って講義を行う。教科書を中心に液晶プロジェクターを用いて授業を進めるが、その中には初めて目にするような専門用語が多く含まれており、その意味を正確に理解させるには生物学・医化学などのバックグラウンドが必要となる。授業では、新しい単語の説明や分かりにくい点を板書で説明しながら内容を補足しながら進めて行く。学生の習熟度により、授業の進行スピードの変更並びに、プリント、模型やビデオなどを併用した授業方法も考慮する。

科目学習の効果 (資格)

本講義は疾病治療論Ⅰ、疾病治療論Ⅱへと引き継がれる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 病理学総論(消化器1)  
【内容・方法 等】 講義にて消化器疾患、主に消化器総論・消化器内視鏡総論等について学習する  
【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第2回 【授業テーマ】 病理学総論(消化器2)  
【内容・方法 等】 講義にて消化器疾患、主に食道疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する  
【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第3回 【授業テーマ】 病理学総論(消化器3)  
【内容・方法 等】 講義にて消化器疾患、主に胃十二指腸疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する (1)  
【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第4回 【授業テーマ】 病理学総論(消化器4)  
【内容・方法 等】 講義にて消化器疾患、主に胃十二指腸疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する (2)  
【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第5回 【授業テーマ】 病理学総論(消化器5)  
【内容・方法 等】 講義にて消化器疾患、主に腸および腹膜疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する (1)  
【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第6回 【授業テーマ】 病理学総論(消化器6)  
【内容・方法 等】 講義にて消化器疾患、主に腸および腹膜疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する (2)  
【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第7回 【授業テーマ】 病理学総論(消化器7)  
【内容・方法 等】 講義にて消化器疾患、主に胆肝膵疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する (1)  
【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第8回 【授業テーマ】 病理学総論(消化器8)  
【内容・方法 等】 講義にて消化器疾患、主に胆肝膵疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する (2)  
【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第9回 【授業テーマ】 病理学総論(消化器9)  
【内容・方法 等】 講義にて消化器疾患、主に胆肝膵疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する (3)  
【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第10回 【授業テーマ】 病理学総論(代謝内分泌1)  
【内容・方法 等】 講義にて代謝内分泌疾患、主に糖尿病および代謝異常疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する (1)  
【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第11回 【授業テーマ】 病理学総論(代謝内分泌2)  
【内容・方法 等】 講義にて代謝内分泌疾患、主に糖尿病および代謝異常疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する (2)  
【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第12回 【授業テーマ】 病理学総論(代謝内分泌3)

**【内容・方法等】** 講義にて代謝内分泌疾患、主に糖尿病および代謝異常疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する(3)

**【事前・事後学習課題】** 教科書内授業部分の予習・復習

**【授業テーマ】** 病理学総論(代謝内分泌4)

**【内容・方法等】** 講義にて代謝内分泌疾患、主に尿酸代謝および異常疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する

**【事前・事後学習課題】** 教科書内授業部分の予習・復習

**【授業テーマ】** 病理学総論(代謝内分泌5)

**【内容・方法等】** 講義にて代謝内分泌疾患、主に甲状腺疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する

**【事前・事後学習課題】** 教科書内授業部分の予習・復習

**【授業テーマ】** 病理学総論(代謝内分泌6)

**【内容・方法等】** 講義にて代謝内分泌疾患、主に副甲状腺・下垂体疾患の原因、主要症状、病理学、検査法、治療法等について学習する

**【事前・事後学習課題】** 教科書内授業部分の予習・復習

**評価方法(基準)**  
 合否判定は定期試験を中心に総合判定する。試験には主に客観問題を出題する。講義中の授業態度を評価の一部とする。定期試験(90%)、講義での授業態度評価など(10%)で最終評価する。

**教材等**  
**教科書**…・福本陽平等監修『病気がみえる vol.1 消化器メディックメディア(3,000円+税)』  
 ・弘世貴久等監修『病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌』メディックメディア(3,000円+税)

**参考書**…なし

**学生へのメッセージ**  
 授業には指定教科書を持参して下さい。

**関連科目**  
 疾病治療論Ⅰ、疾病治療論Ⅱ

**担当者の研究室等**  
 7号館3階 研究室23(小崎)

**備考**  
 病理学総論、疾病治療論Ⅰ、疾病治療論Ⅱで同じシリーズの教科書を使用します。

**感染と防衛**

Microbiology and Immunology

高松宏治(タカマツ ヒロム)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

それぞれの感染症に特定のウイルスや微生物が関与することを理解するため、代表的な病原体の種類や特徴とそれらが引き起こす症状について学ぶ。また、病原体に対する生体防御機構と予防法や治療法の基礎知識を学ぶことにより、科学的な根拠に基づいて感染症の予防と治療に従事する専門職としての能力を身につける。さらに、分子生物学的・遺伝学的観点から感染と防衛について概説することにより、最先端の感染症医療に対応できる能力を身につける。

**授業方法と留意点**

教科書の内容を中心にPowerPointを用いて解説する。練習問題や課題を出すので、正誤にかかわらず自らの考えを記すこと。PowerPointの内容をまとめたプリントを配布するので、講義前に教科書の該当領域と合わせて熟読し、概要を理解すること。また、講義中に重要と思われる内容をマークしたり、必要に応じて書き込みすること。講義後、再度、教科書とプリントの内容を確認し、重要な内容をノートにまとめること。疑問や質問などがあれば研究室に来て確認して欲しい。

**科目学習の効果(資格)**

目に見えない病原体の存在とそれらの特性を理解することで、一般市民の健康と生命を守るために必要な衛生学的知識を修得できる。また、感染防衛と感染症治療の基礎を理解することで、感染症患者の治療や院内感染防止に役立つ知識を身につけることができる。感染症が誰にでも起こりうる病気であることを理解することで、感染症の患者やその家族に対する偏見を無くし、献身的に医療に従事する態度を醸成する。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

**第1回 【授業テーマ】** イントロダクション(講義の概要について)  
**【内容・方法等】** 講義の方法、資料、注意事項、評価方法について説明する。  
 様々な病原体によって引き起こされる感染症と、免疫の概念について解説する。

**【事前・事後学習課題】** 事前学習：教科書p.43～p.56を熟読する。  
 事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。

**第2回 【授業テーマ】** 病原体の概要と分類  
**【内容・方法等】** 病原体(プリオン・ウイルス・細菌・真菌・原虫・寄生虫)の特徴と分類、および疾患との関連について、教科書・プリント・PowerPointを用いて解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：教科書p.4～p.9とプリントの該当部分を熟読する。  
 事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。

**第3回 【授業テーマ】** 免疫の概念  
**【内容・方法等】** 免疫反応に関与する細胞や分子の種類と、それらの働きについて解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：教科書p.56～p.61とプリントの該当部分を熟読する。  
 事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。

**第4回 【授業テーマ】** 免疫系のネットワーク  
**【内容・方法等】** 自然免疫と獲得免疫の特徴、および細胞性免疫反応と液性免疫反応の特徴について解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：教科書p.62～p.66、p.70～p.71とプリントの該当部分を熟読する。  
 事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。

**第5回 【授業テーマ】** 免疫による感染防御と、免疫に基づく疾患  
**【内容・方法等】** 正常な免疫系が関与する疾患と、免疫系の過剰反応や異常によって起こる疾患の特徴について解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：教科書p.66～p.70とプリントの該当部分を熟読する。  
 事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。

**第6回 【授業テーマ】** 微生物検査法・滅菌と消毒  
**【内容・方法等】** 病原微生物の存在や特性を知る方法と、それらを除去する方法について解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：教科書p.74～82、p.102～p.107とプリントの該当部分を熟読する。  
 事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。

**第7回 【授業テーマ】** 滅菌と消毒・化学療法・感染症の予防  
**【内容・方法等】** 病原体を除去したり殺滅する方法と、感染症の予防や治療について解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：教科書p.74～p.100とプリントの該当部分を熟読する。  
 事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。

**第8回 【授業テーマ】** プリオンとウイルスのアウトライン  
**【内容・方法等】** プリオンの特徴やプリオン感染症と、ウイルスの特徴・構造・分類・増殖などについて解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：教科書p.28～p.36、p.189とプリントの該当部分を熟読する。  
 事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。

**第9回 【授業テーマ】** 代表的なウイルス感染症-1  
**【内容・方法等】** ウイルス感染症の例として、ヘルペスやインフルエンザを中心に解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：教科書p.159～p.183とプリントの該当部分を熟読する。  
 事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。

**第10回 【授業テーマ】** 代表的なウイルス感染症-2  
**【内容・方法等】** ウイルス感染症の例として、後天性免疫不全症候群(AIDS)を中心に解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：教科書p.184～p.190とプリントの該当部分を熟読する。  
 事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。

**第11回 【授業テーマ】** 細菌のアウトライン  
**【内容・方法等】** 細菌の形態・構造・遺伝子などについて解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：教科書p.12～p.25とプリントの該当部分を熟読する。  
 事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。

**第12回 【授業テーマ】** 代表的な細菌感染症-1  
**【内容・方法等】** グラム陽性菌による感染症の例として、ブドウ球菌感染症、ボツリヌス症、結核などについて解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：教科書p.111～p.126とプリントの該当部分を熟読する。  
 事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。

**第13回 【授業テーマ】** 代表的な細菌感染症-2

- 【内容・方法等】 グラム陰性菌やその他の細菌による感染症の例として、ペスト、コレラ、大腸菌感染症などについて解説する。
- 【事前・事後学習課題】 事前学習：教科書p.128～p.158とプリントの該当部分を熟読する。  
事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。
- 第14回 【授業テーマ】 真菌・原虫・寄生虫のアウトライン  
【内容・方法等】 真菌・原虫・寄生虫の特徴や分類について解説する。  
【事前・事後学習課題】 事前学習：教科書p.37～p.41とプリントの該当部分を熟読する。  
事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。
- 第15回 【授業テーマ】 代表的な真菌・原虫・寄生虫感染症  
【内容・方法等】 真菌・原虫・寄生虫感染症の例として、マラリアや住血吸虫症などについて解説する。  
【事前・事後学習課題】 事前学習：教科書p.191～p.197とプリントの該当部分を熟読する。  
事後学習：重要な内容についてノートにまとめる。疑問に思ったことをレポート用紙に書く。課題を解く。

評価方法 (基準)  
定期試験 (100点満点中60点以上で合格) により総合評価する。

教材等  
教科書…"小田 紘 『ビジュアル微生物学』 ヌーヴェル ヒロカワ (2,000円+税)"  
参考書…『わかりやすい微生物・感染症学』 ヌーヴェル ヒロカワ  
『イメージできる臨床微生物・医動物』 MCメディカ出版

学生へのメッセージ  
ヒトは多種多様な生物との関わり合いの中で生きている。目に見えないほど小さな生物の中には、ヒトにとって有益なものもあれば、有害なものもある。正常な免疫系は我々の身体を種々の病原体から守る役割を果たしているが、免疫系の異常によって病気が引き起こされる場合もある。ヒトと微生物の関係と免疫の仕組みを理解し、科学的な見地に基づいて感染防御に必要なことは何かを考えられる医療従事者になることを望む。

関連科目  
生命科学概論、生物・化学の基礎、公衆衛生学  
担当者の研究室等  
1号館5階 微生物学研究室  
備考  
なし

薬理学総論 Pharmacology				
奈 邊 健 (ナベ タケシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標  
薬物が生体に及ぼす種々の反応及びその作用機序について学ぶ。薬物の作用を分子、細胞、臓器、個体レベルで解説し、看護を実践していく上で必要な薬物の基礎知識を修得する。また、薬物の投薬方法と投薬後の注意点、副作用とその対策、医薬品の取り扱い上の留意点等を総合的に解説し、臨床での実践へ向けた薬物療法の基盤を確かなものとする。

授業方法と留意点  
基本的には指定した教科書に沿って講義を進め、必要に応じてプリントなどを配付します。また、臨床的観点から、薬物治療や新薬の話題も提供したい。出来るだけ小テストを実施するので、普段からの学習習慣を身につけるようにしてください。

科目学習の効果 (資格)  
看護師国家試験

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 医薬品概論 (1)  
【内容・方法等】 医薬品の名前と分類および医薬品に関連する法律について説明する。  
【事前・事後学習課題】 レポート「病態時の薬物動態と看護上の留意点」の作成・提出
- 第2回 【授業テーマ】 医薬品概論 (2)  
【内容・方法等】 医薬品の体内における作用原理とその動態および医薬品の吸収・分布・代謝・排泄に影響する薬物相互作用と薬力学的相互作用について説明する。  
【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第3回 【授業テーマ】 看護師にとって必要な医薬品知識の重要性と看護の役割  
【内容・方法等】 看護師にとって必要な医薬品知識の重要性と看護の役割について看護職経験教員が臨床経験に基づいて説明する。

- て説明する。
- 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第4回 【授業テーマ】 生活習慣病に使用する医薬品 (1)  
【内容・方法等】 生活習慣病の治療と高血圧に用いられる治療薬について説明する。
- 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第5回 【授業テーマ】 生活習慣病に使用する医薬品 (2)  
【内容・方法等】 狭心症および心筋梗塞に用いられる治療薬について説明する。
- 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第6回 【授業テーマ】 生活習慣病に使用する医薬品 (3)  
【内容・方法等】 不整脈および心不全に用いられる治療薬について説明する。
- 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第7回 【授業テーマ】 生活習慣病に使用する医薬品 (4)  
【内容・方法等】 脂質異常症および糖尿病に用いられる治療薬について説明する。
- 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第8回 【授業テーマ】 脳・中枢神経疾患で使用する医薬品 (1)  
【内容・方法等】 中枢神経系のはたらきと作用する医薬品について説明する。
- 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第9回 【授業テーマ】 脳・中枢神経疾患で使用する医薬品 (2)  
【内容・方法等】 てんかんおよびパーキンソン病に用いられる治療薬について説明する。
- 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第10回 【授業テーマ】 脳・中枢神経疾患で使用する医薬品 (3)  
【内容・方法等】 向精神薬の分類と統合失調症および不安症に用いられる治療薬について説明する。
- 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第11回 【授業テーマ】 脳・中枢神経疾患で使用する医薬品 (4)  
【内容・方法等】 睡眠薬、抗うつ薬、気分安定化薬および脳血管障害治療薬について説明する。
- 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第12回 【授業テーマ】 代謝系疾患に使用する医薬品  
【内容・方法等】 痛風および骨疾患に用いられる治療薬について説明する。
- 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第13回 【授業テーマ】 内分泌系疾患に使用する医薬品  
【内容・方法等】 甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、アジソン病、クッシング症候群および尿崩症に用いられる治療薬について説明する。
- 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第14回 【授業テーマ】 血液・造血器系疾患に使用する医薬品  
【内容・方法等】 貧血、血栓症、播種性血管内凝固症候群、血友病および特発性血小板減少症に用いられる治療薬について説明する。
- 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第15回 【授業テーマ】 眼・皮膚疾患に使用する医薬品  
【内容・方法等】 褥瘡、アレルギー性皮膚疾患、白内障、緑内障および結膜炎に用いられる治療薬について説明する。  
【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習

評価方法 (基準)  
筆記試験100点満点の60点以上で合格とする。ただし、小テスト等の一定割合を評価に入れることもある。

教材等  
教科書…"『ナーシング・グラフィカ④ 疾病の成り立ち 臨床薬理学』 MCメディカ出版 (3,400円+税)  
『ニューワークブック 薬理-薬理と看護』 医学芸術社 (1,200円+税)"

参考書…特になし

学生へのメッセージ  
私達が日常の生活で利用している薬剤から関心を持つと楽しく授業を受けられると思います。臨地で薬剤師と意見交換が出来るよう薬物に関する基礎的な知識を身につけましょう。

関連科目  
人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ  
担当者の研究室等  
1号館4階 奈邊教授室

薬物治療学 Pharmacotherapeutics				
奈 邊 健 (ナベ タケシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標  
薬理学総論で修得した薬物の作用機序をもとに、各種疾患に対して科学的根拠に基づいた薬物治療を行うための実践的な医薬品の使用方法を学び、医療チームの一員として患者の治療に貢

献できる看護師となるために、医薬品を投与した際の患者の管理や観察に必要な知識・技能・態度を身につける。

**授業方法と留意点**

講義ごとにプリントを配布する。必要に応じて、板書の内容をプリントに記入すること。また、随時、小テストを実施する。プリントは教科書の内容に沿って作成してあるので、教科書の対応範囲を熟読することにより理解を深めること。疑問や質問は授業終了後の教室あるいは空き時間に研究室で受け付けます。

**科目学習の効果（資格）**

看護師国家試験

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 病態時の薬物動態  
 【内容・方法 等】 病態時の薬物動態について概説するとともに、薬物治療を行う上で看護師が注意しなければならないことを看護職経験教員が講義する。  
 【事前・事後学習課題】 レポート「病態時の薬物動態と看護上の注意点」の作成・提出
- 第2回** 【授業テーマ】 がんの薬物療法1  
 【内容・方法 等】 消化器がんに対するがん化学療法とその効果について講義する。  
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第3回** 【授業テーマ】 がんの薬物療法2  
 【内容・方法 等】 血液がんに対するがん化学療法とその効果、抗がん薬の有害作用とその対策について講義する。  
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第4回** 【授業テーマ】 がんの薬物療法3  
 【内容・方法 等】 がん性疼痛に対する薬物療法について抗議する。  
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第5回** 【授業テーマ】 感染症の薬物療法1  
 【内容・方法 等】 細菌感染症に対する薬物療法について講義する。  
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第6回** 【授業テーマ】 感染症の薬物療法2  
 【内容・方法 等】 ウイルス感染症に対する薬物療法について講義する。  
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第7回** 【授業テーマ】 感染症の薬物療法3  
 【内容・方法 等】 真菌症に対する薬物療法、予防接種薬について講義する。  
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第8回** 【授業テーマ】 救命救急時の薬物療法1  
 【内容・方法 等】 ショック、過量投与等、救急救命時の薬物療法について講義する。  
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第9回** 【授業テーマ】 救命救急時の薬物療法2  
 【内容・方法 等】 麻酔及び輸液について講義する。  
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第10回** 【授業テーマ】 アレルギー性疾患の薬物療法1  
 【内容・方法 等】 気管支喘息に対する薬物療法について講義する。  
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第11回** 【授業テーマ】 アレルギー性疾患の薬物療法2  
 【内容・方法 等】 関節リウマチに対する薬物療法について講義する。  
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第12回** 【授業テーマ】 アレルギー性疾患の薬物療法3  
 【内容・方法 等】 全身性エリテマトーデス、その他アレルギー性疾患に対する薬物療法について講義する。  
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第13回** 【授業テーマ】 消化器系疾患の薬物療法1  
 【内容・方法 等】 消化性潰瘍に対する薬物療法について講義する。  
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第14回** 【授業テーマ】 消化器系疾患の薬物療法2  
 【内容・方法 等】 腸疾患に対する薬物療法について講義する。  
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習
- 第15回** 【授業テーマ】 消化器系疾患の薬物療法3  
 【内容・方法 等】 肝臓・胆嚢・膵臓疾患に対する薬物療法について講義する。  
 【事前・事後学習課題】 教科書の該当範囲の予習・復習

**評価方法（基準）**

筆記試験100点満点の60点以上で合格とする。ただし、小テスト等の一定割合を評価に入れることもある。

**教材等**

教科書…「ナーシング・グラフィカ④ 『疾病の成り立ち－臨床薬理学』 MCメディカ出版 (3,400円 + 税)」

参考書…特になし

**学生へのメッセージ**

普段からの予習、復習の姿勢を身につけてください。質問は遠慮をせず、気軽にきてください。

**関連科目**

人体の構造と機能Ⅰ～Ⅳ、疾病・治療論Ⅰ、Ⅱ、薬理学総論  
 担当者の研究室等

1号館4階 奈邊教授室

**備考**

薬理学総論と同じ教科書を使用します。

**病院薬学演習**

Practice in Hospital Pharmacy

菊田 真穂 (キクタ マホ)

小森 浩二 (コモリ コウジ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	1	前期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

チーム医療を担える看護師になるために、演習を通して薬剤に関わる基本的な実務を理解し、薬剤に関する基本的な知識、技能を修得する。

**授業方法と留意点**

週替わりで講義（7号館にて実施）と演習（6号館にて実施）を行うので実施場所や準備に留意すること。

**科目学習の効果（資格）**

チーム医療に貢献できる看護師を目指す。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 処方せんの見方理解する  
 【内容・方法 等】 講義（小森）  
 【事前・事後学習課題】 講義（授業）内容を復習し、実際に演習に備えてください。
- 第2回** 【授業テーマ】 調剤の基本（計数調剤・散剤・水剤・軟膏剤）を理解する  
 【内容・方法 等】 講義（菊田）  
 【事前・事後学習課題】 講義（授業）内容を復習し、実際に演習に備えてください。
- 第3回** 【授業テーマ】 計数調剤・軟膏剤調剤の基本を実践する 前半  
 【内容・方法 等】 演習（菊田・小森）  
 (6号館2階 調剤実習室)  
 【事前・事後学習課題】 演習で行った内容を復習しておいてください。
- 第4回** 【授業テーマ】 計数調剤・軟膏剤調剤の基本を実践する 後半  
 【内容・方法 等】 演習（菊田・小森）  
 (6号館2階 調剤実習室)  
 【事前・事後学習課題】 演習で行った内容を復習しておいてください。
- 第5回** 【授業テーマ】 水剤・散剤 調剤の基本の実践 前半  
 【内容・方法 等】 演習（菊田・小森）  
 (6号館2階 調剤実習室)  
 【事前・事後学習課題】 演習で行った内容を復習しておいてください。
- 第6回** 【授業テーマ】 水剤・散剤 調剤の基本の実践 後半  
 【内容・方法 等】 演習（菊田・小森）  
 (6号館2階 調剤実習室)  
 【事前・事後学習課題】 演習で行った内容を復習しておいてください。
- 第7回** 【授業テーマ】 基本的な処方の意図を理解する  
 【内容・方法 等】 講義（菊田）  
 【事前・事後学習課題】 講義（授業）内容を復習し、実際に演習に備えてください。
- 第8回** 【授業テーマ】 注射剤調剤（混注）の基本を理解する  
 【内容・方法 等】 講義（菊田）  
 【事前・事後学習課題】 講義（授業）内容を復習し、実際に演習に備えてください。
- 第9回** 【授業テーマ】 注射剤混合調製の実践・調剤薬の監査 前半  
 【内容・方法 等】 演習（菊田・小森）  
 (6号館 1階 無菌調製実習室・2階 調剤実習室)  
 【事前・事後学習課題】 演習で行った内容を復習しておいてください。
- 第10回** 【授業テーマ】 注射剤混合調製の実践・調剤薬の監査 後半  
 【内容・方法 等】 演習（菊田・小森）  
 (6号館 1階 無菌調製実習室・2階 調剤実習室)  
 【事前・事後学習課題】 演習で行った内容を復習しておいてください。
- 第11回** 【授業テーマ】 医薬品の管理方法の基本を理解する  
 【内容・方法 等】 講義（小森）  
 【事前・事後学習課題】 演習で行った内容を復習しておいてください。
- 第12回** 【授業テーマ】 注射剤の基本的な計算が出来る  
 【内容・方法 等】 講義（菊田）  
 【事前・事後学習課題】 演習で行った内容を復習しておいてください。
- 第13回** 【授業テーマ】 抗がん剤・消毒剤の基本的な調製を実践する

【内容・方法等】 演習（菊田・小森）  
（6号館 1階 無菌調製実習室 ・ 2階 調剤実習室）  
【事前・事後学習課題】 演習で行った内容を復習しておいてください。

第14回 【授業テーマ】 医薬品情報提供書の作成の基本を理解し、服薬指導を実践する（発表会）前半  
【内容・方法等】 演習（菊田・小森）  
【事前・事後学習課題】 演習で行った内容を復習しておいてください。

第15回 【授業テーマ】 医薬品情報提供書の作成の基本を理解し、服薬指導を実践する（発表会）後半  
【内容・方法等】 演習（菊田・小森）  
【事前・事後学習課題】 演習で行った内容を復習しておいてください。

評価方法（基準）  
受講態度（50%）および成果物（50%）で総合的に評価する。  
100点満点中60点以上で合格。

教材等  
教科書…新ビジュアル薬剤師実務シリーズ 調剤業務の基本 下（技能）  
参考書…ナーシンググラフィカ 4 臨床薬理学

学生へのメッセージ  
薬剤に関わる基本的な実務を理解してもらいます。医薬品の一般名称など初めて目にする知識もあるとは思いますが、医薬品をさわらない看護師はいませんのでしっかり取り組んでください。

関連科目  
プレファーマシー実習

担当者の研究室等  
6号館3階 医療薬学研究室

**病院薬学演習**  
Practice in Hospital Pharmacy

菊田 真穂 (キクタ マホ)  
小森 浩二 (コモリ コウジ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	2	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標  
チーム医療を担える看護師になるために、演習を通して薬剤に関わる基本的な実務を理解し、薬剤に関する基本的な知識、技能を修得する。

授業方法と留意点  
週替わりで講義（7号館にて実施）と演習（6号館にて実施）を行うので実施場所や準備に留意すること。

科目学習の効果（資格）  
チーム医療に貢献できる看護師を目指す。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 処方せんを読み方を理解する  
【内容・方法等】 講義（小森）  
【事前・事後学習課題】 講義（授業）内容を復習し、実際に行う演習に備えてください。

第2回 【授業テーマ】 調剤の基本（計数調剤・散剤・水剤・軟膏剤）を理解する  
【内容・方法等】 講義（菊田）  
【事前・事後学習課題】 講義（授業）内容を復習し、実際に行う演習に備えてください。

第3回 【授業テーマ】 計数調剤・軟膏剤調剤の基本を実践する 前半  
【内容・方法等】 演習（菊田・小森）  
（6号館2階 調剤実習室）  
【事前・事後学習課題】 演習で行った内容を復習しておいてください。

第4回 【授業テーマ】 計数調剤・軟膏剤調剤の基本を実践する 後半  
【内容・方法等】 演習（菊田・小森）  
（6号館2階 調剤実習室）  
【事前・事後学習課題】 演習で行った内容を復習しておいてください。

第5回 【授業テーマ】 水剤・散剤 調剤の基本の実践 前半  
【内容・方法等】 演習（菊田・小森）  
（6号館2階 調剤実習室）  
【事前・事後学習課題】 演習で行った内容を復習しておいてください。

第6回 【授業テーマ】 水剤・散剤 調剤の基本の実践 後半  
【内容・方法等】 演習（菊田・小森）  
（6号館2階 調剤実習室）  
【事前・事後学習課題】 演習で行った内容を復習しておいてください。

第7回 【授業テーマ】 基本的な処方箋の意図を理解する  
【内容・方法等】 講義（菊田）  
【事前・事後学習課題】 講義（授業）内容を復習し、実際に行う演習に備えてください。

第8回 【授業テーマ】 注射剤調剤（混注）の基本を理解する  
【内容・方法等】 講義（菊田）  
【事前・事後学習課題】 講義（授業）内容を復習し、実際に行う演習に備えてください。

第9回 【授業テーマ】 注射剤混合調製の実践・調剤薬の監査 前半  
【内容・方法等】 演習（菊田・小森）  
（6号館 1階 無菌調製実習室 ・ 2階 調剤実習室）  
【事前・事後学習課題】 演習で行った内容を復習しておいてください。

第10回 【授業テーマ】 注射剤混合調製の実践・調剤薬の監査 後半  
【内容・方法等】 演習（菊田・小森）  
（6号館 1階 無菌調製実習室 ・ 2階 調剤実習室）  
【事前・事後学習課題】 演習で行った内容を復習しておいてください。

第11回 【授業テーマ】 医薬品の管理方法の基本を理解する  
【内容・方法等】 講義（小森）  
【事前・事後学習課題】 演習で行った内容を復習しておいてください。

第12回 【授業テーマ】 注射剤の基本的な計算が出来る  
【内容・方法等】 講義（菊田）  
【事前・事後学習課題】 演習で行った内容を復習しておいてください。

第13回 【授業テーマ】 抗がん剤・消毒剤の基本的な調製を実践する  
【内容・方法等】 演習（菊田・小森）  
（6号館 1階 無菌調製実習室 ・ 2階 調剤実習室）  
【事前・事後学習課題】 演習で行った内容を復習しておいてください。

第14回 【授業テーマ】 医薬品情報提供書の作成の基本を理解し、服薬指導を実践する（発表会）前半  
【内容・方法等】 演習（菊田・小森）  
【事前・事後学習課題】 演習で行った内容を復習しておいてください。

第15回 【授業テーマ】 医薬品情報提供書の作成の基本を理解し、服薬指導を実践する（発表会）後半  
【内容・方法等】 演習（菊田・小森）  
【事前・事後学習課題】 演習で行った内容を復習しておいてください。

評価方法（基準）  
受講態度（50%）および成果物（50%）で総合的に評価する。  
100点満点中60点以上で合格。

教材等  
教科書…新ビジュアル薬剤師実務シリーズ 調剤業務の基本 下（技能）  
参考書…ナーシンググラフィカ 4 臨床薬理学

学生へのメッセージ  
薬剤に関わる基本的な実務を理解してもらいます。医薬品の一般名称など初めて目にする知識もあるとは思いますが、医薬品をさわらない看護師はいませんのでしっかり取り組んでください。

関連科目  
プレファーマシー実習

担当者の研究室等  
6号館3階 医療薬学研究室

**カウンセリング論**  
Counseling

宮川 貴美子 (ミヤガワ キミコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標  
臨床現場で役に立つカウンセリングの基礎理論と技法を学び、援助的なコミュニケーションとは何かを考える力を育てることを目的とする。ここではカウンセリングの基本となる「きくこと」の援助的な意味を学び、カウンセリング的対話と日常的対話の違いを理解することを目指すものである。これら講義による知的理解に加えて、「聴く・聴いてもらう」「聴く・語る」という自らの体験実習と、さまざまな映像資料を通して、援助的対話のあり方とは何か、カウンセリングの基本的要素である「傾聴」を学び、カウンセリングについての理解を深めていく。

授業方法と留意点  
授業はプリントを使用して講義形式により行うとともに、補助的に映像資料を用いたり、さまざまな実習（実習1～実習8）を行う予定である。講義による知的理解に加えて、これらの実習を通して受講生それぞれの体験的理解を目指している。実習では、ペアやグループでの作業が多くなるので、受講生の主体

的な参加が求められる。また実習の体験をもとにレポートが課されるので、欠席・遅刻をするとレポートの作成ができないだけでなく他のメンバーへも迷惑をかけることになる。したがって、やむをえない場合を除き、原則として欠席・遅刻は認めない。授業中に数回、宿題レポートを提出してもらう予定である。レポートの提出期限については、指定の日時を厳守すること。期日を過ぎたものについては、いかなる理由であっても受け付けない（ただし学校感染症などによる欠席の場合は、公的な証明書類の提出をもって考慮する）。毎回、授業の最後に講義を受けて気づいたこと、感じたこと、考えたこと、疑問に思うこと、講師への質問などを自由にまとめる「コメントカード」を提出してもらい、書かれた内容について次回の授業の中で、教員から全体へ向けてのフィードバックを行う。この「コメントカード」の提出は「授業への積極的関与度」をはかる指標とするともに、学生と教員との双方向コミュニケーションをめざすものである。

**科目学習の効果（資格）**

看護の現場で役に立つカウンセリング的態度と技法を学ぶことができる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション：カウンセリングとは  
【内容・方法 等】 ・授業のねらいと授業概要の概説。  
・カウンセリングとは何かを考えるきっかけをつくる（実習1）  
【事前・事後学習課題】 授業内容をふりかえって、次回の授業に備えましょう。
- 第2回 【授業テーマ】 心理療法の歴史  
【内容・方法 等】 心理療法の歴史と理論を概観する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容を整理して、理解を深めましょう。
- 第3回 【授業テーマ】 心理療法とカウンセリング  
【内容・方法 等】 ・心理臨床における心理療法とカウンセリング  
・心理療法の構造  
【事前・事後学習課題】 授業内容を整理して、理解を深めましょう。
- 第4回 【授業テーマ】 対人援助の方法としてのカウンセリング  
【内容・方法 等】 ・対人援助としてのカウンセリングの意味  
・援助的なコミュニケーションとは何か（実習2）  
【事前・事後学習課題】 講義内容を整理するとともに、実習を通して感じたこと、気づいたこと、考えたことをまとめておきましょう。
- 第5回 【授業テーマ】 カウンセリングにおける応答のあり方  
【内容・方法 等】 ・カウンセリング場面の実際を知る  
・援助的な応答とは何かを考えるきっかけを作る（実習3）  
【事前・事後学習課題】 講義内容を整理するとともに、実習を通して感じたこと、気づいたこと、考えたことをまとめておきましょう。
- 第6回 【授業テーマ】 カウンセリングにおける援助の技法  
【内容・方法 等】 ・カウンセリングの方法論  
・カウンセリングの目的  
・基本的なカウンセリング技法  
・共感とは  
【事前・事後学習課題】 授業内容を整理して、理解を深めましょう。
- 第7回 【授業テーマ】 クライアント中心療法  
【内容・方法 等】 C.R.ロジャーズの理論を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 授業内容を整理して、理解を深めましょう。
- 第8回 【授業テーマ】 カウンセリングの実際  
【内容・方法 等】 映像資料を通して、カウンセリングの理論と技法の理解を深める。  
【事前・事後学習課題】 授業内容を整理して、理解を深めましょう。
- 第9回 【授業テーマ】 援助的なコミュニケーションとは  
【内容・方法 等】 コミュニケーション実習（実習4、実習5、実習6）を通して、カウンセリングについて体験的に理解する。  
【事前・事後学習課題】 講義内容を整理するとともに、実習を通して感じたこと、気づいたこと、考えたことをまとめておきましょう。
- 第10回 【授業テーマ】 「聴く」ことを考える  
【内容・方法 等】 ・自分の聴き方の特徴に気づく  
・傾聴の意義について考える（実習7）  
【事前・事後学習課題】 講義内容を整理するとともに、実習を通して感じたこと、気づいたこと、考えたことをまとめておきましょう。
- 第11回 【授業テーマ】 カウンセリングにおけるラポールと転移・逆転移  
【内容・方法 等】 ・ラポールとは  
・転移・逆転移とは  
【事前・事後学習課題】 授業内容を整理して、理解を深めましょう。
- 第12回 【授業テーマ】 カウンセリングのロールプレイ

【内容・方法 等】 クライアント役とカウンセラー役を体験してみる（実習8）。

- 【事前・事後学習課題】 実習を通して感じたこと、気づいたこと、考えたことをまとめておきましょう
- 第13回 【授業テーマ】 カウンセリングの実践  
【内容・方法 等】 資料映像を通して、終末期にある人に対する援助的コミュニケーションのあり方を考える。  
【事前・事後学習課題】 終末期を生きるということの意味を考えてみましょう
- 第14回 【授業テーマ】 看護師のメンタルヘルス  
【内容・方法 等】 ・メンタルヘルスとは何か  
・ストレスコーピング  
・看護師のメンタルヘルスの必要性  
【事前・事後学習課題】 自分のメンタルヘルスについて考えてみましょう。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法 等】 授業全体をふりかえる  
【事前・事後学習課題】 授業全体をふりかえって整理し、期末試験に備えましょう。

**評価方法（基準）**

期末試験の成績（60%）とレポートの評価および授業への積極的関与度（40%）をもって、総合的に評価する。上記の「授業方法と留意点」にあるように、ほぼ毎回の授業の最後には「コメントカード」の提出があり、このコメントカードの記述内容により授業への積極的関与の程度を判断する。

**教材等**

教科書…指定しない。  
参考書…青木紀久代編著『カラー版徹底図解 臨床心理学 フロイトの理論から現代の臨床例まで』、新星出版社、2010年。／河合隼雄著『カウンセリングの実際問題』、誠信書房、1970年。  
その他の参考文献等は授業中に紹介する。  
また、講義内容に応じて、資料を配布する。

**学生へのメッセージ**

カウンセリング論は実践の学である。したがって知的な理解だけでは臨床の現場では役に立たないとの観点から、この授業では講義による知的理解に加えて、さまざまな実習が用意されている。実習に対しては主体的に参加することが求められている。また受講生諸君には、この授業を通して看護師としての対人援助のあり方について考える機会としてほしい。

**関連科目**

臨床心理学

**担当者の研究室等**

1号館2階 非常勤講師室

臨床心理学 Clinical Psychology				
宮川 貴美子（ミヤガワ キミコ）				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

臨床心理学は、心の病（症状・問題行動・病的体験）を抱える人に対する援助、その改善・解決を考える実践の学である。本講義では、心の病とは何か、そして心の病を抱える人をどのように援助するかを学び、理解する。他者援助のあり方を考える上で役に立つ臨床心理学の基礎的理論を学習する。これら臨床心理学的知見から、人が人を深く理解することの意味を考える。

- 講義は主として以下の3つの柱で構成される。
- ①臨床心理学が対象とする心の諸問題と、これらをめぐる現代のトピックスを取り上げる。
  - ②心理アセスメントの意義と方法およびその実際を学ぶ。
  - ③心理臨床の実践として様々な心理療法を紹介する。
- この授業の到達目標は以下の4つである。
- ・臨床心理学の基礎を理解することができる。
  - ・臨床心理学が対象とするさまざまな心の問題を学ぶことができる。
  - ・心理アセスメントの基本を学び、理解することができる。
  - ・心理療法の基本を学び、さまざまな心理療法の理論と実際を知ることができる。

**授業方法と留意点**

授業はプリントを使用し主に講義形式により行う。補助的に映像資料を用いたり、簡単な実習の要素も取り入れて講義内容の理解を深める。授業中に数回、レポートを提出してもらう予定である。レポートの提出期限については、指定の日時を厳守すること。期日を過ぎたものについては、いかなる理由であっても受け付けない（ただし学校感染症などによる欠席の場合は、公的な証明書類の提出をもって考慮する）。

毎回、授業の最後に講義を受けて気づいたこと、感じたこと、考えたこと、疑問に思うこと、講師への質問などを自由にまとめる「コメントカード」を提出してもらい、書かれた内容について次回の授業の中で、教員から全体へ向けてのフィードバックを行う。この「コメントカード」の提出は「授業への積極的関与度」をはかる指標とするとともに、学生と教員との双方向コミュニケーションをめざすものである。

**科目学習の効果（資格）**

臨床心理学的知見をもとに、看護の現場で役に立つ「人を深く理解する」構えを養い、心理的問題を抱える対象者とその家族に対するよりよい援助を考えることができる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 はじめに～オリエンテーション  
 【内容・方法等】 授業全体のねらいと授業概要などの概説。  
 臨床心理学が対象とする「こころ」について考えるきっかけを作る（実習1）  
 【事前・事後学習課題】 「こころ」とはいったい何か。一度自分に問うてみましょう。
- 第2回** 【授業テーマ】 臨床心理学とは何か  
 【内容・方法等】 ・「心が病む」ということ  
 ・臨床心理学の歴史  
 【事前・事後学習課題】 「悩む」と「心が病む」ということについて考えてみましょう。
- 第3回** 【授業テーマ】 心をめぐる諸理論—フロイト、ユングの考え方  
 【内容・方法等】 ・心の構造、無意識について  
 ・精神分析  
 ・分析心理学  
 【事前・事後学習課題】 フロイトとユングの考え方の違いを理解しましょう。
- 第4回** 【授業テーマ】 臨床心理学が対象とする心の問題と現代のトピックス<1>精神病レベル  
 【内容・方法等】 ・うつ病  
 ・統合失調症  
 ・事例紹介  
 【事前・事後学習課題】 授業の内容を整理して、心の問題への理解を深めましょう。
- 第5回** 【授業テーマ】 臨床心理学が対象とする心の問題と現代のトピックス<2>神経症レベル  
 【内容・方法等】 ・さまざまな不安障害、心気症、摂食障害など  
 ・事例紹介  
 【事前・事後学習課題】 授業の内容を整理して、心の問題への理解を深めましょう。
- 第6回** 【授業テーマ】 臨床心理学が対象とする心の問題と現代のトピックス<3>発達障害  
 【内容・方法等】 ・発達障害とは：特徴と分類  
 ・発達障害を抱えて生きること  
 ・発達障害を抱える人とその家族への援助のありかた  
 【事前・事後学習課題】 授業の内容を整理して、心の問題への理解を深めましょう。
- 第7回** 【授業テーマ】 臨床心理学が対象とする心の問題と現代のトピックス<4>社会的問題行動とライフサイクルをめぐる問題  
 【内容・方法等】 ・不登校、スチューデントアパシーなど  
 ・人格障害  
 ・その他：ライフサイクルをめぐる問題  
 【事前・事後学習課題】 授業の内容を整理して、心の問題への理解を深めましょう。
- 第8回** 【授業テーマ】 心理アセスメントと心理テスト  
 【内容・方法等】 ・心理アセスメントの分類（観察法、面接法、質問紙法、投映法）  
 ・心理テストの実施にあたって  
 ・倫理的問題  
 【事前・事後学習課題】 授業の内容を整理して、心理アセスメントについての理解を深めましょう。
- 第9回** 【授業テーマ】 心理アセスメントの実際  
 【内容・方法等】 ・バウムテスト  
 ・HTP  
 ・風景構成法  
 ・事例紹介  
 【事前・事後学習課題】 4Bの黒鉛筆、黒のサインペン、色鉛筆を準備、持参してください。
- 第10回** 【授業テーマ】 カウンセリングと心理療法  
 【内容・方法等】 臨床心理学的援助のプロセスを学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 援助的な応答について、考えてみましょう。
- 第11回** 【授業テーマ】 心理療法の理論と実際<1>来談者中心療法、論理療法、ゲシュタルト療法  
 【内容・方法等】 ・心理療法の理論を学ぶ。  
 【事前・事後学習課題】 授業の内容を整理して、理解を深めましょう。
- 第12回** 【授業テーマ】 心理療法の理論と実際<2>行動療法と認知行動療法

- 【内容・方法等】 ・心理療法の理論を学ぶ。  
 【事前・事後学習課題】 授業の内容を整理して、理解を深めましょう。
- 第13回** 【授業テーマ】 心理療法の理論と実際<3>さまざまな表現療法  
 【内容・方法等】 ・箱庭療法の基本を学ぶ  
 ・さまざまな表現療法の紹介  
 【事前・事後学習課題】 授業の内容を整理して、理解を深めましょう。
- 第14回** 【授業テーマ】 心理療法の理論と実際<4>箱庭療法の実際  
 【内容・方法等】 ・映像資料を使って考える  
 【事前・事後学習課題】 授業の内容を整理して、理解を深めましょう。
- 第15回** 【授業テーマ】 おわりに～まとめ  
 【内容・方法等】 授業全体をふりかえる  
 【事前・事後学習課題】 授業全体をふりかえて整理し、期末試験に備えましょう。

**評価方法（基準）**  
 期末試験の成績（70%）とレポートの評価および授業への積極的関与度（30%）をもって、総合的に評価する。  
 上記の「授業方法と留意点」にあるように、毎回の授業の最後には「コメントカード」の提出があり、この記述内容で授業への積極的関与の程度を判断する。

**教材等**  
**教科書**…青木紀久代編著『カラー版徹底図解 臨床心理学 フロイトの理論から現代の臨床例まで』、新星出版社、2010年（ISBN978-4-405-10688-8）。  
**参考書**…参考文献等は適宜、授業中に紹介する。  
 また講義内容に応じて、資料を配付する。

**学生へのメッセージ**  
 臨床心理学が対象とする「心をめぐる諸現象（問題・症状）」に対して関心を持って授業に臨むとともに、関連図書にも積極的に触れておくこと。

**関連科目**  
 カウンセリング論、家族関係論

**担当者の研究室等**  
 1号館2階 非常勤講師室

疾病・治療論 I Clinical Medicine I				
小 崎 篤 志 (コサキ アツシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**  
 看護において、身体の構造や機能のメカニズム、それらの障害である疾病を理解する事は重要である。  
 本科目は、医学的対応が必要となる成人各期に起り得る疾病を身体の系統臓器別に取り上げ、疾病の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。本科目では、主に呼吸器および循環器疾患に関して講義を行い、これらの基礎知識を修得し、各疾患の患者への的確な観察や看護援助さらには充実した生活を送るための支援が行えるように理解を深める。

**授業方法と留意点**  
 下記の授業計画に沿って講義を行う。教科書を中心に液晶プロジェクターを用いて授業を進めるが、その中には初めて目にするような専門用語が多く含まれており、その意味を正確に理解させるには生物学・医化学などのバックグラウンドが必要となる。  
 授業では、新しい単語の説明や分かりにくい点を板書で説明しながら内容を補足しながら進めて行く。学生の習熟度により、授業の進行スピードの変更並びに、プリント、模型やビデオなどを併用した授業方法も考慮する。

**科目学習の効果（資格）**  
 本講義は2年前期の疾病治療論Ⅱとともに各疾患の知識を修得する事により、患者への的確な看護支援が行える基礎となる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 疾病・治療論(呼吸器1)  
 【内容・方法等】 講義にて呼吸器疾患、主に呼吸器の解剖・生理、酸塩基平衡などについて学習する  
 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第2回** 【授業テーマ】 疾病・治療論(呼吸器2)  
 【内容・方法等】 講義にて呼吸器疾患、主に呼吸機能検査などについて学習する  
 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第3回** 【授業テーマ】 疾病・治療論(呼吸器3)  
 【内容・方法等】 講義にて呼吸器疾患、主に呼吸器感染症などの原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する  
 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習

- 第4回 【授業テーマ】 疾病・治療論(呼吸器4)  
 【内容・方法等】 講義にて呼吸器疾患、主に免疫・アレルギー性肺疾患および間質性肺疾患の原因、原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する  
 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第5回 【授業テーマ】 疾病・治療論(呼吸器5)  
 【内容・方法等】 講義にて呼吸器疾患、主に閉塞性肺疾患などの原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する  
 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第6回 【授業テーマ】 疾病・治療論(呼吸器6)  
 【内容・方法等】 講義にて呼吸器疾患、主に肺腫瘍の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する  
 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第7回 【授業テーマ】 疾病・治療論(呼吸器7)  
 【内容・方法等】 講義にて呼吸器疾患、主に肺循環異常・換気障害などの原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する  
 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第8回 【授業テーマ】 疾病・治療論(循環器1)  
 【内容・方法等】 講義にて循環器疾患、主に循環器の解剖生理、検査法、治療法等について学習する  
 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第9回 【授業テーマ】 疾病・治療論(循環器2)  
 【内容・方法等】 講義にて循環器疾患、主に心不全の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する  
 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第10回 【授業テーマ】 疾病・治療論(循環器3)  
 【内容・方法等】 講義にて循環器疾患、主に虚血性心疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する  
 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第11回 【授業テーマ】 疾病・治療論(循環器4)  
 【内容・方法等】 講義にて循環器疾患、主に不整脈疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する  
 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第12回 【授業テーマ】 疾病・治療論(循環器5)  
 【内容・方法等】 講義にて循環器疾患、主に先天性心疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する  
 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第13回 【授業テーマ】 疾病・治療論(循環器6)  
 【内容・方法等】 講義にて循環器疾患、主に心臓弁膜症疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する  
 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第14回 【授業テーマ】 疾病・治療論(循環器7)  
 【内容・方法等】 講義にて循環器疾患、主に心筋・心膜疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する  
 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第15回 【授業テーマ】 疾病・治療論(循環器8)  
 【内容・方法等】 講義にて循環器疾患、主に血管疾患および高血圧疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する  
 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習

**評価方法 (基準)**  
 合否判定は定期試験を中心に総合判定する。試験には主に客観問題を出題する。講義中の授業態度などを評価の一部とする。定期試験(90%)、講義での授業態度など(10%)で最終評価する。

**教材等**  
**教科書**…"・萩原誠久 等 監修 『病気がみえる vol.2 循環器』メディックメディア (3,300円+税)  
 ・滝澤始 等 監修 『病気がみえる vol.4 呼吸器』メディックメディア (3,200円+税)"

**参考書**…なし  
**学生へのメッセージ**  
 授業には指定教科書を持参して下さい。

**関連科目**  
 病理学総論、疾病治療論Ⅱ

**担当者の研究室等**  
 7号館3階 研究室23 (小崎)

**備考**  
 病理学総論、疾病治療論Ⅰ、疾病治療論Ⅱで同じシリーズの教科書を使用します。

**疾病・治療論Ⅱ**  
 Clinical Medicine Ⅱ

小崎 篤志 (コサキ アツシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

看護において、身体の構造や機能のメカニズム、それらの障害である疾病を理解する事は重要である。本科目は、医学的対応が必要となる成人各期に起り得る疾病を身体の系統臓器別に取り上げ、疾病の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。本科目では、主に血液・膠原病・腎および泌尿器疾患に関して講義を行い、これらの基礎知識を修得し、各疾患の患者への的確な観察や看護援助さらには充実した生活を送るための支援が行えるように理解を深める。

**授業方法と留意点**

下記の授業計画に沿って講義を行う。教科書を中心に液晶プロジェクターを用いて授業を進めるが、その中には初めて目にするような専門用語が多く含まれており、その意味を正確に理解させるには生物学・医化学などのバックグラウンドが必要となる。授業では、新しい単語の説明や分かりにくい点を板書で説明しながら内容を補足しながら進めて行く。学生の習熟度により、授業の進行スピードの変更並びに、プリント、模型やビデオなどを併用した授業方法も考慮する。

**科目学習の効果 (資格)**

本講義は1年後期の病理学総論、疾病治療論Ⅱとともに各疾患の知識を修得する事により、患者への的確な看護支援が行える基礎となる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 疾病・治療論(麻酔学)  
 【内容・方法等】 講義で配布するプリントにて、麻酔学について学習する  
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第2回 【授業テーマ】 疾病・治療論(血液1)  
 【内容・方法等】 講義にて血液疾患、主に赤血球系疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する(1)  
 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第3回 【授業テーマ】 疾病・治療論(血液2)  
 【内容・方法等】 講義にて血液疾患、主に赤血球系疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する(2)  
 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第4回 【授業テーマ】 疾病・治療論(血液3)  
 【内容・方法等】 講義にて血液疾患、主に白血球・血液凝固系疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する(1)  
 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第5回 【授業テーマ】 疾病・治療論(血液4)  
 【内容・方法等】 講義にて血液疾患、主に白血球・血液凝固系疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する(2)  
 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第6回 【授業テーマ】 疾病・治療論(免疫・膠原病1)  
 【内容・方法等】 講義にて免疫・膠原病疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する(1)  
 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第7回 【授業テーマ】 疾病・治療論(免疫・膠原病2)  
 【内容・方法等】 講義にて免疫・膠原病疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する(2)  
 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第8回 【授業テーマ】 疾病・治療論(感染症1)  
 【内容・方法等】 講義にて感染症疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する(1)  
 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第9回 【授業テーマ】 疾病・治療論(感染症2)  
 【内容・方法等】 講義にて感染症疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する(2)  
 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第10回 【授業テーマ】 疾病・治療論(感染症3)  
 【内容・方法等】 講義にて感染症疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する(3)  
 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第11回 【授業テーマ】 疾病・治療論(感染症4)  
 【内容・方法等】 講義にて感染症疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する(4)  
 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習
- 第12回 【授業テーマ】 疾病・治療論(腎泌尿器1)  
 【内容・方法等】 講義にて腎泌尿器疾患、主に腎疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する(1)

- 第13回 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習  
【授業テーマ】 疾病・治療論(腎泌尿器2)  
【内容・方法等】 講義にて腎泌尿器疾患、主に腎疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する(2)
- 第14回 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習  
【授業テーマ】 疾病・治療論(腎泌尿器3)  
【内容・方法等】 講義にて腎泌尿器疾患、主に泌尿器疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する(1)
- 第15回 【事前・事後学習課題】 教科書内授業部分の予習・復習  
【授業テーマ】 疾病・治療論(腎泌尿器4)  
【内容・方法等】 講義にて腎泌尿器疾患、主に泌尿器疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する(2)

疫学・保健統計 Epidemiology and Health Statistics				
小堀 栄子 (コボリ エイコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**  
集団の健康を扱い、人々の健康の維持・増進、そして疾病予防を目指す公衆衛生では、集団の健康や疾病発生に関連する情報の入手とその解析が不可欠である。そうした情報は将来を見通し適切な対策を立てる上でも欠かせない。本講義では、集団の健康や疾病の分布とその関連要因を明らかにする疫学について講義し、その基本的考え方及び方法について学ぶ。また、疫学で用いられる統計とその基礎について学び、日本人の健康を表す人口・出生・死亡に関わる保健統計の理解も深める。

**授業方法と留意点**  
講義と演習を組み合わせ、理解を深める。  
**科目学習の効果(資格)**  
疫学および保健統計を含む統計学の基本を学び、疾病予防の背景にある科学的な根拠およびその意味が理解できるようになる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 疫学の概要  
【内容・方法等】 疫学の考え方、歴史  
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること
- 第2回 【授業テーマ】 疫学指標  
【内容・方法等】 割合、比、率、罹患率、有病率、相対リスク、寄与リスク  
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること
- 第3回 【授業テーマ】 観察研究  
【内容・方法等】 疫学研究デザイン (1)  
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること
- 第4回 【授業テーマ】 介入研究  
【内容・方法等】 疫学研究デザイン (2)  
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること
- 第5回 【授業テーマ】 バイアスと交絡  
【内容・方法等】 偶然誤差、系統誤差、精度、妥当性、交絡、交絡の調整  
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること
- 第6回 【授業テーマ】 スクリーニング  
【内容・方法等】 検査、感度、特異度、カットオフポイント、ROC曲線  
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること

- 第7回 【授業テーマ】 疫学研究と倫理  
【内容・方法等】 医学研究と倫理の歴史、日本の薬害の歴史、研究倫理に関する日本法令・指針  
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること
- 第8回 【授業テーマ】 統計の基本  
【内容・方法等】 データの種類、度数分布、ヒストグラム  
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること
- 第9回 【授業テーマ】 記述統計(1)  
【内容・方法等】 保健統計(人口、出生、死亡、様々な統計調査)  
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること
- 第10回 【授業テーマ】 記述統計(2)  
【内容・方法等】 代表値、散布度、相関  
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること
- 第11回 【授業テーマ】 確率分布(1)  
【内容・方法等】 正規分布、標準正規分布  
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること
- 第12回 【授業テーマ】 確率分布(2)  
【内容・方法等】 その他の確率分布  
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること
- 第13回 【授業テーマ】 母集団の推定  
【内容・方法等】 母集団の推定、推定と検定、点推定、区間推定  
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること
- 第14回 【授業テーマ】 仮説の検定(1)  
【内容・方法等】 平均値の差の検定  
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること
- 第15回 【授業テーマ】 仮説の検定(2)  
【内容・方法等】 割合の差の検定  
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること

【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること  
【授業テーマ】 記述統計(2)  
【内容・方法等】 代表値、散布度、相関  
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること

【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること  
【授業テーマ】 確率分布(1)  
【内容・方法等】 正規分布、標準正規分布  
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること

【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること  
【授業テーマ】 確率分布(2)  
【内容・方法等】 その他の確率分布  
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること

【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること  
【授業テーマ】 母集団の推定  
【内容・方法等】 母集団の推定、推定と検定、点推定、区間推定  
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること

【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること  
【授業テーマ】 仮説の検定(1)  
【内容・方法等】 平均値の差の検定  
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること

【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること  
【授業テーマ】 仮説の検定(2)  
【内容・方法等】 割合の差の検定  
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること

【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること  
【授業テーマ】 仮説の検定(2)  
【内容・方法等】 割合の差の検定  
【事前・事後学習課題】 授業をよく聞き、考えること

保健医療福祉行政論 Health and Welfare Administration				
小堀 栄子 (コボリ エイコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**  
日本の公衆衛生を向上させ、国民の健康を守ってきたのが保健医療福祉行政とその制度である。本講義ではこうした保健医療福祉行政とその制度や仕組みについて学ぶ。また、保健、医療、福祉が連携して展開されている現状について講義する。

**授業方法と留意点**  
講義と事例検討を行う。

**科目学習の効果(資格)**  
保健医療福祉行政とその制度・仕組みについて学び、保健、医療、福祉が連携して行われる現状について総合的に理解する。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 保健医療福祉行政の概要と変遷  
【内容・方法等】 行政の仕組み、機能、歴史  
【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意
- 第2回 【授業テーマ】 社会保障制度(1)  
【内容・方法等】 社会保障制度の概要と医療制度  
【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意
- 第3回 【授業テーマ】 社会保障制度(2)  
【内容・方法等】 社会福祉制度(1) 年金

- 第4回** 【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意  
【授業テーマ】 社会保障制度 (3)  
【内容・方法等】 社会福祉制度 (2) 公的扶助
- 第5回** 【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意  
【授業テーマ】 地域保健 (1)  
【内容・方法等】 地域ケアシステム
- 第6回** 【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意  
【授業テーマ】 地域保健 (2)  
【内容・方法等】 情報公開と個人情報保護
- 第7回** 【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意  
【授業テーマ】 地方自治体の保健医療福祉行政 (1)  
【内容・方法等】 地域保健医療福祉の計画
- 第8回** 【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意  
【授業テーマ】 地方自治体の保健医療福祉行政 (2)  
【内容・方法等】 地域保健医療福祉の評価
- 第9回** 【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意  
【授業テーマ】 事例から学ぶ保健医療福祉行政 (1)  
【内容・方法等】 事例に基づくグループ学習 (1)
- 第10回** 【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意  
【授業テーマ】 事例から学ぶ保健医療福祉行政 (2)  
【内容・方法等】 事例に基づくグループ学習 (2)
- 第11回** 【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意  
【授業テーマ】 事例発表 (1)  
【内容・方法等】 事例 (1) (2) の発表(グループ)
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意  
【授業テーマ】 事例から学ぶ保健医療福祉行政 (3)  
【内容・方法等】 事例に基づくグループ学習 (3)
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意  
【授業テーマ】 事例から学ぶ保健医療福祉行政 (4)  
【内容・方法等】 事例に基づくグループ学習 (4)
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意  
【授業テーマ】 事例発表 (2)  
【内容・方法等】 事例 (3) (4) の発表(グループ)
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意  
【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法等】 復習とまとめ

**評価方法 (基準)**

定期試験60%以上で合格。授業全15回出席が前提。出席の扱いは学生便覧のとおり(「出席状況が好ましくない場合は、単位を認めないことがあります」学生便覧より)。

**教材等**

**教科書**…保健医療福祉行政論(標準保健師講座)。医学書院。ISBN 978-4-260-01405-2。2014年2月15日。第3版第4刷。  
**参考書**…①衛生行政大要。改訂第23版。日本公衆衛生協会。平成24年3月20日。②国民の福祉の動向 2011/2012。厚生労働統計協会(編集)。2011。③保健医療福祉システム入門。田村誠。医学書院。2004/12。

**学生へのメッセージ**

- ・授業では、保健医療福祉行政論を学んでいくうえで最低限必要な理解の枠組みと、その枠組みを理解するうえで最低限必要な知識について講義する。教科書を読むだけではわかりにくいので、毎回の授業には真剣に臨むこと。
- ・授業中の私語、教室の出入りは厳禁
- ・授業中にあてられたとき教室にいなかった場合は欠席扱い

**関連科目**

地域看護学、公衆衛生学

**担当者の研究室等**

7号館3階24

**備考**

なし

**公衆衛生学**

Introduction to Public Health

小堀 栄子 (コボリ エイコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

産業が発達して都市に人口が集中し始めた18世紀に、人々の健康を集団の健康問題として対処すべき必要性から生まれた。そこでは個人ではなく集団や社会を対象とした健康問題の把握・対処方法がとられ、領域も環境、地域、産業、学校など多岐にわたる。本講義では、公衆衛生の歴史、日本人の健康問題の変化と現状、及び各領域の公衆衛生について取り上げる。また、社会の変化に伴って、現在の公衆衛生制度が抱える課題について考察する。

**授業方法と留意点**

講義中心、視聴覚教材も用いる。

**科目学習の効果 (資格)**

私たちの健康に影響を与える環境や社会を理解し、公衆衛生の取り組みを有機的に理解する。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 公衆衛生とは  
【内容・方法等】 公衆衛生の歴史と概要  
【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意
- 第2回** 【授業テーマ】 保健統計  
【内容・方法等】 健康指標と人口統計  
【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意
- 第3回** 【授業テーマ】 疫学  
【内容・方法等】 集団の疾病をとらえる  
【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意
- 第4回** 【授業テーマ】 疾病予防と健康管理  
【内容・方法等】 予防医学の考え方  
【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意
- 第5回** 【授業テーマ】 感染症と予防  
【内容・方法等】 感染症の疫学と予防  
【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意
- 第6回** 【授業テーマ】 慢性疾患と予防  
【内容・方法等】 慢性疾患の疫学と予防  
【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意
- 第7回** 【授業テーマ】 環境保健  
【内容・方法等】 環境が健康に及ぼす影響  
【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意
- 第8回** 【授業テーマ】 地域保健  
【内容・方法等】 地域保健のしくみ  
【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意
- 第9回** 【授業テーマ】 母子保健  
【内容・方法等】 母子保健の現状と課題  
【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意
- 第10回** 【授業テーマ】 学校保健  
【内容・方法等】 子どもの健康と学校保健  
【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意
- 第11回** 【授業テーマ】 産業保健  
【内容・方法等】 勤労者の労働災害と健康  
【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意
- 第12回** 【授業テーマ】 高齢者の健康と福祉  
【内容・方法等】 高齢期の健康と福祉  
【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意
- 第13回** 【授業テーマ】 精神保健  
【内容・方法等】 精神障害の現状と保健福祉  
【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意
- 第14回** 【授業テーマ】 保健医療制度  
【内容・方法等】 日本の保健医療制度と法規  
【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意
- 第15回** 【授業テーマ】 国際保健  
【内容・方法等】 世界の健康・日本の健康  
【事前・事後学習課題】 最新ニュースに留意

**評価方法 (基準)**

定期試験60%以上で合格。授業全15回出席が前提。出席の扱いは学生便覧のとおり(「出席状況が好ましくない場合は、単位を認めないことがあります」学生便覧より)。

**教材等**

**教科書**…シンプル衛生公衆衛生学 2014 (例年、3月上・中旬に発行)。南江堂。  
**参考書**…国民衛生の動向 2014/2015 (例年、8月31日に発行予定)。厚生労働統計協会。  
・図説 国民衛生の動向 2014/2015 (例年、10月31日に発行)。厚生労働統計協会。

**学生へのメッセージ**

- ・授業では、公衆衛生学を学んでいくうえで最低限必要な理解の枠組みと、その枠組みを理解するうえで最低限必要な知識について講義する。教科書を読むだけではわかりにくいので、毎回の授業には真剣に臨むこと。
- ・授業中の私語、教室の出入りは厳禁
- ・授業中にあてられたとき教室にいなかった場合は欠席扱い。

**関連科目**

保健医療福祉行政論

**担当者の研究室等**

7号館3階24

**備考**

なし

**家族関係論**

Family Relationship

南野 美穂 (ナンノ ミホ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

本科目ではまず、個人の対人関係の持ち方と、ライフサイクルの中でのその発達を学ぶ。つぎに、社会の中で家族の機能がどのように変遷してきたかを概観し、現代の社会、家族、個人の関係について、講義とディスカッションを通して多角的に理解を深めていく。また、何らかの困難をもつ個人の家族を対象とした具体的な介入方法についても実践的に身につける。これらを通じて、対人援助の対象である個人と、個人の背景としての家族をアセスメントし、適切に介入する力の基礎を養成する。

**授業方法と留意点**

講義を中心とし、時々グループディスカッションを取り入れる予定である。教科書使用。その他、特別に必要なものがあれば授業中に伝える。質問時間は授業中に設ける。

**科目学習の効果（資格）**

援助専門職として、患者、患者の家族に関わる際の心理的援助の基礎を学ぶことができる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 **【授業テーマ】** 家族を考える  
**【内容・方法 等】** オリエンテーション。各自が持つ家族イメージを言語化し、ディスカッションを通して家族について考える。  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：なし  
事後学習：ディスカッション内容の整理
- 第2回 **【授業テーマ】** 対人関係の生涯発達(1) 乳児期  
**【内容・方法 等】** 家族の中で生まれる対人関係の基礎的構えについて学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：なし  
事後学習：講義内容の整理
- 第3回 **【授業テーマ】** 対人関係の生涯発達(2) 幼児期以降  
**【内容・方法 等】** いくつかの発達論を概観し、生涯にわたる対人関係の課題と発達を学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：なし  
事後学習：講義内容の整理
- 第4回 **【授業テーマ】** 家族の概念  
**【内容・方法 等】** 教科書第1章を中心に、日本における家族の概念を学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：教科書第1章の通読  
事後学習：講義内容の整理
- 第5回 **【授業テーマ】** 現代の家族  
**【内容・方法 等】** 教科書第4章を中心に、現代の家族の多様化と単一化について学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：教科書第4章の通読  
事後学習：講義内容の整理
- 第6回 **【授業テーマ】** 夫婦関係  
**【内容・方法 等】** 教科書第2章を中心に、婚姻、夫役割、妻役割、また、子育ての様相について学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：教科書第2章の通読  
事後学習：講義内容の整理
- 第7回 **【授業テーマ】** 親子関係  
**【内容・方法 等】** 教科書第3章を中心に、親子関係の諸相、親役割、祖父母役割について学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：教科書第3章の通読  
事後学習：講義内容の整理・第1回～6回の学習をふまえた小レポート
- 第8回 **【授業テーマ】** 関係に困難を抱える子どもたち  
**【内容・方法 等】** 発達障害を持つ子どもの特性を学び、関係発達に困難を持つ子どもを育てる場合の家族形成を考える。  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：なし  
事後学習：なし
- 第9回 **【授業テーマ】** ベアレント・トレーニング  
**【内容・方法 等】** ADHDの子どもをもつ親への具体的援助法を学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：第8回の授業時に配布する  
事後学習：授業時に伝える
- 第10回 **【授業テーマ】** 臨床心理学的家族理解(1) 家族機能  
**【内容・方法 等】** 家族のもつ機能について、心理面から理解する。  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：なし  
事後学習：講義内容の整理
- 第11回 **【授業テーマ】** 臨床心理学的家族理解(2) 親子  
**【内容・方法 等】** 家族の機能不全と児童虐待について学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：なし  
事後学習：講義内容の整理
- 第12回 **【授業テーマ】** 臨床心理学的家族理解(3) 夫婦・兄弟・高齢者と家族  
**【内容・方法 等】** 家族の機能不全と、個人の問題との関係を理解する。  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：なし  
事後学習：講義内容の整理
- 第13回 **【授業テーマ】** 患者の家族の心理(1)  
**【内容・方法 等】** フィクションを題材とし、患者の家族の心理について考えていく。  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：なし  
事後学習：授業で扱ったテーマについて考察する
- 第14回 **【授業テーマ】** 患者の家族の心理 (2)

**【内容・方法 等】** フィクションを題材とし、患者の家族への支援について考えていく。

**【事前・事後学習課題】** 事前学習：第13回の内容を整理しておく  
事後学習：授業中に指示する

- 第15回 **【授業テーマ】** 対人援助職の家族支援  
**【内容・方法 等】** 家族を支援する具体的方法のいくつかを概観する。  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：教科書第6章の通読  
事後学習：講義内容の整理

**評価方法（基準）**

中間レポート(10%)、授業中の課題提出(30%)、定期試験(60%)を目安として総合評価する。

**教材等**

**教科書**…『家族論・家族関係論 系統看護学講座』 医学書院 (2,000円+税) ”  
**参考書**…『服部祥子 『人を育む人間関係論』 医学書院 (1,800円+税) 岩坂英巳・中田洋二郎・井潤知美 編著 『AD/HDのベアレント・トレーニングガイドブック』 じほう (1,800円+税) ”

**学生へのメッセージ**

知識をもとに考えることを大切にしていきたいと思います。積極的に参加してください。

**関連科目**

臨床心理学 カウンセリング論

**担当者の研究室等**

1号館2階 非常勤講師室

医療経済論 Healthcare Economics				
田井 義人(タイ ヨシヒト)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

- ・医療における課題を経済学的に考察し、医療サービスの供給体制、制度及び医療機関の経営問題に関わる考察を行い、看護職に求められる経済学的視点を修得する。
- ・看護職となるに当たって保健・医療・福祉における経済面・経営面に関する社会常識としての知識を修得する。
- ・診療報酬制度として収入が規定されており、一般の企業における売上とは異なる収入体系とその制度の必要性について認識・理解した上で適正なコスト意識と業務改善意識を持って看護業務に従事できることを目標とする。

**授業方法と留意点**

- ・看護職に求められる経済学視点について講義する。診療報酬制度に基づく報酬の支払いを中心に経済学による需要と供給の価格決定プロセスを比較しながら考察する。
- ・医療における財・サービスの交換システムの特異性に焦点を置きながら、多くの看護職が勤務する病院での現状と課題について講義する。
- ・後半は、看護職の管理的立場において求められる考え方について講義する。

**科目学習の効果（資格）**

- ・看護専門職の科目だけでなく、就職・勤務にむけた経済社会の財・サービス交換活動への経済学的思考の修得を目的とする。
- ・経済理論だけでなく実際の組織において必要とされる看護職の今後の課題に対する政策構築に関する考察についても考慮したい。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 **【授業テーマ】** 経済学からみた看護サービス  
**【内容・方法 等】** 経済活動と医療経済との違いについて講義する。  
**【事前・事後学習課題】** 第1章
- 第2回 **【授業テーマ】** 社会経済環境の変化と看護師雇用の現状  
**【内容・方法 等】** 変化に伴う看護師の環境と雇用関係について講義する。  
**【事前・事後学習課題】** 第2章
- 第3回 **【授業テーマ】** 診療報酬制度がもたらす影響1  
**【内容・方法 等】** 看護師が他職種の業務を担うメカニズムについて講義する。  
**【事前・事後学習課題】** 第3章
- 第4回 **【授業テーマ】** 診療報酬制度がもたらす影響2  
**【内容・方法 等】** 看護師の技能評価を妨げるメカニズムについて講義する。  
**【事前・事後学習課題】** 第4章
- 第5回 **【授業テーマ】** 看護師の労働供給  
**【内容・方法 等】** 看護師の労働力提供の体系について説明す

- る。その主な原因である結婚と出産・育児について講義する。
- 第6回** 【事前・事後学習課題】 第V章  
【授業テーマ】 看護師の労働需要と市場構造  
【内容・方法等】 労働市場における搾取と労働力不足について講義する。
- 第7回** 【事前・事後学習課題】 第VI章  
【授業テーマ】 人的資本論から検証する労働条件格差  
【内容・方法等】 看護師間で生じている賃金格差の状況を確認した上で、その格差を、教育やトレーニングにより養成される技能の差異をもって説明する「人的資産」の視点から講義する。
- 第8回** 【事前・事後学習課題】 第VII章  
【授業テーマ】 市場の階層性が生み出す賃金格差  
【内容・方法等】 日本における看護師の労働市場構造において、人的投資の機会費用をはじめとして看護師の賃金を決める要因は何か、看護師の賃金決定メカニズムについて講義する。
- 第9回** 【事前・事後学習課題】 第VIII章  
【授業テーマ】 職務価値からみた賃金格差  
【内容・方法等】 賃金格差を説明するもう1つの分析視角、「職務価値」と看護師の賃金との関係について講義する。
- 第10回** 【事前・事後学習課題】 第IX章  
【授業テーマ】 看護師の雇用政策とインパクト  
【内容・方法等】 看護師の労働市場にどのような影響を及ぼしそして雇用にどう影響を与えたのかについて講義する。
- 第11回** 【事前・事後学習課題】 第X章  
【授業テーマ】 よりよい看護を実現するために  
【内容・方法等】 看護師の働きが、そして技能が正当に評価され、消費者である患者に対してよりよい看護サービスを生産し、それをどのように提供していくかについて講義する。
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 第XI章  
【授業テーマ】 習熟度試験（予定）  
【内容・方法等】 講義時間内に論述形式での中間試験を行う。  
【事前・事後学習課題】 これまでの配布資料、教科書のみ持込可。
- 第13回** 【授業テーマ】 看護管理職の備えるべき視点1  
【内容・方法等】 「看護部長の基本事務、変化への対応力、看護部長の組織管理、マネジメント技法への関心度、専門看護職と組織改革、看護部門の組織文化」について講義する。  
【事前・事後学習課題】 「病院のDON Director Of Nursing」 Chapter 2, 3, 4
- 第14回** 【授業テーマ】 看護管理職の備えるべき視点2  
【内容・方法等】 「変革期の人材マネジメント、看護政策対応力、院内看護政策力、情報マネジメント、コミュニケーション、看護業務の変化、苦情対応のマネジメント、組織フレームワークの再検討」について講義する。  
【事前・事後学習課題】 「病院のDON Director Of Nursing」 Chapter 9, 11, 12
- 第15回** 【授業テーマ】 看護管理職の備えるべき視点3  
【内容・方法等】 「コスト意識と金銭感覚、看護情報提供と看護連携、看護業務の電子化、病院統治力」について講義する。  
【事前・事後学習課題】 「病院のDON Director Of Nursing」 Chapter 3 2, 3 4, 3 5

**評価方法（基準）**  
定期試験(50%)、習熟度試験またはレポート(20%)、受講態度(30%)で総合評価する。

**教材等**  
教科書…・角田由佳『看護師の働き方を経済学から読み解く』医学書院(3,200円+税)  
・小林秀夫『病院のDON 看護管理で病院がよみがえる』医学書院(2,600円+税) "

参考書…適宜指示する。

**学生へのメッセージ**  
・専門職になるための科目の修得は、国家資格取得も含め必須である。しかし、卒業後、多くの看護職が勤務する病院や福祉施設の運営は、公的な補助があるものの経済学の考え方に基いて運営されている。  
・少子高齢化社会の到来に向けて、これからの看護職は、社会的な知識（経済学等の社会科学科目）も必要とされる。本講義は、そのための基礎的な考え方の習得を目指す。

**関連科目**  
労働経済学、ミクロ経済学、経営学

**担当者の研究室等**  
寝屋川キャンパス1号館7階 田井准教授室（経済学部）

**備考**  
社会科学分野である経済学、経営学による分析内容について、看護職の視点から説明する。

**看護関係法規**  
Nursing-related Laws

齋藤悦子(サイトウ エツコ)  
小野晃正(オノ コウセイ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

(概要)  
看護職は保健医療福祉サービスに携わる多くの職種と連携し、対象となる人々の健康を回復・維持・増進する。チーム医療の中で看護職がどのような役割を担い、職務を遂行する必要があるのか理解するために、基盤となる保健師助産師看護師法をはじめ、保健医療福祉に関する諸制度の概要とそれを規定する諸法令を学ぶ必要がある。看護職として職務を遂行するための根拠や判断基準が修得できるよう学ぶ。

(オムニバス方式/全15回)  
(齋藤悦子/10回)  
チーム医療の中で看護職としての職務を遂行するための法の理解。  
保健師助産師看護師法の目的・定義・免許・資格・沿革などの理解。  
看護職と連携・協働するために関与する他職種の法の理解。  
(小野晃正/5回)  
対象となる人々の健康の回復、保持、増進に関わる法の理解。  
保健師助産師看護師法および周辺の医事法、薬事法、環境衛生法、社会保険法、労働法。

**授業方法と留意点**

・第1回～第5回までを法学部の小野が担当。  
質疑応答を加えつつ概ね講義形式で行う。  
必要に応じてレジュメを配布する。

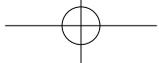
**科目学習の効果（資格）**

看護師をする上で必須の衛生諸法規に関する知識が身につくとともに、国試で出題される関係法規の重要ポイントを理解できるようになる。

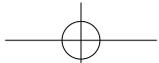
**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス  
法の概念  
【内容・方法等】 ・講義概要の説明 ・社会規範と法の強制力  
・法の種類 ・成文法と不文法ほか  
【事前・事後学習課題】 ・教科書の入手  
・教科書2頁から6頁
- 第2回** 【授業テーマ】 法の分類  
衛生法法規  
厚生行政の仕組み  
【内容・方法等】 ・衛生法規の概要、沿革及び分類  
・厚生行政の概要  
【事前・事後学習課題】 ・教科書7頁から19頁
- 第3回** 【授業テーマ】 法令の読み方  
法解釈の方法  
公法、民法及び刑法と看護関係法令  
【内容・方法等】 ・法の適用と法解釈の必要性  
・看護関係法令と憲法、行政法、民法、刑法の関連  
【事前・事後学習課題】 ・教科書に記載なし  
・レジュメ配布  
(参考文献：森田・野畑編『看護師を目指す人のための関係法規』(2013・法律文化社)5頁から30頁)
- 第4回** 【授業テーマ】 患者の人権と看護師の法的責任  
【内容・方法等】 ・患者の自己決定権  
・看護師への行政処分  
・看護師の刑事責任と民事責任  
【事前・事後学習課題】 ・教科書に記載なし  
・レジュメ配布  
(参考文献：森田・野畑編『看護師を目指す人のための関係法規』(2013・法律文化社)186頁から201頁)
- 第5回** 【授業テーマ】 医事法の概要  
【内容・方法等】 ・医療法の概要 ・医療資格法 ・その他の医事法など  
・保健師助産師看護師法および周辺の医事法、薬事法、環境衛生法、社会保険法、労働法の俯瞰  
【事前・事後学習課題】 ・教科書22頁
- 第6回** 【授業テーマ】 授業ガイダンス  
衛生法  
【内容・方法等】 授業の目的・進め方・評価・国家試験出題基準  
衛生法の分類  
医療関係法令の推移  
【事前・事後学習課題】 事前：講義終了時に次回の学習課題を提示する  
事後：各回の講義内容を自己のノートに整理しまとめる

- 第7回 【授業テーマ】 医療法規**  
 看護法規の歴史  
**【内容・方法 等】** 保健師助産師看護師法の成立経過  
 保健師助産師看護師法の一部改正  
**【事前・事後学習課題】** 事前：講義終了時に次回の学習課題を提示する  
 事後：各回の講義内容を自己のノートに整理しまとめる
- 第8回 【授業テーマ】 医療法規**  
 看護と法  
**【内容・方法 等】** 看護職に直接関係する法律  
 保健師助産師看護師法—目的・定義・免許・業務  
**【事前・事後学習課題】** 事前：講義終了時に次回の学習課題を提示する  
 事後：各回の講義内容を自己のノートに整理しまとめる
- 第9回 【授業テーマ】 医療法規**  
 看護と法  
**【内容・方法 等】** 看護師等の人材確保の促進に関する法律  
 基本方針—目的・定義・人材確保の促進・ナースセンター  
**【事前・事後学習課題】** 事前：講義終了時に次回の学習課題を提示する  
 事後：各回の講義内容を自己のノートに整理しまとめる
- 第10回 【授業テーマ】 医事法規**  
 医師法・歯科医師法・医療法  
**【内容・方法 等】** 医師法 任務・免許・臨床研修・業務  
 歯科医師法 任務・免許・臨床研修・業務  
 医療法 目的・定義・病院等の管理・病院、公的医療機関、医療法人等監督  
**【事前・事後学習課題】** 事前：講義終了時に次回の学習課題を提示する  
 事後：各回の講義内容を自己のノートに整理しまとめる
- 第11回 【授業テーマ】 医事法規**  
 医療関係職種種の資格法  
**【内容・方法 等】** 診療放射線技師法 臨床検査技師に関する法律  
 理学療法士及び作業療法士法 言語聴覚士法  
 臨床工学技士法 救急救命士法  
**【事前・事後学習課題】** 事前：講義終了時に次回の学習課題を提示する  
 事後：各回の講義内容を自己のノートに整理しまとめる
- 第12回 【授業テーマ】 看護職と介護職の協働**  
**【内容・方法 等】** 介護職の資格制度と教育  
 目的・定義・免許・業務  
**【事前・事後学習課題】** 事前：講義終了時に次回の学習課題を提示する  
 事後：各回の講義内容を自己のノートに整理しまとめる
- 第13回 【授業テーマ】 看護事故と看護師の法的責任**  
**【内容・方法 等】** 法的責任の種類  
 民事責任・刑事責任・行政責任  
**【事前・事後学習課題】** 事前：講義終了時に次回の学習課題を提示する  
 事後：各回の講義内容を自己のノートに整理しまとめる
- 第14回 【授業テーマ】 看護業務と法的責任**  
**【内容・方法 等】** 看護場面における法的責任  
 相対的医行為と看護業務  
 他の医療職種種の業務範囲と看護業務  
**【事前・事後学習課題】** 事前：講義終了時に次回の学習課題を提示する  
 事後：各回の講義内容を自己のノートに整理しまとめる
- 第15回 【授業テーマ】 法的責任を理解するためのキーワード**  
 全体のふりかえりとまとめ  
**【内容・方法 等】** 予見義務・回避義務・注意義務・過失・過失相殺・因果関係・不作為・医療水準・説明義務・逸失利益・看護師の裁量権  
**【事前・事後学習課題】** 事前：講義終了時に次回の学習課題を提示する  
 事後：各回の講義内容を自己のノートに整理しまとめる
- 評価方法（基準）**  
 定期試験60%以上で合格  
 平常の小レポート、授業態度等を勘案する
- 教材等**  
**教科書**…『系統看護学講座・看護関係法令-健康支援と社会保障制度[4]』医学書院（2,400円+税）  
**参考書**…森田・野畑編『看護師を目指す人のための関係法規』（2013・法律文化社）
- 学生へのメッセージ**  
 気嫌よく出席してください。  
 真面目に取り組む基本姿勢を期待しますまた、自分の意見や考えを積極的に発言しましょう。  
 さらに、講義内容を整理し自分のノートを創りましょう。
- 関連科目**  
 法学入門、日本国憲法、保健医療福祉行政論
- 担当者の研究室等**  
 齋藤悦子（枚方キャンパス 7号館3階 研究室21）  
 小野晃正（寝屋川キャンパス 11号館10階 小野研究室）



專門基礎科目



## 看護学概論

Introduction to Nursing

田中結華(タナカ ユカ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

### 授業概要・目的・到達目標

初学者が看護学を学ぶ導入とし、基礎となる看護の基本的概念を学び、その後の看護学を発展させる基盤を形成する。看護の歴史を振り返り、看護の本質を探究し、保健医療システムとチーム医療における看護の役割を学ぶ。看護の倫理と法的責任を知ること、看護職者に必要な態度や社会的責任について考える。看護の現場と看護の機能を知ることを通して、看護の対象である人々への健康支援へのアプローチの概略を学ぶ。また、様々な看護理論を理解することで、自身の看護観を発展させる基礎的能力を培う。

### 授業方法と留意点

下記の授業計画に沿って講義を行う。新入生を看護学の世界へ導き、今後の学習を動機づけるため、多くの写真、新聞記事や、闘病記などの患者の手記、現場のエピソードを活用して具体的なイメージを提示する。授業では教科書を用いるが、最新の情報やトピックスを提供するため、配付資料も適宜追加する。授業ではパワーポイント等を用い、液晶プロジェクターで投影しながら講義を行うが、要点やポイントを自分で把握し、ノートやメモをとることも必ず行うこと。また、学生による看護・医療に関するトピック発表を課する。積極的に発言し、大学生として学ぶ態度で授業に参加していただきたい。座席は指定する。私語や遅刻、途中の出入り、授業に関係のない行為(スマホを操作するなど)は慎むこと。なお、毎回、授業の最後に小レポートを提出する。授業計画は学習の進捗状況によって調整することがあるが、その際は授業で説明を行う。

### 科目学習の効果(資格)

すべての看護学を学ぶ導入となり、皆さんのキャリアデザインを行うための基礎となる授業科目で、必須科目となっています。

### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 授業ガイダンス、看護とは何か  
【内容・方法 等】 授業ガイダンスで授業計画、評価方法等の詳細について説明する。看護及び看護学とは何かについて概観する。  
【事前・事後学習課題】 事前課題：テキストの目次にどのような項目があるかを確認してきて下さい。  
事後課題：テキストの第1章を読み返し整理して下さい。
- 第2回** 【授業テーマ】 看護の基本的概念(1)：人間および環境  
【内容・方法 等】 看護における基本的概念のうち、人間及び環境を理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前課題：テキストの第3章を読んで来て下さい。  
事後課題：授業で学んだ人間の発達課題や対処機制等重要キーワードについて整理しておいて下さい。
- 第3回** 【授業テーマ】 看護の基本的概念(2)：健康  
【内容・方法 等】 看護における健康の概念を理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前課題：テキストの第4章を読んで来て下さい。  
事後課題：授業で学んだ健康の概念や健康を表す諸指標、看護との関係について整理しておいて下さい。
- 第4回** 【授業テーマ】 看護職の資格と教育システム  
【内容・方法 等】 看護職の様々な資格及びその教育システムについて理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前課題：日本看護協会のホームページにある、「キラリ！看護のシゴト」を読んで来て下さい。  
事後課題：授業での学びをもとに、魅力を感じる看護の道についてまとめた小レポートを出して下さい。
- 第5回** 【授業テーマ】 保健医療システムとチーム医療における看護の役割  
【内容・方法 等】 社会における保健医療を提供するシステムと、チーム医療による様々な活動と看護の果たすべき役割について解説する。  
【事前・事後学習課題】 事前課題：第5章に目を通し、保健・福祉・医療にどのような人々が関わっているかを新聞やインターネットなどで調べてみて下さい。  
事後課題：関連する法律や制度の名前を整理しておきましょう。
- 第6回** 【授業テーマ】 看護の倫理と法的責任  
【内容・方法 等】 看護実践における倫理と患者の権利について考え、社会に対する看護の法的責任について検討する。  
【事前・事後学習課題】 事前課題：テキストの第9章を読んで来て下さい。  
事後課題：倫理の原則、看護者の倫理綱領について復習しておいて下さい。
- 第7回** 【授業テーマ】 看護の歴史にみる看護の本質(1)  
【内容・方法 等】 原始時代～ナイチンゲールが現れるまでの、

世界と日本における看護の歴史を理解し、人類の歴史を背景とした看護の発展をとらえる。

【事前・事後学習課題】 事前課題：第2章の1「原始および古代における看護」～4「近代における看護」を読んで来て下さい。

事後課題：看護の本質が歴史とともにどのように変化してきたかを整理しておいて下さい。

- 第8回** 【授業テーマ】 看護の歴史にみる看護の本質(2)  
【内容・方法 等】 ナイチンゲール以降の看護の歴史を理解し、人類の歴史を背景とした看護の発展をとらえる。  
【事前・事後学習課題】 事前課題：第2章の5「現代における看護」を読んで来て下さい。  
事後課題：近代の社会の変化と看護の発展との関連について整理しておいて下さい。
- 第9回** 【授業テーマ】 看護の現場と看護の機能(1)  
【内容・方法 等】 病院における看護の現場の実際と、看護の機能、看護実践過程について知る。  
【事前・事後学習課題】 事前課題：テキストの第6章、第7章に目を通して来て下さい。  
事後課題：看護に関連する法律や、看護過程の内容について整理しておいて下さい。
- 第10回** 【授業テーマ】 看護の現場と看護の機能(2)  
【内容・方法 等】 病院における看護のマネジメント、病院システムにおける看護の機能を知る。  
【事前・事後学習課題】 事前課題：テキストの第8章に目を通して来て下さい。  
事後課題：病院における看護のシステムについて整理しておいて下さい。
- 第11回** 【授業テーマ】 看護の現場と看護の機能(3)  
【内容・方法 等】 医療・看護の質保障と医療安全について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 事前課題：テキスト第8章の医療安全の章に目を通して来て下さい。  
事後課題：授業中に示した課題についてレポートを提出して下さい。
- 第12回** 【授業テーマ】 看護理論の発展(1)  
【内容・方法 等】 ナイチンゲール、ペプロウ、ヘンダーソンの理論を紹介する。  
【事前・事後学習課題】 事前課題：前回の授業で提示した資料を読んでおくこと。  
事後課題：各理論の特徴を整理しておいて下さい。
- 第13回** 【授業テーマ】 看護理論の発展(2)  
【内容・方法 等】 オレム及びロイの理論を紹介する。  
【事前・事後学習課題】 事前課題：前回の授業で提示した資料を読んでおくこと。  
事後課題：各理論の特徴を整理しておいて下さい。
- 第14回** 【授業テーマ】 看護理論の発展(3)  
【内容・方法 等】 ワトソンの理論を紹介するとともに、様々な看護理論の実践への応用について考える。  
【事前・事後学習課題】 事前課題：前回の授業で提示した資料を読んでおくこと。  
事後課題：各理論の特徴を整理しておいて下さい。
- 第15回** 【授業テーマ】 看護学の発展、まとめ  
【内容・方法 等】 今までの学びを通して、自己の看護及び看護学への考えをまとめる。  
【事前・事後学習課題】 事前課題：テキスト第10章に目を通して来て下さい。  
事後課題：テスト範囲等を示すので、ノートを整理しておくこと。
- 評価方法(基準)**  
評価は定期試験及びレポートを総合して判定する。試験には客観問題と論述問題を合わせて出題する。レポートは小レポートと、課題レポートを課す。評価割合はレポート(30%)、定期試験(70%)
- 教材等**  
教科書…松木光子 編 『看護学概論 看護とは・看護学とは 第5版』ヌーヴェルヒロカワ (2,310円+税)  
参考書…ミルトン・メイヤロフ 『ケアの本質 生きることの意味』ゆみる出版 (1,575円+税)  
城ヶ端初子 『メディカ・マイブックスシリーズ①改訂第2版やさしい看護理論-現場で活かせるベースの考え方』(1,400円+税)、『メディカ・マイブックスシリーズ②ケアとケアリング 看護観をはぐくむははじめの一步』(1,400円+税)  
その他、適宜授業で紹介する。
- 学生へのメッセージ**  
看護学部によるこそ！人間を見つめ、その健康を支えることのできる看護学について皆さんと一緒に概観します。大学での講義スタイルに慣れ、適切にノートをとることも練習しましょう。また、大学では自分の意見や考えを持ち、それを言葉にして他者と話し合っていくことが求められます。そうした機会を多く持ちたいので、積極的に参加して下さい。
- 関連科目**  
今後学ぶ、全ての看護学の専門科目の基礎となる科目です。特に、

この科目で学んだ内容を、看護対人関係論、基礎看護技術Ⅰ～Ⅳ、基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱで発展させ、実践する力としていきます。  
**担当者の研究室等**  
 7号館3階 研究室3 (田中)

**看護対人関係論**

Human Relationship in Nursing

田中 結華 (タナカ ユカ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

看護の場における対人関係についての基本的概念・技法の理解と修得を目指す。患者-看護師間のコミュニケーションの特徴を学び、基本的技法としての言語的・非言語的コミュニケーション、治療的コミュニケーションと非治療的コミュニケーションを学び、看護場面のロールプレイ等を用いた学生同士の体験的学習を通して修得する。また、授業全体を通じて、自分自身を振り返るリフレクション、自分と相手を共に尊重するアサーティブな人間関係のあり方について学ぶ。

**授業方法と留意点**

講義で理論を説明し、その中で重要なコミュニケーション技法については小グループを編成し演習を行う。グループで協力して学ぶ必要がある。「知っている」と「できる」とは違う。「できる」ようになるよう、積極的に参加する態度が必要である。そして、この授業で学んださまざまなコミュニケーションの技術を、日常生活の中で練習することが欠かせない。授業では、名札をつけて出席すること。

**科目学習の効果 (資格)**

1年生後期の基礎看護学実習Ⅰでの実践にむけて、看護の対象者やチームのなかで適切に人間関係を構築できるよう、基盤となる力を付けます。また、全ての実習科目を行う上で、この科目での学びが重要です。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 看護の場における対人関係とは  
 【内容・方法 等】 授業ガイダンスを行うとともに、看護の場における対人関係について概要を説明する。また、対人関係を振り返るためのリフレクションについて解説する。  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし。  
 事後課題：小レポートを提出すること。授業の資料について復習すること。日常生活の中で学びを練習して復習すること。
- 第2回** 【授業テーマ】 患者-看護師関係のコミュニケーションの特徴、「聴くこと」と「話すこと」  
 【内容・方法 等】 患者と看護師の間で築かれる人間関係とそのコミュニケーションの特徴について事例を用いながら学ぶ。また、「聴くこと」・「話すこと」について演習し、考えを深める。  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし。  
 事後課題：小レポートを提出すること。授業の資料について復習すること。日常生活の中で学びを練習して復習すること。
- 第3回** 【授業テーマ】 相手に伝わるように話す (1)  
 【内容・方法 等】 会話は話のキャッチボールを行うものであり、相手が受け取っていないければ何も伝わらない。会話分析と演習を通して、言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション、および相手に伝わるように話すためのポイントをつかむ。  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし。  
 事後課題：小レポートを提出すること。授業の資料について復習すること。日常生活の中で学びを練習して復習すること。
- 第4回** 【授業テーマ】 相手に伝わるように話す (2)  
 【内容・方法 等】 自分と異なる世代、立場の人と適切に会話をするために、敬語による表現について演習する。  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし。  
 事後課題：小レポートを提出すること。授業の資料について復習すること。日常生活の中で学びを練習して復習すること。
- 第5回** 【授業テーマ】 相手の気持を受けとめる  
 【内容・方法 等】 相手の気持をうけとめることによって、相手の心を開き、望ましい関係を築くことができる。会話事例を分析し、相手の気持を受け取るためのポイントをつかむ。  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし。  
 事後課題：小レポートを提出すること。授業の資料について復習すること。日常生活の中で学びを練習して復習すること。
- 第6回** 【授業テーマ】 自分から出る、自分を出す  
 【内容・方法 等】 自分の主張を伝え、相手に適切に働きかけるためのアサーティブネスを学ぶ。会話事例の分析を行い、会話を組み立ててロールプレイを行う。  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし。  
 事後課題：小レポートを提出すること。授業の資料について復習すること。日常生活の中で学びを練習して復習すること。

- 第7回** 【授業テーマ】 相手をもっと知る  
 【内容・方法 等】 患者と適切な関係を構築するためには、相手の立場に立って考えることが必要である。インタビューの演習を行い、さまざまな質問のしかたを用いて相手をもっとよく知る方法について理解する。  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし。  
 事後課題：小レポートを提出すること。授業の資料について復習すること。日常生活の中で学びを練習して復習すること。
- 第8回** 【授業テーマ】 チームビルディング  
 【内容・方法 等】 新たな集団がチームとして機能し、力を合わせて成果を挙げるための人間関係構築について、演習を通して学ぶ。  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし。  
 事後課題：小レポートを提出すること。授業の資料について復習すること。日常生活の中で学びを練習して復習すること。
- 第9回** 【授業テーマ】 看護の現場で学ぶ  
 【内容・方法 等】 看護の現場では、学生もチームの一員である。チーム内で成果を挙げるための、態度、マナーや表現方法について学ぶ。  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし。  
 事後課題：小レポートを提出すること。授業の資料について復習すること。日常生活の中で学びを練習して復習すること。
- 第10回** 【授業テーマ】 ケア場面でのコミュニケーション (1)  
 【内容・方法 等】 患者-看護師の会話事例を分析し、ケア場面に必要なコミュニケーションのセンスについて考えを深める。  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし。  
 事後課題：小レポートを提出すること。授業の資料について復習すること。日常生活の中で学びを練習して復習すること。
- 第11回** 【授業テーマ】 ケア場面でのコミュニケーション (2)  
 【内容・方法 等】 患者-看護師の会話事例を分析し、ケア場面に必要なコミュニケーションのセンスについて考えを深める。分析をグループ発表する。  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし。  
 事後課題：小レポートを提出すること。授業の資料について復習すること。日常生活の中で学びを練習して復習すること。
- 第12回** 【授業テーマ】 看護の現場でのコミュニケーション：人間関係をスタートする  
 【内容・方法 等】 今まで学んだ技法を活用して、病棟でのチーム、スタッフや、患者に対して適切に人間関係をスタートする方法を考える。  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし。  
 事後課題：小レポートを提出すること。授業の資料について復習すること。日常生活の中で学びを練習して復習すること。
- 第13回** 【授業テーマ】 看護の現場でのコミュニケーション：SBARを使って報告する  
 【内容・方法 等】 効果的なチーム医療における報告の意義を理解する。SBAR (状況：Situation、背景：Background、評価Assessment、提案・依頼：Recommendation)の枠組みによる報告は、そのための戦略であり、事例を用いて報告を組み立て、ロールプレイを行う。  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし。  
 事後課題：小レポートを提出すること。授業の資料について復習すること。日常生活の中で学びを練習して復習すること。
- 第14回** 【授業テーマ】 看護の現場でのコミュニケーション：集団でのコミュニケーション  
 【内容・方法 等】 集団でのコミュニケーションについて学ぶ。特にリーダーシップとメンバーシップ、カンファレンスの持ち方などについて取り上げる。  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし。  
 事後課題：小レポートを提出すること。授業の資料について復習すること。日常生活の中で学びを練習して復習すること。
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめ  
 【内容・方法 等】 グループに分かれ、看護の場における対人関係についての今までの学びをまとめて振り返り、達成できたことや今後の課題について話し合い、発表する。  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：特になし。  
 事後課題：指示したテストの出題範囲について復習しておくこと。
- 評価方法 (基準)**  
 授業の参加度と毎回課す演習レポート (50%)、筆記試験 (50%) により総合評価する。
- 教材等**  
**教科書**…大森武子, 大下静香, 矢口みどり著『仲間とみがかく看護のコミュニケーションセンス』医歯薬出版株式会社 (2,800円+税)  
**参考書**…アーネステイン・ウィーデンバック『コミュニケーション-効果的な看護を展開する鍵』日本看護協会出版会 (1,680円)  
 吉田恵子, 川島みどり著『ベッドサイドからケアの質を問う-看護婦が患者になって』看護の科学社 (1,260円(税込))
- 学生へのメッセージ**  
 対人関係能力は看護実践に必須の基本的能力です。患者-看護

師間はもちろん、医療チームの中で適切にコミュニケーションをおこなっていくことが欠かせません。講義とロールプレイなどを通して体験に自分から進んで参加し、コミュニケーションスキルを高めましょう。

**関連科目**

カウンセリング論、臨床心理学と関連する。内容は、基礎看護学実習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅱで現場で直接役立つ技術となる。また、基礎看護学技術Ⅰ～Ⅳとも関連する。

**担当者の研究室等**

7号館3階 研究室3 (田中)

**基礎看護技術Ⅰ**  
Fundamental of Nursing Skills I

田中 結華 (タナカ ユカ)  
中山 由美 (ナカヤマ ユミ)  
森木 ゆう子 (モリキ ユウコ)  
岡田 純子 (オカダ ジュンコ)  
田丸 朋子 (タマル トモコ)  
坂井 利衣 (サカイ トシエ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	1	後期(30回)	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

看護を実践するための基本的な看護技術のうち、日常生活を整える援助技術を学ぶ。科学的根拠に基づき安全と安楽に留意しながら、対象者の生活を整える看護援助を実践するための基本的な能力を培う。具体的には、看護技術の基本的な考え方、療養環境の調整、体位の整えと移動の援助、活動休息の援助、バイタルサインの観察、衣生活の援助、食事の援助、排泄の援助、身体清潔の援助について根拠を踏まえた技術の理論と技法を修得する。

**授業方法と留意点**

基本的には講義形式で日常生活を整える援助の理論を学び、その後、基礎看護学実習室にて技術演習を行う。授業では、教科書を用いるが、最新の情報やトピックスを提供するため、配付資料を適宜追加する。また援助場面をイメージできるように、ビデオや写真等の視聴覚教材、パワーポイント等も使用する。技術演習は、毎回、教員が援助のデモンストレーションを行い、具体的な方法や注意事項等を示すことにより行う。また、少人数グループを作成し、教員がグループごとに担当し個別指導する。そして、患者役割も体験し、援助を受ける立場から看護技術を振り返る。

**科目学習の効果 (資格)**

基礎看護学実習Ⅰ、Ⅱの履修にかかわる科目。  
基礎看護技術Ⅱの履修にかかわる科目。  
看護師国家試験受験資格にかかわる科目。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 看護技術とは  
【内容・方法 等】 看護技術の基本的な考え方について概観する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第2回 【授業テーマ】 療養環境の調整 (1)  
【内容・方法 等】 療養環境の調整に関する理論を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第3回 【授業テーマ】 療養環境の調整 (2)  
【内容・方法 等】 ベッドメイキングを実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第4回 【授業テーマ】 療養環境の調整 (3)  
【内容・方法 等】 ベッドメイキングを実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第5回 【授業テーマ】 療養環境の調整 (4)

- 【内容・方法 等】 臥床患者のシーツ交換を実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第6回 【授業テーマ】 療養環境の調整 (5)  
【内容・方法 等】 臥床患者のシーツ交換を実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第7回 【授業テーマ】 体位の整え(1)  
【内容・方法 等】 ボディメカニクス・体位の整えに関する理論を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第8回 【授業テーマ】 体位の整え(2)  
【内容・方法 等】 臥床患者の体位の整えを実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第9回 【授業テーマ】 体位の整え(3)  
【内容・方法 等】 臥床患者の体位の整えを実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第10回 【授業テーマ】 移動・移送の援助(1)  
【内容・方法 等】 移動・移送の援助に関する理論を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第11回 【授業テーマ】 移動・移送の援助(2)  
【内容・方法 等】 車いす・ストレッチャーでの移動・移送の援助を実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第12回 【授業テーマ】 移動・移送の援助(3)  
【内容・方法 等】 車いす・ストレッチャーでの移動・移送の援助を実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第13回 【授業テーマ】 活動・休息の援助  
【内容・方法 等】 活動・休息の援助に関する理論を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第14回 【授業テーマ】 バイタルサインの観察(1)  
【内容・方法 等】 バイタルサインに関する理論を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第15回 【授業テーマ】 バイタルサインの観察(2)  
【内容・方法 等】 バイタルサインの観察を実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第16回 【授業テーマ】 バイタルサインの観察(3)  
【内容・方法 等】 バイタルサインの観察を実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】

専  
門  
科  
目

- 配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第17回** 【授業テーマ】 衣生活の援助(1)  
【内容・方法等】 衣生活の援助に関する理論を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第18回** 【授業テーマ】 衣生活の援助(2)  
【内容・方法等】 臥床患者の寝衣交換を実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第19回** 【授業テーマ】 食事の援助(1)  
【内容・方法等】 食事の援助に関する理論を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第20回** 【授業テーマ】 食事の援助(2)  
【内容・方法等】 食事の援助を実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第21回** 【授業テーマ】 排泄の援助(1)  
【内容・方法等】 排泄の援助に関する理論を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第22回** 【授業テーマ】 排泄の援助(2)  
【内容・方法等】 便器・おむつによる排泄の援助を実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第23回** 【授業テーマ】 排泄の援助(3)  
【内容・方法等】 便器・おむつによる排泄の援助を実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第24回** 【授業テーマ】 身体の清潔(1)  
【内容・方法等】 身体の清潔に関する理論を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第25回** 【授業テーマ】 身体の清潔(2)  
【内容・方法等】 身体の清潔を実践する：口腔ケアを実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第26回** 【授業テーマ】 身体の清潔(3)  
【内容・方法等】 身体の清潔を実践する：臥床患者の洗髪を実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第27回** 【授業テーマ】 身体の清潔(4)  
【内容・方法等】 身体の清潔を実践する：臥床患者の洗髪を実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。

- 第28回** 【授業テーマ】 身体の清潔(5)  
【内容・方法等】 身体の清潔を実践する：臥床患者の清拭・足浴を実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第29回** 【授業テーマ】 身体の清潔(6)  
【内容・方法等】 身体の清潔を実践する：臥床患者の清拭・足浴を実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第30回** 【授業テーマ】 まとめ  
**評価方法(基準)**  
筆記試験、実技試験、授業への参加状況(レポートの提出状況・演習に取り組む姿勢など)により評価する。  
筆記試験40%、実技試験40%、授業への参加状況20%

**教材等**

- 教科書**…阿曾洋子 『基礎看護技術 第7版』 医学書院 (4,800円+税)  
**参考書**…坪井良子、松田たみ子 『考える基礎看護技術Ⅰ-看護技術の基本- [第3版]』 ヌーヴェルヒロカワ (1,600円+税)  
坪井良子、松田たみ子 『考える基礎看護技術Ⅱ-看護技術の実際- [第3版]』 ヌーヴェルヒロカワ (1,900円+税)  
山口瑞穂子 『看護技術 講義・演習ノート(上巻) 日常生活援助技術篇』 医学芸術社 (3,200円+税)

**学生へのメッセージ**

基礎看護技術Ⅰで学ぶ内容は、今後全ての看護学実習の基礎となります。積極的に授業に参加するだけでなく、練習を繰り返す行い、知識と技術を確実に身につけて下さい。

**関連科目**

基礎看護技術Ⅱ

**担当者の研究室等**

7号館3階 研究室1(森木)、研究室3(田中)、研究室2(中山)、助教室1(岡田、田丸)

**備考**

技術演習時の服装、身だしなみ、持参物品等については、事前に別途指示します。

**基礎看護技術Ⅰ**

**Fundamental of Nursing Skills I**

田中結華(タナカ ユカ)  
中山由美(ナカヤマ ユミ)  
森木ゆう子(モリキ ユウコ)  
岡田純子(オカダ ジュンコ)  
田丸朋子(タマル トモコ)  
坂井利衣(サカイ トシエ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	2	後期(30回)	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

看護を実践するための基本的な看護技術のうち、日常生活を整える援助技術を学ぶ。科学的根拠に基づき安全と安楽に留意しながら、対象者の生活を整える看護援助を実践するための基本的能力を培う。具体的には、看護技術の基本的な考え方、療養環境の調整、体位の整えと移動の援助、活動休息の援助、バイタルサインの観察、衣生活の援助、食事の援助、排泄の援助、身体清潔の援助について根拠を踏まえた技術の理論と技法を修得する。

**授業方法と留意点**

基本的には講義形式で日常生活を整える援助の理論を学び、その後、基礎看護学実習室にて技術演習を行う。授業では、教科書を用いるが、最新の情報やトピックスを提供するため、配付資料を適宜追加する。また援助場面をイメージできるように、ビデオや写真等の視聴覚教材、パワーポイント等も使用する。技術演習は、毎回、教員が援助のデモンストレーションを行い、具体的な方法や注意事項等を示すことにより行う。また、少人数グループを作成し、教員がグループごとに担当し個別指導する。そして、患者役割も体験し、援助を受ける立場から看護技術を振り返る。

**科目学習の効果(資格)**

- 基礎看護学実習Ⅰ、Ⅱの履修にかかわる科目。  
基礎看護技術Ⅱの履修にかかわる科目。  
看護師国家試験受験資格にかかわる科目。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 看護技術とは  
【内容・方法等】 看護技術の基本的な考え方について概観する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第2回 【授業テーマ】 療養環境の調整(1)  
【内容・方法等】 療養環境の調整に関する理論を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第3回 【授業テーマ】 療養環境の調整(2)  
【内容・方法等】 ベッドメイキングを実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第4回 【授業テーマ】 療養環境の調整(3)  
【内容・方法等】 ベッドメイキングを実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第5回 【授業テーマ】 療養環境の調整(4)  
【内容・方法等】 臥床患者のシーツ交換を実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第6回 【授業テーマ】 療養環境の調整(5)  
【内容・方法等】 臥床患者のシーツ交換を実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第7回 【授業テーマ】 体位の整え(1)  
【内容・方法等】 ボディメカニクス・体位の整えに関する理論を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第8回 【授業テーマ】 体位の整え(2)  
【内容・方法等】 臥床患者の体位の整えを実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第9回 【授業テーマ】 体位の整え(3)  
【内容・方法等】 臥床患者の体位の整えを実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第10回 【授業テーマ】 移動・移送の援助(1)  
【内容・方法等】 移動・移送の援助に関する理論を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第11回 【授業テーマ】 移動・移送の援助(2)  
【内容・方法等】 車いす・ストレッチャーでの移動・移送の援助を実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。

- 第12回 【授業テーマ】 移動・移送の援助(3)  
【内容・方法等】 車いす・ストレッチャーでの移動・移送の援助を実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第13回 【授業テーマ】 活動・休息の援助  
【内容・方法等】 活動・休息の援助に関する理論を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第14回 【授業テーマ】 バイタルサインの観察(1)  
【内容・方法等】 バイタルサインに関する理論を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第15回 【授業テーマ】 バイタルサインの観察(2)  
【内容・方法等】 バイタルサインの観察を実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第16回 【授業テーマ】 バイタルサインの観察(3)  
【内容・方法等】 バイタルサインの観察を実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第17回 【授業テーマ】 衣生活の援助(1)  
【内容・方法等】 衣生活の援助に関する理論を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第18回 【授業テーマ】 衣生活の援助(2)  
【内容・方法等】 臥床患者の寝衣交換を実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第19回 【授業テーマ】 食事の援助(1)  
【内容・方法等】 食事の援助に関する理論を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第20回 【授業テーマ】 食事の援助(2)  
【内容・方法等】 食事の援助を実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第21回 【授業テーマ】 排泄の援助(1)  
【内容・方法等】 排泄の援助に関する理論を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第22回 【授業テーマ】 排泄の援助(2)  
【内容・方法等】 便尿器・おむつによる排泄の援助を実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第23回 【授業テーマ】 排泄の援助(3)  
【内容・方法等】 便尿器・おむつによる排泄の援助を実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。

- 【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第24回 【授業テーマ】 身体の清潔(1)  
【内容・方法等】 身体の清潔に関する理論を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第25回 【授業テーマ】 身体の清潔(2)  
【内容・方法等】 身体の清潔を実践する：口腔ケアを実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第26回 【授業テーマ】 身体の清潔(3)  
【内容・方法等】 身体の清潔を実践する：臥床患者の洗髪を実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第27回 【授業テーマ】 身体の清潔(4)  
【内容・方法等】 身体の清潔を実践する：臥床患者の洗髪を実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第28回 【授業テーマ】 身体の清潔(5)  
【内容・方法等】 身体の清潔を実践する：臥床患者の清拭・足浴を実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第29回 【授業テーマ】 身体の清潔(6)  
【内容・方法等】 身体の清潔を実践する：臥床患者の清拭・足浴を実践する  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配付資料や視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第30回 【授業テーマ】 まとめ  
評価方法 (基準)  
筆記試験、実技試験、授業への参加状況(レポートの提出状況・演習に取り組む姿勢など)により評価する。  
筆記試験40%、実技試験40%、授業への参加状況20%
- 教材等  
教科書…阿曾洋子 『基礎看護技術 第7版』 医学書院 (4,800円+税)  
参考書…坪井良子、松田たみ子 『考える基礎看護技術Ⅰ-看護技術の基本- [第3版]』 ヌーヴェルヒロカワ (1,600円+税)  
坪井良子、松田たみ子 『考える基礎看護技術Ⅱ-看護技術の実践- [第3版]』 ヌーヴェルヒロカワ (1,900円+税)  
山口瑞穂子 『看護技術 講義・演習ノート (上巻) 日常生活援助技術篇』 医学芸術社 (3,200円+税)
- 学生へのメッセージ  
基礎看護技術Ⅰで学ぶ内容は、今後全ての看護学実習の基礎となります。積極的に授業に参加するだけでなく、練習を繰り返しい、知識と技術を確実に身につけて下さい。
- 関連科目  
基礎看護技術Ⅱ
- 担当者の研究室等  
7号館3階 研究室1(森木)、研究室3(田中)、研究室2(中山)、助教室1(岡田、田丸)
- 備考  
技術演習時の服装、身だしなみ、持参物品等については、事前に別途指示します。

基礎看護技術Ⅱ  
Fundamental of Nursing Skills II

田中結華 (タナカ ユカ)  
中山由美 (ナカヤマ ユミ)  
森木ゆう子 (モリキ ユウコ)  
岡田純子 (オカダ ジュンコ)  
田丸朋子 (タマル トモコ)  
坂井利衣 (サカイ トシエ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	イ	前期(30回)	必修	2

授業概要・目的・到達目標

看護を実践するための看護基本技術のうち、診療に伴う看護技術を学ぶ。具体的には、感染予防の看護、薬物療法の看護、検査時の看護、体温維持の看護、呼吸障害の看護、栄養障害の看護、排泄障害の看護、創傷の看護、リラクゼーション等について根拠を踏まえた技術を修得する。

授業方法と留意点

授業計画に沿って教科書を基本とし、各援助方法について学習する。  
最新の情報を提供するため、適宜、資料を配布し説明する。  
援助場面をイメージできるように、ビデオや写真等の視聴覚教材、パワーポイント等を使用する。  
毎回、教員によるデモンストレーションを実施する。教員が少人数制のグループを担当し、注射等の技術実践時には、安全をはかりながら個別指導を行う。また患者役を体験し、援助を受ける立場から看護技術を振り返る。

科目学習の効果(資格)

基礎看護学実習Ⅱを履修するために重要な科目となります。  
看護師国家試験受験資格にかかわる科目です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 診療に伴う看護技術  
【内容・方法等】 診療に伴う看護とはどのようなものか、また関連法規からも理解をする。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第2回 【授業テーマ】 感染予防の看護  
【内容・方法等】 滅菌・消毒方法や無菌操作、またスタンダードプリコーション等について理解する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第3回 【授業テーマ】 感染予防  
【内容・方法等】 手指消毒法、マスク、ガウン等の装着方法を実施する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第4回 【授業テーマ】 薬物療法・注射時の看護  
【内容・方法等】 薬物療法、注射時の看護の役割を学び、安全、安楽な援助が実施できるように関連法規をふまえて理解する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第5回 【授業テーマ】 無菌操作(1)  
【内容・方法等】 注射器等の取り扱いや注射器と注射針の接続等について実施する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第6回 【授業テーマ】 無菌操作(1)  
【内容・方法等】 注射器等の取り扱いや注射器と注射針の接続等について実施する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第7回 【授業テーマ】 皮下注射  
【内容・方法等】 上腕モデル等を用いて、安全、安楽に皮下注射を実施する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】

- 配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第8回** 【授業テーマ】 皮下注射  
【内容・方法 等】 上腕モデル等を用いて、安全、安楽に皮下注射を実施する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第9回** 【授業テーマ】 筋肉注射  
【内容・方法 等】 上腕・臀部モデルを用いて、安全、安楽に筋肉注射を実施する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第10回** 【授業テーマ】 筋肉注射  
【内容・方法 等】 上腕・臀部モデルを用いて、安全、安楽に筋肉注射を実施する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第11回** 【授業テーマ】 検査時の看護  
【内容・方法 等】 検査時の援助方法および、検体の採取と取扱いについて理解する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第12回** 【授業テーマ】 薬物療法・輸液の看護  
【内容・方法 等】 輸液実施時の看護の役割を学び、安全、安楽な援助方法を理解する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第13回** 【授業テーマ】 末梢静脈血採血(1)  
【内容・方法 等】 血管モデルを使用し、安全、安楽に末梢静脈血採血を実施する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第14回** 【授業テーマ】 末梢静脈血採血(1)  
【内容・方法 等】 血管モデルを使用し、安全、安楽に末梢静脈血採血を実施する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第15回** 【授業テーマ】 輸液療法・静脈内注射  
【内容・方法 等】 血管モデルを使用し、安全、安楽に輸液療法及び静脈内注射を実施する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第16回** 【授業テーマ】 輸液療法・静脈内注射  
【内容・方法 等】 血管モデルを使用し、安全、安楽に輸液療法及び静脈内注射を実施する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第17回** 【授業テーマ】 体温維持の看護および温・冷罨法  
【内容・方法 等】 体温の異常についてのアセスメント方法や体温の恒常性への援助方法について理解する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第18回** 【授業テーマ】 技術トレーニング  
【内容・方法 等】 学びの整理と技術トレーニングを行う。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第19回** 【授業テーマ】 創傷の看護/リラクゼーション  
【内容・方法 等】 創傷ケアの基礎的な理論と技術を理解する。また看護技術としてのリラクゼーションについて、意義と基礎的な方法を理解する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】

- 配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第20回** 【授業テーマ】 排泄障害の看護  
【内容・方法 等】 排泄障害に対する援助と、その援助方法としてのグリセリン浣腸、導尿法について理解する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第21回** 【授業テーマ】 末梢静脈血採血(2)  
【内容・方法 等】 人を対象にし、末梢静脈血採血を安全、安楽に実施する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第22回** 【授業テーマ】 末梢静脈血採血(2)  
【内容・方法 等】 人を対象にし、末梢静脈血採血を安全、安楽に実施する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第23回** 【授業テーマ】 無菌操作(2)  
【内容・方法 等】 滅菌物の取り扱い、および滅菌手袋の装着等を実施する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第24回** 【授業テーマ】 創傷管理  
【内容・方法 等】 ガーゼやドレッシング材を使用した創傷処置と包帯法を実施する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第25回** 【授業テーマ】 導尿  
【内容・方法 等】 導尿・膀胱留置バルンカテーテルの挿入についてモデルを用いて実施する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第26回** 【授業テーマ】 導尿  
【内容・方法 等】 導尿・膀胱留置バルンカテーテルの挿入についてモデルを用いて実施する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第27回** 【授業テーマ】 栄養障害の看護  
【内容・方法 等】 栄養状態のアセスメント方法、栄養摂取への援助方法を理解する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第28回** 【授業テーマ】 経管栄養/浣腸  
【内容・方法 等】 経管栄養チューブ挿入を安全、安楽に実施する方法を理解する。またグリセリン浣腸等について安全、安楽に実施する方法を理解する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第29回** 【授業テーマ】 呼吸障害の看護  
【内容・方法 等】 呼吸障害がある患者のアセスメント方法や呼吸状態を整える援助方法を理解する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第30回** 【授業テーマ】 酸素療法  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 評価方法(基準)**  
筆記試験、実技試験、およびレポートと授業参加度や授業態度により評価する。  
筆記試験(50%)、実技試験(30%)、レポートおよび授業態度(20%)
- 教材等**  
教科書…阿曾洋子 『基礎看護技術 第7版』 医学書院 (4,800円+税)  
参考書…坪井良子、松田たみ子 『考える基礎看護技術 I-看護技術の基本- [第3版]』 ヌーヴェルヒロカワ

(1,600円+税)  
坪井良子、松田たみ子 『考える基礎看護技術 II - 看護技術の実践 - [第3版]』 スーヴェルヒロカワ  
(1,900円+税)  
その他、必要時、参考資料を提示する。

**学生へのメッセージ**

診療に伴う援助について本格的に学んでいきます。薬物療法など注射に関連する技術なども多く、患者への安全・安楽な技術を目指し、また安全な演習を実施していくためにも気を引き締めて演習を行っていきましょう。

**関連科目**

基礎看護技術 I 等。

**担当者の研究室等**

7号館3階 研究室2 (中山)、研究室3 (田中)、研究室1 (森木)、助教室1 (岡田、田丸)

**備考**

技術演習時の服装、身だしなみ、持参物品等については、事前に別途指示する。

**基礎看護技術II**

Fundamental of Nursing Skills II

田 中 結 華 (タナカ ユカ)  
中 山 由 美 (ナカヤマ ユミ)  
森 木 ゆう子 (モリキ ユウコ)  
岡 田 純 子 (オカダ ジュンコ)  
田 丸 朋 子 (タマル トモコ)  
坂 井 利 衣 (サカイ トシエ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	ロ	前期(30回)	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

看護を実践するための看護基本技術のうち、診療に伴う看護技術を学ぶ。具体的には、感染予防の看護、薬物療法の看護、検査時の看護、体温維持の看護、呼吸障害の看護、栄養障害の看護、排泄障害の看護、創傷の看護、リラクゼーション等について根拠を踏まえた技術を修得する。

**授業方法と留意点**

授業計画に沿って教科書を基本とし、各援助方法について学習する。  
最新の情報を提供するため、適宜、資料を配布し説明する。  
援助場面をイメージできるように、ビデオや写真等の視聴覚教材、パワーポイント等を使用する。  
毎回、教員によるデモンストレーションを実施する。教員が少人数制のグループを担当し、注射等の技術実践時には、安全をはかりながら個別指導を行う。また患者役を体験し、援助を受ける立場から看護技術を振り返る。

**科目学習の効果 (資格)**

基礎看護学実習 I を履修するために重要な科目となります。  
看護師国家試験受験資格にかかわる科目です。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 診療に伴う看護技術  
【内容・方法 等】 診療に伴う看護とはどのようなものか、また関連法規からも理解をする。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第2回** 【授業テーマ】 感染予防の看護  
【内容・方法 等】 滅菌・消毒方法や無菌操作、またスタンダードプリコーション等について理解する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第3回** 【授業テーマ】 感染予防  
【内容・方法 等】 手指消毒法、マスク、ガウン等の装着方法を実施する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第4回** 【授業テーマ】 薬物療法・注射時の看護  
【内容・方法 等】 薬物療法、注射時の看護の役割を学び、安全、安楽な援助が実施できるように関連法規をふまえて理解する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】

- 配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。  
**第5回** 【授業テーマ】 無菌操作 (1)  
【内容・方法 等】 注射器等の取り扱いや注射器と注射針の接続等について実施する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第6回** 【授業テーマ】 無菌操作 (1)  
【内容・方法 等】 注射器等の取り扱いや注射器と注射針の接続等について実施する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第7回** 【授業テーマ】 皮下注射  
【内容・方法 等】 上腕モデル等を用いて、安全、安楽に皮下注射を実施する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第8回** 【授業テーマ】 皮下注射  
【内容・方法 等】 上腕モデル等を用いて、安全、安楽に皮下注射を実施する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第9回** 【授業テーマ】 筋肉注射  
【内容・方法 等】 上腕・臀部モデルを用いて、安全、安楽に筋肉注射を実施する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第10回** 【授業テーマ】 筋肉注射  
【内容・方法 等】 上腕・臀部モデルを用いて、安全、安楽に筋肉注射を実施する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第11回** 【授業テーマ】 検査時の看護  
【内容・方法 等】 検査時の援助方法および、検体の採取と取り扱いについて理解する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第12回** 【授業テーマ】 薬物療法・輸液の看護  
【内容・方法 等】 輸液実施時の看護の役割を学び、安全、安楽な援助方法を理解する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第13回** 【授業テーマ】 末梢静脈血採血 (1)  
【内容・方法 等】 血管モデルを使用し、安全、安楽に末梢静脈血採血を実施する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第14回** 【授業テーマ】 末梢静脈血採血 (1)  
【内容・方法 等】 血管モデルを使用し、安全、安楽に末梢静脈血採血を実施する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第15回** 【授業テーマ】 輸液療法・静脈内注射  
【内容・方法 等】 血管モデルを使用し、安全、安楽に輸液療法及び静脈内注射を実施する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】  
配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第16回** 【授業テーマ】 輸液療法・静脈内注射  
【内容・方法 等】 血管モデルを使用し、安全、安楽に輸液療法及び静脈内注射を実施する。  
【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
【事後課題】

- 配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。  
**第17回** 【授業テーマ】 体温維持の看護および温・冷罨法  
 【内容・方法 等】 体温の異常についてのアセスメント方法や体温の恒常性への援助方法について理解する。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】  
 配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。  
**第18回** 【授業テーマ】 技術トレーニング  
 【内容・方法 等】 学びの整理と技術トレーニングを行う。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】  
 配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。  
**第19回** 【授業テーマ】 創傷の看護／リラクゼーション  
 【内容・方法 等】 創傷ケアの基礎的な理論と技術を理解する。また看護技術としてのリラクゼーションについて、意義と基礎的な方法を理解する。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】  
 配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。  
**第20回** 【授業テーマ】 排泄障害の看護  
 【内容・方法 等】 排泄障害に対する援助と、その援助方法としてのグリセリン浣腸、導尿法について理解する。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】  
 配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。  
**第21回** 【授業テーマ】 末梢静脈血採血 (2)  
 【内容・方法 等】 人を対象にし、末梢静脈血採血を安全、安楽に実施する。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】  
 配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。  
**第22回** 【授業テーマ】 末梢静脈血採血 (2)  
 【内容・方法 等】 人を対象にし、末梢静脈血採血を安全、安楽に実施する。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】  
 配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。  
**第23回** 【授業テーマ】 無菌操作 (2)  
 【内容・方法 等】 滅菌物の取り扱い、および滅菌手袋の装着等を実施する。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】  
 配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。  
**第24回** 【授業テーマ】 創傷管理  
 【内容・方法 等】 ガーゼやドレッシング材を使用した創傷処置と包帯法を実施する。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】  
 配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。  
**第25回** 【授業テーマ】 導尿  
 【内容・方法 等】 導尿・膀胱留置バルンカテーテルの挿入についてモデルを用いて実施する。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】  
 配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。  
**第26回** 【授業テーマ】 導尿  
 【内容・方法 等】 導尿・膀胱留置バルンカテーテルの挿入についてモデルを用いて実施する。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】  
 配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。  
**第27回** 【授業テーマ】 栄養障害の看護  
 【内容・方法 等】 栄養状態のアセスメント方法、栄養摂取への援助方法を理解する。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】  
 配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。  
**第28回** 【授業テーマ】 経管栄養／浣腸  
 【内容・方法 等】 経管栄養チューブ挿入を安全、安楽に実施する方法を理解する。またグリセリン浣腸等について安全、安楽に実施する方法を理解する。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】

- 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】  
 配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。  
**第29回** 【授業テーマ】 呼吸障害の看護  
 【内容・方法 等】 呼吸障害がある患者のアセスメント方法や呼吸状態を整える援助方法を理解する。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】  
 配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。  
**第30回** 【授業テーマ】 酸素療法  
**評価方法 (基準)**  
 筆記試験、実技試験、およびレポートと授業参加度や授業態度により評価する。  
 筆記試験 (50%)、実技試験 (30%)、レポートおよび授業態度 (20%)  
**教材等**  
**教科書**…阿曾洋子 『基礎看護技術 第7版』 医学書院 (4,800円+税)  
**参考書**…坪井良子、松田たみ子 『考える基礎看護技術Ⅰ-看護技術の基本- [第3版]』 ヌーヴェルヒロカワ (1,600円+税)  
 坪井良子、松田たみ子 『考える基礎看護技術Ⅱ-看護技術の実際- [第3版]』 ヌーヴェルヒロカワ (1,900円+税)  
 その他、必要時、参考資料を提示する。  
**学生へのメッセージ**  
 診療に伴う援助について本格的に学んでいきます。薬物療法など注射に関連する技術なども多く、患者への安全・安楽な技術を目指し、また安全な演習を実施していくためにも気を引き締めて演習を行っていきましょう。  
**関連科目**  
 基礎看護技術Ⅰ等。  
**担当者の研究室等**  
 7号館3階 研究室2 (中山)、研究室3 (田中)、研究室1 (森木)、助教室1 (岡田、田丸)  
**備考**  
 技術演習時の服装、身だしなみ、持参物品等については、事前に別途指示する。

基礎看護技術Ⅲ				
Fundamental of Nursing Skills Ⅲ				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	イ	前期	必修	1

- 田中 結華** (タナカ ユカ)  
**中山 由美** (ナカヤマ ユミ)  
**森木 ゆう子** (モリキ ユウコ)  
**岡田 純子** (オカダ ジュンコ)  
**田丸 朋子** (タマル トモコ)  
**坂井 利衣** (サカイ トシエ)
- 授業概要・目的・到達目標**  
 対象者の問題や状態をアセスメントするための情報を収集し、その情報の解釈・分析・統合するための技術の一つであるフィジカルアセスメントの知識・技術を学ぶ。具体的には、ヘルスヒストリーの聴取方法や客観的な情報を得る手段であるフィジカルイグザミネーション (視診、触診、打診、聴診) 技術を学ぶ。そして、呼吸器系、循環器系、消化器系、筋・骨格系、脳・神経系のフィジカルアセスメント技術を修得する。
- 授業方法と留意点**  
 基本的には講義形式でフィジカルアセスメントの理論を学び、その後、基礎看護学実習室にて技術演習を行う。授業では、教科書と視聴覚教材を用いるが、最新の情報やトピックスを提供するため、配布資料を適宜追加する。技術演習は少人数グループを作成し、教員がグループごとに担当し個別指導する。そして、患者役割も体験し、援助を受ける立場から看護技術を振り返る。
- 科目学習の効果 (資格)**  
 基礎看護学実習Ⅱの履修にかかわる科目。  
 看護師国家試験受験資格にかかわる科目。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**  
**第1回** 【授業テーマ】 看護における看護過程とヘルスアセスメント、フィジカルアセスメントの考え方  
 【内容・方法 等】 看護における看護過程とヘルスアセスメント、フィジカルアセスメントの考え方に関する理論を学ぶ。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】  
 視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。

- 第2回** 【授業テーマ】ヘルスヒストリーとフィジカルアセスメントの基本的技術  
 【内容・方法等】ヘルスヒストリーとフィジカルアセスメントの基本的技術に関する理論を学び、実践する。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第3回** 【授業テーマ】呼吸器系のフィジカルアセスメント(1)  
 【内容・方法等】呼吸器系のフィジカルアセスメントに関する理論を学ぶ。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第4回** 【授業テーマ】呼吸器系のフィジカルアセスメント(2)  
 【内容・方法等】呼吸器系のフィジカルアセスメントを実践する。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第5回** 【授業テーマ】呼吸器系のフィジカルアセスメント(3)  
 【内容・方法等】呼吸器系のフィジカルアセスメントを実践する。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第6回** 【授業テーマ】循環器系のフィジカルアセスメント(1)  
 【内容・方法等】循環器系のフィジカルアセスメントに関する理論を学ぶ。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第7回** 【授業テーマ】循環器系のフィジカルアセスメント(2)  
 【内容・方法等】循環器系のフィジカルアセスメントを実践する。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第8回** 【授業テーマ】循環器系のフィジカルアセスメント(3)  
 【内容・方法等】循環器系のフィジカルアセスメントを実践する。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第9回** 【授業テーマ】消化器系のフィジカルアセスメント(1)  
 【内容・方法等】消化器系のフィジカルアセスメントに関する理論を学ぶ。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第10回** 【授業テーマ】消化器系のフィジカルアセスメント(2)  
 【内容・方法等】消化器系のフィジカルアセスメントを実践する。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第11回** 【授業テーマ】筋・骨格系のフィジカルアセスメント(1)  
 【内容・方法等】筋・骨格系のフィジカルアセスメントに関する理論を学ぶ。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第12回** 【授業テーマ】筋・骨格系のフィジカルアセスメント(2)  
 【内容・方法等】筋・骨格系のフィジカルアセスメントを実践する。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第13回** 【授業テーマ】脳・神経系のフィジカルアセスメント(1)  
 【内容・方法等】脳・神経系のフィジカルアセスメントに関する理論を学ぶ。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】

- 視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。  
**第14回** 【授業テーマ】脳・神経系のフィジカルアセスメント(2)  
 【内容・方法等】脳・神経系のフィジカルアセスメントを実践する。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第15回** 【授業テーマ】フィジカルアセスメントトレーニング  
 【内容・方法等】学びの整理と総合技術トレーニングを実践する。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。

**評価方法(基準)**

筆記試験、実技課題、授業への参加状況(レポートの提出状況・演習に取り組む姿勢など)により評価する。  
 筆記試験60%、実技課題20%、授業への参加状況20%

**教材等**

**教科書**…横山美樹、石川ふみよ 『成人看護学 ヘルシアセスメント』 スーヴェルヒロカワ (2,500円+税)  
**参考書**…横山美樹 『はじめてのフィジカルアセスメント』 メヂカルフレンド社 (2,600円+税)  
 松尾ミヨ子 『ナーシング・グラフィカ基礎看護学②ヘルシアセスメント』 メディカ出版 (3,400円+税)  
 Lynn S. Bickley 『ベイツ診察法』 メディカル・サイエンス・インターナショナル (9,000円+税)

**学生へのメッセージ**

「人体の構造と機能」の知識が基盤となりますので十分に復習してから授業に臨んでください。また授業後は、視聴覚教材等を活用し、積極的に自己学習をしてください。

**関連科目**

基礎看護技術Ⅱ、基礎看護技術Ⅳ、人体の構造と機能Ⅰ～Ⅳ

**担当者の研究室等**

7号館3階 研究室1(森木)、研究室3(田中)、研究室2(中山)、助教室1(岡田、田丸)

**基礎看護技術Ⅲ**

**Fundamental of Nursing Skills Ⅲ**

田中結華(タナカ ユカ)  
 中山由美(ナカヤマ ユミ)  
 森木ゆう子(モリキ ユウコ)  
 岡田純子(オカダ ジュンコ)  
 田丸朋子(タマル トモコ)  
 坂井利衣(サカイ トシエ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	ロ	前期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

対象者の問題や状態をアセスメントするための情報を収集し、その情報の解釈・分析・統合するための技術の一つであるフィジカルアセスメントの知識・技術を学ぶ。具体的には、ヘルスヒストリーの聴取方法や客観的な情報を得る手段であるフィジカルイグザミネーション(視診、触診、打診、聴診)技術を学ぶ。そして、呼吸器系、循環器系、消化器系、筋・骨格系、脳・神経系のフィジカルアセスメント技術を修得する。

**授業方法と留意点**

基本的には講義形式でフィジカルアセスメントの理論を学び、その後、基礎看護学実習室にて技術演習を行う。授業では、教科書と視聴覚教材を用いるが、最新の情報やトピックスを提供するため、配布資料を適宜追加する。技術演習は少人数グループを作成し、教員がグループごとに担当し個別指導する。そして、患者役割も体験し、援助を受ける立場から看護技術を振り返る。

**科目学習の効果(資格)**

基礎看護学実習Ⅱの履修にかかわる科目。  
 看護師国家試験受験資格にかかわる科目。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】看護における看護過程とヘルシアセスメント、フィジカルアセスメントの考え方  
 【内容・方法等】看護における看護過程とヘルシアセスメント、フィジカルアセスメントの考え方に関する理論を学ぶ。  
 【事前・事後学習課題】 【事前課題】教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
 【事後課題】視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第2回** 【授業テーマ】ヘルスヒストリーとフィジカルアセスメントの基本的技術

- 【内容・方法 等】** ヘルスヒストリーとフィジカルアセスメントの基本的技術に関する理論を学び、実践する。  
**【事前・事後学習課題】** 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第3回 **【授業テーマ】** 呼吸器系のフィジカルアセスメント (1)  
**【内容・方法 等】** 呼吸器系のフィジカルアセスメントに関する理論を学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第4回 **【授業テーマ】** 呼吸器系のフィジカルアセスメント (2)  
**【内容・方法 等】** 呼吸器系のフィジカルアセスメントを実践する。  
**【事前・事後学習課題】** 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第5回 **【授業テーマ】** 呼吸器系のフィジカルアセスメント (3)  
**【内容・方法 等】** 呼吸器系のフィジカルアセスメントを実践する。  
**【事前・事後学習課題】** 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第6回 **【授業テーマ】** 循環器系のフィジカルアセスメント (1)  
**【内容・方法 等】** 循環器系のフィジカルアセスメントに関する理論を学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第7回 **【授業テーマ】** 循環器系のフィジカルアセスメント (2)  
**【内容・方法 等】** 循環器系のフィジカルアセスメントを実践する。  
**【事前・事後学習課題】** 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第8回 **【授業テーマ】** 循環器系のフィジカルアセスメント (3)  
**【内容・方法 等】** 循環器系のフィジカルアセスメントを実践する。  
**【事前・事後学習課題】** 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第9回 **【授業テーマ】** 消化器系のフィジカルアセスメント (1)  
**【内容・方法 等】** 消化器系のフィジカルアセスメントに関する理論を学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第10回 **【授業テーマ】** 消化器系のフィジカルアセスメント (2)  
**【内容・方法 等】** 消化器系のフィジカルアセスメントを実践する。  
**【事前・事後学習課題】** 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第11回 **【授業テーマ】** 筋・骨格系のフィジカルアセスメント (1)  
**【内容・方法 等】** 筋・骨格系のフィジカルアセスメントに関する理論を学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第12回 **【授業テーマ】** 筋・骨格系のフィジカルアセスメント (2)  
**【内容・方法 等】** 筋・骨格系のフィジカルアセスメントを実践する。  
**【事前・事後学習課題】** 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第13回 **【授業テーマ】** 脳・神経系のフィジカルアセスメント (1)  
**【内容・方法 等】** 脳・神経系のフィジカルアセスメントに関する理論を学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第14回 **【授業テーマ】** 脳・神経系のフィジカルアセスメント (2)

- 【内容・方法 等】** 脳・神経系のフィジカルアセスメントを実践する。  
**【事前・事後学習課題】** 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。
- 第15回 **【授業テーマ】** フィジカルアセスメントトレーニング  
**【内容・方法 等】** 学びの整理と総合技術トレーニングを実践する。  
**【事前・事後学習課題】** 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 視聴覚教材等を用いて復習し学びを整理すること。

**評価方法 (基準)**  
 筆記試験、実技課題、授業への参加状況 (レポートの提出状況・演習に取り組む姿勢など) により評価する。  
 筆記試験60%、実技課題20%、授業への参加状況20%

**教材等**  
**教科書**…横山美樹、石川ふみよ 『成人看護学 ヘルスアセスメント』 ヌーヴェルヒロカワ (2,500円+税)  
**参考書**…横山美樹 『はじめてのフィジカルアセスメント』 メヂカルフレンド社 (2,600円+税)  
 松尾ミヨ子 『ナーシング・グラフィカ基礎看護学②ヘルスアセスメント』 メディカ出版 (3,400円+税)  
 Lynn S. Bickley 『バイツ診察法』 メディカル・サイエンス・インターナショナル (9,000円+税)

**学生へのメッセージ**  
 「人体の構造と機能」の知識が基盤となりますので十分に復習してから授業に臨んでください。また授業後は、視聴覚教材等を活用し、積極的に自己学習をしてください。

**関連科目**  
 基礎看護技術Ⅱ、基礎看護技術Ⅳ、人体の構造と機能Ⅰ～Ⅳ  
**担当者の研究室等**  
 7号館3階 研究室1 (森木)、研究室3 (田中)、研究室2 (中山)、助教室1 (岡田、田丸)

基礎看護技術Ⅳ Fundamental of Nursing Skills Ⅳ				
		田中結華 (タナカ ユカ)		
		中山由美 (ナカヤマ ユミ)		
		森木ゆう子 (モリキ ユウコ)		
		田丸朋子 (タマル トモコ)		
		坂井利衣 (サカイ トシエ)		
		未決定 (看護学部)	(ミケッテイ カンゴカクブ)	

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**  
 看護ケアを対象者に提供するための基盤となる看護過程について学ぶ。根拠に基づき、対象者の看護上の問題を明確にし、問題を解決するためのプロセスを学ぶ。ヘンダーソンの理論に基づいた看護過程の展開方法を、演習を通して修得する。

**授業方法と留意点**  
 教科書を基本とし、適宜、配布資料を用い説明する。また看護過程の展開方法をイメージできるように視聴覚教材やパワーポイントを使用する。  
 看護過程の展開方法を習得するために、少人数制のグループワークや演習を行い、事例展開をする。

**科目学習の効果 (資格)**  
 看護師国家試験受験資格にかかわる科目です。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 **【授業テーマ】** 看護過程の展開 (1)  
**【内容・方法 等】** 代表的な看護理論と看護過程の展開について理解する。またヘンダーソンの理論と14の基本的ニードなどについて理解する。  
**【事前・事後学習課題】** 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第2回 **【授業テーマ】** 看護過程の展開 (2)  
**【内容・方法 等】** 事例を通して、情報の分類やアセスメント方法について理解する。  
**【事前・事後学習課題】** 【事前課題】  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第3回 **【授業テーマ】** 看護過程の展開 (3)  
**【内容・方法 等】** 事例を通して、情報の分類やアセスメント

- 方法について理解する。  
**【事前・事後学習課題】 【事前課題】**  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第4回**  
**【授業テーマ】** 看護過程の展開 (4)  
**【内容・方法 等】** 事例の全体像の把握、看護問題、看護目標の立案について理解する。  
**【事前・事後学習課題】 【事前課題】**  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第5回**  
**【授業テーマ】** 看護過程の展開 (5)  
**【内容・方法 等】** 事例を通して、看護計画の立案について理解する。  
**【事前・事後学習課題】 【事前課題】**  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第6回**  
**【授業テーマ】** 看護過程の展開 (6)  
**【内容・方法 等】** 看護診断について理解する。  
**【事前・事後学習課題】 【事前課題】**  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 第7回**  
**【授業テーマ】** 看護過程の演習 (1)  
**【内容・方法 等】** グループワークにて、事例の情報分類を行う。  
**【事前・事後学習課題】 【事前課題】**  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 提示された課題を期日までに行ってくること。
- 第8回**  
**【授業テーマ】** 看護過程の演習 (2)  
**【内容・方法 等】** グループワークにて、事例の情報についてアセスメントを行う。  
**【事前・事後学習課題】 【事前課題】**  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 提示された課題を期日までに行ってくること。
- 第9回**  
**【授業テーマ】** 看護過程の演習 (3)  
**【内容・方法 等】** グループワークにて、事例の情報についてアセスメントを行う。  
**【事前・事後学習課題】 【事前課題】**  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 提示された課題を期日までに行ってくること。
- 第10回**  
**【授業テーマ】** 看護過程の演習 (4)  
**【内容・方法 等】** グループワークにて、事例の看護問題の抽出、看護目標の立案を行う。  
**【事前・事後学習課題】 【事前課題】**  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 提示された課題を期日までに行ってくること。
- 第11回**  
**【授業テーマ】** 看護過程の演習 (5)  
**【内容・方法 等】** グループワークにて、事例の看護問題の抽出、看護目標の立案を行う。  
**【事前・事後学習課題】 【事前課題】**  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 提示された課題を期日までに行ってくること。
- 第12回**  
**【授業テーマ】** 看護過程の演習 (6)  
**【内容・方法 等】** グループワークにて、事例の看護計画を検討する。  
**【事前・事後学習課題】 【事前課題】**  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 提示された課題を期日までに行ってくること。
- 第13回**  
**【授業テーマ】** 看護過程の演習 (7)  
**【内容・方法 等】** グループワークにて、事例の看護計画を立案する。  
**【事前・事後学習課題】 【事前課題】**  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 提示された課題を期日までに行ってくること。
- 第14回**  
**【授業テーマ】** 看護過程の演習 (8)  
**【内容・方法 等】** グループワークにて行った看護過程の展開内容を発表する。  
**【事前・事後学習課題】 【事前課題】**  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 提示された課題を期日までに行ってくること。
- 第15回**  
**【授業テーマ】** 看護過程の展開 (7)  
**【内容・方法 等】** 看護問題、看護目標、看護計画、看護実践内容などの評価方法について理解する。

- 【事前・事後学習課題】 【事前課題】**  
 教科書の該当部分を読んだ上で出席すること。  
**【事後課題】**  
 配布資料および教科書に沿って復習を行うこと。
- 評価方法 (基準)**  
 レポートおよびグループワークでの課題達成状況や授業参加度、授業態度などで評価する。  
 グループワークでの課題達成状況や参加度等60%、レポート等40%
- 教材等**  
**教科書**…三上れつ『看護過程と看護診断』第2版 スーヴェルヒロカワ (2500円+税)  
**参考書**…渡邊トシ子『実践看護アセスメント』スーヴェルヒロカワ (2500円+税)
- 学生へのメッセージ**  
 基礎看護学実習Ⅱに深く関連する科目です。課題を達成していけるように自己学習をしっかりと行っていきましょう。
- 関連科目**  
 基礎看護技術Ⅲおよび基礎看護学実習Ⅱに深く関連します。
- 担当者の研究室等**  
 7号館3階 研究室2 (中山)、研究室3 (田中)、研究室1 (森木)、助教室1 (田丸)
- 備考**  
 グループワーク時の課題については、適宜、指示をすることで次回期日までに行ってくることを。

**基礎看護学実習 I**

Clinical Practice in Fundamental Nursing I

- 田中結華 (タナカ ユカ)  
 中山由美 (ナカヤマ ユミ)  
 森木ゆう子 (モリキ ユウコ)  
 岡田純子 (オカダ ジュンコ)  
 田丸朋子 (タマル トモコ)  
 金原京子 (キンバラ キョウコ)  
 竹下裕子 (タケシタ ヒロコ)  
 森谷利香 (モリヤ リカ)  
 山本智津子 (ヤマモト チヅコ)  
 小川宣子 (オガワ ノリコ)  
 亀田直子 (カメダ ナオコ)  
 阪上由美 (サカガミ ユミ)  
 志戸岡恵子 (シドオカ ケイコ)  
 七山知佳 (ナナヤマ チカ)  
 山本十三代 (ヤマモト トミヨ)  
 吉村公一 (ヨシムラ コウイチ)  
 未決定 (看護学部) (ミケッテイ カンゴカクブ)  
 未決定 (看護学部) (ミケッテイ カンゴカクブ)  
 坂井利衣 (サカイ トシエ)  
 但馬まり子 (タジマ マリコ)  
 名草みどり (ナグサ ミドリ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

看護学概論等の既習内容を踏まえ、保健医療の現場における看護の対象である人とその生活・健康状態、それらを取り巻く環境のあり方、看護職者やチーム専門職者の役割を体験的に学び、看護の役割や機能について理解を深め、今後の看護を学ぶ動機とする。

**[実習目的]**

看護の対象となる人とその人を取り巻く環境を理解する。また、実習による体験を通して、看護の目的と役割、看護の機能する場および看護活動に関する知識を深める。

**[実習目標]**

1. 看護の対象となる人の療養生活を支える環境のあり方を理解する。
2. 看護の対象となる人とその健康状態、生活や思いを理解し、看護職者およびその他の専門職者による援助の実際を知る。
3. 看護の目的、看護が果たす役割や機能する場、看護のあり方について自己の考えをまとめ、今後の看護を学習する上での課題を見出すことができる。
4. 看護学生として適切な態度で実習に臨むことができる。

**授業方法と留意点**

**[実習方法]**

- 1.原則として実習病棟への学生配置は1グループ5人編成とし、各グループは教員の指導を受ける。
- 2.実習前に、実習目的・目標、実習計画・事前学習・実習施設概要・留意事項等のオリエンテーションを受ける。
- 3.実習目的・目標をもとに、各自の実習における課題と目標を明確にする。
- 4.実習施設の概要、看護の目標と特徴について説明を受ける。
- 5.病院環境の見学を行い、各部署の機能について説明を受け、対象者の療養生活を支える環境について知る。
- 6.病棟の環境、看護の目標や特徴の説明を受ける。
- 7.看護師に学生1~2人がついて行動を共にし、様々な看護場面を見学し、援助の実際を知る。
- 8.可能な場面では、看護師とともに日常生活の援助を実施する。
- 9.対象者と直接に接してコミュニケーションする機会をもち、健康状態や生活状態、思いなどについて話を伺う。
- 10.毎日カンファレンスを行い、各自の体験や考えを発表して意見交換して互いの学びを共有し、指導や助言を受ける。
- 11.看護の目的、看護が果たす役割や機能、看護活動のあり方に関するグループワークを行い、互いに発表する。
- 12.実習記録は、毎日記載し、指導教員及び臨地実習指導者からの助言・指導を受ける。
- 13.各実習場面全体を通して、身だしなみ、言葉遣いや礼儀など他者への接し方、実習態度、個人情報保護について助言・指導を受ける。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

**[実習計画]**

1. オリエンテーション
  - 1) 事前オリエンテーション
  - 2) 直前オリエンテーション
2. 実習：12月下旬に1週間の病院実習を行う。

**【病院実習】**

- ・実習施設の概要
- ・病院環境の見学
- ・病棟実習
- ケア場面の見学、または基本的な日常生活援助の実施
- 患者とのコミュニケーション
- カンファレンス

**【学内課題】**

- ・グループワーク
- ・発表
- ・まとめ

**評価方法・評価基準**

実習目的・目標の達成状況、実習記録を総合して評価する。

**教材等**

教科書…なし。  
参考書…必要に応じて適宜紹介する。

**備考**

**[実習場所]**

星ヶ丘医療センター、市立ひらかた病院、関西医科大学付属枚方病院、枚方公済病院（計4カ所）

**基礎看護学実習II**

**Clinical Practice in Fundamental Nursing II**

- 田中結華 (タナカ ユカ)
- 中山由美 (ナカヤマ ユミ)
- 森木ゆう子 (モリキ ユウコ)
- 岡田純子 (オカダ ジュンコ)
- 田丸朋子 (タマル トモコ)
- 金原京子 (キンバラ キョウコ)
- 小川宣子 (オガワ ノリコ)
- 亀田直子 (カメダ ナオコ)
- 阪上由美 (サカガミ ユミ)
- 志戸岡恵子 (シドオカ ケイコ)
- 山本十三代 (ヤマモト トミヨ)
- 坂井利衣 (サカイ トシエ)
- 名草みどり (ナグサ ミドリ)
- 竹中泉 (タケナカ イズミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

**[概要]**

医療の場で療養生活を送る入院患者を受け持ち、看護過程を日常生活上のニーズに焦点をあてて実践する。既習の知識・技術

を統合して、臨床における看護実践の基礎的能力を培う。看護過程は段階的に行い、対象者と人間関係を形成し、情報収集を行い全人的に把握して分析し、看護援助の必要性を導き出す。対象者に応じた看護計画を立案し、実施・評価する。これらの実践過程を通して、自己の看護観について考えを深める。

**[実習目的]**

看護の対象となる人を総合的に理解し、対象者の日常生活の援助に焦点をあて、看護過程を段階的に展開できる基礎的能力を培う。また、看護職者に必要な態度を養う。

**[実習目標]**

- 1.対象者と対人関係を築きながら発達段階、健康状態、日常生活に焦点を当てて情報を収集することができる。
- 2.収集した情報を整理・分析し、看護の対象として対象者の全体像を把握することができる。
- 3.対象者の全体像から、日常生活援助の必要性を導き出し、看護上の問題を明確化することができる。
- 4.看護上の問題に対する目標を設定し、目標達成に必要な看護計画を立案することができる。
- 5.看護計画を実施・評価、修正することができる。
- 6.実習を通して得た学びを振り返り、看護に対する自らの考えを明らかにすることができる。
- 7.主体的に実習に取り組み、看護学生として適切な態度で実習に臨むことができる。

**授業方法と留意点**

**[実習方法]**

- 1.実習グループは、1グループ5~6名編成とし、担当教員の指導を受ける。
- 2.実習前に、実習目的・目標、実習計画・事前学習・実習施設概要・留意事項等のオリエンテーションを受ける。
- 3.実習目的・目標をもとに、各自の実習における課題と目標を明確にする。
- 4.実習に必要な事前学習を行い、知識・技術の復習を行う。
- 5.実習にあたり、実習病院・病棟から、病棟の機能や看護職の役割について、オリエンテーションを受ける。
- 6.原則として、入院中の患者を1名受持ち、対象者に適した看護過程の展開を段階的に行う。
- 7.病棟実習では毎日、学生主体のカンファレンスを行う。
- 8.カンファレンスでは、一日の振り返りと翌日の計画について意見交換し、お互いの学びを共有する。
- 9.実習記録は、毎日必ず記録し、担当教員および臨地実習指導者からの助言・指導を受ける。
- 10.各自の実習における学びを各グループで検討してまとめ、互いに発表を行って共有する。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

**[実習内容]**

1. オリエンテーション
  - 実習前にオリエンテーションを受け、実習に必要な知識・技術の復習を行う。
2. 病院実習：2月に、以下の内容で2週間の実習を行う。
  - 1)対象者の紹介をうけ、人間関係を形成する。
  - 2)対象者の発達段階、健康状態、日常生活を把握するために必要な情報を、インタビューや記録、フィジカルイグザミネーション、および看護の場面への参加を通して収集する。
  - 3)収集した情報を整理して分析し、対象者の全体像を把握する。
  - 4)全体像から日常生活援助の必要性を導きだし、看護上の問題を明確化する。
  - 5)得られた問題に対する目標を適切に設定する。
  - 6)目標を達成するための計画を立案する。
  - 7)計画を実施するために必要な看護技術について、対象者に応じた方法を検討する。
  - 8)立案した計画を、指導の下で実施する。
  - 9)看護および実施した看護について、指導教員の指導のもと、評価・修正する。
  - 10)最終的に実習全体を通じた学びを振り返り、看護に対する自らの考えを述べる。
  - 11)実習に必要な事前学習を行い、知識・技術を復習して実習の準備をする。
  - 12)実習を行う上で必要な情報を積極的に求め、グループメンバーと共有し連携する。
  - 13)臨地実習指導者・指導教員からの助言を適切にうけとめ、積極的に実習に生かす。
  - 14)実施内容については臨地実習指導者・指導教員の指導を得てから行う。
  - 15)観察・実施内容については、臨地実習指導者・指導教員に適切に報告を行う。
  - 16)対象者の権利を尊重し、プライバシーの保護を行う。

**評価方法・評価基準**

実習内容(実習目的・目標の達成状況、記録、実習態度)を総合して評価する。

**教材等**

教科書…なし  
参考書…必要に応じて適宜紹介する。

**備考**

[実習場所]

**成人看護学概論 I**

Introduction to Adult Nursing I

川 畑 安 正 (カワハタ ヤスマサ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

ライフサイクルにおける成人期の特性をふまえ、家族や職場・地域社会で様々な役割をもつ成人期の対象者の健康及び健康の危機的状況や急性症状を呈する人の健康問題の特徴を理解し、急性的な健康問題のある成人を支援する看護について学習する。また、危機的状態や急性期における看護援助に有用と考える理論や概念について理解を深める。

**【到達目標】**

1. ライフサイクルにおける成長発達と特徴について説明できる。
2. 生活者としての対象の特徴と健康段階について説明できる。
3. 成人保健の動向について統計的な視点から説明できる。
4. 保健・医療・福祉の連携の重要性について説明できる。
5. 危機的状態やストレスの高い状態の対象への看護援助の基礎となる理論について説明できる。
6. 急激な健康破綻を生じた対象が抱える健康問題の特徴と看護援助について説明できる。
7. 周手術期の概念、周手術期における対象の特徴と看護の役割について説明できる。
8. 周手術期のチーム医療と社会資源の活用について説明できる。

**授業方法と留意点**

まず成人期にある自分を理解する。そして授業計画に沿った講義を通して、ライフサイクルにおける青年期から老年期の成人の特徴とその看護、特に急性期看護をいろいろな視点から幅広く学習する。教科書による予習・復習を課し、教科書の内容を学習するのではなく、教科書の内容を活用して学習する。また、臨床事例の紹介や視聴覚教材を活用して、看護の理論などの知識と実践を関連付ける。

**科目学習の効果（資格）**

看護師国家試験の試験科目「成人看護学」の内容を修得するための授業科目の一つである。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 ライフサイクルからみた成人期の特徴  
【内容・方法等】 ・授業ガイダンス  
・成人期の区分  
・成人期の特徴  
・成人発達段階の理論  
【事前・事後学習課題】 ・授業前に第I章「成人看護学の概念と構成」、第II章「成人看護学の特性」2～4. を読んでおくこと。  
・単元の小テスト(形成的評価)
- 第2回** 【授業テーマ】 成人期の生活と健康  
【内容・方法等】 ・成人期の生活状況の特徴  
【事前・事後学習課題】 ・授業前に第III章「保健・医療・福祉における動向と課題」、第V章「健康レベルにおける枠組み」1～2. を読んでおくこと。  
・単元の小テスト(形成的評価)
- 第3回** 【授業テーマ】 成人保健の動向  
【内容・方法等】 ・成人期の健康指標から健康問題をみる  
【事前・事後学習課題】 ・授業前に第I章「成人看護学の特性」1. を読んでおくこと。  
・単元の小テスト(形成的評価)
- 第4回** 【授業テーマ】 保健・医療・福祉の連携  
【内容・方法等】 ・変化する保健・医療・福祉へのニーズと制度  
【事前・事後学習課題】 ・単元の小テスト(形成的評価)
- 第5回** 【授業テーマ】 急性期看護の基礎となる理論  
【内容・方法等】 ・危機的状態に対する看護の基盤となる理論・モデル  
・ストレスの高い状態に対する看護の基盤となる理論  
【事前・事後学習課題】 ・授業前に第VI章「成人看護学」に使用される理論・モデル」3. を読んでおくこと。  
・単元の小テスト(形成的評価)
- 第6回** 【授業テーマ】 急性期にある対象の特徴と看護  
【内容・方法等】 ・急性期の健康の急激な破綻  
・急激な健康破綻をきたした対象の看護  
【事前・事後学習課題】 ・授業前に第V章「健康レベルにおける枠組み」3. を読んでおくこと。  
・単元の小テスト(形成的評価)
- 第7回** 【授業テーマ】 周手術期における対象の特徴と看護(1)  
【内容・方法等】 ・周手術期の概念  
・周手術期(術前・術中・術後)看護の特徴  
【事前・事後学習課題】 ・単元の小テスト(形成的評価)

- 第8回** 【授業テーマ】 周手術期における対象の特徴と看護(2)  
【内容・方法等】 ・周手術期のチーム医療  
・社会資源の活用

- 第9回** 【授業テーマ】 -  
【内容・方法等】 -  
【事前・事後学習課題】 -
- 第10回** 【授業テーマ】 -  
【内容・方法等】 -  
【事前・事後学習課題】 -
- 第11回** 【授業テーマ】 -  
【内容・方法等】 -  
【事前・事後学習課題】 -
- 第12回** 【授業テーマ】 -  
【内容・方法等】 -  
【事前・事後学習課題】 -
- 第13回** 【授業テーマ】 -  
【内容・方法等】 -  
【事前・事後学習課題】 -
- 第14回** 【授業テーマ】 -  
【内容・方法等】 -  
【事前・事後学習課題】 -
- 第15回** 【授業テーマ】 -  
【内容・方法等】 -  
【事前・事後学習課題】 -

**評価方法（基準）**

定期試験及びレポートの内容を総合して総合的評価する。なお、レポート課題は授業中に説明する。  
定期試験（80%）、レポート（20%）。

**教材等**

教科書…大西和子、岡部聡子 編 『成人看護学概論』 ヌーヴェルヒロカワ (2,200円+税)

参考書…『国民衛生の動向2013/2014年版(厚生省の指標・増刊)』 厚生労働統計協会 (2,286円+税)  
『周手術期看護論』 ヌーヴェルヒロカワ (2,400円+税)

**学生へのメッセージ**

- ・これまでの講義で修得した知識と成人看護学が関連し、理解が深められるよう、同期進行の授業科目も含めて関連科目をしっかり学習すること。
- ・常に問題意識をもち、なぜそうなのかを考え、自分の意見を述べるようにしましょう。
- ・成人看護学の基礎となる内容で広範囲にわたる授業を行うので、遅刻・欠席をせず、時間を有効に使用すること。

**関連科目**

1 年次前期履修科目のうち、人体の構造と機能I、人体の構造と機能II、看護学概論。  
1 年次後期履修の同期進行する科目のうち、人体の構造と機能III、人体の構造と機能IV、病理学総論、疾病・治療論I、成人看護学概論II、地域看護学。

**担当者の研究室等**

7号館3階 研究室26 (川畑)

**成人看護学概論 II**

Introduction to Adult Nursing II

山 本 裕 子 (ヤマモト ユウコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

ライフサイクルにおける成人期の特性を踏まえ、家族や職場・地域社会で様々な役割を持つ成人期の対象者の健康及び慢性的な健康問題の特徴を理解し、慢性的な健康問題のある成人を支援する看護について学習する。また、慢性的な健康問題のある成人が、主体的にQOLの高い療養生活を送ることができるよう援助するために有用な理論・概念について理解を深める。

**授業方法と留意点**

下記の授業計画に沿って講義を行う。成人期にある自分や家族の健康と生活の振り返りを通して、生活習慣と疾病の関係や、疾病がもたらす生活や人生への影響について理解を進め、慢性看護について学習する。講義資料を作成し授業を進めるが、新しい単語の説明や分かりにくい点はパワーポイントを用いて、丁寧に説明しながら内容を補足する。また、教科書による予習・復習を課し、理解を深める。さらに、臨床の事例を紹介しながら、理論・概念と関連づけ、慢性看護の具体的なイメージを持たせるように工夫する。学生の習熟度により、授業の進行スピードを変更する。

**科目学習の効果（資格）**

看護師国家試験受験資格のための必須科目である。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**  
**第1回** 【授業テーマ】 成人看護学の援助論

- 【内容・方法 等】 成人の健康レベルに応じた看護援助および成人期の特徴を捉えた看護過程の理解
- 【事前・事後学習課題】 講義前に教科書第1章「成人看護学の概念と構成」、第8章「看護過程の展開」を読んでおくこと。講義後は学んだ内容について復習すること。以下の講義でも同様に復習を課す。
- 第2回 【授業テーマ】 慢性的な健康問題を有する成人の特徴と看護  
【内容・方法 等】 慢性的な健康問題、生活習慣と健康問題、慢性的な健康問題により身体的・心理社会的影響を受ける成人の特徴、慢性看護の特徴の理解  
【事前・事後学習課題】 講義前に教科書第3章「保健・医療・福祉における動向と課題」、第5章「健康レベルにおける枠組み」を読んでおくこと
- 第3回 【授業テーマ】 慢性看護に有用な理論・概念(1)  
【内容・方法 等】 QOL、ストレスコーピング、適応、セルフケアの理解  
【事前・事後学習課題】 講義前に第6章3「ストレス理論・ストレスコーピング・危機理論」、5「セルフケア理論」、7「適応理論」を読んでおくこと
- 第4回 【授業テーマ】 慢性看護に有用な理論・概念(2)  
【内容・方法 等】 アンドラゴジー、自己効力感、エンパワメント、アドヒアランス、病みの軌跡の理解  
【事前・事後学習課題】 講義前に第6章6「自己効力理論」、8「エンパワメント」、10「アドラゴジー」、13「アドヒアランス」、14「病みの軌跡」を読んでおくこと。講義後、慢性看護に有用な理論・概念を用いた事例分析についてレポートを課す。
- 第5回 【授業テーマ】 がんによる影響を受ける成人の特徴と看護(1)  
【内容・方法 等】 がんの特徴、がんおよびがん治療（化学療法・放射線療法）による身体的・心理社会的影響の理解  
【事前・事後学習課題】 講義前に第4章「成人看護における倫理と看護者の役割」第5章5「ターミナル期の援助を必要としている対象」を読んでおくこと
- 第6回 【授業テーマ】 がんによる影響を受ける成人の特徴と看護(2)  
【内容・方法 等】 がん看護の特徴の理解、がんを発症した成人およびがん治療を受ける成人に対する看護、がん看護における倫理的課題  
【事前・事後学習課題】 講義前にがん患者・家族の闘病記を読んでおくこと。講義後、闘病記の感想文をレポートとして課す
- 第7回 【授業テーマ】 リハビリテーションを必要とする成人の特徴と看護  
【内容・方法 等】 リハビリテーションの概念、リハビリテーションを必要とする成人の特徴、障害受容、リハビリテーション看護の理解  
【事前・事後学習課題】 講義前に第5章3-③「リハビリテーションを必要とする患者」、第8章「継続看護と健康教育」を読んでおくこと
- 第8回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法 等】 慢性看護について学んだことを整理し、学習を深める  
【事前・事後学習課題】 講義前に7回までの講義の復習をしておくこと
- 第9回 【授業テーマ】 -  
【内容・方法 等】 -  
【事前・事後学習課題】 -
- 第10回 【授業テーマ】 -  
【内容・方法 等】 -  
【事前・事後学習課題】 -
- 第11回 【授業テーマ】 -  
【内容・方法 等】 -  
【事前・事後学習課題】 -
- 第12回 【授業テーマ】 -  
【内容・方法 等】 -  
【事前・事後学習課題】 -
- 第13回 【授業テーマ】 -  
【内容・方法 等】 -  
【事前・事後学習課題】 -
- 第14回 【授業テーマ】 -  
【内容・方法 等】 -  
【事前・事後学習課題】 -
- 第15回 【授業テーマ】 -  
【内容・方法 等】 -  
【事前・事後学習課題】 -
- 評価方法(基準)  
定期試験及びレポートの内容を総合して評価する。なお、レポート課題は授業中に説明する。  
レポート(20%)、定期試験(80%)
- 教材等  
教科書…"大西和子、岡部聡子 編 『成人看護学概論』 ヌーヴェルヒロカワ (2,200円+税)"  
参考書…"鈴木志津枝 編 『慢性期看護論』 ヌーヴェルヒロカワ (2,600円+税)"

安酸史子、鈴木純恵、吉田澄恵 編 『セルフマネジメント』 メディカ出版 (3,200円+税)  
大西和子、飯野京子 編 『がん看護学』 ヌーヴェルヒロカワ (3,000円+税)  
酒井郁子、金城利雄 編 『看護学テキストNiCEリハビリテーション看護』 南江堂 (2,400円+税)"

学生へのメッセージ  
講義では広範な内容を網羅し、かつ聞き慣れない専門用語も多いため、予習・復習は欠かさず行いましょう。また、生活者としての自分や家族に関心を持ち、生活と健康のかかわりについての洞察を深めてください。

関連科目  
看護学概論、人体の構造と機能Ⅰ、人体の構造と機能Ⅱ、生命倫理、成人看護学概論Ⅰ

担当者の研究室等  
7号館3階 研究室27 (山本)

成人看護学援助論 Adult Nursing I				
		川 畑 安 正 (カワハタ ヤスマサ)		
		松 本 葉 子 (マツモト ヨウコ)		
		竹 下 裕 子 (タケシタ ヒロコ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標  
【授業概要・目的】  
健康状態に急激な変化を生じ、生命の危機的状態にある対象とその家族の特徴を理解し、生命の維持と心身の早期回復、早期社会復帰に向けた看護を実践する能力を身につけることができる。

【一般目標】  
1. 健康状態に急激な変化を生じ、生命の危機的状態にある対象や、手術を受ける対象とその家族の身体的、心理・社会的特徴および倫理的課題について理解できる。  
2. 麻酔・手術における侵襲と生体反応を踏まえ、術後合併症のアセスメントと予防のための看護援助について理解できる。  
3. 手術によって、形態変化や機能障害をもたらされた対象とその家族の適応および新たなセルフケア能力獲得を促すための看護援助について理解できる。  
4. 手術を受ける対象とその家族が、周手術期および退院後も、QOLのより高い生活を獲得できるよう、チーム医療のもとで行う看護援助について理解できる。  
5. 手術を受ける対象とその家族の看護問題を解決するために、主体的な学習態度で取り組むことができる。

授業方法と留意点  
下記の授業計画に沿って講義を中心に授業を行う。事前学習として、教科書の該当範囲を読んでおくこと。事後課題として、授業内容を出题範囲とした過去の看護師国家試験問題を解いてくること(毎回、講義後に配布する)。なお、課題は提出を求めないが、事後課題(国家試験問題)は定期試験の試験範囲に含める。

科目学習の効果(資格)  
・臨地実習(成人看護学実習Ⅰ)において、看護援助を実践するための基盤となる。  
・看護師国家試験の出题範囲である。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 救急医療を必要とする対象の看護援助  
【内容・方法 等】 救急医療体制、トリアージ、心肺蘇生  
【事前・事後学習課題】 事後課題：講義後に配布する国家試験問題を解いておくこと
- 第2回 【授業テーマ】 救急医療を必要とする対象の看護援助  
【内容・方法 等】 救急外来における看護援助、代表的な病態を呈する救急患者に対する看護  
【事前・事後学習課題】 事後課題：講義後に配布する国家試験問題を解いておくこと
- 第3回 【授業テーマ】 周手術期にある対象の特徴と理解  
【内容・方法 等】 周手術期にある対象とその家族の特徴と理解、麻酔・手術侵襲に伴う生体反応  
【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書「周手術期看護論」パート1理論編を読んでおくこと  
事後課題：講義後に配布する国家試験問題を解いておくこと
- 第4回 【授業テーマ】 周手術期過程に応じた看護援助—術前  
【内容・方法 等】 インフォームド・コンセントの支援、術前オリエンテーション、手術に向けた準備、手術室入室時の看護援助  
【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書「周手術期看護論」パート2実践編の「1. 診断から手術の決定過程の看護」2.

術前の看護」を読んでくる。教科書「成人看護技術」の「呼吸機能検査・循環機能検査(p.2～p.14)」、「臍処置・除毛(p.110,111)」について読んでくること。  
事後課題：講義後に配布する国家試験問題を解いておくこと

**第5回** 【授業テーマ】 周手術期過程に応じた看護援助—術中  
【内容・方法 等】 手術室環境、麻酔の基礎知識と麻酔導入時～覚醒時の看護援助

【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書「周手術期看護論」パート2実践編の「2. 術中の看護」と、「成人看護技術」の「術中の看護技術(p.120～p.154)」を読んでくること  
事後課題：講義後に配布する国家試験問題を解いておくこと

**第6回** 【授業テーマ】 周手術期過程に応じた看護援助—術後  
【内容・方法 等】 術直後の全身状態の観察と看護援助

【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書「周手術期看護論」パート2実践編の「4. 術後の看護」を読み、術直後のモニタリングのポイント・観察項目とそれぞれの正常（または基準値）についてまとめておくこと。  
事後課題：講義後に配布する国家試験問題を解いておくこと

**第7回** 【授業テーマ】 周手術期過程に応じた看護援助—術後  
【内容・方法 等】 早期離床、日常生活援助

【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書「成人看護技術」の「離床の介助(p.207,208)」について、読んでおくこと。  
事後課題：講義後に配布する国家試験問題を解いておくこと

**第8回** 【授業テーマ】 周手術期過程に応じた看護援助—術後  
【内容・方法 等】 術後疼痛マネジメント（患者管理鎮痛法：PCAの管理含む）

【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書「周手術期看護論」パート1理論編の「II 3. 術後疼痛の体験」と、教科書「成人看護技術」の「疼痛管理(p.170～p.174)」について読んでくること。  
事後課題：講義後に配布する国家試験問題を解いておくこと

**第9回** 【授業テーマ】 術後合併症予防のための看護援助  
【内容・方法 等】 呼吸器合併症（呼吸法、排痰訓練含む）予防のための看護援助

【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書「周手術期看護論」パート2実践編の「V 1. 肺合併症」と、教科書「成人看護技術」の「呼吸法、排痰訓練(p.104～p.108)」について読んでくること。  
事後課題：講義後に配布する国家試験問題を解いておくこと

**第10回** 【授業テーマ】 術後合併症予防のための看護援助  
【内容・方法 等】 循環器合併症予防のための看護援助

【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書「周手術期看護論」パート2実践編の「V 2. 循環不全」を読み、術後の体液バランスと輸液管理についてまとめておくこと  
事後課題：講義後に配布する国家試験問題を解いておくこと

**第11回** 【授業テーマ】 術後合併症予防のための看護援助  
【内容・方法 等】 消化器合併症（イレウス）予防のための看護援助

【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書「周手術期看護論」パート2実践編の「V 3. イレウス」を読んでくること。  
事後課題：講義後に配布する国家試験問題を解いておくこと

**第12回** 【授業テーマ】 術後合併症予防のための看護援助  
【内容・方法 等】 術後感染、縫合不全（創傷管理・ドレーン管理含む）

【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書「周手術期看護論」パート2実践編の「V 4. 術後感染、5. 縫合不全」と、教科書「成人看護技術」の「ドレーン管理(p.190～p.192)」について読んでくること。  
事後課題：講義後に配布する国家試験問題を解いておくこと

**第13回** 【授業テーマ】 形態変化や機能障害への適応とセルフケア能力獲得促進のための看護援助

【内容・方法 等】 胃切除を受ける対象に対する看護援助  
【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書「周手術期看護論」パート2実践編の「VII 4. 開腹術を受ける人の看護」を読み、胃がんの原因と誘因、症状と発生機序、分類と進行度、術式と各術式の特徴（切除部位、再建方法）などをまとめておくこと  
事後課題：講義後に配布する国家試験問題を解いておくこと

**第14回** 【授業テーマ】 形態変化や機能障害への適応とセルフケア能力獲得促進のための看護援助

【内容・方法 等】 開心術を受ける対象に対する看護援助  
【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書「周手術期看護論」パート2実践編の「VII 2. 開心術を受ける人の看護」を読んでくること。

事後課題：講義後に配布する国家試験問題を解いておくこと

**第15回** 【授業テーマ】 形態変化や機能障害への適応とセルフケア能力獲得促進のための看護援助

【内容・方法 等】 人工股関節置換術を受ける対象に対する看護援助

【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書「周手術期看護論」パート2実践編のVII 7. 運動器の手術を受ける人の看護」を読み、関節リウマチの原因と誘因、症状と発生機序、分類、術式と各術式の特徴などをまとめておくこと  
事後課題：講義後に配布する国家試験問題を解いておくこと

**評価方法（基準）**

定期試験(事後課題の国家試験問題を試験範囲に含める)  
評価割合：定期試験100%

**教材等**

**教科書**…1. 雄西智恵美・秋元典子編：成人看護学 周手術期看護論(第3版). スーヴェルヒロカワ (目安価格2,520円)  
2. 野島真奈美 他編：看護学テキストNiCE 成人看護学 成人看護技術. 南江堂 (目安価格3,150円)

**参考書**…1. 林直子・佐藤まゆみ編：看護学テキストNiCE 成人看護学 急性期看護Ⅰ－概論・周手術期看護. 南江堂  
2. 佐藤まゆみ・林直子編：看護学テキストNiCE 成人看護学 急性期看護Ⅱ－救急看護. 南江堂  
3. 池松裕子・山勢善江編：成人看護学 急性期看護論. スーヴェルヒロカワ  
4. 山勢博彰編：成人看護学 救急看護論. スーヴェルヒロカワ  
5. 矢永勝彦著：系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論. 医学書院  
6. 中島恵美子・山崎智子他編：ナーシング・グラフィカEX③ 周手術期看護. メディカ出版

**学生へのメッセージ**

急性期にある対象に対しては、迅速な対処を必要とされることが多く、看護の展開が速いのが特徴です。習得した知識を個別の対象に適用できるためには、十分な事前・事後学習が不可欠です

**関連科目**

成人看護学概論Ⅰ・Ⅱ  
成人病態看護論  
人体の構造と機能Ⅰ～Ⅳ  
病理学総論  
疾病治療論Ⅰ・Ⅱ  
感染と防御

**担当者の研究室等**

7号館3階 研究室30（竹下）

**成人看護学援助論II**  
Adult Nursing II

山本裕子 (ヤマモト ユウコ)  
松本葉子 (マツモト ヨウコ)  
森谷利香 (モリヤ リカ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

【概要】  
慢性的な健康問題のある成人期の人々を理解し、対象が主体的に療養生活に取り組むために必要な看護援助を学習する。また代表的な慢性病をモデルにして、疾病や症状をコントロールするために必要とされる対象のセルフケア、ストレスコーピング、生活の再構築や適応を促進するための看護の援助方法について学習する。

【学習目的】  
慢性的な健康問題を有する成人期の対象と家族の特徴を踏まえ、そのQOLの維持・向上、および主体的な療養生活に向けた看護を実践する能力を身につけることができる。

【一般目標】  
1. 慢性的な健康問題を有する成人期の対象(以下「対象」)とその家族が、慢性的な健康問題によって受ける心身や生活、QOL、倫理的な影響について説明できる。  
2. 代表的な慢性病をモデルにして、対象とその家族の、QOLの維持・向上のために必要なセルフケア、ストレスコーピング、あるいは生活の再構築や適応の促進に向けた看護の援助方法について理解し、また、これに関連する援助技術を習得できる。

3. 代表的な慢性病をモデルにして、対象とその家族が主体的な療養生活を送り、QOLの維持・向上のために必要なチーム医療

について理解し、看護の役割について説明できる。

4. 対象とその家族の看護問題の解決に向けて、主体的な学習態度で取り組むことができる。また、看護職者としての価値観、態度、信念を養う。

#### 授業方法と留意点

授業方法は講義を中心とし、演習やグループワークを含める。事前学習と講義をつなげて理解を深め、事後には復習やレポート課題によって知識の確実な習得を目指すとともに自分の考えをまとめる。また、講義の途中で小テストを行い、知識の確認を行う。

#### 科目学習の効果(資格)

看護師国家試験受験のための必須科目である

#### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】セルフケアを促進するための看護援助1)  
【内容・方法等】慢性心不全により活動耐性の低下した患者の理解と看護①  
【事前・事後学習課題】 【事前学習】  
課題1を中心に、病態の復習を行うこと。教科書第V章-2-4を読んでおくこと。  
【事後学習】  
教科書と資料の内容を復習すること。
- 第2回 【授業テーマ】セルフケアを促進するための看護援助2)  
【内容・方法等】慢性心不全により活動耐性の低下した患者の理解と看護②  
【事前・事後学習課題】 【事前学習】  
課題1を中心に、病態の復習を行うこと。教科書第V章-2-4を読んでおくこと。  
【事後学習】  
教科書と資料の内容を復習すること。
- 第3回 【授業テーマ】セルフケアを促進するための看護援助3)  
【内容・方法等】慢性腎不全により恒常性の維持が困難になった患者の理解と看護①  
【事前・事後学習課題】 【事前学習】  
課題5を中心に、病態の復習を行うこと。教科書第V章-5-1を読んでおくこと。  
【事後学習】  
教科書と資料の内容を復習すること。
- 第4回 【授業テーマ】セルフケアを促進するための看護援助4)  
【内容・方法等】慢性腎不全により恒常性の維持が困難になった患者の理解と看護②  
【事前・事後学習課題】 【事前学習】  
課題5を中心に、病態の復習を行うこと。教科書第V章-5-1を読んでおくこと。  
【事後学習】  
教科書と資料の内容を復習すること。
- 第5回 【授業テーマ】セルフケアを促進するための看護援助5)  
【内容・方法等】糖尿病によりライフスタイルの修正が必要な患者の理解と看護①  
【事前・事後学習課題】 【事前学習】  
課題4を中心に、病態の復習を行うこと。教科書第V章-4-1を読んでおくこと。  
【事後学習】  
教科書と資料の内容を復習すること。
- 第6回 【授業テーマ】セルフケアを促進するための看護援助6)  
【内容・方法等】糖尿病によりライフスタイルの修正が必要な患者の理解と看護②  
【事前・事後学習課題】 【事前学習】  
課題4を中心に、病態の復習を行うこと。教科書第V章-4-1を読んでおくこと。  
【事後学習】  
教科書と資料の内容を復習すること。またレポートを課す。
- 第7回 【授業テーマ】ストレスコーピングを促進するための看護援助1)  
【内容・方法等】慢性肝炎により肝硬変・肝がんへの進行の不安を抱く患者の理解と看護①  
【事前・事後学習課題】 【事前学習】  
課題3を中心に、病態の復習を行うこと。教科書第V章-3-2, 3, 4を読んでおくこと。  
【事後学習】  
教科書と資料の内容を復習すること。
- 第8回 【授業テーマ】ストレスコーピングを促進するための看護援助2)  
【内容・方法等】慢性肝炎により肝硬変・肝がんへの進行の不安を抱く患者の理解と看護②  
【事前・事後学習課題】 【事前学習】  
課題3を中心に、病態の復習を行うこと。教科書第V章-3-2, 3, 4を読んでおくこと。  
【事後学習】  
教科書と資料の内容を復習すること。
- 第9回 【授業テーマ】ストレスコーピングを促進するための看護援助3)  
【内容・方法等】白血病の寛解をめざす患者の理解と看護①  
【事前・事後学習課題】 【事前学習】  
課題7を中心に、病態の復習を行うこと。教科書第V章-6-

2を読んでおくこと。

【事後学習】

教科書と資料の内容を復習すること。

- 第10回 【授業テーマ】ストレスコーピングを促進するための看護援助4)  
【内容・方法等】白血病の寛解をめざす患者の理解と看護②  
【事前・事後学習課題】 【事前学習】  
課題7を中心に、病態の復習を行うこと。教科書第V章-6-2を読んでおくこと。  
【事後学習】  
教科書と資料の内容を復習すること。
- 第11回 【授業テーマ】ストレスコーピングを促進するための看護援助5)  
【内容・方法等】肺がんによる症状マネジメントを必要とする患者の理解と看護  
【事前・事後学習課題】 【事前学習】  
課題2を中心に、病態の復習を行うこと。教科書第V章-1-3を読んでおくこと。  
【事後学習】  
教科書と資料の内容を復習すること。
- 第12回 【授業テーマ】生活の再構築や適応を促進するための看護援助1)  
【内容・方法等】膠原病(関節リウマチ)によりライフイベントに影響を受ける患者の理解と看護  
【事前・事後学習課題】 【事前学習】  
課題6を中心に、病態の復習を行うこと。教科書第V章-6-4を読んでおくこと。  
【事後学習】  
教科書と資料の内容を復習すること。
- 第13回 【授業テーマ】生活の再構築や適応を促進するための看護援助2)  
【内容・方法等】筋萎縮性側索硬化症により身体活動が制限された患者の理解と看護①  
【事前・事後学習課題】 【事前学習】  
課題8を中心に、病態の復習を行うこと。教科書第V章-7-3を読んでおくこと。  
【事後学習】  
教科書と資料の内容を復習すること。
- 第14回 【授業テーマ】生活の再構築や適応を促進するための看護援助3)  
【内容・方法等】筋萎縮性側索硬化症により身体活動が制限された患者の理解と看護②  
【事前・事後学習課題】 【事前学習】  
課題8を中心に、病態の復習を行うこと。教科書第V章-7-3を読んでおくこと。  
【事後学習】  
教科書と資料の内容を復習すること。またレポートを課す。
- 第15回 【授業テーマ】学習のまとめ  
【内容・方法等】学んだことを整理し、慢性の病の特徴を踏まえ、対象を理解する  
【事前・事後学習課題】 【事前学習】  
第1回~14回の講義の内容を復習しておくこと。  
【事後学習】  
レポートを課す。
- 評価方法(基準)  
筆記試験(75%)、小テスト(10%)、レポート(15%)の内容を総合して評価する。
- 教材等  
教科書…鈴木久美他「慢性期看護」南江堂  
他、講義において資料を配布する  
参考書…鈴木志津枝他「慢性期看護論」ヌーヴェルヒロカワ  
・浅野浩一郎他「系統看護学講座」専門分野Ⅱ成人看護学(2)呼吸器 医学書院  
・上塚芳郎他「系統看護学講座」専門分野Ⅱ成人看護学(3)循環器 医学書院  
・飯野京子他「系統看護学講座」専門分野Ⅱ成人看護学(4)血液・造血器 医学書院  
・金田智他「系統看護学講座」専門分野Ⅱ成人看護学(5)消化器 医学書院  
・黒江ゆり子他「系統看護学講座」専門分野Ⅱ成人看護学(6)内分泌・代謝 医学書院  
・井手隆文他「系統看護学講座」専門分野Ⅱ成人看護学(7)脳・神経 医学書院  
・大東貴志他「系統看護学講座」専門分野Ⅱ成人看護学(8)腎・泌尿器 医学書院  
・岩田健太郎他「系統看護学講座」専門分野Ⅱ成人看護学(11)アレルギー・膠原病・感染症 医学書院
- 学生へのメッセージ  
本科目ではさまざまな慢性の病を持つ対象と家族への看護を学びます。慢性の病をもつ対象への関心を深め、また今後の看護実践につなげるために、積極的に学習してください。
- 関連科目

成人看護学概論、成人病態看護論、疾病・治療論Ⅰ～Ⅱ、人体の構造と機能Ⅰ～Ⅳ、病理学総論  
**担当者の研究室等**  
 研究室29(森谷)

専  
門  
科  
目

**成人病態看護論**  
 Adult Nursing in Clinical State

川 畑 安 正 (カワハタ ヤスマサ)  
 山 本 裕 子 (ヤマモト ユウコ)  
 松 本 葉 子 (マツモト ヨウコ)  
 竹 下 裕 子 (タケシタ ヒロコ)  
 森 谷 利 香 (モリヤ リカ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

**【概要】**

様々な症状を呈する成人期の人々に対して、看護を提供するためには、その症状の原因や発生機序、経過、増悪あるいは軽減させる要因について理解する必要がある。本科目では、成人期にある対象の主要な症状を取り上げて、病態とその病態が対象者に及ぼす身体的・心理的・社会的な影響及び的確なアセスメントと看護援助の方法について学習する。

**【目的】**

疾病やそれに伴う治療・処置、または、事故や災害などにより発現あるいは増悪する身体症状について、その体験が成人期の対象やその家族に与える身体的・心理社会的影響をふまえ、アセスメントから看護実践につなげる方法を理解する。なお、疾病については発症から終末までのすべての病期を含む。

**【一般目標】**

1. 症状を発現する病態を理解する
2. 症状がもたらす今後の予測される経過とそれに対する看護方針を理解する
3. 症状の予防、緩和、および、症状に伴う苦痛の軽減、二次障害の予防のための看護実践方法を理解する
4. 終末期にある対象を総合的・全人的に理解し、苦痛の緩和とその人らしさを支える看護実践及び、看取りをする家族への看護について理解する

**授業方法と留意点**

授業方法は講義を中心として、一部は模擬患者（ペーパーペーシエント）を用いて演習を行う。

**科目学習の効果（資格）**

病態や症状に関する看護方法は、看護を实践するうえで不可欠な基礎的能力です。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 症状を体験する成人の理解と看護  
 消化・吸収・代謝機能に関連する症状と看護1  
**【内容・方法等】** 症状のとらえ方、症状のメカニズム、症状をもつ対象のアセスメント、症状をもつ対象への看護  
 便秘：症状の定義とメカニズム、随伴症状と二次障害、症状に対する検査と治療、症状をもつ対象のアセスメント、  
 症状をもつ対象への看護方針と援助方法  
**【事前・事後学習課題】** 事前：病気がみえるVol.1消化器の〈解剖〉、〈生理〉、および、「便秘」に関連する箇所の復習  
 事後：教科書および資料の復習
- 第2回** 【授業テーマ】 消化・吸収・代謝機能に関連する症状1  
**【内容・方法等】** 悪心・嘔吐：症状の定義とメカニズム、随伴症状と二次障害、症状に対する検査と治療、症状をもつ対象のアセスメント、症状をもつ対象への看護方針と援助方法  
**【事前・事後学習課題】** 事前：病気がみえるVol.1消化器の〈解剖〉、〈生理〉、および、「悪心・嘔吐」に関連する箇所の復習  
 事後：教科書および資料の復習
- 第3回** 【授業テーマ】 消化・吸収・代謝機能に関連する症状3  
**【内容・方法等】** 腹痛：症状の定義とメカニズム、随伴症状と二次障害、症状に対する検査と治療、症状をもつ対象のアセスメント、症状をもつ対象への看護方針と援助方法  
**【事前・事後学習課題】** 事前：病気がみえるVol.1消化器の〈解剖〉、〈生理〉、および、「腹痛」に関連する箇所の復習  
 事後：教科書および資料の復習
- 第4回** 【授業テーマ】 呼吸・循環機能に関連する症状1  
**【内容・方法等】** 咳嗽・喀痰：症状の定義とメカニズム、随伴症状と二次障害、症状に対する検査と治療、症状をもつ対象のアセスメント、症状をもつ対象への看護方針と援助方法  
**【事前・事後学習課題】** 事前：病気がみえるVol.4呼吸器の〈解剖〉、〈生理〉、および、「咳嗽・喀痰」に関連する箇所の復習

- 事後：教科書および資料の復習
- 第5回** 【授業テーマ】 呼吸・循環機能に関連する症状2  
**【内容・方法等】** 呼吸困難：症状の定義とメカニズム、随伴症状と二次障害、症状に対する検査と治療、症状をもつ対象のアセスメント、症状をもつ対象への看護方針と援助方法  
**【事前・事後学習課題】** 事前：病気がみえるVol.4呼吸器、Vol.5循環器の〈解剖〉、〈生理〉、および、「呼吸困難」に関連する箇所の復習  
 事後：教科書および資料の復習
- 第6回** 【授業テーマ】 呼吸・循環機能に関連する症状3  
**【内容・方法等】** 胸痛：症状の定義とメカニズム、随伴症状と二次障害、症状に対する検査と治療、症状をもつ対象のアセスメント、症状をもつ対象への看護方針と援助方法  
**【事前・事後学習課題】** 事前：病気がみえるVol.4呼吸器、Vol.5循環器の〈解剖〉、〈生理〉、および、「胸痛」に関連する箇所の復習  
 事後：教科書および資料の復習
- 第7回** 【授業テーマ】 循環機能に関連する症状1  
**【内容・方法等】** 動悸：症状の定義とメカニズム、随伴症状と二次障害、症状に対する検査と治療、症状をもつ対象のアセスメント、症状をもつ対象への看護方針と援助方法  
**【事前・事後学習課題】** 事前：病気がみえるVol.5循環器の〈解剖〉、〈生理〉、および、「動悸」に関連する箇所の復習  
 事後：教科書および資料の復習
- 第8回** 【授業テーマ】 循環機能に関連する症状2  
**【内容・方法等】** 浮腫：症状の定義とメカニズム、随伴症状と二次障害、症状に対する検査と治療、症状をもつ対象のアセスメント、症状をもつ対象への看護方針と援助方法  
**【事前・事後学習課題】** 事前：病気がみえるVol.5循環器Vol.8腎・泌尿器の〈解剖〉、〈生理〉、および、「浮腫」に関連する箇所の復習  
 事後：教科書および資料の復習
- 第9回** 【授業テーマ】 循環機能に関連する症状3  
**【内容・方法等】** ショック：症状の定義とメカニズム、随伴症状と二次障害、症状に対する検査と治療、症状をもつ対象のアセスメント、症状をもつ対象への看護方針と援助方法  
**【事前・事後学習課題】** 事前：病気がみえるVol.5循環器の〈解剖〉、〈生理〉、および、「ショック」に関連する箇所の復習  
 事後：教科書および資料の復習
- 第10回** 【授業テーマ】 脳神経機能に関連する症状1  
**【内容・方法等】** 意識障害、昏睡：症状の定義とメカニズム、随伴症状と二次障害、症状に対する検査と治療、症状をもつ対象のアセスメント、症状をもつ対象への看護方針と援助方法  
**【事前・事後学習課題】** 事前：病気がみえるVol.7脳・神経の〈神経系の構造と機能〉、および、「意識障害(p456)」の復習  
 事後：教科書および資料の復習
- 第11回** 【授業テーマ】 脳神経機能に関連する症状2  
**【内容・方法等】** 運動麻痺：症状の定義とメカニズム、随伴症状と二次障害、症状に対する検査と治療、症状をもつ対象のアセスメント、症状をもつ対象への看護方針と援助方法  
**【事前・事後学習課題】** 事前：病気がみえるVol.7脳・神経の〈運動・感覚・自律神経〉のp160-177の復習  
 事後：教科書および資料の復習
- 第12回** 【授業テーマ】 症状をもつ対象のアセスメント  
**【内容・方法等】** 模擬事例1を使用したアセスメントの解説  
 模擬事例2を使用したグループ演習  
**【演習内容】**  
 1. 情報整理  
 2. 症状の状態、および、症状に関連している因子の分析  
 3. 症状にともなう今後の経過の予測  
 4. 症状をもつ対象の看護上の問題の明確化  
**【事前・事後学習課題】** 事前：1～11回の授業の復習  
 事後：【演習内容】1と2の個人ワーク
- 第13回** 【授業テーマ】 症状をもつ対象のアセスメント2  
**【内容・方法等】** 第12回「症状をもつ対象のアセスメント」と同様  
**【事前・事後学習課題】** 事前：【演習内容】1と2の個人ワーク  
 事後：グループ課題の提出
- 第14回** 【授業テーマ】 終末期看護  
**【内容・方法等】** 終末期の対象の特徴  
 終末期にある人とその家族への看護援助  
**【事前・事後学習課題】** 事前：成人看護学概論Ⅱの教科書および授業資料の終末期の対象の特徴と看護に関連する部分の復習  
 事後：資料の復習
- 第15回** 【授業テーマ】 終末期の特徴的な症状  
**【内容・方法等】** 疼痛：症状の定義とメカニズム、随伴症状と二次障害、症状に対する検査と治療、症状のアセスメント、

症状をもつ対象への看護方針と援助方法  
**【事前・事後学習課題】** 事前：教科書1. の「がん性疼痛」の〈基礎的知識〉を予習  
 事後：教科書および資料の復習

**評価方法（基準）**  
 定期試験（85%）、提出課題（15%）により総括評価する。

**教材等**  
**教科書**…高木永子監修『看護過程に沿った対症看護 病態生理と看護のポイント 第4版』学研  
 随時資料を配布

- 参考書**…
1. 福本陽平等 監修 『病気がみえる vol.1 消化器』メディックメディア
  2. 萩原誠久等 監修 『病気がみえる vol.2 循環器』メディックメディア
  3. 弘世貴久等 監修 『病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌』メディックメディア
  4. 滝澤始等 監修 『病気がみえる vol.4 呼吸器』メディックメディア
  5. 土屋達行等 監修 『病気がみえる vol.5 血液』メディックメディア
  6. 森尾友宏等 監修 『病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症』メディックメディア
  7. 尾上尚志等 監修 『病気がみえる vol.7 脳・神経』メディックメディア
  8. 池森(上條)敦子等 監修 『病気がみえる vol.8 腎・泌尿器』メディックメディア
  9. 井上智子 佐藤千史 編 『緊急度・重症度からみた症状別看護過程+病態関連図』医学書院（5,000円+税）
  10. 池松裕子 山内豊明 編 『Basic Nursing シリーズ症状・徴候別アセスメントと看護ケア』（4,800円+税）

**学生へのメッセージ**  
 関連科目の理解が本科目の学習につながるため、予習復習を確実に行ってください。原則として演習を欠席した場合の補講は実施しない。

**関連科目**  
 人体の構造と機能1～4、疾病・治療論1～2、病理学総論、成人看護学概論1～2、成人看護援助論1～2

**担当者の研究室等**  
 研究室28（松本）

### 成人看護学援助方法 Adult Nursing Skills

川 畑 安 正 (カワハタ ヤスマサ)  
 山 本 裕 子 (ヤマモト ユウコ)  
 松 本 葉 子 (マツモト ヨウコ)  
 竹 下 裕 子 (タケシタ ヒロコ)  
 森 谷 利 香 (モリヤ リカ)  
 未決定 (看護学部) (ミケッテイ カンゴガクブ)  
 未決定 (看護学部) (ミケッテイ カンゴガクブ)  
 坂 井 利 衣 (サカイ トシエ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	1

### 授業概要・目的・到達目標

**【概要】**  
 成人期にある看護の対象となる人々の健康段階における代表的な健康問題のある事例を取り上げて、看護過程の展開について学習する。また、成人看護学において必要とされる看護技術について、演習を通して修得する。

**【目的】**  
 成人期にある対象、およびその家族のニーズを、健康レベルや生活背景を踏まえてアセスメントしたうえで、根拠に基づいた看護を計画展開できる基礎的能力を養う。また、アセスメントをもとにした模擬患者への看護援助技術の提供や患者役の体験を通して、より適切な看護援助技術の実践に向けた事故の課題に気付くことができる。学内実習の振り返りをおして、看護職者としての倫理観やより質の高い看護実践を展開する応用力を養う。

**【目標】**  
 1. 成人期にある対象に適切な看護技術を提供するための情報を得る方法を模擬患者への実践をおして考察する。  
 2. 進退情報の判断に応じた看護技術の模擬患者への実践をおして、自己の判断や技術を評価する。  
 3. 模擬患者の情報をもとに、根拠に基づいた看護を計画する方法を理解する。

4. 模擬患者への看護援助およびロールプレイをおして、対症への倫理的配慮をふまえた態度を考察する。

### 授業方法と留意点

授業方法は模擬患者（ペーパーペーシェントやシミュレータ）を用いたグループでの演習を中心に行う。原則として欠席は認めない。

### 科目学習の効果（資格）

成人看護学実習で実際に活用する援助方法です。

### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 救急時の看護技術：一次および二次救命処置  
**【内容・方法等】** 一次救命処置（BLS）の実施  
 自動体外式除細動器（AED）の実施  
**【事前・事後学習課題】** 事前課題：教科書『成人看護技術』のp226-247を読んで、事後課題：演習実施後の振り返りを通し、レポートをまとめ、提出する。
- 第2回** 【授業テーマ】 輸液管理技術  
**【内容・方法等】** 輸液ポンプとシリンジポンプを使用した輸液の実施  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：配布資料参照  
 事後学習：実施を振り返り、事後課題を仕上げ、提出する。
- 第3回** 【授業テーマ】 看護過程1  
**【内容・方法等】** 事例（ペーパーペーシェント）をもとにグループワークにより看護過程を展開する  
 アセスメント（情報の解釈・分析・統合）、看護問題の明確化  
**【事前・事後学習課題】** 事前課題：演習に関する資料および課題を事前に配布する。事前課題を完成していない場合、演習への参加を認めない。  
 事後課題：グループワークの記録の提出
- 第4回** 【授業テーマ】 看護過程2  
**【内容・方法等】** 第3回 看護過程1と同様  
**【事前・事後学習課題】** 第3回 看護過程1と同様
- 第5回** 【授業テーマ】 看護過程3  
**【内容・方法等】** 第3回 看護過程1と同様  
**【事前・事後学習課題】** 第3回 看護過程1と同様
- 第6回** 【授業テーマ】 看護過程4  
**【内容・方法等】** 事例（ペーパーペーシェント）をもとにグループワークにより看護過程を展開する  
 目標の設定、看護計画の立案  
**【事前・事後学習課題】** 事前課題：演習に関する資料および課題を事前に配布する。事前課題を完成していない場合、演習への参加を認めない。  
 事後課題：グループワークの記録の提出
- 第7回** 【授業テーマ】 看護過程5  
**【内容・方法等】** 第6回 看護過程4と同様  
**【事前・事後学習課題】** 第6回 看護過程4と同様
- 第8回** 【授業テーマ】 術後患者の看護1-1  
**【内容・方法等】** 術後に病室に入室した時の最初の観察を実施する  
 実施を振り返り、術直後の対象の特徴に合わせた観察方法を考察する  
**【事前・事後学習課題】** 事前課題：配布資料参照  
 事後課題：実施の振り返りを通したレポートの作成と提出
- 第9回** 【授業テーマ】 術後患者の看護1-2  
**【内容・方法等】** 第8回 術後患者の看護1-1と同様  
**【事前・事後学習課題】** 第8回 術後患者の看護1-1と同様
- 第10回** 【授業テーマ】 慢性的な健康問題を持つ対象の看護1  
**【内容・方法等】** 慢性的な健康問題を持つ対象への患者教育技術を実践する  
 ・対象の教育課題に応じた媒体を部分的に作成する  
 ・対象への技術教育を実践する  
 ・対象に有用な教育方法を考察する  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：配布資料を読み、技術の手順と留意点を確認する。また、資料の事例に対する技術教育のシナリオを検討し、教育媒体を部分的に作成する。  
 事後学習：演習での技術教育の場面を振り返るとともに対象に有用な教育方法を考察する。
- 第11回** 【授業テーマ】 慢性的な健康問題を持つ対象の看護2  
**【内容・方法等】** 慢性的な健康問題を持つ対象への患者教育技術を実践する  
 ・対象の教育課題に応じた媒体を部分的に作成する  
 ・対象への技術教育を実践する  
 ・対象に有用な教育方法を考察する  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：配布資料を読み、技術の手順と留意点を確認する。また、資料の事例に対する技術教育のシナリオを検討し、教育媒体を部分的に作成する。  
 事後学習：演習での技術教育の場面を振り返るとともに対象に有用な教育方法を考察する。
- 第12回** 【授業テーマ】 術後患者の看護2-1  
**【内容・方法等】** ・術後1日目の早期離床および清潔ケアの援助を実践する。  
 ・術後の患者に挿入されている点滴・ドレーン類の適切な扱い方を学ぶ。

- 【事前・事後学習課題】** 事前課題：配布する課題に沿って、早期離床および清潔ケアの意義、手順などをまとめる。事後課題：実践の振り返りを行い、手順やポイントなどを追加修正をした上で課題を完成させて提出する。
- 第13回** **【授業テーマ】** 術後患者の看護2-2  
**【内容・方法等】** 第12回 術後患者の看護2-1と同様  
**【事前・事後学習課題】** 第12回 術後患者の看護2-1と同様
- 第14回** **【授業テーマ】** 気道浄化ケア1  
**【内容・方法等】** 気道内分泌物の排出の援助：排痰法、体位ドレナージ、吸引  
**【事前・事後学習課題】** 事前課題：配布資料参照  
事後課題：実践後の振り返りレポート
- 第15回** **【授業テーマ】** 気道浄化ケア2  
**【内容・方法等】** 第14回 気道浄化ケア1と同様  
**【事前・事後学習課題】** 第14回 気道浄化ケア1と同様
- 評価方法（基準）**  
定期試験（30%）、演習課題の達成状況（70%）により総括評価する。

**教材等**

- 教科書**…1. 野島真奈美 他編 『看護学テキストNiCE 成人看護学 成人看護技術』 南江堂  
2. 雄西智恵美 秋元典子 編 『成人看護学 周手術期看護論(第3版)』 ヌーヴェルヒロカワ  
3. 鈴木久美 他 『慢性期看護』 南江堂
- 参考書**…関連科目の教科書  
その他

1. 大池美也子 川本利恵子 編 『根拠がわかる成人看護技術』 メヂカルフレンド社  
2. 大阪ライフサポート協会 他 『改訂版BLS：写真と動画でわかる一次救命処置』 学研メディカル秀潤社  
3. 本郷久美子 監訳 『基本から学ぶ看護過程と看護診断』 医学書院  
4. 道又元裕 編 『クリティカルケア看護技術の実践と根拠』 中山書店

**学生へのメッセージ**

関連科目の理解が本科目の学習につながるため、予習復習を確実に行ってください。原則として演習を欠席した場合の補講は実施しません。グループ学習を基本とします。メンバー間でよい学びができるよう協力してください。また、看護はチーム医療の一員です。グループワークを通し、リーダーシップやメンバーシップを習得してください。

**関連科目**

人体の構造と機能1～4、疾病・治療論1～2、病理学総論、成人看護学概論1～2、成人看護援助論1～2、成人病態看護論

**担当者の研究室等**

研究室28（松本）

**成人看護学実習I**

Clinical Practice in Adult Nursing I

- 川 畑 安 正 (カワハタ ヤスマサ)  
松 本 葉 子 (マツモト ヨウコ)  
竹 中 泉 (タケナカ イズミ)  
竹 下 裕 子 (タケシタ ヒロコ)  
森 谷 利 香 (モリヤ リカ)  
志 戸 岡 恵 子 (シドオカ ケイコ)  
未決定 (看護学部) (ミケッテイ カンゴガクブ)  
未決定 (看護学部) (ミケッテイ カンゴガクブ)  
未決定 (看護学部) (ミケッテイ カンゴガクブ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	必修	3

**授業概要・目的・到達目標**

**【授業概要】**

急性状態を経過している成人期の人々に対して援助的人間関係を築き、対象を身体的・心理社会的側面から理解して、身体的・心理的危機を乗り越え、自己管理に向かうことができるよう、看護実践に必要な能力及び態度を修得する。

**【実習目的】**

1. 既習の看護実践に必要な知識・技術・態度を実際の場面に応用し、手術療法を受ける対象を全人的にとらえ、理論と実践を結びつけた看護活動を展開する能力を養う。
2. 周手術期における看護の機能と役割について理解し、保健・医療・福祉の分野におけるチームの一員として、協働・連携するための基礎的能力を養う。
3. 実習を通して、看護観と看護職者に求められる倫理観を深

めて人間的に成長し、専門職業人として自己研鑽を積む能力を育む。

**【実習目標】**

1. 手術を受ける対象と関係を築きながら全人的に理解し、援助的関係を形成できる。
2. 手術を受ける対象の個別的特徴や状態を理解し、看護過程を通して根拠に基づいた看護を実践できる。
3. 術前・術中・術後の基本的な看護技術を原理・原則に基づき安全・安楽に実施できる。
4. 周手術期の全過程を通じて一貫性・連続性を維持できるよう、医療チームの一員として関係職者との協働・連携の必要性について理解できる。
5. 実習を通して、人間の尊厳と権利を尊重した態度を身につけ、看護実践における倫理的な感性を高めることができる。
6. 自らの実践を振り返ることで自己の課題を見出し、自己研鑽し続けることの重要性が理解できる。

**授業方法と留意点**

**【実習方法】**

1. 実習施設で3週間の臨地実習を行う。
2. 原則として1グループ5名編成とし、担当教員の指導を受ける。
3. 実習前に、実習目的・目標、実習計画、事前学習、実習施設概要、留意事項等のオリエンテーションを受ける。
4. 実習目的・目標をもとに、自分の実習における目標と課題を明確にする。
5. 成人期特有の健康障害の急性期にある対象の看護に関する事前学習をして実習に臨む。
6. 手術を受ける対象を1名受け持ち、その対象を通して学習する。
7. 受け持ち対象の周手術期の経過に応じた看護過程を展開する。
8. 原則受け持ち対象の手術の見学実習を行う。
9. 毎日、学生主体のカンファレンスを行い、自分の一日の振り返りと翌日の計画や、実習メンバーの受け持ち対象の看護内容について意見交換し理解を深める。
10. 実習目標に関連したテーマでカンファレンスを行う。
11. 実習記録は、必ず記録し、教員および臨地実習指導者からの助言・指導を受ける。
12. 実習最終日に、実習グループで、実習における学びを発表し、他グループの発表と意見交換を通して学びを共有する。

**【実習施設】**

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

**【実習内容】**

1. 対象の身体的、心理社会的状態を理解し、全体像をとらえる。
2. 対象への病名告知、治療方法・手術の説明内容をふまえて、対象の意思決定の過程を理解する。
3. 対象やその家族と援助的関係を形成する。
4. 対象の全体像をとらえたうえで、看護問題を抽出し、優先順位を決定する。
5. 看護計画を立案し、実施、評価、修正する。
6. 受け持ち終了時に、現在の状態の要約、継続看護の視点においてサマリーを記録する。
7. 手術に向けた身体的、心理社会的準備状態をふまえて、術前オリエンテーション・術前準備について理解する。
8. 手術見学を通して対象が受けた麻酔・手術内容および手術経過を理解する。
9. 手術室看護師が実施する看護を見学し、その目的を理解する。
10. 手術室の清潔環境を維持するための行動をする。
11. 麻酔・手術侵襲に対する生体反応をふまえて術後合併症の予防に向けた援助をする。
12. 術後合併症の早期発見につながる観察をする。
13. 手術による形態機能変化に対して必要となる新たなセルフケア能力獲得をうながすための援助をする。
14. 周手術期の各段階で、対象にかかわる職種や部門の役割を理解する。
15. 医療チームにおける看護師の役割および関係職種との協働・連携の必要性を理解する。
16. 実習を通して、人間の尊厳と権利を尊重した態度を身につける。
17. 対象が直面する倫理的課題に対する自らの考えを述べる。
18. 対象の看護に積極的に参加し、自らの行動に責任をもつ。
19. グループディスカッションを通して、疾患・術式、個別的特徴による看護実践の違いを明確にする。
20. 自らの看護実践の振り返りにより自己の課題を見出す。
21. 理論的知識や先行研究の成果などを探索し、自らの学習に活用する。

**評価方法・評価基準**

実習期間出席した上で、事前学習、記録提出物、実習に対する態度、実習目標に対する学生の自己評価および教員評価などから総合的に評価する。

**教材等**

**教科書**…成人看護学領域の授業科目で使用した教科書、提示した資料等。 疾病・治療論で使用した教科書、提示した資料等。

備考

参考書…必要に応じて適宜紹介する。

【学生へのメッセージ】

対象の経過は急性に短期間に変わるので、その時の対象の反応に対してどのような援助が必要か、自分の観察力、洞察力を発揮し、また自分の課題とも向き合い、自己の成長につなげてください。

成人看護学実習II

Clinical Practice in Adult Nursing II

- 山本 裕子 (ヤマモト ユウコ)
- 松本 葉子 (マツモト ヨウコ)
- 竹中 泉 (タケナカ イズミ)
- 竹下 裕子 (タケシタ ヒロコ)
- 森谷 利香 (モリヤ リカ)
- 志戸岡 恵子 (シドオカ ケイコ)
- 未決定 (看護学部) (ミケッテイ カンゴガクブ)
- 未決定 (看護学部) (ミケッテイ カンゴガクブ)
- 未決定 (看護学部) (ミケッテイ カンゴガクブ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	必修	3

授業概要・目的・到達目標

【概要】

慢性的な健康問題のある成人期の人々に対して、援助の人間関係を築き、対象者を身体的・心理的・社会的側面から理解して、QOLの充実に向けて対象者が主体的に療養生活に取り組むことができるよう、看護実践に必要な能力および態度を修得する。

【目的】

慢性的な経過をたどる健康障がいをもつ対象者とその家族を理解し、その人らしく生きていくことができるよう支援するために必要な知識・技術・態度を養う。

【目標】

1. 慢性的な健康問題を有する成人期の対象(以下「対象」とその家族の健康状態と多様な背景について発達段階・発達の特性を踏まえて説明できる。
2. 対象とその家族と援助的人間関係を築くことができる。
3. 対象の健康状態や療養上のニーズについて生活背景を踏まえてアセスメントし、QOLの維持・向上のために根拠に基づいた看護を計画し、実践できる。
4. 対象とその家族のQOLの維持・向上に必要なチーム医療について理解し、チームにおける看護の役割について説明できる。
5. 対象とその家族が直面している倫理的課題について理解し、意思決定の尊重と権利擁護のための行動がとれる。
6. 自らの看護実践について、対象と家族のQOLの維持・向上にどのように貢献したのか、また、自己の看護者としての成長について振り返り、課題を明らかにできる。また、課題の解決に向けて主体的な学習態度で取り組むことができる。

授業方法と留意点

【実習方法】

1. 実習方法
  - 1) 実習グループは原則として1グループ5名編成とする。
  - 2) 実習目的・目標、実習計画、事前学習、実習施設概要、留意事項などのオリエンテーションを受ける。
  - 3) 実習目的・目標達成に向けて必要な事前学習を行う。
  - 4) 臨地に出向き、看護過程に沿って、担当教員・臨地実習指導者の指導のもと実習を行う。
  - 5) カンファレンスは指定したテーマに基づいて行い、体験や学びをグループで共有するとともに、その後の実践につなげる。
  - 6) 実習中に看護過程、サマリー、カンファレンス資料、レポートなどの記録物を作成する。すべての記録物は、期日を厳守して提出する。
  - 7) 実習を通して、自己の課題を明確にする。
  - 8) 実習を通じた学びを振り返り、発表することで、学びを共有する。
2. 実習期間・病棟実習時間
 

期間…3週間  
病棟実習時間…9時～16時(うち1時間を休憩とする)
3. 実習施設
 

社団法人全国社会保険協会連合会 星ヶ丘厚生年金病院  
市立枚方市民病院  
関西医科大学附属枚方病院  
国家公務員共済組合連合会 枚方公済病院

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【実習内容】

看護過程に沿って以下のような看護を実践する。  
・コミュニケーション

- ・バイタルサインの測定、フィジカルイグザミネーション
- ・日常生活上の援助
- ・治療や処置に関する援助
- ・患者教育

評価方法・評価基準

実習目的・目標の達成状況、および事前学習から総合的に評価する。

教材等

教科書…なし

参考書…必要に応じて紹介する。

専  
門  
科  
目

老年看護学概論

Introduction to Gerontological Nursing

板倉 勲子 (イタクラ イサコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

老年看護の理念とライフサイクルにおける老年期の主要概念を理解した上で、高齢者とその家族に、健康とQOLを高めるための理論と知識及び看護の役割を学ぶ。具体的には、高齢者の現状と特徴を衛生統計を通して学び、高齢化に伴う生活に及ぼす要因について理解し、質の高い健康生活のあり方を学ぶ。さらに高齢者とその家族の健康維持のための社会保障サービスにおける看護活動について学習する。

授業方法と留意点

基本的には授業計画に沿って授業します。指定した教科書を中心に講義を進めます。必要に応じてプリントを配布しますが、プリントの内容も重要事項となります。

学生たちで発見学習、学習内容の発表も入れています。

普段から広い視野で学習する習慣を身につけましょう。

科目学習の効果(資格)

看護師国家試験の科目です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 老年看護の概念  
【内容・方法 等】 老年看護とは  
老年看護の役割と機能、原則  
【事前・事後学習課題】 老年看護を学ぶにあたり、基本的なことを講義します。  
テキストを予習して、概要をとらえておいてください。  
今後の講義や実習の根幹になりますので、しっかり復習すること。
- 第2回 【授業テーマ】 老化の概念  
【内容・方法 等】 老化現象：人が老いることについて、諸説を学びます。  
老化理論：人はなぜ老化するのかについて諸説を学びます。  
【事前・事後学習課題】 高齢者を理解するにあたり、基本的なことを講義します。  
テキストを予習して、概要をとらえておいてください。  
今後の講義や実習の根幹になりますので、しっかり復習すること。
- 第3回 【授業テーマ】 老化現象の理解(1)  
【内容・方法 等】 老年期にある人の身体的変化について学びます。  
身体的な側面から老化現象を調べてます。  
【事前・事後学習課題】 老化現象について、参考図書等を活用して、予習・復習してください。
- 第4回 【授業テーマ】 老化現象の理解(2)  
【内容・方法 等】 老年期にある人の精神的変化・社会的変化について学びます。  
精神・心理的・社会的な側面から老化現象を調べます。  
【事前・事後学習課題】 老化現象について、参考図書等を活用して、予習・復習してください。
- 第5回 【授業テーマ】 老化現象の理解(3)  
【内容・方法 等】 老年期にある人の老化現象について全体的とらえます。  
調べた内容をまとめてみましょう。  
【事前・事後学習課題】 老化現象について、参考図書等を活用して、予習・復習してください。  
調べたことをまとめ、プレゼンする準備をしましょう。
- 第6回 【授業テーマ】 老化現象の理解(4)  
【内容・方法 等】 老年期にある人の身体的・精神的・社会的変化について全体像として学びます。  
調べた内容を発表します。  
【事前・事後学習課題】 学んだことをすべて復習しましょう。  
自分なりにまとめることを試してみましょう。
- 第7回 【授業テーマ】 老化の概念・老化現象のまとめ  
【内容・方法 等】 老年期にある人の身体的・精神的・社会的変化について発表内容を振り返ります。補足事項の講義をします。

- 第8回** 【事前・事後学習課題】 発表内容の復習をしましょう。講義や他者の発表内容をきちんとまとめてみましょう。  
【授業テーマ】 高齢化社会への対応  
【内容・方法等】 我が国の高齢化現象を、衛生統計上から理解し、高齢者の生活を考えてみます。  
【事前・事後学習課題】 国民衛生の動向「第2編 衛生の主要指標」を予習しておきましょう。
- 第9回** 【授業テーマ】 高齢者を取り巻く関連法(1)  
【内容・方法等】 高齢者の保健・医療・福祉対策として、老人福祉法と老人保健法について、まず、老人福祉法から講義を進めます。  
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章と国民衛生の動向「第3編 保健と医療の動向 第2章2-1 老人保健対策の動向」を予習しておきましょう。
- 第10回** 【授業テーマ】 高齢者を取り巻く関連法(2)  
【内容・方法等】 高齢者の保健・医療・福祉対策として、老人福祉法と老人保健法について、老人保健法を中心に講義をします。  
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章と国民衛生の動向「第3編 保健と医療の動向 第2章2-1 老人保健対策の動向」を予習しておきましょう。
- 第11回** 【授業テーマ】 高齢者を取り巻く関連法(3)  
【内容・方法等】 高齢者の保健・医療・福祉対策として、介護保険法について講義をします。  
おもに、介護保険法が成立した経緯と趣旨、さらに医療法との関連、介護保険と高齢者について講義をします。  
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章と国民衛生の動向「第4編 医療保険・介護保険」を予習しておきましょう。
- 第12回** 【授業テーマ】 高齢者を取り巻く関連法(4)  
【内容・方法等】 高齢者の保健・医療・福祉対策として、介護保険法について講義をします。  
高齢者への介護保険制度として法の適応、具体的な実施について講義をします。  
さらに、高齢者とその家族へのサポートシステムについて学び、その中での看護の役割を講義をします  
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章と国民衛生の動向「第4編 医療保険・介護保険」を予習しておきましょう。
- 第13回** 【授業テーマ】 老年期にある人の看護活動  
【内容・方法等】 高齢者看護を实践する場、病院や施設、地域等における看護の特徴について講義をします。  
【事前・事後学習課題】 学んだことをすべて復習しましょう。  
学習した内容は自分でまとめること。
- 第14回** 【授業テーマ】 高齢者看護のありかた  
【内容・方法等】 高齢者との看護や関わり方の実際を映像から総合的に学びます。  
学びを課題レポートとして提出してください。  
【事前・事後学習課題】 今までに学んだことを総復習して、授業を受けてください。  
レポートには、その学びをもとに表せるよう心がけましょう。
- 第15回** 【授業テーマ】 老年期の保健指導  
【内容・方法等】 授業に前半は、老年期にある人とその家族への保健指導の方法と実際について講義をします。  
授業の後半は1回目からの総まとめをおこないます。  
【事前・事後学習課題】 学んだことをすべて復習しましょう。  
自分なりにまとめることを試してみましょう。
- 評価方法(基準)**  
定期試験(80%)、レポート(20%)  
試験は客観的問題と論述問題を合わせて出題します。  
レポートは、提出されたレポートを評価します。
- 教材等**  
教科書…奥野茂代編「老年看護学 概論と看護の実践」ヌーヴェルヒロカワ(3900円)  
参考書…厚生労働統計協会「国民衛生の動向」2013/2014(2400円)  
他の参考書は適宜、授業中に示します。
- 学生へのメッセージ**  
予習、復習はもちろんのことですが、できるだけお年寄りと接する機会を増やして、お年寄りを理解してください。
- 関連科目**  
看護学概論、公衆衛生学、老年看護学援助論1、老年看護学援助論2、看護関係法規
- 担当者の研究室等**  
7号館3階 研究室6

**老年看護学援助論 I**  
Gerontological Nursing I

板倉 勲子 (イタクラ イサコ)  
徳重 あつ子 (トクシゲ アツコ)  
金原 京子 (キンバラ キョウコ)  
七山 知佳 (ナナヤマ チカ)  
小崎 篤志 (コサキ アツシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期(30回)	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

(概要)

ヘルスプロモーションの視点から、高齢者がエイジングに適応し健康管理や健康保持増進に向けた看護について学ぶ。具体的には、加齢現象により日常生活能力が変化した高齢者に、QOLの高い生活を送るための理論と知識並びに援助について学習する。さらに高齢者体験等の演習を通して高齢者理解を深める。  
(オムニバス方式/全23回)  
(2 板倉勲子/6回)

加齢現象

(14 徳重あつ子/6回)

加齢現象に伴う日常生活能力の低下と援助方法

(2 板倉勲子、14 徳重あつ子、31 田中知佳、/3回)

高齢者疑似体験演習

(6 小崎篤志/8回)

高齢期にあたる人の身体の構造や機能変化のメカニズム、医学的対応が必要となる高齢期に起こりうる特徴的な疾病を取り上げ、疾病の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。

**授業方法と留意点**

基本的には授業計画に沿って授業を実施する。テキストを中心に授業を進めるが、プリントなどの補助教材を使用する。前半は講義中心の授業であるが、後半に、高齢者体験と、高齢者への具体的援助方法について、実習室等を使用し、演習を行う。学習の習熟度については、小テストを行うこともある。また、演習には課題レポートの提出があり、評価の対象とする。

**科目学習の効果(資格)**

看護師国家試験

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 老化による日常生活機能の低下と援助(1)  
【内容・方法等】 老化に伴いコミュニケーションにさまざまな変化が生じてくる。  
コミュニケーションに係る機能の老化現象を振り返り、高齢者との適切なコミュニケーションについての援助方法を学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 基礎看護学で学んだコミュニケーションの基本について復習し授業に臨むこと。  
授業後はきちんと復習すること。
- 第2回** 【授業テーマ】 老化による日常生活機能の低下と援助(2)  
【内容・方法等】 老化による運動機能の低下と姿勢・活動の変化について、日常生活を視点におきながら学ぶ。さらに高齢者に適切な運動と活動への援助について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 基礎看護で学んだ活動に対する基礎知識を復習して授業に臨むこと。  
授業後はきちんと復習すること。
- 第3回** 【授業テーマ】 老化による日常生活機能の低下と援助(3)  
【内容・方法等】 老化による睡眠の特徴と変化、適切な休息の取り方について学ぶ。  
高齢者の睡眠と休息への援助方法を授業する。  
【事前・事後学習課題】 基礎看護学の休息の単元の復習をして、授業に臨むこと。  
授業後はきちんと復習すること。
- 第4回** 【授業テーマ】 老化による日常生活機能の低下と援助(4)  
【内容・方法等】 老化による外皮系の機能の変化を知り、適切な保清などの援助方法について学ぶ。皮膚・頭髪・爪・耳などの老化現象を踏まえて援助方法を授業する。  
さらに、高齢者の年齢や活動に応じた衣服の選択について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 基礎看護学の「清潔・衣生活」の単元を復習して授業に臨むこと。  
授業後はきちんと復習すること。
- 第5回** 【授業テーマ】 老化による日常生活機能の低下と援助(5)  
【内容・方法等】 高齢者が、健康に暮らすために、年齢・活動量等に合わせた栄養と食事について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 基礎看護学の「栄養と食事」の単元を復習しておくこと。  
授業後はきちんと復習すること。
- 第6回** 【授業テーマ】 老化に伴う症状のアセスメントおよび援助(1)  
【内容・方法等】 老化に伴い、水分の出入りや腎機能に変化が

- 生じる。そのため、脱水や尿の量や性状に変化がおこる。それらの関連性や機序を理解し、適切な援助方法を学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 人体の構造と機能を復習し、授業に臨むこと。  
 授業後はきちんと復習して整理しておくこと  
**【授業テーマ】** 老化による日常生活機能の低下と援助(6)  
**【内容・方法 等】** 老化現象により、感覚機能や運動機能に変化が起こる。環境によりどのように高齢者が反応し、危険等があるか講義し、適切な環境調整を学ぶ  
**【事前・事後学習課題】** 基礎看護で学んだ環境に対する基礎知識を復習して授業に臨むこと。  
 授業後はきちんと復習すること。  
**第7回** **【授業テーマ】** 老化に伴う症状のアセスメントおよび援助(2)  
**【内容・方法 等】** 老化に伴い、転倒しやすくなる。転倒の原因などを知り、転倒予防と、転倒による傷害および寝たきりについて学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 授業後は、きちんと復習し、まとめること。  
 実習などで体験したことがあれば、結びつけて復習すること。  
**第8回** **【授業テーマ】** 老化に伴う症状のアセスメントおよび援助(3)  
**【内容・方法 等】** 高齢者が寝たきり等になると褥瘡が発生しやすくなる。褥瘡について、最新の知識と予防方法、援助方法について学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 授業後は、きちんと復習し、まとめること。  
 実習などで体験したことがあれば、結びつけて復習すること。  
**第9回** **【授業テーマ】** 老化による日常生活機能の低下と援助(4)  
**【内容・方法 等】** 老化によって、摂食、嚥下障害がおこり、低栄養や誤嚥性肺炎になりやすい。解剖学的、生理学的に復習し、嚥下障害の機序を学び、正しい食事への援助方法を学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 人体の構造と機能の摂食・嚥下に関する復習をきちんとして授業に臨むこと。  
 授業後は復習しておくこと。  
**第10回** **【授業テーマ】** 老化に伴う症状のアセスメントおよび援助(5)  
**【内容・方法 等】** 老化によって、摂食、嚥下に障害がおこる。口腔外科医より専門的に摂食・嚥下障害の機序を学び、正しい口腔ケアの方法を学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 第10回の講義の復習と、人体の構造と機能を復習し、授業に臨むこと。  
 授業後はきちんと復習して整理しておくこと。  
**第11回** **【授業テーマ】** 老化による日常生活の低下に対する援助：演習  
**【内容・方法 等】** グループに分かれ、高齢者疑似体験、嚥下障害のある高齢者への食事の援助、嚥下食の体験などを行う。  
**【事前・事後学習課題】** 演習方法についてオリエンテーションします。  
 項目に沿って、予習すること。レポートテーマがあります。  
**第12回** **【授業テーマ】** 老化による日常生活の低下に対する援助：演習  
**【内容・方法 等】** グループに分かれ、高齢者疑似体験、嚥下障害のある高齢者への食事の援助、嚥下食の体験などを行う。  
**【事前・事後学習課題】** 演習方法についてオリエンテーションします。  
 項目に沿って、予習すること。レポートテーマがあります。  
**第13回** **【授業テーマ】** 老化に伴う症状のアセスメントおよび援助(6)  
**【内容・方法 等】** 老化に伴う、排泄機能の変化とその援助方法について学ぶ。とくに尿失禁、便秘について老化に特徴的な変化、援助方法を学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 授業で学んだことは、復習してまとめておくこと。  
**第14回** **【授業テーマ】** 高齢者の薬物療法と看護  
**【内容・方法 等】** 老化に伴い、薬物動態に変化が起こる。薬物動態の変化を知り、高齢者への薬物療法の援助方法について学ぶ  
**【事前・事後学習課題】** 薬理学で学んだ薬物動態の復習と、基礎看護学の「予薬」の単元を復習しておくこと。  
 授業で学んだことは、復習してまとめておくこと。  
**第15回** **【授業テーマ】** 老年における疾病・治療論(脳神経1)  
**【内容・方法 等】** 講義にて脳神経疾患、主に神経変性疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(1)  
**【事前・事後学習課題】** 教科書内授業部分の予習・復習  
**第16回** **【授業テーマ】** 老年における疾病・治療論(脳神経2)  
**【内容・方法 等】** 講義にて脳神経疾患、主に神経変性疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(2)  
**【事前・事後学習課題】** 教科書内授業部分の予習・復習  
**第17回** **【授業テーマ】** 老年における疾病・治療論(脳神経3)

- 【内容・方法 等】** 講義にて脳神経疾患、主に脳血管疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(1)  
**【事前・事後学習課題】** 教科書内授業部分の予習・復習  
**第19回** **【授業テーマ】** 老年における疾病・治療論(脳神経4)  
**【内容・方法 等】** 講義にて脳神経疾患、主に脳血管疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(2)  
**【事前・事後学習課題】** 教科書内授業部分の予習・復習  
**第20回** **【授業テーマ】** 老年における疾病・治療論(脳神経5)  
**【内容・方法 等】** 講義にて脳神経疾患、主に脳血管疾患の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(3)  
**【事前・事後学習課題】** 教科書内授業部分の予習・復習  
**第21回** **【授業テーマ】** 老年における疾病・治療論(脳神経6)  
**【内容・方法 等】** 講義にて脳神経疾患、主に認知症の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(1)  
**【事前・事後学習課題】** 教科書内授業部分の予習・復習  
**第22回** **【授業テーマ】** 老年における疾病・治療論(脳神経7)  
**【内容・方法 等】** 講義にて脳神経疾患、主に認知症の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。(2)  
**【事前・事後学習課題】** 教科書内授業部分の予習・復習  
**第23回** **【授業テーマ】** 老年における疾病・治療論(骨疾患など)  
**【内容・方法 等】** 講義にて骨疾患、主に骨折や骨粗鬆症の原因、主要症状、病態生理、検査法、治療法等について学習する。  
**【事前・事後学習課題】** 教科書内授業部分の予習・復習  
**第24回** **【授業テーマ】** —  
**【内容・方法 等】** —  
**【事前・事後学習課題】** —  
**第25回** **【授業テーマ】** —  
**【内容・方法 等】** —  
**【事前・事後学習課題】** —  
**第26回** **【授業テーマ】** —  
**【内容・方法 等】** —  
**【事前・事後学習課題】** —  
**第27回** **【授業テーマ】** —  
**【内容・方法 等】** —  
**【事前・事後学習課題】** —  
**第28回** **【授業テーマ】** —  
**【内容・方法 等】** —  
**【事前・事後学習課題】** —  
**第29回** **【授業テーマ】** —  
**【内容・方法 等】** —  
**【事前・事後学習課題】** —  
**第30回** **【授業テーマ】** —  
**【評価方法 (基準)**  
 定期試験70%、レポート30%  
**教材等**  
**教科書**…教科書・・・奥野茂代編「老年看護学 概論と看護の実践」第5版ヌーヴェルヒロカワ(3900円) 前期使用した教科書を引き続き使用します。  
 ・奥野茂代編「老年看護技術 アセスメントのポイントとその根拠」第2版ヌーヴェルヒロカワ(2100円)  
 ・病気がみえる vol.7 脳神経 メディックメディア(3,800円税抜) 第16回～第23回用  
**参考書**…参考書・・・授業中に適宜、紹介します。  
**学生へのメッセージ**  
 既習の基礎看護学を高齢者に適応する知識や技術と、老年看護概論で学んだ「老化現象」をもとにした学習になります。しっかりと復習して、理解したうえで、老年看護援助論に取り組みしましょう。  
**関連科目**  
 人体の構造と機能Ⅰ～Ⅳ、薬理学総論、老年看護学概論、老年看護学援助論Ⅱ、看護基礎技術Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ  
**担当者の研究室等**  
 7号館3階研究室6  
**備考**  
 病理学総論・疾病治療論と同シリーズの教科書を使用します。(小崎)

老年看護学援助論II  
Gerontological Nursing II

徳重 あつ子 (トクシゲ アツコ)  
板倉 勲子 (イタクラ イサコ)  
金原 京子 (キンバラ キョウコ)  
七山 知佳 (ナナヤマ チカ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

高齢者に特有な心身の健康状態の変化についての知識をもとに、高齢者によくみられる脳神経・循環器・呼吸器・骨関節・感覚器等の疾患をもつ方への援助方法を学習します。また、認知症については、病態の理解とともに、家族や地域を含めた援助方法について学びます。さらに、臨地実習でよく遭遇する事例をもとに、科学的根拠に基づいた看護過程が展開できる能力を養います。

授業方法と留意点

授業はオムニバス形式で行います。基本的にはテキストを使用して授業を進めますが、適宜プリント等の補助教材を使用します。毎回、テキストと配布したプリントを必ず持参してください。講義で学習した内容については毎回復習を行い、疑問があれば、解決を図るようにしてください。

科目学習の効果(資格)

看護師国家試験

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 疾患をもつ高齢者の看護(1)  
【内容・方法等】 疾患をもつ高齢者の看護についての理解(1): 脳神経疾患 主に脳血管疾患(脳梗塞)、パーキンソン病等の対象者への看護について学習します。  
【事前・事後学習課題】 病理学総論、疾病治療論、の復習をしてから、授業に臨んでください。
- 第2回 【授業テーマ】 疾患をもつ高齢者の看護(2)  
【内容・方法等】 疾患をもつ高齢者の看護についての理解(2): 循環器・消化器疾患 主に心不全、逆流性食道炎等の対象者への看護について学習します。  
【事前・事後学習課題】 病理学総論、疾病治療論の復習をしてから、授業に臨んでください。
- 第3回 【授業テーマ】 疾患をもつ高齢者の看護(3)  
【内容・方法等】 疾患をもつ高齢者の看護についての理解(3): 呼吸器・泌尿器疾患 肺炎、閉塞性肺疾患(COPD)、前立腺肥大症等の対象者への看護について学習します。  
【事前・事後学習課題】 病理学総論、疾病治療論の復習をしてから、授業に臨んでください。
- 第4回 【授業テーマ】 疾患をもつ高齢者の看護(4)  
【内容・方法等】 疾患をもつ高齢者の看護についての理解(4): 運動器疾患 主に骨粗鬆症、変形性関節症等の対象者への看護について学習します。  
【事前・事後学習課題】 病理学総論、疾病治療論の復習をしてから、授業に臨んでください。
- 第5回 【授業テーマ】 疾患をもつ高齢者の看護(5)  
【内容・方法等】 疾患をもつ高齢者の看護についての理解(5): 精神・感染症疾患他 主にうつ病、疥癬、白内障等の対象者への看護について学習します。  
【事前・事後学習課題】 病理学総論、疾病治療論、老年看護学援助論の復習をしてから、授業に臨んでください。
- 第6回 【授業テーマ】 疾患をもつ高齢者の看護(6)  
【内容・方法等】 治療を受ける高齢者の看護 手術療法、リハビリテーション等の治療を受ける高齢者の看護について学習します。手術療法では、主に大腿骨頸部骨折について学びます。  
【事前・事後学習課題】 病理学総論、疾病治療論の復習をしてから、授業に臨んでください。
- 第7回 【授業テーマ】 認知症高齢者の看護(1)  
【内容・方法等】 認知症について、定義・診断・病態・認知症評価スケール等について学習します。  
【事前・事後学習課題】 疾病治療論、老年看護学援助論Iの復習をしてから、授業に臨んでください。
- 第8回 【授業テーマ】 認知症高齢者の看護(2)  
【内容・方法等】 認知症高齢者の看護について、具体的に学びます。映像や、手記等から、看護するものとしての考えをまとめていただきます。  
【事前・事後学習課題】 前回の授業、疾病治療論、老年看護学援助論Iの復習をしてから、授業に臨んでください。
- 第9回 【授業テーマ】 認知症高齢者の看護(3)  
【内容・方法等】 認知症専門看護師(CNS)の方を招き、事例をもとに、認知症に専門的な関わりを学習します。  
【事前・事後学習課題】 前回、前々回の授業、疾病治療論、老年看護学援助論Iの復習をしてから、授業に臨んでください。

- 第10回 【授業テーマ】 高齢者の看護過程について  
【内容・方法等】 高齢者に特徴的なアセスメントについて学びます。次回からの事例学習するにあたり、事例紹介と方向性を説明します。  
【事前・事後学習課題】 基礎看護技術IV、成人看護学、老年看護学概論、老年看護学援助論I、老年看護学援助論IIの既習部分の復習をしておいてください。
- 第11回 【授業テーマ】 看護過程の展開(1)  
【内容・方法等】 事例学習  
【事前・事後学習課題】 基礎看護技術IV、成人看護学、老年看護学概論、老年看護学援助論I、老年看護学援助論IIの既習部分の復習をしておいてください。
- 第12回 【授業テーマ】 看護過程の展開(2)  
【内容・方法等】 事例学習  
【事前・事後学習課題】 基礎看護技術IV、成人看護学、老年看護学概論、老年看護学援助論I、老年看護学援助論IIの既習部分の復習をしておいてください。
- 第13回 【授業テーマ】 看護過程の展開(3)  
【内容・方法等】 事例発表  
各自が展開した内容の発表をしていただきます。  
【事前・事後学習課題】 基礎看護技術IV、成人看護学、老年看護学概論、老年看護学援助論I、老年看護学援助論IIの既習部分の復習をしておいてください。
- 第14回 【授業テーマ】 看護過程の展開(4)  
【内容・方法等】 事例展開について、復習とまとめをします。  
【事前・事後学習課題】 基礎看護技術IV、成人看護学、老年看護学概論、老年看護学援助論I、老年看護学援助論IIの既習部分の復習をしておいてください。
- 第15回 【授業テーマ】 看護過程まとめ  
【内容・方法等】 看護過程について、学習した内容の復習と整理を行います。  
【事前・事後学習課題】 事例学習でまとめた内容、テキスト、資料に目を通してから、授業に臨んでください。

評価方法(基準)

定期試験70%、提出物(授業内で指示するもの)30%

教材等

教科書…(1)奥野茂代、大西和子編:「老年看護学 概論と看護の実践」(ヌーヴェルヒロカワ) (2)奥野茂代、大西和子編:「老年看護技術 アセスメントのポイントとその根拠」(ヌーヴェルヒロカワ)  
参考書…必要に応じて適宜紹介します。

学生へのメッセージ

疾患をもつ対象者の看護については既習のものが多いと思いますが、老年期における特徴をふまえて考えていくことが必要となります。高齢者によくみられる疾患の特徴と、どのような看護を必要とするのかについての基本を学習しますので、これまでに学習した疾病治療論や看護の実践方法について復習をしておいてください。

関連科目

老年看護学概論、老年看護学援助論I、老年看護学実習I・II

担当者の研究室等

7号館3階研究室5

備考

看護過程の展開の演習は進度によって、内容が変更になる場合があります。授業中に案内します。

老年看護学実習I

Clinical Practice in Gerontological Nursing I

板倉 勲子 (イタクラ イサコ)  
徳重 あつ子 (トクシゲ アツコ)  
金原 京子 (キンバラ キョウコ)  
小川 宣子 (オガワ ノリコ)  
七山 知佳 (ナナヤマ チカ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

【概要】

地域や施設で生活するさまざまな健康レベルにある高齢者の理解を深めるとともに、高齢者が健康状態を維持することの意義および医療依存度の低い高齢者への援助の実際を学ぶ。さらに保健・医療・福祉をとりまく高齢者ケアのありかた、看護職の役割について学び、自己の高齢者観を培う。

【実習目的】

高齢者の日常生活能力について身体的・精神的・社会的側面から理解し、地域で生活する高齢者の健康生活課題について学ぶ。

高齢者を取り巻く家族や社会資源について理解を深め、健康生活課題の解決を支援する方法について考える力を養う。

**【実習目標】**

1. 加齢に伴う身体的・精神的および社会的変化や、高齢者に生じやすい健康問題とそれに関連する要因など、高齢者を多面的・総合的に理解できる。
2. 高齢者とその家族をひとつの単位としてとらえ、身体的・精神的・社会的機能をアセスメントし、健康及び生活上の課題について考えることができる。
3. 高齢者とその家族を取り巻く保健・医療・福祉に関する社会資源の実際について理解できる。
4. 高齢者の保健・医療・福祉にかかわる専門職の役割・機能を理解できる。
5. 高齢者の保健・医療・福祉チームの中での看護の役割について考えることができる。
6. 高齢者とその家族の健康生活課題の解決を支援する方法について説明できる。

**授業方法と留意点**

実習前のオリエンテーションにて詳細を指示します。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

【実習計画】 詳細についてはオリエンテーションにて説明します。

**(1週目)**

- 月曜日 学内：オリエンテーション、実習準備
- 火曜日 実習施設：実習
- 水曜日 実習施設：実習
- 木曜日 実習施設：実習
- 金曜日 実習施設：実習

**(2週目)**

- 月曜日 実習施設：実習
- 火曜日 実習施設：実習
- 水曜日 実習施設：実習
- 木曜日 実習施設：実習
- 金曜日 学内：実習報告会、個人面談・記録整理・記録提出

**評価方法・評価基準**

実習目的・目標の達成状況、実習記録、実習態度等から総合的に評価します。

**教材等**

教科書…なし。  
参考書…必要時、適宜紹介します。

**老年看護学実習II**

Clinical Practice in Gerontological Nursing II

板倉 勲子 (イタクラ イサコ)  
徳重 あつ子 (トクシゲ アツコ)  
金原 京子 (キンバラ キョウコ)  
小川 宣子 (オガワ ノリコ)  
七山 知佳 (ナナヤマ チカ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

**【概要】**

健康問題を持ち治療を受けている高齢者の健康を回復・維持する過程における看護上の問題を、身体的・精神的・社会的側面から解決する方法を学ぶ。さらに援助においては、老年看護に必要な基礎的知識・技術を活用し、看護者として高齢者の人権と権利を擁護する態度を養い、自己の高齢者観を深める。

**【目的】**

老年看護に必要な基礎的知識・技術を活用し、加齢に伴う変化について身体的・精神的・社会的側面から理解し、入院治療を必要とする高齢者の健康上の問題を解決する方法を学ぶ。また、高齢者とその家族を理解し、その人らしく生きていくことができるよう支援するために必要な知識・技術・態度を養い、自己の高齢者観と看護観を深める。

**【目標】**

1. 加齢に伴う身体的・精神的および社会的変化や、高齢者に生じやすい健康問題とそれに関連する要因など、高齢者を多面的・総合的に理解できる。
2. 疾病や障害をもつ高齢者の身体的・精神的・社会的機能をアセスメントし、入院が高齢者におよぼす影響を理解し、健康上の問題を明確にすることができる。
3. 健康問題を持つ高齢者の特性・個別性を考慮した援助計画が立案できる。
4. 高齢者の状態に適した看護援助を実践し、評価・修正をすることができる。
5. 高齢者の人権と権利を擁護する態度を身につけることができる。

6. 高齢者を取り巻く環境と看護職の役割と責任について理解できる。
7. 実習を通して自己の高齢者観を深め、老年看護における看護観を考察することができる。

**授業方法と留意点**

実習前のオリエンテーションにて詳細を指示します。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

【実習計画】 詳細についてはオリエンテーションにて説明します。

**(1週目)**

- 月曜日 学内：オリエンテーション、実習準備
- 火曜日 実習施設：実習
- 水曜日 実習施設：実習
- 木曜日 実習施設：実習
- 金曜日 実習施設：実習

**(2週目)**

- 月曜日 実習施設：実習
- 火曜日 実習施設：実習
- 水曜日 実習施設：実習
- 木曜日 実習施設：実習
- 金曜日 学内：実習報告会、個人面談・記録整理・記録提出

**評価方法・評価基準**

実習目的・目標の達成状況、実習記録、実習態度等から総合的に評価します。

**教材等**

教科書…なし。  
参考書…必要時、適宜紹介します。

**小児看護学概論**

Introduction to Pediatric Nursing

鎌田 佳奈美 (カマタ カナミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

小児看護学の対象である子どもと家族の理解を踏まえ、発達の促進および健康保持増進に向けた看護者の役割と機能、支援方法を学習する。また、子どもと家族の理解を深めるために、必要な発達理論、親子関係理論、家族システム理論および概念について理解し、子ども観・家族観を深める。

**授業方法と留意点**

子どもの成長・発達の一般原則を理解し、子どものイメージ化を促すため、視聴覚教材や事例を多く用いて講義を進める。また、毎回、事前課題を提示し、それをもとに講義を展開したり、グループワークなどを取り入れながら授業を進める。学習した内容については、身近な子どもの姿を通じて、振り返りができるような課題もを取り入れ、学生が主体的に本科目に取り組めるよう工夫をする。

**科目学習の効果(資格)**

看護師国家試験受験のための必須科目である。本科目は、小児援助論Ⅰ、小児援助論Ⅱ、小児看護学実習の理解を深めるための基盤となる。

**毎回の授業テーマ・内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】** 授業ガイダンス、小児看護学の概観、子どもとは
- 【内容・方法 等】** 授業計画をもとに、小児看護学の構成を概観し、授業の進め方、評価について詳細に説明を行う。子どもに対するイメージを言語化し、大人と比較しながら子どもの特徴について、学生間で話し合う。
- 【事前・事後学習課題】** 事前課題：教科書「序章 小児看護学を学ぶにあたって」を読んでおくこと。  
事後課題：身近にいる子どもを観察し、その内容や気づきをまとめる
- 第2回 【授業テーマ】** 子どもの特徴
- 【内容・方法 等】** 子どもの範囲、発達区分、発達観  
保健統計からみた子どもと家族、および子どもを取り巻く環境
- 【事前・事後学習課題】** 事前課題：前回授業で提示する  
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる
- 第3回 【授業テーマ】** 小児看護とは、子どもを取り巻く医療の変遷と課題
- 【内容・方法 等】** 小児医療・小児看護の変遷、小児看護の対象と目標、小児看護の場と看護の特徴
- 【事前・事後学習課題】** 事前課題：前回授業で提示する  
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる
- 第4回 【授業テーマ】** 子どもの最善の利益
- 【内容・方法 等】** 子どもの権利条約、医療における子どもの権利、小児医療で起こりやすい倫理的問題について

- 【事前・事後学習課題】** 事前課題：前回授業で提示する  
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる
- 第5回 【授業テーマ】** 小児看護で用いる概念と理論  
**【内容・方法 等】** 発達に関する概念、発達理論（ピアジェ、エリクソン）、母子関係理論（ボウルビー）、家族システム理論等
- 【事前・事後学習課題】** 事前課題：前回授業で提示する  
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる
- 第6回 【授業テーマ】** 子どもの成長・発達の特徴Ⅰ  
**【内容・方法 等】** 成長・発達の一般原則、成長・発達への影響因子、各発達段階の特徴と主な健康問題、成長・発達の評価と家族環境アセスメント
- 【事前・事後学習課題】** 事前課題：前回授業で提示する  
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる
- 第7回 【授業テーマ】** 子どもの成長・発達の特徴Ⅱ  
**【内容・方法 等】** 子どもの形態的成長と機能的発達の特徴
- 【事前・事後学習課題】** 事前・事後課題：各発達段階の特徴について、グループでまとめる
- 第8回 【授業テーマ】** 乳児前期の成長・発達と発達段階に応じた日常生活援助Ⅰ  
**【内容・方法 等】** 乳児前期の成長・発達の特徴についてグループ発表  
乳児前期の成長・発達の特徴・発達段階に応じた日常生活援助
- 【事前・事後学習課題】** 事前課題：前回授業で提示する  
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる
- 第9回 【授業テーマ】** 乳児後期の成長・発達と発達段階に応じた日常生活援助Ⅱ  
**【内容・方法 等】** 乳児後期の成長・発達の特徴についてグループ発表  
乳児後期成長・発達の特徴・発達段階に応じた日常生活援助
- 【事前・事後学習課題】** 事前課題：前回授業で提示する  
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる
- 第10回 【授業テーマ】** 幼児前期の成長・発達と発達段階に応じた援助Ⅰ  
**【内容・方法 等】** 幼児前期の成長・発達の特徴についてグループ発表  
幼児前期の成長・発達の特徴と発達段階に応じた日常生活援助
- 【事前・事後学習課題】** 事前課題：前回授業で提示する  
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる
- 第11回 【授業テーマ】** 幼児後期の成長・発達と発達段階に応じた援助Ⅱ  
**【内容・方法 等】** 幼児後期の成長・発達の特徴についてグループ発表  
幼児後期の成長・発達の特徴と発達段階に応じた日常生活援助
- 【事前・事後学習課題】** 事前課題：前回授業で提示する  
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる
- 第12回 【授業テーマ】** 学童期の成長・発達と発達段階に応じた援助  
**【内容・方法 等】** 学童・思春期の子どもの成長・発達の特徴についてグループ発表  
学童・思春期の子どもの成長・発達の特徴と発達段階に応じた日常生活援助
- 【事前・事後学習課題】** 事前課題：前回授業で提示する  
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる
- 第13回 【授業テーマ】** 子どもの事故予防  
**【内容・方法 等】** 子どもの事故の特徴  
子どもが事故を起こしやすい理由  
事故予防について
- 【事前・事後学習課題】** 事前・事後課題：グループ発表内容
- 第14回 【授業テーマ】** グループワーク発表  
**【内容・方法 等】** 子どもの発達段階に応じた育児用品について
- 【事前・事後学習課題】** 事前課題：前回授業で提示する  
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる
- 第15回 【授業テーマ】** 子どもを守るわが国の法律と制度と予防接種  
**【内容・方法 等】** 母子保健法、学校保健安全法、児童虐待防止法、予防接種法  
予防接種に関して
- 【事前・事後学習課題】** 事前・事後課題：小児看護学概論の内容を踏まえ、身近にいる子どもを観察し、①内容や②気づき、③授業前と授業終了後の子どもの見方への学生自身の変化についてまとめる。

**評価方法（基準）**

前期の定期試験および課題やグループワーク内容を総合して評価する。  
定期試験60%、課題・グループワーク40%

**教材等**

**教科書**…松尾宣武、濱中喜代 編 『小児看護学Ⅰ 小児看護学概論 小児保健』 メジカルフレンド社(2300円+税)  
**参考書**…中野綾美 編 『ナーシンググラフィカ 小児の発達と看護』 メディカ出版(3,600円+税)  
奈良間美保 他『小児看護学概論 小児臨床看護総論』 医学書院(2800円+税)  
高浜介二、秋葉英則、横田昌子 監修 『0歳児の保育』『1歳児の保育』『2歳児の保育』『3歳児の保育』『4歳児の保育』『5歳児の保育』ルック(各1800円・2000+税) "

**学生へのメッセージ**

小児看護学概論では広範な内容を網羅し、子どもの看護を理解する上での基盤となります。知識の記憶ではなく、自らが主体的に考え、理解することを目指しましょう。習得した知識を活用できるように、周囲の子どもに目を向け、洞察を深めてください。

**関連科目**

看護学概論、生命倫理

**担当者の研究室等**

7号館・3階、研究室17（鎌田）

**小児看護学援助論Ⅰ**

Pediatric Nursing I

鎌田 佳奈美 (カマタ カナミ)  
池田 友美 (イケダ トモミ)  
亀田 直子 (カメダ ナオコ)  
大橋 敦 (オオハシ アツシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期(30回)	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

健康問題や入院が子どもと家族の発達や生活に与える影響を理解し、子どもと家族の最善の利益を目指した看護のあり方を考える。様々な発達段階や健康段階にある子どもと家族のニーズに沿ったケアが提供できるよう、基本的知識に基づいた援助技術を学習する。

**授業方法と留意点**

小児看護学概論で習得内容の振り返りを行いながら授業をすすめる。簡単な事例を用いて演習を行い、習得した知識を活用を促す。小児看護学における援助技術については、事前にグループ学習し、学生が主体となってデモンストレーション、実施、ピア評価を行うことで、学生の自主性、主体性、相乗効果を促せるよう工夫する。

**科目学習の効果（資格）**

看護師国家試験受験のための必須科目である。  
本科目は、小児援助論Ⅱ、小児看護学実習の理解を深めるための基盤となる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】** 病気や入院に対する子どもの理解  
**【内容・方法 等】** 子どもの病気の特徴について概観する  
子どもは病気や入院をどのように理解するか(認知発達段階の特徴を踏まえ、子どもが病気や入院をどう理解するかについて)
- 【事前・事後学習課題】** 事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。
- 第2回 【授業テーマ】** 健康問題や入院が子どもと家族に及ぼす影響と看護  
**【内容・方法 等】** 健康問題や入院が子どもに及ぼす影響について  
健康問題が入院が家族に及ぼす影響について  
子どもと家族にとって適切な外来および入院環境について
- 【事前・事後学習課題】** 事前課題：前回授業で課題を提示する  
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる
- 第3回 【授業テーマ】** 健康問題をもつ子どもの発達段階に応じた看護Ⅰ  
**【内容・方法 等】** 健康問題をもつ乳児(新生児を含む)と家族の特徴と看護について  
健康問題をもつ幼児と家族の特徴と看護について
- 【事前・事後学習課題】** 事前課題：前回授業で課題を提示する  
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる
- 第4回 【授業テーマ】** 健康問題をもつ子どもの発達段階に応じた看護Ⅱ  
**【内容・方法 等】** 健康問題をもつ学童と家族の特徴と看護に

- ついて  
健康問題をもつ思春期の子どもと家族の特徴と看護について
- 【事前・事後学習課題】 事前課題：前回授業で課題を提示する  
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる
- 第5回 【授業テーマ】 子どもの日常生活援助およびヘルスアセスメント技術演習  
【内容・方法 等】 子どもの日常生活技術（食、排泄、清潔、移動）の自己演習  
子どものヘルスアセスメント技術（バイタルサイン測定、身体測定）の自己演習  
【事前・事後学習課題】 事前課題：演習内容のイメージトレーニング  
事後課題：グループで各発達段階に応じた技術についての自己演習
- 第6回 【授業テーマ】 治療や検査・処置を受ける子どもと家族への看護Ⅰ  
【内容・方法 等】 子どもの参加する権利の保障  
プレバレーションについて  
検査・処置技術（与薬、浣腸、救急処置）について  
【事前・事後学習課題】 事前課題：前回授業で課題を提示する  
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる
- 第7回 【授業テーマ】 治療や検査・処置を受ける子どもと家族への看護Ⅱ  
【内容・方法 等】 隔離を必要とする子どもと家族の看護について  
行動制限を必要とする子どもと家族の看護について  
食事制限を必要とする子どもと家族の看護について  
【事前・事後学習課題】 事前課題：前回授業で課題を提示する  
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる
- 第8回 【授業テーマ】 小児看護技術(日常生活援助)  
【内容・方法 等】 食・清潔・排泄・移動に関する援助技術の演習（偶数グループ）を行う  
【事前・事後学習課題】 事前課題：配布プリント  
事後課題：演習内容についての振り返り
- 第9回 【授業テーマ】 小児看護技術(日常生活援助)  
【内容・方法 等】 食・清潔・排泄・移動に関する援助技術の演習（奇数グループ）を行う  
【事前・事後学習課題】 事前課題：配布プリント  
事後課題：演習内容についての振り返り
- 第10回 【授業テーマ】 子どもによくみられる症状と看護  
【内容・方法 等】 啼泣、不機嫌、発熱、発疹、けいれん、嘔吐、下痢、脱水など、子どもによくみられる症状の機序と看護について  
【事前・事後学習課題】 事前課題：前回授業で課題を提示する  
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる
- 第11回 【授業テーマ】 子どもによく見られる症状と看護  
【内容・方法 等】 呼吸困難、痛み、意識障害、浮腫、掻痒感など、子どもによくみられる症状の機序と看護について  
【事前・事後学習課題】 事前課題：前回授業で課題を提示する  
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる
- 第12回 【授業テーマ】 子どものヘルスアセスメントⅠ  
【内容・方法 等】 子どもとのコミュニケーションについて  
ヘルスアセスメントの目的・意義について  
子どもの観察と情報収集の方法について  
【事前・事後学習課題】 事前課題：前回授業で課題を提示する  
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる
- 第13回 【授業テーマ】 子どものヘルスアセスメントⅡ  
【内容・方法 等】 事例を用いながら、アセスメントの実践について演習する  
【事前・事後学習課題】 事前課題：前回授業で課題を提示する  
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。
- 第14回 【授業テーマ】 ヘルスアセスメント技術演習  
【内容・方法 等】 バイタルサイン測定および身体計測(奇数グループ) 技術の演習を行う  
【事前・事後学習課題】 事前課題：配布プリント  
事後課題：演習内容についての振り返り
- 第15回 【授業テーマ】 ヘルスアセスメント技術演習  
【内容・方法 等】 バイタルサイン測定および身体計測(奇数グループ) 技術の演習を行う  
【事前・事後学習課題】 事前課題：配布プリント  
事後課題：演習内容についての振り返り
- 第16回 【授業テーマ】 新生児の疾患について  
【内容・方法 等】 小児の成長発達や健康上の課題に視点をあてて整理し、看護の対象である小児の理解を深める。  
対象の個性（年齢、疾患の重症度、家庭環境）に応じた看護援助を行うための理論と援助技術などを学習する。

- 新生児、未熟児の生理機能と代表的な疾患を理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント  
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。
- 第17回 【授業テーマ】 小児の呼吸器疾患について  
【内容・方法 等】 小児の成長発達や健康上の課題に視点をあてて整理し、看護の対象である小児の理解を深める。  
対象の個性（年齢、疾患の重症度、家庭環境）に応じた看護援助を行うための理論と援助技術などを学習する。  
小児の呼吸生理の特徴と、小児に多い呼吸器疾患を理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント  
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。
- 第18回 【授業テーマ】 小児の循環器疾患について  
【内容・方法 等】 小児の成長発達や健康上の課題に視点をあてて整理し、看護の対象である小児の理解を深める。  
対象の個性（年齢、疾患の重症度、家庭環境）に応じた看護援助を行うための理論と援助技術などを学習する。  
小児の循環器生理の特殊性と先天性心疾患を理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント  
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。
- 第19回 【授業テーマ】 小児の血液疾患・悪性腫瘍について  
【内容・方法 等】 小児の成長発達や健康上の課題に視点をあてて整理し、看護の対象である小児の理解を深める。  
対象の個性（年齢、疾患の重症度、家庭環境）に応じた看護援助を行うための理論と援助技術などを学習する。  
小児に多い血液疾患、悪性疾患を理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント  
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。
- 第20回 【授業テーマ】 小児の消化器疾患、腎・泌尿器疾患について  
【内容・方法 等】 小児の成長発達や健康上の課題に視点をあてて整理し、看護の対象である小児の理解を深める。  
対象の個性（年齢、疾患の重症度、家庭環境）に応じた看護援助を行うための理論と援助技術などを学習する。  
小児に多い消化器疾患、腎・泌尿器疾患を理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント  
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。
- 第21回 【授業テーマ】 小児の神経疾患について  
【内容・方法 等】 小児の成長発達や健康上の課題に視点をあてて整理し、看護の対象である小児の理解を深める。  
対象の個性（年齢、疾患の重症度、家庭環境）に応じた看護援助を行うための理論と援助技術などを学習する。  
小児に多い神経疾患を理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント  
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。
- 第22回 【授業テーマ】 小児の内分泌・代謝疾患について  
【内容・方法 等】 小児の成長発達や健康上の課題に視点をあてて整理し、看護の対象である小児の理解を深める。  
対象の個性（年齢、疾患の重症度、家庭環境）に応じた看護援助を行うための理論と援助技術などを学習する。  
小児に多い内分泌疾患、成長障害、代謝性疾患を理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント  
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。
- 第23回 【授業テーマ】 小児の感染症、免疫・アレルギーについて  
【内容・方法 等】 小児の成長発達や健康上の課題に視点をあてて整理し、看護の対象である小児の理解を深める。  
対象の個性（年齢、疾患の重症度、家庭環境）に応じた看護援助を行うための理論と援助技術などを学習する。  
小児に多い感染症、免疫・アレルギー疾患を理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント  
事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。
- 第24回 【授業テーマ】 —  
【内容・方法 等】 —  
【事前・事後学習課題】 —
- 第25回 【授業テーマ】 —  
【内容・方法 等】 —  
【事前・事後学習課題】 —
- 第26回 【授業テーマ】 —  
【内容・方法 等】 —  
【事前・事後学習課題】 —
- 第27回 【授業テーマ】 —  
【内容・方法 等】 —  
【事前・事後学習課題】 —
- 第28回 【授業テーマ】 —  
【内容・方法 等】 —  
【事前・事後学習課題】 —
- 第29回 【授業テーマ】 —

【内容・方法等】—  
 【事前・事後学習課題】—  
**第30回** 【授業テーマ】—  
**評価方法** (基準)  
 後期の定期試験および課題、演習、グループワーク内容を総合的に評価する

**教材等**  
**教科書**…松尾宣武、濱中喜代 編「小児看護学2, 健康障害をもつ小児の看護」メジカルフレンド社(4600円+税)  
 中野綾美 編「ナーシンググラフィカ 小児看護技術」メディカ出版(3200円+税)  
**参考書**…奈良間美保 他「小児看護学概論 小児臨床看護学総論」医学書院(2800円+税)  
 金子一成 改訂編集「小児科学」金芳堂(6200円+税)  
 山本恵子 監修「写真でわかる小児看護技術」インターメディカ(2500円+税)

**学生へのメッセージ**  
 小児看護学援助論Ⅰでは非常に広範囲の内容を含んでいます。単に知識の記憶に止まらず、自ら主体的に考え、理解し、活用できるように学習を深めて下さい。

**関連科目**  
 小児看護学概論、基礎看護技術  
**担当者の研究室等**  
 7号館 3階 研究室17(鎌田)、18(池田)

小児看護学援助論Ⅱ Pediatric Nursing II				
		池田 友美 (イケダ トモミ)		
		鎌田 佳奈美 (カマタ カナミ)		
		亀田 直子 (カメダ ナオコ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**  
 疾病・障がいをもつ子どもと家族の健やかな育ちを支えるために、小児期によくみられる疾患をもつ子どもの看護を理解する。また、さまざまな発達段階や健康状態にある子どもとその家族の最善の利益を目指した看護のあり方を看護過程を通して考える。

**授業方法と留意点**  
 講義では、視聴覚教材を用いて、疾患や障がいのある子どもを理解しやすいように解説する。また、グループワークによって、さまざまな健康レベルにある子どもの援助についての理解をうながす。演習では、事例を用いて、子どもの発達、健康状態、生活、心理面を力動的にアセスメントし、子どもと家族のニーズから抽出された看護援助を検討するためにグループワークを行なう。技術演習では、モデル人形を用いて子どもによく行なわれる検査および処置技術の演習を行なう。

**科目学習の効果(資格)**  
 看護師国家試験受験のための必須科目である。本科目は、小児看護学実習の理解を深めるための基盤となる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 急性期にある子どもと家族への看護(1)  
 【内容・方法等】 急性期にある子どもと家族の特徴  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書第6章Ⅰを読む。  
 事後課題：課題プリント
- 第2回** 【授業テーマ】 【事例演習】  
 急性期にある子どもと家族の看護(2)  
 【内容・方法等】 急性期の主な症状とその病態、観察ポイント、援助方法  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント  
 事後課題：課題プリント
- 第3回** 【授業テーマ】 【事例演習】  
 急性期にある子どもと家族の看護(3)  
 【内容・方法等】 急性期にある子どもと家族の事例を用いた看護過程  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント  
 事後課題：課題プリント
- 第4回** 【授業テーマ】 慢性期にある子どもと家族への看護(1)  
 【内容・方法等】 慢性疾患を抱えながら生活する子どもとその家族の特徴  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書第6章Ⅱを読む。  
 事後課題：課題プリント
- 第5回** 【授業テーマ】 【事例演習】  
 慢性期にある子どもと家族の看護(2)  
 【内容・方法等】 慢性疾患を抱えながら生活する子どもとその家族への援助方法  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント  
 事後課題：課題プリント

**第6回** 【授業テーマ】 【事例演習】  
 慢性期にある子どもと家族の看護(3)  
 【内容・方法等】 慢性期にある子どもと家族の事例を用いた看護過程  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント  
 事後課題：課題プリント

**第7回** 【授業テーマ】 手術を受ける子どもと家族の看護  
 【内容・方法等】 子どもの手術の特徴と手術を受ける子どもと家族への援助  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書第7章Ⅶを読む。  
 事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。

**第8回** 【授業テーマ】 低出生体重児の看護  
 【内容・方法等】 子どもと家族の最善の利益を守るための、小児看護における看護の役割  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：低出生体重児について調べる。  
 事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。

**第9回** 【授業テーマ】 障がいのある子どもと家族の看護  
 在宅に移行する子どもと家族の看護  
 【内容・方法等】 障がいのある子どもとその家族の意思決定、在宅に移行するための準備、地域で生活するための看護師の役割  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書第7Ⅶを読む。  
 事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。

**第10回** 【授業テーマ】 心理社会的問題をもつ子どもと家族の看護  
 【内容・方法等】 心理社会的に問題をもつ子どもと家族への介入方法  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書第7章15を読む。  
 事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。

**第11回** 【授業テーマ】 終末期にある小児と家族の看護  
 【内容・方法等】 死にゆく子どもとその子どもを看取る家族への援助  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：教科書第6章Ⅲを読む。  
 事後課題：授業でわからなかった内容やさらに深く学習したいことについて調べる。

**第12回** 【授業テーマ】 これからの小児看護の方向性  
 【内容・方法等】 子どもと家族の最善の利益を守るための、小児看護における看護の役割  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：子どもに関するニュース、新聞記事を集める。  
 事後課題：子どもに関するニュース、新聞記事を読み感想をまとめる。

**第13回** 【授業テーマ】 【事例演習】  
 急性期・慢性期にある子どもと家族の看護 まとめ(1)  
 【内容・方法等】 事例による看護計画の立案  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント  
 事後課題：課題プリント

**第14回** 【授業テーマ】 【技術演習】  
 急性期・慢性期にある子どもと家族の看護 まとめ(2)  
 【内容・方法等】 立案した計画による援助の実施  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント  
 事後課題：課題プリント

**第15回** 【授業テーマ】 【技術演習】  
 急性期・慢性期にある子どもと家族の看護 まとめ(3)  
 【内容・方法等】 立案した計画による援助の実施  
 【事前・事後学習課題】 事前課題：課題プリント  
 事後課題：課題プリント

**評価方法(基準)**  
 定期試験および課題・グループワーク・技術演習を総合的に評価する。  
 定期試験70%、課題・グループワーク・技術演習30%

**教材等**  
**教科書**…松尾宣武、濱中喜代 編、『小児看護学2 健康障害をもつ小児の看護』メジカルフレンド社(4,600円+税)  
 中野綾美 編『ナーシンググラフィカ 小児看護技術』メディカ出版(3200円+税)  
**参考書**…奈良間美保 他『小児看護学概論 小児臨床看護総論』医学書院(2800円+税)  
 山元恵子 監修『写真でわかる小児看護技術』インターメディカ(2500円+税)  
 金子一成 改訂編集『小児科学』金芳堂(6200円+税)

**学生へのメッセージ**  
 小児看護学実習に向けての実践的な授業になります。課題やグループワークも多いので、既習の知識を振り返りながら計画的にすすみましょう。

**関連科目**  
 小児看護学概論、小児看護学援助論Ⅰ、小児看護学実習  
**担当者の研究室等**  
 7号館 3階 研究室18(池田)、17(鎌田)、4(亀田)

## 小児看護学実習

Clinical Practice in Pediatric Nursing

鎌田 佳奈美 (カマタ カナミ)  
池田 友美 (イケダ トモミ)  
亀田 直子 (カメダ ナオコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	必修	2

### 授業概要・目的・到達目標

#### 【概要】

小児看護学の既習内容の知識・技術を統合して、子どもと家族を理解し、最良の健康状態の維持促進を目指して、子どもと家族を尊重した支援を実践するための基礎的能力を養う。

#### 【目的】

小児期にある対象の成長・発達の特徴を理解し、発達や健康段階に応じた小児および家族への看護実践に必要な基礎的知識・技術・態度を養う。

#### 【目標】

- 1) 子どもの成長・発達を統合的に理解し、個々の特性に応じた日常生活援助を行う。
- 2) 健康問題や入院が子どもと家族に与える影響を理解する。
- 3) 子どもの健康段階、発達段階に応じた看護問題・ニーズを抽出し、計画・実施・評価する。
- 4) 子どもと家族の生活を支えるチームにおける看護師の役割を理解し、他職種との連携の実際を知る。
- 5) 実習を通して自己の看護観・子ども観を深め、今後の課題を明らかにする。

### 授業方法と留意点

#### 【方法】

1. 1グループ5~6人編成とし、小児病棟において2週間の実習を行う。
2. 原則として1名の子どもを受け持ち、子どもと家族との関わりを通して、看護過程を展開する。
3. 看護の実施は、臨地実習指導者または実習指導教員と共にを行う。
4. 実習時には行動計画を指導者に発表し、終了時には必ず報告を行う。
5. 毎日カンファレンスを実施し、子どもと家族への理解を深め、ニーズに応じた計画の立案を促す。
6. ケア実施後は記録することで、自己の実践の振り返りを行い、学習を深める。

#### 【留意点】

1. 事故防止について：子どもの発達的特徴上、自ら危険を回避することが難しいため、ベッドからの転落、転倒、誤嚥、誤飲、熱傷、火傷、ルートトラブル等の危険に留意する
2. 健康管理について：子どもは免疫力が低いいため、学生自身の健康管理に十分留意する。

### 授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

#### 【事前の計画】

- 1) 実習目的・目標、方法、留意点など、事前にオリエンテーションを行う。
- 2) 事前の情報をもとに、受け持ちの子どもについての理解を深める。

#### 【実習計画】

- 1) 2日間の保育所実習を行い、子どもの成長発達および日常生活について理解を深める。
- 2) 病院実習
  - 1週目：受け持ちの子どもと家族との関係形成および看護実践に必要な情報収集、分析、統合を行う。
  - 2週目：子どもと家族のニーズに基づいた看護計画を立案する。立案した計画を実施し、評価を行い計画を修正する。

#### 【事後の計画】

臨地での体験の振り返りを通じて、自己の看護観、子ども観および今後の学生自身の課題を明確する。

### 評価方法・評価基準

実習内容・カンファレンスでの討議状況、提出記録をもとに総合的に実習指導教員が評価する

### 教材等

教科書…授業で使用した教科書  
参考書…授業で提示した参考書

### 備考

実習施設：星ヶ丘厚生年金病院、枚方市民病院、関西医科大学附属枚方病院、愛仁会リハビリテーション病院、大阪市立総合医療センター、枚方市立保育所

## 母性看護学概論

Introduction to Maternal Nursing

村松 十和 (ムラマツ トフ)  
赤井 由紀子 (アカイ ユキコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	2

### 授業概要・目的・到達目標

#### (概要)

母性看護に関連する諸概念を理解し、母性看護の役割を学び、母性看護の変遷、母性保健の動向や母子保健施策、女性のライフサイクルに伴う身体の形態的・機能的変化、母性看護の対象を取り巻く心理的・社会的側面などから、現在の女性の健康問題を捉え、対象を支援する母性看護のあり方を理解する。

(オムニバス方式/全15回)

(9 村松十和/12回)

母性看護学を学ぶのに必要な諸概念、その歴史や意義、諸問題について理解し、母性看護学が果たす役割を学ぶ。また、母性看護学の対象を取り巻く様々な環境とその影響、関連する法律や母子保健統計の動向を理解し、今日的課題について学び、母性看護に必要な看護過程の展開方法についても学ぶ。

(4 赤井由紀子/3回)

思春期、成熟期、更老年期の各ライフサイクルにおける女性の特徴・健康問題と看護について学ぶ。

### 授業方法と留意点

事前の学習課題は展開される講義内容が書かれているテキスト部分をよく読んでくる。グループ課題もあり、主体的に参加してもらいます。グループ発表後は個人のレポートも提出するようになっています。授業終了後は学習内容をしっかりこまめにまとめてください。

### 科目学習の効果(資格)

授業内容は、国家試験の母性看護学の科目に出題されることがあります。この科目を受けて資格が取れるということはないですが、国家試験に直結する科目です。

### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 母性の健康と看護1  
【内容・方法等】 母性看護の概念と専門性について学ぶ。  
GWの課題について説明する(講義)  
【事前・事後学習課題】 事前学習課題：テキストの該当部分を  
読んでくる  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第2回** 【授業テーマ】 母性の健康と看護2  
【内容・方法等】 1の続きと、社会的背景を踏まえ母性保健  
の変遷について学ぶ(講義)  
【事前・事後学習課題】 事前学習課題：テキストの該当部分を  
読んでくる  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第3回** 【授業テーマ】 母性の健康と看護3  
【内容・方法等】 母子保健の動向と課題について学ぶ(講義)  
【事前・事後学習課題】 事前学習課題：テキストの該当部分を  
読んでくる  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第4回** 【授業テーマ】 母性の健康と看護4  
【内容・方法等】 母性看護に必要な法制度、及び性と生殖の  
健康について理解する(講義)  
【事前・事後学習課題】 事前学習課題：テキストの該当部分を  
読んでくる  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第5回** 【授業テーマ】 母性看護の対象理解1  
【内容・方法等】 母性看護の対象の特徴を理解し、各期のラ  
イフスタイルと健康について理解する(講義)  
【事前・事後学習課題】 事前学習課題：テキストの該当部分を  
読んでくる  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第6回** 【授業テーマ】 母性看護の対象理解2  
【内容・方法等】 女性のライフサイクルと家族の発達段階と  
機能について学ぶ(講義)  
【事前・事後学習課題】 事前学習課題：テキストの該当部分を  
読んでくる  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第7回** 【授業テーマ】 母性と親性、親となる過程の支援  
【内容・方法等】 母性と親性について理解し、子どもへの愛  
や親となる過程を支援するのに必要なことを学ぶ(講義)  
【事前・事後学習課題】 事前学習課題：テキストの該当部分を  
読んでくる  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第8回** 【授業テーマ】 セクシャリティ  
【内容・方法等】 人間の性差について理解し、セクシャリテ  
ィについて学ぶ(講義)  
【事前・事後学習課題】 事前学習課題：テキストの該当部分を  
読んでくる

- 事後学習課題：講義内容の復習
- 第9回 【授業テーマ】 リプロダクティブヘルスケア  
【内容・方法等】 計画的に子どもを産むことの意味や方法について理解する（講義）  
【事前・事後学習課題】 事前学習課題：テキストの該当部分を読んでくる  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第10回 【授業テーマ】 母性看護における看護技術1  
【内容・方法等】 周産期の死と看護、障害を持つ子どもと家族のケアについて学ぶ（講義）  
【事前・事後学習課題】 事前学習課題：テキストの該当部分を読んでくる  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第11回 【授業テーマ】 母子保健の課題と母性看護の役割  
【内容・方法等】 育児不安、児童虐待とDV、母性領域の倫理問題を取り上げ、母性看護の役割を学ぶ（グループ発表）  
【事前・事後学習課題】 事前学習課題：グループ発表部分の学習をしてくる  
事後学習課題：グループレポート提出（グループで調べたレポートとメンバーの役割を記載）、個人レポート（テーマ：グループ発表後、母性看護の役割を考える）提出
- 第12回 【授業テーマ】 思春期の健康  
【内容・方法等】 思春期の身体的、心理的、社会的特徴を理解すると共に、思春期におけるセクシュアリティの課題について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 事前学習課題：なし  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第13回 【授業テーマ】 成熟期の健康  
【内容・方法等】 成熟期の身体的、心理的、社会的特徴を理解すると共に、成熟期のセクシュアリティの課題および不妊症について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 事前学習課題：なし  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第14回 【授業テーマ】 更・老年期の健康  
【内容・方法等】 更年期・老年期の身体的、心理的、社会的特徴を理解すると共に、セクシュアリティの課題について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 事前学習課題：なし  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第15回 【授業テーマ】 母性看護における看護技術2  
【内容・方法等】 母性看護の特殊性を踏まえた看護技術や看護過程について説明する  
【事前・事後学習課題】 事前学習課題：テキストの該当部分を読んでくる  
事後学習課題：講義内容の復習

評価方法（基準）

定期試験、授業参加度（出席率・提出課題・授業態度等）を総合して判定する。  
割合：定期試験84%（赤井19点、村松65点）、授業参加度16%（出席率と授業態度6点、課題10点）

教材等

教科書…系統別看護学講座「母性看護学概論」 医学書院（第12版）  
参考書…講義で配布される資料  
事前学習課題で各自が調べるために用いた文献など

学生へのメッセージ

授業は学生と教員で作っていくので、みんなで力を合わせて実りある授業にしましょう。20分遅刻が3回で1回欠席とする。  
飲食、携帯・スマホの使用、私語を禁止する（。

関連科目

人体の構造と機能、食生活論、家族関係論、疾病治療論、看護関係法規、看護学概論、看護対人関係論、生命倫理、地域看護学、家族看護学、看護倫理、女性学

担当者の研究室等

赤井：研究室14、村松：研究室15

備考

事前学習課題は授業で使い、終了後に集めます。事後学習課題は次の授業前に提出してください。期日内にレポート提出を厳守してください。

母性看護学援助論  
Maternal Nursing I

福山 智子（フクヤマ トモコ）  
宮本 雅子（ミヤモト マサコ）  
但馬 まり子（タジマ マリコ）  
小林 浩（コバヤシ ヒロシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期(30回)	必修	2

授業概要・目的・到達目標

＜概要＞

次代を産み育てる時期（母性の準備期、成熟期、更年期・老年期）にある女性の身体的変化の特徴を理解し、その時期の健康障害や健康逸脱に関する基礎知識を習得し、その支援の在り方を学習する。妊娠期、分娩期、産褥期における女性および新生児の身体的、心理的、社会的特徴や生理的な変化を理解し、周産期における家族の課題や役割について理解し、家族への支援方法を学習する。

（オムニバス 方式／全30回）

（9 村松十和、30 但馬まり子 /7回）

褥婦・新生児の特性を理解し、身体的・心理的・社会的な特徴や生理的な経過を理解する。また、周産期における家族の課題や役割について理解し、周産期における家族の課題や役割について理解し、子育て期の家族への支援方法を学習し、時間があれば産褥期・新生児期のヘルスアセスメントを事例を使ってグループワークをする。

（19 福山智子、30 但馬まり子 /5回）

妊婦の特性を理解し、身体的・心理的・社会的な特徴や生理的な経過を学習する。

（20 宮本雅子、30 但馬まり子 /3回）

産婦の特性を理解し、身体的・心理的社会的な特徴や生理的な経過を学習する。

（75 医師（小林浩）/8回）

女性の思春期から成熟期・更年期・老年期の身体的変化と月経異常、性感染症、不妊症、ホルモン療法、婦人科疾患（子宮筋腫、子宮がんなど）と正常と異常の妊娠・分娩・産褥・新生児の経過について学習する。

授業方法と留意点

事前学習課題は授業の主体的参加を促し、事後学習課題は知識の習得や実習でも役立ちます。グループで取り組む内容はグループごとの評価となるため迷惑をかけないで各自責任を果たすこと。課題提出は期限を遵守すること。未提出は減点対象になる。遅刻3回は1回の欠席となる。欠席が多い場合は単位取得が困難になる。詳しくは講義開始時に説明する。

科目学習の効果（資格）

資格は取れないが、国家試験に直結科目です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 妊娠期の身体的特徴と胎児の発育について

- 【内容・方法等】 1. 妊娠の成立  
2. 妊娠期の身体的特性  
3. 胎児の発育について

【事前・事後学習課題】 事前学習課題：なし

事後学習課題：講義内容の復習

第2回 【授業テーマ】 正常な妊娠経過について

【内容・方法等】 母体の生理的変化と正常な妊娠経過

【事前・事後学習課題】 事前学習課題：なし

事後学習課題：講義内容の復習

第3回 【授業テーマ】 婦人科疾患の診断と治療

【内容・方法等】 遺伝と出生前診断、不妊治療について学ぶ  
月経困難症と子宮内膜症、子宮がんについて学ぶ

【事前・事後学習課題】 事前学習課題：テキストを読んでくる

事後学習課題：講義内容の復習

第4回 【授業テーマ】 婦人科疾患の診断と治療

【内容・方法等】 STD（HIVの母子感染も含む）、エストロゲン欠乏が関連する疾患（更年期障害・尿失禁・骨粗鬆症）について学ぶ

【事前・事後学習課題】 事前学習課題：テキストを読んでくる

事後学習課題：講義内容の復習

第5回 【授業テーマ】 正常妊娠

【内容・方法等】 妊娠期：妊娠期間等の概要、母子手帳発行について

前身の変化、循環器系の変化、糖代謝の変化、呼吸器系の変化、泌尿器系の変化

【事前・事後学習課題】 事前学習課題：テキストを読んでくる

事後学習課題：講義内容の復習

第6回 【授業テーマ】 妊娠の異常

【内容・方法等】 妊娠高血圧症候群、流産・早産、胎児発育評価とIUGR、IUGRと将来の生活習慣病、胎盤機能の異常とIUGR、羊水の機能と生理

分娩期：児頭の下降、フリードマン曲線

【事前・事後学習課題】 事前学習課題：テキストを読んでくる

事後学習課題：講義内容の復習

第7回 【授業テーマ】 妊娠期の心理と社会的特性

【内容・方法等】 1. 妊娠期の心理的変化

2. 親なる心理的変化と母性の心理を把握するための理論を学ぶ

【事前・事後学習課題】 事前学習課題：なし

事後学習課題：講義内容の復習

第8回 【授業テーマ】 妊婦と胎児のアセスメント

妊婦と家族の看護

【内容・方法等】 1. 妊婦検診の実際と妊娠経過のアセスメントについて学ぶ

2. 妊婦が受ける母性保健サービスと保健指導について学

- ぶ  
3. マイナートラブルと対処について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 事前学習課題：なし  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第9回 【授業テーマ】 妊娠期の異常  
【内容・方法 等】 ハイリスク妊婦とは  
妊娠期の異常：妊娠初期の異常（妊娠悪阻、流産、異所性妊娠）、  
妊娠中期（多胎妊娠、早期産、切迫早産）、  
妊娠後期（前置胎盤、常位胎盤早期剥離）  
妊娠期の感染症（母子感染について、風疹、トキソプラズマ症、B型肝炎、C型肝炎、成人T細胞性白血病、パルボウイルスB19感染症、B群溶血性レンサ球菌感染症、梅毒、性器クラミジア、淋菌感染症、エイズ）  
【事前・事後学習課題】 事前学習課題：なし  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第10回 【授業テーマ】 分娩期の異常  
【内容・方法 等】 分娩期：陣痛発来について、胎位について、  
娩出力について、分娩監視装置について  
分娩期の異常：産道の異常、微弱陣痛、過強陣痛、胎位の異常、  
胎児機能不全の診断について、帝王切開について  
【事前・事後学習課題】 事前学習課題：テキストを読んでもくる  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第11回 【授業テーマ】 ハイリスク妊婦の看護  
【内容・方法 等】 1. ハイリスク妊婦  
2. 異常妊娠  
3. 合併症のある妊婦  
【事前・事後学習課題】 事前学習課題：なし  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第12回 【授業テーマ】 産褥・新生児の異常  
【内容・方法 等】 産褥期：精神障害、マタニティブルー、  
エジンバラ産後鬱診断表について、  
新生児の異常：新生児仮死、新生児蘇生アルゴリズム、低出生体重児、  
呼吸窮迫症候群、未熟児網膜症  
【事前・事後学習課題】 事前学習課題：テキストを読んでもくる  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第13回 【授業テーマ】 全体的まとめ  
【内容・方法 等】 DVD視聴、全体的まとめ（試験対策）  
【事前・事後学習課題】 事前学習課題：テキストを読んでもくる  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第14回 【授業テーマ】 正常分娩の経過  
【内容・方法 等】 1. 分娩の要素と機序  
2. 分娩経過に伴う産婦の身体的変化  
3. 分娩経過の胎児への影響  
4. 分娩期の産婦・家族の心理的变化  
5. 出生2時間までの新生児の生理  
【事前・事後学習課題】 事前学習課題：分娩各期の経過についての予習レポート  
事後学習課題：正常分娩経過の産婦事例のいくつかの場面におけるアセスメントを行う。事例とアセスメントについては授業で説明する
- 第15回 【授業テーマ】 分娩期のアセスメントと看護  
【内容・方法 等】 1. 分娩経過と産婦の健康状態のアセスメントと看護  
2. 産婦と家族の心理・社会面のアセスメントと看護  
3. 安全・安楽な分娩への援助  
4. 胎児の健康状態のアセスメントと看護  
5. 出生後2時間までの新生児のアセスメントと看護  
6. 母子関係形成に向けての援助  
【事前・事後学習課題】 事前学習課題：なし  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第16回 【授業テーマ】 ハイリスク分娩の看護  
【内容・方法 等】 1. 分娩期の異常と看護  
2. 産科手術と看護  
3. 胎児・新生児の異常と看護  
【事前・事後学習課題】 事前学習課題：正常分娩経過のアセスメントを完成させる（授業開始時提出）  
事後学習課題：分娩経過について各自復習する
- 第17回 【授業テーマ】 産褥の身体的変化  
【内容・方法 等】 分娩後の退行性変化と進行性変化について講義で学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 16回で課題を配布しますので、課題に取り組んで授業に参加して下さい。
- 第18回 【授業テーマ】 産褥の心理・社会的変化  
【内容・方法 等】 Rubinの母親への適応過程、家族の心理的变化を講義で学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 母性看護学概論で既習の母性意識の発達プロセス、母子相互作用について復習してください。
- 第19回 【授業テーマ】 新生児の生理と看護  
【内容・方法 等】 新生児の生理と看護を講義で学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 なし
- 第20回 【授業テーマ】 産褥期のアセスメントの考え方と看護(1)

- 【内容・方法 等】 母性看護学で使用する科学的看護論のアセスメントの枠組みに従って情報を振り分け、分析する演習を行う。  
【事前・事後学習課題】 19回で課題を配布しますので、課題に取り組んで授業に参加して下さい。
- 第21回 【授業テーマ】 産褥期のアセスメントの考え方と看護(2)  
【内容・方法 等】 20回の演習内容の解説を受けて、アセスメントと看護について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 21回終了後は、課題を完成して提出します。
- 第22回 【授業テーマ】 産褥期の異常と看護(1)  
【内容・方法 等】 会陰裂傷・会陰切開を行った産婦、乳房にトラブルのある産婦、精神にトラブルのある産婦、および見の問題がある産婦の看護等について講義で学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 なし
- 第23回 【授業テーマ】 産褥期の異常と看護(2)  
【内容・方法 等】 帝王切開術を受けた産婦のアセスメントと看護について、演習と講義で学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 22回で課題を配布しますので、課題に取り組んで授業に参加して下さい。23回終了後は、課題を完成して提出します。
- 第24回 【授業テーマ】 1  
【内容・方法 等】 1  
【事前・事後学習課題】 1
- 第25回 【授業テーマ】 1  
【内容・方法 等】 1  
【事前・事後学習課題】 1
- 第26回 【授業テーマ】 1  
【内容・方法 等】 1  
【事前・事後学習課題】 1
- 第27回 【授業テーマ】 1  
【内容・方法 等】 1  
【事前・事後学習課題】 1
- 第28回 【授業テーマ】 1  
【内容・方法 等】 1  
【事前・事後学習課題】 1
- 第29回 【授業テーマ】 1  
【内容・方法 等】 1  
【事前・事後学習課題】 1
- 第30回 【授業テーマ】 1  
【内容・方法 等】 1  
【事前・事後学習課題】 1
- 評価方法（基準）  
定期試験、提出物等を見て総合的に評価する。  
配点配分（小林35点、村松30点、福山22点、宮本13点）
- 教材等  
教科書…医学書院：母性看護学各論 第12版、  
講談社：看護のための人間論-ナースが診る人体、  
看護のための疾病論-ナースが診る病気-  
参考書…薄井坦子著. 科学的看護論. 日本看護協会出版会  
からだの地図帳（講談社）、周産期の生理学（メディカ出版）、ルヴァ・ルービン母性論（医学書院）、クラスとケネルの親と子のきずな（医学書院）
- 学生へのメッセージ  
休まず授業に出席し、私語をしないでメモを取る。私語、携帯使用、飲食は認めない。わからないところはそのままにせず、調べたり、教員に尋ねる。
- 関連科目  
人体の構造と機能、臨床心理学、疾病治療論、代謝栄養学、食生活論、病理学総論、感染と防御、家族関係論、看護関係法規、看護対人関係論、基礎看護技術、成人看護援助論、小児看護援助論、精神看護援助論、地域看護学、家族看護学、看護倫理、生命倫理、心理学、母性看護学概論、母性看護学援助論1
- 担当者の研究室等  
小林浩（奈良医大）、村松十和（研究室15）、福山智子（研究室13）、宮本雅子（研究室12）、但馬まり子（共同研究室5）
- 備考  
小林先生は2コマ続きで4回で終了し、ほかの教員より早く終了するため、妊娠・分娩・産褥・新生児の正常偏は最低限、テキスト部分を読んで授業に臨むこと。

母性看護学援助論II Maternal Nursing II				
		村松十和（ムラマツ トウ）		
		赤井由紀子（アカイ ユキコ）		
		福山智子（フクヤマ トモコ）		
		宮本雅子（ミヤモト マサコ）		
		但馬まり子（タジマ マリコ）		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

＜概要＞

母性看護学実習で、対象（妊産褥婦と新生児）を受け持つ時に必要な科学的思考と、母性看護技術について、講義、自己学習、グループワーク、実技演習を通して学びます。

＜目的＞

1) マタニティサイクルにある女性が、心身共に健康な状態を維持・促進するために、科学的思考を用いて、一人一人に応じた看護を見出し、実践する方法を学ぶ。

＜目標＞

1) マタニティサイクルにある女性とその新生児が、健康な状態を維持・促進するための看護過程の方法について理解する。  
2) マタニティサイクルにある女性が、異常に移行した際に必要な看護について、考えることができる。

**授業方法と留意点**

授業方法は、講義、自己学習、グループワーク、母性看護技術の実技演習です。  
個人およびグループでの課題の内容、母性看護技術の実技演習の概要、評価方法については、1回目の授業で全て説明します。  
母性看護技術演習は、ユニフォームを着用して実習室で行います。

**科目学習の効果（資格）**

母性看護学実習に向けて重要な科目です。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーションを受けて、本科目の講義・演習の概要と課題について理解する。  
次に、母性看護の展開に必要な理論を、2回に分けて学ぶ。  
第1回目は、母性看護学概論で学んだ科学的看護論を復習し、対象理解への理論の適用について学ぶ。  
【内容・方法等】 講義  
【事前・事後学習課題】 [事前学習課題]母性看護学概論で福山が配布したプリントに目を通して、該当箇所を復習する。  
[課題A]授業回数第4・5・6・7回の事前学習課題を提示します。  
技術演習までに行為の根拠を調べ、DVDを視聴し、行為の手順を覚えて実技演習に臨んでください。  
DVDは教員（福山、但馬）から借りてください。
- 第2回** 【授業テーマ】 妊娠・分娩・産褥は疾病ではなく生理的変化であるため、マタニティサイクルにある女性の持てる力を分析し、生命力（回復しようとする力）を拡大できるようなケアについて、ウエルネステアの概念を学ぶ。  
次に、マタニティサイクルにある女性を、紙面上の事例を通して看護過程を展開する手順について、オリエンテーションを受けて理解する。  
看護過程の展開演習1回目-事例1の情報化-  
【内容・方法等】 講義、VTR、個人ワーク  
【事前・事後学習課題】 [事後学習課題]授業時間内に完成しなかった個人ワークを、授業回数第4回までに仕上げる。
- 第3回** 【授業テーマ】 妊娠各期の保健指導の方法について学ぶ。  
【内容・方法等】 講義、VTR  
【事前・事後学習課題】 授業回数第3回に関する事前事後学習課題はありません。
- 第4回** 【授業テーマ】 母性看護技術演習1回目-母性看護技術の演習を行う。  
【内容・方法等】 第4回と第5回は2コマ続きで、母性小児看護学実習室で実技演習をします。  
●新生児の環境整備、ベッドメイキング  
●新生児の観察と沐浴法  
●乳房管理と授乳時の様々な抱き方  
●授乳技術（ボトル授乳と排気法）  
【事前・事後学習課題】 演習翌日に[課題A]を提出する。
- 第5回** 【授業テーマ】 母性看護技術演習2回目-母性看護技術の演習を行う。  
【内容・方法等】 授業回数第4回と同内容  
【事前・事後学習課題】 授業回数第4回と同内容
- 第6回** 【授業テーマ】 母性看護技術演習3回目-母性看護技術の演習を行う。  
【内容・方法等】 第6回と第7回は2コマ続きで、実習室で実技演習をします。  
●妊娠期（子宮底・腹囲の測定方法、レオポルド胎児触診法と見心音聴取の方法）  
●分娩期（産婦の安楽な体位の工夫、呼吸法と補助動作の体験）  
●産褥期（褥婦の観察技術、復古を促進する技術）  
【事前・事後学習課題】 演習翌日に[課題A]を提出する。
- 第7回** 【授業テーマ】 母性看護技術演習4回目-母性看護技術の演習を行う。  
【内容・方法等】 第6回と同内容  
【事前・事後学習課題】 授業回数第6回と同内容
- 第8回** 【授業テーマ】 看護過程の展開演習2回目-事例1の対象理解-  
【内容・方法等】 講義、VTR、個人ワーク  
【事前・事後学習課題】 [事後学習課題]授業時間内に完成しなかった個人ワークを、授業回数第9回までに仕上げる。
- 第9回** 【授業テーマ】 看護過程の展開演習3回目-事例1のアセスメント①-

- 【内容・方法等】 講義、VTR、個人ワーク  
【事前・事後学習課題】 [事後学習課題]授業時間内に完成しなかった個人ワークを、授業回数第10回までに仕上げる。
- 第10回** 【授業テーマ】 看護過程の展開演習4回目-事例1のアセスメント②-看護過程の展開演習、事例1の看護計画立案①-  
【内容・方法等】 講義、個人ワーク  
【事前・事後学習課題】 [事後学習課題]授業時間内に完成しなかった個人ワークを、授業回数第11回までに仕上げる。
- 第11回** 【授業テーマ】 看護過程の展開演習5回目-事例1の看護計画立案②-  
【内容・方法等】 講義、グループワーク  
(実習室使用希望者は適宜申し出てください。)  
【事前・事後学習課題】 [課題B]授業回数第11回のグループワーク課題（看護計画の立案）を速やかに提出し、時間外に教員の指導を受けます。授業回数第12回では、グループワーク課題である看護計画を、ロールプレイングで実践します。それまでに実技演習を十分行ってください。
- 第12回** 【授業テーマ】 看護過程の展開演習6回目-事例1の看護実践-  
【内容・方法等】 グループで考え指導を受けた看護計画を、実践（発表）する。  
発表日は2回に分けるが、出席は所属クラスでよい。  
発表内容は、教員評価、他者評価、自己評価を行う。  
\*ユニフォーム着用、発表は録画して自己評価に使用します。  
【事前・事後学習課題】 [事後学習課題]授業回数第12回で実践した様子を振り返り、自己評価をする。
- 第13回** 【授業テーマ】 看護過程の展開演習7回目-事例1の評価とサマリー-  
【内容・方法等】 講義、グループワーク  
【事前・事後学習課題】 [事後学習課題]授業時間内に完成しなかったグループワーク課題を、授業回数第14回までに仕上げる。
- 第14回** 【授業テーマ】 正常から逸脱した褥婦の看護について、事例を通して学ぶ。  
【内容・方法等】 講義  
【事前・事後学習課題】 [事後学習課題]授業回数第14回で提示した課題を、授業回数第15回までに仕上げて提出する。
- 第15回** 【授業テーマ】 褥婦の退院支援の必要性について学ぶ。また、退院後から1か月健診までの実際について学ぶ。  
【内容・方法等】 講義、VTR  
【事前・事後学習課題】 授業回数第15回に関する事前事後学習課題はありません。

**評価方法（基準）**

筆記試験、課題の進行・提出状況、授業態度を見て総合的に評価します。

**教材等**

- 教科書**…医学書院：母性看護学概論、母性看護学各論  
講談社：看護のための人間論-ナースが診る人体、看護のための疾病論-ナースが診る病気-
- 参考書**…薄井坦子著. 科学的看護論. 日本看護協会出版会  
太田操編著. ウエルネス看護診断にもとづく母性看護過程第2版. 医歯薬出版  
佐世正勝, 石村由利子編. ウエルネスからみた母性看護過程第2版. 医学書院  
任和子編. 実習記録の書き方がわかる看護過程展開ガイド. 照林社

**学生へのメッセージ**

休まず授業に出席することはもちろんですが、主体的に学んでいきましょう。

**関連科目**

既習の専門基礎科目、専門科目は全て関連していますが、特に、人体の構造と機能、代謝栄養学、食生活論、病理学総論、感染と防御、家族関係論、母性看護学概論、母性看護学援助論1は大きく関連しています。

**担当者の研究室等**

福山智子（研究室13）、村松十和（研究室15）、赤井由紀子（研究室14）、宮本雅子（研究室12）、但馬まり子（共同研究室5）

**母性看護学実習**

Clinical Practice in Maternal Nursing

赤井由紀子（アカイ ユキコ）  
福山智子（フクヤマ トモコ）  
宮本雅子（ミヤモト マサコ）  
但馬まり子（タジマ マリコ）  
名草みどり（ナグサ ミドリ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

概要：妊婦・産婦・褥婦および新生児の身体的、心理的・社会的特性や生理的な経過を踏まえ、看護実践を通して周産期にある対象の健康保持増進、異常の予防における看護の実際を学習する。妊娠期、分娩期、産褥期および新生児期にあるケースを受け持ち、その正常経過と周産期の看護の実際および家族への支援方法を学び、看護過程が展開できる能力を養う。また、産婦への産痛緩和などのケアを通して分娩に立ち会い、命の尊厳について考える。

目的：周産期にある女性および家族の総合的な理解、さらに、新生児の子宮外生活への適応過程を理解し、看護実践に必要な基礎的知識・技術・態度を養う。

目標：

1. 周産期の母子の身体的・心理的・社会的特性を理解し、適応の過程を明らかにすることができる。
2. 周産期の母子とその家族に対して看護過程の展開ができる。
3. 母子保健医療チームの一員として、看護者の役割や責任を自覚した行動ができる。

**授業方法と留意点**

【実習方法】

1. 原則1グループ5名の編成とし、各グループの担当教員の指示に従い実習する。実習内容は病棟実習と外来実習、カンファレンスで構成され、ローテーションで行う。
2. 実習前には、学内の実習オリエンテーションを受け、各自、実習で困らないように実習目的・目標をもちに事前学習しておく。また、母性で必要となる技術の練習をしておく。
3. 初日は学内で実習オリエンテーションを行い、2日目より臨地実習に入る。最終日は学内でカンファレンスを持ち、記録の整理と提出を行う。
4. 実習では日々、各自の実習における課題と目標を明確にし、具体的な実習計画を立案して臨む。
5. 実習2日目に病棟のオリエンテーションを受け、病棟・外来の構造や機能や看護者の役割、一日の業務の流れと妊娠褥婦・新生児の生活の流れを理解する。
6. 実習中は1組の母子を受け持ち看護過程を展開したり、分娩見学、外来で妊婦健康診査の一部実施、特殊外来の見学をする。
7. 日々、学生主体のカンファレンス（一日の振り返り、疑問点等の意見交換）を行い、学びを共有する
8. 実習記録は毎日必ず記録し、指導教員や臨床側から指導や助言を受ける。
9. 最終週の木曜日前後には臨床側に参加してもらい反省会を行う。
10. 最後の金曜日は学内で施設合同のカンファレンスを行い、学びを共有する。

【留意点】

妊娠や出産は病気ではないが、妊娠褥婦は精神的に不安定で、疲労も強いので、訪室時間や言動に注意をし、新生児は抵抗力がなため、体調を整え学生自身が感染症にかからないようにする。さらに、同時に2つの命を扱うため、看護実践では細心の注意が必要である。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

【実習内容】

1. 学内
  - 初日に実習のオリエンテーション、最終日には学内で施設合同のカンファレンスを実施する。
2. 病棟実習
  - 1) 1組の褥婦とその新生児を2人の学生で情報を共有しながら受け持ち看護過程の展開をする。
  - 2) 分娩があれば、産婦を受け持ち、産婦および新生児のケアを指導者と共に実施または見学する。
  - 3) 新生児室実習は治療や要観察、新生児だけの入院の新生児で、スタッフの指導のもとにケアを行う。
3. 外来実習
  - 1) 医師の妊婦健診を受ける妊婦の妊娠経過を把握し、健康診査に同行し、見学又は一部を実施する。
  - 2) 助産師外来の妊婦健康診査に同行し、指導者の基に健康診査や保健指導を見学する。
  - 3) 不妊外来、思春期外来、更年期外来などの特殊外来、学級活動の見学を行う。
4. カンファレンス
  - 1) 一日の実習の振り返り、疑問点や困っていることの意見交換を行い、教員や指導者から助言を受ける。
  - 2) 受け持ち事例に関連したテーマで全員が発表し、学びを共有する。
  - 3) 学内で施設合同のカンファレンスを行い、実習目標に沿って、その評価や今後の課題をのべ、学びを共有する。
5. 事前事後学習
  - 1) 実習で計画した実習内容に必要な知識や技術は事前に学習し、技術は習得しておく。また、実習での学びは自分で学習ノートを作り、復習しておく。
  - 2) 実習で必要となる情報は、学生間で共有し、連携も取っておく。
6. 実習態度およびルール
  - 1) 看護師・教員の助言は真摯な態度で受け止め、積極的に実

習や学習に生かす。

2) 実習内容は事前にスタッフや教員に報告して助言や許可を得てから実施する。勝手に行動することは、禁止する。

3) 実習で知りえた情報や実施内容は、適宜、看護師や教員に必ず報告する。

4) 対象に畏敬の念を持ち、対象の権利を尊重し、プライバシーの保護に努める。

**評価方法・評価基準**

出席状況、実習内容、実習態度、実習記録をもとにした実習目標の到達度、を総合的に評価する。

**教材等**

教科書…実習場には母性看護学の授業で使用したテキストはすべて持参。

参考書…必要時、紹介する。

**備考**

実習場所

星ヶ丘厚生年金病院、市立枚方市民病院、関西医科大学附属枚方病院、大阪厚生年金病院

**精神看護学概論**

Introduction to Psychiatric and Mental Health Nursing

眞野祥子(マノ ショウコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

精神看護学の対象は、精神疾患を持つ人に限らず、あらゆる発達段階にある人々を含んでいる。本科目では、心の健康を保持・増進するために必要となる基本的な知識を学び、精神医療に関連する基本的な概念を理解する。具体的には、精神看護学と精神保健の基本、現代社会におけるストレスと健康、精神医療・保健・福祉の歴史と法律、精神疾患を持つ人の実態、リエゾン精神看護について学習する。また、将来、看護職に就く者として自身の心の健康を保持・増進するための知識についても学習する。

**授業方法と留意点**

下記の授業計画に沿って講義を行う。精神看護学を身近に感じられるように、学生自身の経験や知識、健康に関するトピックスを活用し、メンタルヘルスの現状や問題点を概観し、心の健康・不健康について自分の言葉で考察できるようになることを目指す。また、精神医療・精神障害者をイメージすることが難しいと考えられるため、視聴覚教材や精神医療に関する映画などを補助的に活用して興味・関心を引き出し、イメージの促進を促していく。

授業は講義を中心に行うが、学生が授業中も頭を働かせて参加できるように質問に対する答えや意見・感想を求め、授業への積極的参加を促したい。毎回の授業の最後に「ワークシート」を配布し、その日の授業テーマに基づく課題の解答を求め、次の授業で学生にフィードバックしていく。

**科目学習の効果(資格)**

看護師国家試験受験資格のための必修科目である。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 精神看護学の基本**  
**【内容・方法 等】** 精神看護学の位置づけ、精神看護の対象となる人・生活の場について理解する。  
**【事前・事後学習課題】** 事前：教科書①「第1章-I～IV」を読んでください。  
 事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第2回 【授業テーマ】 心とは何か**  
**【内容・方法 等】** 精神力動的な考え方にもとづいて、心の構造と働きを理解する。  
**【事前・事後学習課題】** 事前：教科書「第2章 I」を読んで来てください。  
 事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第3回 【授業テーマ】 心の健康とは何か**  
**【内容・方法 等】** 心の健康-不健康について理解する。  
**【事前・事後学習課題】** 事前：教科書①「第2章 I～II」「第3章 I～III」を読んで来てください。  
 事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第4回 【授業テーマ】 ストレスと健康**  
**【内容・方法 等】** ストレスの概念、対処行動、危機介入、PTSDについて理解する。  
**【事前・事後学習課題】** 事前：教科書①「第6章 I～IV」を読んで来てください。  
 事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第5回 【授業テーマ】 暮らしの場と心の健康**  
**【内容・方法 等】** 現代社会に生きる人々の心の健康問題について、家庭、地域、学校の生活の場ごとに学習する。  
**【事前・事後学習課題】** 事前：教科書①「第5章 I～IV」を読んで来てください。

- 事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第6回** 【授業テーマ】 ライフサイクルと危機  
【内容・方法等】 エリクソンの生涯発達理論、フロイトの精神学的発達論について理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前：教科書①「第4章I」「第6章II」を読んで来てください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第7回** 【授業テーマ】 看護師のメンタルヘルス  
【内容・方法等】 バーンアウトとその対処法、看護職者の感情体験について理解する。  
【事前・事後学習課題】 事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第8回** 【授業テーマ】 自己理解  
【内容・方法等】 エゴグラムを用い、自分から見た自分と他者から見えている自分を知り、自分と他者との認識の違いから生じる不都合とその対処法について考える。  
【事前・事後学習課題】 事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第9回** 【授業テーマ】 精神保健医療福祉の歴史的変遷①  
【内容・方法等】 視聴覚教材を用い、精神保健医療福祉の歴史について理解する。  
【事前・事後学習課題】 事後：レポートを作成し提出してください。
- 第10回** 【授業テーマ】 精神保健医療福祉の歴史的変遷②  
【内容・方法等】 欧米、日本の精神保健医療福祉の歴史と変遷について理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前：教科書①「第7章I～II」を読んで来てください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第11回** 【授業テーマ】 精神看護における法と人権擁護  
【内容・方法等】 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（精神保健福祉法）について理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前：教科書①「第7章III～IV」を読んで来てください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第12回** 【授業テーマ】 精神障害者の現状と精神保健医療福祉施策の動向  
【内容・方法等】 自立と社会復帰、地域生活支援など、精神障害者の保健・医療・福祉の現状について理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前：教科書①「第7章V」、教科書②「第1章I」を読んで来てください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第13回** 【授業テーマ】 精神障害を持って生きる人の生活  
【内容・方法等】 精神障害者が置かれている社会的立場、偏見、社会生活を維持する上での困難について理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前：教科書②「第2章I」を読んで来てください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第14回** 【授業テーマ】 リエゾン精神看護  
【内容・方法等】 身体疾患を持つ患者の精神の健康、患者・家族の精神の健康について理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前：教科書②「第11章」を読んで来てください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第15回** 【授業テーマ】 精神看護学の動向と課題  
【内容・方法等】 認定・専門看護師制度、触法精神医療等について理解する。  
【事前・事後学習課題】 事後：授業内容を整理しておいてください。
- 評価方法（基準）**  
定期試験（70%）及びレポート、ワークシート（30%）を総合して判定する。なおレポート課題については授業の時に説明する。
- 教材等**  
教科書…佐藤壹三監修 メヂカルフレンド社 新体系 看護学全書  
精神看護学① 精神看護学概論 精神保健（2,205円税込）  
精神看護学② 精神障害をもつ人の看護（3,885円税込）  
参考書…メディカ出版 出口禎子著 精神看護学 情緒発達と看護の基本（2,730円税込）  
メディカ出版 出口禎子著 生活障害と看護の実践（3,150円税込）
- 学生へのメッセージ**  
積極的に授業に参加してください。
- 関連科目**  
精神看護学援助論Ⅰ、精神看護学援助論Ⅱ、精神看護学実習
- 担当者の研究室等**  
7号館3階 研究室19（眞野）
- 備考**  
学生の理解度に応じてシラバスを変更することがある。

**精神看護学援助論Ⅰ**

Psychiatric and Mental Health Nursing I

眞野 祥子 (マノ ショウコ)

山本 智津子 (ヤマモト チヅコ)

吉村 公一 (ヨシムラ コウイチ)

未決定 (看護学部) (ミケツテイ カンゴカクブ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期(30回)	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

精神看護を実践するために必要となる基本的な知識・技術を学ぶ。精神看護では、患者―看護師の対人関係が病気回復において重要となる。そこで患者―看護師関係に関する理論を理解したうえで、患者―看護師関係を展開していくためのスキルトレーニング法であるプロセスレコード、ロールプレイングを用いた演習で自己洞察を深め、患者―看護師関係における自己の活用能力向上を目指す。また、精神疾患を持つ患者理解の基礎となる幻覚・妄想、躁、うつ状態などの精神症状の捉え方について学び、患者の精神症状をアセスメントし、看護介入が行えるようになることを目指す。当事者の体験談を通して精神障害者に対する理解を深める。  
精神科医療における診断と治療の概念、精神疾患に関する病歴、診断、回復過程、治療について精神医学の立場から概説する。

**授業方法と留意点**

下記の授業計画に沿って講義を行う。精神医療・精神障害者をイメージすることが難しいと考えられるため、当事者による体験談や視聴覚教材を補助的に活用して興味・関心を引き出し、イメージの促進を図る。  
授業は講義を中心に行うが、学生が授業中も頭を働かせて参加できるように質問に対する答えや意見・感想を求め、授業への積極的参加を促す。毎回の授業の最後に「ワークシート」を配布し、その日の授業テーマに基づく課題の解答を求め、次回の授業で学生にフィードバックしていく。

**科目学習の効果（資格）**

看護師国家試験受験資格のための必修科目である。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 援助的人間関係（理論編）  
【内容・方法等】 援助的人間関係について理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前：「第2章-I-C」、「第2章-II・III」を読んで来てください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第2回** 【授業テーマ】 援助的人間関係（実践編）  
【内容・方法等】 ロールプレイングの演習を通して、治療的援助としての患者―看護師関係について理解を深める。  
【事前・事後学習課題】 事前：同上
- 第3回** 【授業テーマ】 援助的人間関係（実践編）  
【内容・方法等】 プロセスレコードを用いた演習を行い、自己洞察を深める。  
【事前・事後学習課題】 事前：「第2章-III-B」、「第2章-V-B-2」を読んで来てください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第4回** 【授業テーマ】 プロセスレコードの分析と評価  
【内容・方法等】 プロセスレコードの振り返りを行う。
- 第5回** 【授業テーマ】 精神症状のアセスメント  
【内容・方法等】 幻覚妄想状態と看護について理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前：「第4章-I-B-1・2」、「第4章-I-C-3」、「第7章-I-C」を読んで来てください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第6回** 【授業テーマ】 精神症状のアセスメント  
【内容・方法等】 意欲低下、引きこもり状態と看護について理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前：「第4章-I-B-5」、「第4章-I-C-7・8」、「第7章-I-L」を読んで来てください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第7回** 【授業テーマ】 精神症状のアセスメント  
【内容・方法等】 拒絶と看護について理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前：「第4章-I-B-5」、「第7章-I-J」を読んで来てください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第8回** 【授業テーマ】 体験談  
【内容・方法等】 当事者の体験談を通して、精神疾患を持つ対象者への理解を深める。
- 第9回** 【授業テーマ】 精神症状のアセスメント  
【内容・方法等】 不安状態、強迫状態と看護について理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前：「第4章-I-B-4」、「第4章-I-C-1」、「第6章-I-C-1」、「第7章-I-A・E」を読んで来てください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第10回** 【授業テーマ】 精神症状のアセスメント  
【内容・方法等】 躁、うつ状態、希死念慮と看護について理

- 解する。
- 【事前・事後学習課題】 事前：「第2章-VI-D-1」、「第4章-I-C-4」、「第7章-I-B」を読んで来ててください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第11回 【授業テーマ】 精神症状のアセスメント  
【内容・方法等】 操作的状態と看護について理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前：「第4章-I-B-5」を読んで来ててください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第12回 【授業テーマ】 精神科治療と看護  
【内容・方法等】 精神療法、薬物療法、作業療法と看護を理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前：「第5章-III」、「第8章III・IV・V・VI」を読んで来ててください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第13回 【授業テーマ】 症状マネジメント力を高める支援  
【内容・方法等】 心理教育、症状マネジメント、SSTについて理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前：「第5章-III-D-2」を読んで来ててください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第14回 【授業テーマ】 家族支援  
【内容・方法等】 精神障害者の家族心理や家族支援のあり方について理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前：「第3章」を読んで来ててください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第15回 【授業テーマ】 精神症状がセルフケアへ及ぼす影響のアセスメント  
【内容・方法等】 セルフケア理論/オレム・アンダーウッド理論について理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前：「第2章-IV」を読んで来ててください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第16回 【授業テーマ】 精神疾患の診断基準、精神疾患の臨床症状、検査法  
【内容・方法等】 精神疾患の診断基準、精神疾患の臨床症状、検査法（理学的所見、脳波、画像）等について理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前：「第1章-II」、「第4章」、「第5章」を読んで来ててください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第17回 【授業テーマ】 統合失調症  
【内容・方法等】 統合失調症の歴史、症状、診断、治療等について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 事前：「第6章-I-A」を読んで来ててください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第18回 【授業テーマ】 気分障害  
【内容・方法等】 気分障害の症状、治療等について理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前：「第6章-I-B」を読んで来ててください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第19回 【授業テーマ】 神経症、心身症、ストレス関連障害  
【内容・方法等】 神経症、心身症、ストレス関連障害の症状、治療等について理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前：「第6章-I-C」を読んで来ててください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第20回 【授業テーマ】 人格障害、摂食障害  
【内容・方法等】 人格障害、摂食障害の症状、治療等について理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前：「第6章-I-D」、「第6章-II-C-3-4」を読んで来ててください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第21回 【授業テーマ】 依存症  
【内容・方法等】 依存症の分類、症状、治療等について理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前：「第6章-I-G」を読んで来ててください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第22回 【授業テーマ】 器質性精神障害、症状精神病、てんかん  
【内容・方法等】 器質性精神障害、症状精神病の症状、経過、治療等、てんかんの類型、発作の種類、治療等について理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前：「第6章-I-E」、「第6章-I-F」、「第6章-I-H」を読んで来ててください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第23回 【授業テーマ】 児童・青年期の精神障害  
【内容・方法等】 児童・青年期の精神障害の特徴、症状、治療等について理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前：「第6章-II」を読んで来ててください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第24回 【授業テーマ】 -  
【内容・方法等】 -

- 【事前・事後学習課題】 -  
【授業テーマ】 -  
【内容・方法等】 -
- 第25回 【事前・事後学習課題】 -  
【授業テーマ】 -  
【内容・方法等】 -
- 第26回 【事前・事後学習課題】 -  
【授業テーマ】 -  
【内容・方法等】 -
- 第27回 【事前・事後学習課題】 -  
【授業テーマ】 -  
【内容・方法等】 -
- 第28回 【事前・事後学習課題】 -  
【授業テーマ】 -  
【内容・方法等】 -
- 第29回 【事前・事後学習課題】 -  
【授業テーマ】 -  
【内容・方法等】 -
- 第30回 【事前・事後学習課題】 -  
【授業テーマ】 -
- 評価方法（基準）  
合否は、定期試験（70%）及びレポート、ワークシート、演習（30%）を総合して判定する。  
なおレポート課題については、授業の時に説明する。
- 教材等  
教科書…佐藤壹三 「精神障害をもつ人の看護」 メヂカルフレンド社 （3,700円＋税）  
渡辺雅幸 「はじめての精神医学」 中山書店 （2,800円＋税）  
参考書…佐藤壹三 「精神看護学概論 精神保健」 メヂカルフレンド社 （2,100円＋税）
- 学生へのメッセージ  
積極的に授業に参加してください。
- 関連科目  
精神看護学概論、精神看護学援助論II、精神看護学実習
- 担当者の研究室等  
7号館3階 研究室19（眞野）、研究室18（山本智）、共同研究室4（吉村）
- 備考  
学生の理解度に応じて、シラバスを変更することがある。  
16～23回は外部講師による講義になる。日程（日程変更を含む）は追って連絡するので、注意深く掲示板の確認をすること。

### 精神看護学援助論II

Psychiatric and Mental Health Nursing II

山本 智津子 (ヤマモト チツコ)

眞野 祥子 (マノ ショウコ)

吉村 公一 (ヨシムラ コウイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	必修	1

#### 授業概要・目的・到達目標

本科目は、精神看護学概論および精神看護学援助論Iで学んだ基本的な知識・技術をふまえたうえで、精神疾患と治療を理解するとともに、精神疾患を有する対象とその家族に対する基本的看護援助方法を学ぶ。

また精神看護学概論および精神看護学援助論Iで学んだ基礎知識を活用しながら、ペーパーベースによる看護過程の展開を行い、対象のアセスメントする技術と、必要な看護ケアの方法を理解する。  
さらに地域社会でその人らしく暮らすための支援体制について学ぶ。

#### 授業方法と留意点

基本的には授業計画にそってスライドを用いながら講義を行う。一方的な講義にならないよう学生が発言する機会を設け、また精神疾患・精神症状や精神障害者への理解を深められるように視聴覚教材を活用する。

#### 科目学習の効果（資格）

看護師国家試験受験資格のための必修科目である。

#### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 疾患による看護の特徴 (1)  
【内容・方法等】 統合失調症 (者) の理解と看護  
【事前・事後学習課題】 事前：「第9章-G」を読んで来ててください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第2回 【授業テーマ】 疾患による看護の特徴 (2)  
【内容・方法等】 気分障害 (者) の理解と看護  
【事前・事後学習課題】 事前：「第9章-H」を読んで来ててください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第3回 【授業テーマ】 疾患による看護の特徴 (3)  
【内容・方法等】 神経症性障害 (者) の理解と看護

- 【事前・事後学習課題】** 事前：「第9章-1」を読んでください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第4回** **【授業テーマ】** 疾患による看護の特徴 (4)  
**【内容・方法等】** 人格障害・摂食障害(者)の理解と看護  
**【事前・事後学習課題】** 事前：「第9章-JおよびN」を読んでください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第5回** **【授業テーマ】** 疾患による看護の特徴 (5)  
**【内容・方法等】** アルコール依存および薬物依存(者)の理解と看護  
**【事前・事後学習課題】** 事前：「第9章-E」を読んでください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第6回** **【授業テーマ】** 疾患による看護の特徴 (6)  
**【内容・方法等】** 身体合併症をもつ対象の看護、精神科救急  
**【事前・事後学習課題】** 事前：「第9章-K」を読んでください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第7回** **【授業テーマ】** 地域精神保健福祉活動の現状、他職種との連携  
**【内容・方法等】** 精神障害者の地域生活支援  
**【事前・事後学習課題】** 事前：「第10章-II」を読んでください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第8回** **【授業テーマ】** 精神症状がセルフケアへ及ぼす影響のアセスメント (1)  
**【内容・方法等】** オレム・アンダーウッド理論  
**【事前・事後学習課題】** 事前：事前に配布する資料で予習をしておいてください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第9回** **【授業テーマ】** 精神症状がセルフケアへ及ぼす影響のアセスメント (2)  
**【内容・方法等】** オレム・アンダーウッド理論の活用法  
**【事前・事後学習課題】** 事前：事前に配布する資料で予習をしておいてください。  
事後：授業内容を整理しておいてください。
- 第10回** **【授業テーマ】** 事例演習 (1)  
**【内容・方法等】** 情報収集と整理、アセスメント  
**【事前・事後学習課題】** 事前：第1~6回までの授業内容を復習してきてください。
- 第11回** **【授業テーマ】** 事例演習 (2)  
**【内容・方法等】** 問題点の抽出  
**【事前・事後学習課題】** 事前：第1~6回までの授業内容を復習してきてください。
- 第12回** **【授業テーマ】** 事例演習 (3)  
**【内容・方法等】** 看護計画立案  
**【事前・事後学習課題】** 事前：第1~6回までの授業内容を復習してきてください。
- 第13回** **【授業テーマ】** 事例演習 (4)  
**【内容・方法等】** 事例に関するグループ討議①  
**【事前・事後学習課題】** 事前：第1~6回までの授業内容を復習してきてください。
- 第14回** **【授業テーマ】** 事例演習 (5)  
**【内容・方法等】** 事例に関するグループ討議②  
**【事前・事後学習課題】** 事前：第1~6回までの授業内容を復習してきてください。
- 第15回** **【授業テーマ】** 事例演習 (6)  
**【内容・方法等】** 事例発表会  
**【事前・事後学習課題】** 事前：第1~6回までの授業内容を復習してきてください。
- 評価方法 (基準)**  
合否は定期試験、グループ討議、事例発表会、レポート等を総合して評価する。  
(評価割合：定期試験70%、グループ討議・事例発表会・レポート等30%)
- 教材等**  
**教科書**…精神看護学概論 精神保健/佐藤壺三監修/メヂカルフレンド社  
精神障害をもつ人の看護/佐藤壺三監修/メヂカルフレンド社  
**参考書**…はじめての精神医学/渡辺雅幸/中山書店  
オレムのセルフケアモデル—事例を用いた看護過程の展開/宇佐美しおり/ヌーヴェルヒロカワ
- 学生へのメッセージ**  
積極的に授業に参加してください。
- 関連科目**  
精神看護学概論、精神看護学援助論I、精神看護学実習
- 担当者の研究室等**  
7号館3階 研究室19 (眞野)、研究室18 (山本智)、共同研究室4 (吉村)
- 備考**  
学生の理解度に応じて、シラバスを変更することがある。

**精神看護学実習**

Clinical Practice in Psychiatric and Mental Health Nursing

眞野 祥子 (マノ ショウコ)

山本 智津子 (ヤマモト チヅコ)

吉村 公一 (ヨシムラ コウイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

**【概要】**

精神看護学概論、精神看護学援助論での学習をもとに、精神科病棟での精神疾患を持つ人とのかかわりを通し、精神看護について学ぶ。具体的には、精神に障害を持つ人および家族について理解し、人間性を尊重したかかわりを通して、健康段階やその変化に応じた基礎的知識、技術およびコミュニケーション能力を養う。

**【目的】**

精神に障害を持つ人と看護師との関係について学ぶとともに、その人の全体像を把握し、病気やセルフケア能力の回復過程に沿った援助に必要な看護実践能力を修得する。また、精神医療の現状を理解する。

**【実習目標】**

1. 患者-看護師関係を理解し、援助的人間関係を樹立することができる。
2. 対象者の全体像を把握し、健康やセルフケア能力の回復過程に沿った援助を実践することができる。
3. 精神障害者の権利擁護、精神医療の現状と他職種との連携について理解することができる。

**授業方法と留意点**

1. 原則として1グループ5名編成とし、担当教員の指導を受ける。
2. 実習前に、実習目的・目標、実習計画・事前学習・実習施設概要・留意事項等のオリエンテーションを受ける。
3. 実習目的・目標をもとに、各自の実習における課題と目標を明確にする。
4. 実習にあたり、実習病院・病棟のオリエンテーションを受け、病棟の機能や看護職の役割を理解する。
5. 実習中は、受持ち対象者に適した看護過程の展開を行う。
6. 毎日、学生主体のカンファレンスを行い、一日の振り返りと翌日の計画について意見交換し、お互いの学びを共有する。
7. 実習記録は必ず記録し、指導教員および臨地実習指導者からの助言・指導を受ける。
8. 各自の実習における学びを振り返り、レポートをまとめる。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

**【実習期間】** 2014年9月~12月の2週間

**【実習内容】**

1. 学生は特定の患者を受け持ち、看護過程を展開する。
2. 看護場面を選択して、プロセスレコードを記載し、振り返りを行う。
3. 治療効果を考慮して、学生主催のレクリエーションを企画・運営する。

**【事前学習課題】**

精神看護学概論、精神看護学援助論I、IIで学習した知識と技術を活用できるように復習をしておくこと。特に統合失調症、気分障害、カウンセリングの基本態度(援助的人間関係)に関しては必ず復習しておくこと。

**評価方法・評価基準**

実習内容(実習目的・目標の達成状況、記録)、レポートを総合して評価する。

**教材等**

**教科書**…精神看護学概論、精神看護学援助論I・IIで使用した教科書および資料

**【教科書】**

佐藤壺三監修 メヂカルフレンド社 新体系 看護学全書

精神看護学 精神看護学概論 精神保健 (2,205円税込)

精神看護学 精神障害をもつ人の看護 (3,885円税込)  
渡辺雅幸 「はじめての精神医学」 中山書店 (2,800円+税)

**備考**

**【実習場所】**

大阪府立精神医療センター、京都府立洛南病院、宇治おうばく病院、大阪市立総合医療センター、ハートランドしぎさん

## 在宅看護学概論

Introduction to Home Care Nursing

後 関 容 子 (ゴカン ヨウコ)

石 橋 文 枝 (イシバシ フミエ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	2

### 授業概要・目的・到達目標

在宅看護の変遷を踏まえて、社会の変化と諸制度、人々の多様な価値観の変化、QOLの重視、セルフケア、自己決定の尊重という観点から在宅看護の目的を理解する。同時に、地域で生活しながら療養する人々とその家族・生活環境を理解し、療養生活を安定して継続できるように支援するために必要な看護の基本的知識・技術・倫理観を学ぶ。在宅看護における社会資源及びチームケア・職種間の連携の在り方について理解する。

### 授業方法と留意点

授業計画に沿って講義を中心に進めていく予定である。在宅看護の方法としての訪問看護や他職種・他機関との連携、在宅ケアマネジメント方法などイメージが困難な学習には、DVDの活用、事例を用いて学習を進める。講義終了後は、講義資料やノート整理を習慣づけてください。復習時に理解の困難な用語や事柄については、次講義時間を活用する、あるいは教員の研究室の方に来るなど、主体的に学習に取り組みその時の学びを大切にしてください。

### 科目学習の効果（資格）

患者の入院から退院・退院後の生活に向けて、継続看護に必要な基礎的知識・技術・倫理観に関する領域でもある。在宅看護は、療養者の生活の場で展開される。したがって、医療・保健・福祉分野との連携に必要な知識・技術・倫理観について幅広く学ぶ機会であり、病院看護師としてだけではなく更に、社会的な役割・社会的意識をもつ職種であることの認識を得ることができる。

### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 在宅看護の概念  
 【内容・方法 等】 地域療養を支える看護  
 在宅ケアと在宅看護  
 在宅看護の倫理と基本理念について；自己決定支援  
 訪問看護の実践について視聴覚教材(DVD)の使用  
 【事前・事後学習課題】 事前学習・・・第1回受講時、用語の定義1,2,3を調べて参加する（A4サイズ用紙）。  
 1.在宅ケアとは  
 2.地域看護とは  
 3.在宅看護とは
- 第2回** 【授業テーマ】 訪問看護はどのように作られたか  
 在宅看護の歴史と変遷  
 【内容・方法 等】 講義中心  
 ・第1回目講義の学習のまとめと内容の確認  
 日本の在宅看護の変遷と社会背景  
 ・在宅看護の社会的背景について  
 【事前・事後学習課題】 第3回目；  
 日本の在宅看護の変遷と社会背景について、ナーシンググラフィカP16-P22、新版在宅看護論P187-P197までを読んで講義に参加すること。
- 第3回** 【授業テーマ】 在宅ケアを支える制度と社会資源  
 訪問看護の成り立ち  
 介護保険/医療保険制度  
 【内容・方法 等】 講義中心  
 ・訪問看護の仕組みと提供  
 ・事前回講義の学習のまとめと確認  
 ・前課題の学習内容を基に進めていきます。  
 【事前・事後学習課題】 第3回講義参加時の課題  
 1.医療保険の種類  
 2.介護保険についてP204-P211までを読んで参加すること。
- 第4回** 【授業テーマ】 第2回目からの継続講義  
 ケアマネジメントについて  
 【内容・方法 等】 講義中心  
 第3回講義内容  
 ケアマネジメントの実際理解ができるように、事例を通して説明をする。  
 ケアマネジメントの過程  
 ケースマネジメント  
 【事前・事後学習課題】 ケアマネジメントについてP211-218まで読んで受講する。  
 ケアマネジメントに関連するレポート課題あり
- 第5回** 【授業テーマ】 訪問看護制度の法的枠組み  
 医療保険と訪問看護  
 介護保険と訪問看護  
 障害者総合支援法  
 【内容・方法 等】 医療保険と介護保険の両制度における訪問看護の役割と機能について  
 第3回の講義の復習を兼ねて質疑応答を進めていく  
 【事前・事後学習課題】 講義終了後に課題提示

- 第6回** 【授業テーマ】 在宅療養者と家族支援1  
 【内容・方法 等】 \*第5回までの学習評価-小テスト-  
 在宅療養を必要とする人たち  
 在宅療養の成立条件  
 在宅療養者の権利  
 在宅療養者への看護活動  
 【事前・事後学習課題】 講義終了後に課題提示
- 第7回** 【授業テーマ】 在宅療養者と家族支援2  
 【内容・方法 等】 家族とは  
 家族と看護介護家族の状況(家族の介護負担とその軽減)  
 家族に関する理論(・家族対処理論・構造・機能理論・発達理論・家族システム理論  
 【事前・事後学習課題】 講義終了後に課題提示
- 第8回** 【授業テーマ】 在宅療養者と家族支援2  
 【内容・方法 等】 家族に関する理論(・家族対処理論・構造・機能理論・発達理論・家族システム理論  
 【事前・事後学習課題】 講義終了後に課題提示
- 第9回** 【授業テーマ】 在宅療養を療養を支える看護  
 社会資源の活用  
 【内容・方法 等】 講義中心  
 1部グループワーク  
 社会資源とは  
 社会資源活用のプロセス；障害者自立支援について  
 住環境/福祉用具について  
 【事前・事後学習課題】 講義終了後に課題提示
- 第10回** 【授業テーマ】 在宅療養を療養を支える看護  
 多職種と連携・協働すること  
 【内容・方法 等】 講義中心  
 多職種との連携・協働の必要性  
 訪問看護の役割  
 在宅ケアにおける保健医療福祉チーム  
 【事前・事後学習課題】 講義終了後に課題提示
- 第11回** 【授業テーマ】 訪問看護の実践（看護過程）  
 【内容・方法 等】 訪問看護における看護過程の特徴  
 訪問看護家庭の実際  
 訪問看護記録  
 【事前・事後学習課題】 講義終了後に課題提示
- 第12回** 【授業テーマ】 さまざまな療養者に対する在宅看護 1  
 【内容・方法 等】 要介護高齢者への在宅看護  
 認知症高齢者への在宅看護  
 がん療養者への在宅看護・・・視聴覚教材DVD  
 神経系難病療養者への在宅看護  
 感染症を持つ療養者への在宅看護  
 【事前・事後学習課題】 講義終了後に課題提示
- 第13回** 【授業テーマ】 さまざまな療養者に対する在宅看護 2  
 【内容・方法 等】 講義中心/DVD  
 小児への在宅看護  
 精神疾患を持つ療養者への在宅看護・・・視聴覚教材DVD  
 【事前・事後学習課題】 講義終了後に課題提示
- 第14回** 【授業テーマ】 継続看護について  
 【内容・方法 等】 第13回まで学習評価-小テスト-  
 退院計画とは  
 看護職との連携の方法(病院と在宅の継続看護、福祉施設での看護と訪問看護、保健所・市町村と訪問看護  
 【事前・事後学習課題】 講義終了後に課題提示
- 第15回** 【授業テーマ】 在宅看護管理とは  
 在宅看護まとめ  
 【内容・方法 等】 訪問看護ステーションの事業運営  
 安全管理  
 看護の質の管理  
 【事前・事後学習課題】 講義終了後に課題提示
- 評価方法（基準）**  
 小テスト（10%） レポート（20%） 定期試験(70%)を総合的に判断する。
- 教材等**  
**教科書**・・・新版 在宅看護論 木下由美子編著 価格(2400円+税)  
 ナーシング・グラフィカ  
 在宅看護論 地域療養を支えるケア 価格(3400円+税)  
**参考書**・・・根拠がわかる在宅看護技術 編集/岡崎美智子 正野逸子  
 価格4935円  
 新しい家族社会学 森岡清美・望月嵩共著 価格(1750円+税)
- 学生へのメッセージ**  
 現在、我が国は少子化社会そして超高齢社会にあり、看護職の働く場は病院看護から在宅看護へ拡大されています。病院看護との違いは、療養者の「生活の場」で行う看護支援は、幅広い知識と創造力を更に求められます。短い時間で幅広い学習をすることになります。日々の学習(予習・復習)を大事にしましょう。講義中の質問は大歓迎です。15コマを通して在宅看護の理解に達します。欠席をしないように受講することが求められます。
- 関連科目**

家族関係論 地域看護学 専門科目の概論のすべて  
**担当者の研究室等**  
 7号館 3階 第8研究室 後閑容子

第9研究室 石橋文枝

**備考**

不定期に、小テスト、レポートを行う。10回目以降に行う演習の取り組み状況も評価の対象とする。欠席をしないようにすること。  
 教科書は、2冊とも購入のこと。参考書の「根拠がわかる在宅看護技術」は、3年次前期の在宅看護学援助論では、必須となる教科書です。

専門科目

**在宅看護学援助論 I**  
 Home Care Nursing I

石橋文枝 (イシバシ フミエ)  
 後閑容子 (ゴカン ヨウコ)  
 阪上由美 (サカガミ ユミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

**概要**

在宅看護実践は、療養者の自宅に赴き「生活の場」で展開される。そのため、療養者・家族との信頼関係の構築が重要である。病院看護とは異なり医療設備の不足する環境で、さまざまな発達段階や健康障害(難病疾患、COPD、脳血管障害後遺症、精神疾患、終末期ケア、在宅酸素療法、高度医療処置)を持つ人への医療処置・援助方法について理解する。全般を通し療養者・家族の自立・QOLに向けた支援方法について考えることができる。

**到達目標**

- 1.在宅療養者の日常生活援助方法について理解できる
- 2.在宅医療および医療管理を必要とする人への看護を理解できる
- 3.対象別、病態別看護の在宅看護について理解できる

**授業方法と留意点**

講義と演習を中心にすすめていく。在宅で使用する医療器材や物品について、現物を紹介し使用方法や管理について学習する。また、高度医療機器に(人工呼吸器)についても取り扱い方法や留意事項など直接、触れて学べる時間(演習)を持つ。また、療養者の生活の場で看護を提供するためには、療養者・家族の個々の生活支援には看護者の創意工夫が求められる。また、GWを予定しています。GWでは、事例にもとづいて、援助の工夫を考えますので、欠席をしないようしてください。

**科目学習の効果(資格)**

在宅看護学実習及び他領域実習に必要な「知識・技術・態度」を学ぶことができる。看護師国家試験学習のために知識の獲得。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】在宅看護援助技術  
 在宅でのコミュニケーション・面接技術  
**【内容・方法等】** 家庭訪問の意義と訪問マナー  
 信頼関係の形成  
 訪問マナーについて実演(学生による)  
**【事前・事後学習課題】** 新版在宅看護論P39-P48を読んで講義に臨む  
 講義後のノート整理を行うこと
- 第2回** 【授業テーマ】在宅における日常生活援助  
 環境/食事/排泄  
**【内容・方法等】** 講義：在宅における環境整備とは 食事とは 排泄とは  
 日常生活行動、特に自立の程度は、療養者や家族の生活・QOLに影響します。日常生活の負担を少なくすることは、在宅療養を継続するうえで重要です。基礎看護学技術で学んだ内容をベースに在宅環境に合わせた援助の方法について講義します。  
**【事前・事後学習課題】** 講義後のノート整理を行うこと  
 1年次の基礎看護技術の環境/食事/排泄を復習すること
- 第3回** 【授業テーマ】在宅における日常生活援助  
 清潔/移動  
**【内容・方法等】** 講義：在宅における清潔/移動  
 日常生活行動、特に自立の程度は、療養者や家族の生活・QOLに影響します。日常生活の負担を少なくすることは、在宅療養を継続するうえで重要です。基礎看護学技術で学んだ内容をベースに在宅環境に合わせた援助の方法について講義します。  
**【事前・事後学習課題】** 講義後のノート整理を行うこと  
 1年次の基礎看護技術の清潔/移動を復習すること
- 第4回** 【授業テーマ】在宅における日常生活援助

衣(更衣)/服薬

- 【内容・方法等】** 講義：在宅における衣とは 服薬とはについて  
 日常生活行動、特に自立の程度は、療養者や家族の生活・QOLに影響します。日常生活の負担を少なくすることは、在宅療養を継続するうえで重要です。基礎看護学技術で学んだ内容をベースに在宅環境に合わせた援助の方法について講義します。
- 【事前・事後学習課題】** 講義後のノート整理を行うこと  
 1年次の基礎看護技術の衣(更衣)/服薬を復習すること
- 第5回** 【授業テーマ】在宅における医療処置の支援・看護方法について  
 医療処置の目標、支援、教育のポイントについて  
**【内容・方法等】** 在宅の医療処置の現状  
 ・在宅中心静脈栄養法  
 ・人工肛門  
**【事前・事後学習課題】** 講義後のノート整理を行うこと  
**【授業テーマ】** 在宅における医療処置の支援・看護について  
 事例：脳卒中後遺症を持つ高齢者
- 【内容・方法等】** 脳卒中の事例(医療処置管栄養、膀胱カテーテル、褥瘡の発生)に対する看護の展開  
 経管栄養は、シュミレーターを用いて理解を深める  
**【事前・事後学習課題】** 講義後のノート整理を行うこと
- 第7回** 【授業テーマ】在宅における医療処置の支援・看護について  
 腹膜透析(PACD)の実際と在宅での援助  
**【内容・方法等】** ・血液透析の生活指導との比較  
 ・腹膜透析の患者の支援・看護  
**【事前・事後学習課題】** 講義後のノート整理を行うこと  
 ・第7回講義課題：慢性腎不全について(血液透析患者の生活指導についてレポート)  
 1年次・2年次の病理学；慢性腎不全の病態の復讐をしておくこと  
 講義後のノート整理を行うこと
- 第8回** 【授業テーマ】事例にみる在宅看護(50人：講義/50人 演習)  
 -1コマ-  
 COPDを持つ人への在宅看護  
 筋萎縮性側索硬化症を持つ人の在宅看護  
**【内容・方法等】** 事例(第8.9コマ続き) (50人：講義/50人 演習) -1コマ-  
 COPDを持つ人への在宅看護  
 筋萎縮性側索硬化症を持つ人の在宅看護  
 演習；人工呼吸器の管理  
 酸素濃縮器の管理  
**【事前・事後学習課題】** 事前課題；慢性呼吸不全の定義について調べる  
 事前課題；筋萎縮性側索硬化症・難病について調べておく  
 講義後、課題レポートあり
- 第9回** 【授業テーマ】第8回・9回コマ続き  
 事例(50人：講義/50人 演習) -2コマ-  
 COPDを持つ人への在宅看護  
 筋萎縮性側索硬化症を持つ人の在宅看護  
**【内容・方法等】** 事例にみる在宅看護 (50人：講義/50人 演習) -1コマ-  
 COPDを持つ人への在宅看護  
 筋萎縮性側索硬化症を持つ人の在宅看護  
 演習；人工呼吸器の管理  
 酸素濃縮器の管理  
 演習；人工呼吸器の管理  
 酸素濃縮器の管理  
**【事前・事後学習課題】** 事前課題；慢性呼吸不全の定義について調べる  
 事前課題；筋萎縮性側索硬化症・難病について調べておく  
 講義後、課題レポートあり
- 第10回** 【授業テーマ】COPD/ALSを持つ人の看護について  
**【内容・方法等】** 在宅療養をする医療依存度の高い人への看護について  
 テーマごとにGW  
 小テスト  
**【事前・事後学習課題】** 事前課題；筋萎縮性側索硬化症・難病について調べておく  
 講義後のノート整理を行うこと
- 第11回** 【授業テーマ】さまざまな疾患を持つ人の在宅看護  
 在宅で生活する精神障害を持つ人への支援  
 在宅で生活する小児への支援  
**【内容・方法等】** 病院における看護との違いと在宅での援助方法  
 小児の在宅支援の理解と在宅ケア特有の支援技術  
**【事前・事後学習課題】** 講義後のノート整理を行うこと
- 第12回** 【授業テーマ】さまざまな疾患を持つ人の在宅看護  
 事故により中途障害を持った若者に対する在宅看護  
 認知症を持つ人への在宅看護  
**【内容・方法等】** 頸椎損傷に伴う四肢麻痺で寝たきりに対する援助  
 褥瘡の予防

- 四肢硬縮の予防  
 摘便  
 認知療養者の理解  
 認知症療養者・家族への支援方法
- 第13回 【事前・事後学習課題】 講義後のノート整理を行うこと  
 【授業テーマ】 在宅ターミナルケア  
 【内容・方法等】 在宅ターミナルを可能にする要件  
 WHO疼痛ラダーについて  
 終末期プロセス  
 看取り(エンゼルケアを含む)
- 第14回 【事前・事後学習課題】 講義後のノート整理を行うこと  
 【授業テーマ】 在宅ターミナルケア  
 【内容・方法等】 在宅ターミナルを可能にする要件  
 WHO疼痛ラダーについて  
 終末期プロセス  
 看取り(エンゼルケアを含む)
- 第15回 【事前・事後学習課題】 講義後のノート整理を行うこと  
 【授業テーマ】 在宅援助論まとめ  
 【内容・方法等】 小テスト  
 【事前・事後学習課題】 特になし

評価方法(基準)

"講義/演習への参加態度20%  
 科目最終試験80%"

教材等

教科書…新版在宅看護論 木下由美子 試薬出版株式会社 価格2400+税  
 在宅看護技術 岡崎美智子編 メジカルフレンド社 価格4700円  
 参考書…根拠がわかる  
 ナーシンググラフィカ  
 在宅看護論地域療養を支えるケア MCメディカ出版 価格3400+税

学生へのメッセージ

在宅看護では、患者のことを「患者」とは言いません。療養者あるいは訪問看護を利用する「利用者さん」と呼称します。在宅援助方法の原理原則は基礎看護技術と変わりませんが、療養者それぞれの生活があるように援助も百人百様の方法で援助を提供しなければなりません。看護師のフィールドも拡大しつつあります。頭を柔軟に学習に取り組んでください。

関連科目

基礎科目、専門基礎科目、地域看護学、家族関係論、領域実習

担当者の研究室等

後閑容子 7号館 3階 第8研究室  
 石橋文枝 7号館 3階 第9研究室

在宅看護学援助論II  
 Home Care Nursing II

後閑容子(ゴカン ヨウコ)  
 石橋文枝(イシバシ フミエ)  
 阪上由美(サカガミ ユミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

在宅看護概論、在宅援助論Iの既習知識を活用し、様々な発達段階、健康上の問題を抱えながら、地域で生活する療養者への援助の実践方法について修得する。  
 在宅における看護過程の展開の特徴と訪問看護の役割を述べることができる。  
 在宅で提供する援助技術が安全、安楽に実施できるための方法論について学ぶ

授業方法と留意点

この授業は、演習中心に行うので、主体的に取り組むこと  
 ・事前学習、課題を通して講義内容の理解が深まるようにしてください  
 ・共同学習、グループ学習の場面が多くあります。個人の意見をもって参加できること、また、他者の意見に耳を傾けることが大切になる授業展開になります。

科目学習の効果(資格)

在宅看護学実習及び他領域実習に必要な「知識・技術・態度」を学ぶことができる。看護師国家試験学習のために知識の獲得。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 事例に基づいた看護過程の展開  
 【内容・方法等】 在宅における看護過程の展開について-講義中心-  
 事例紹介  
 事例に基づいて①情報収集 ②アセスメント・問題の明確

- 化③看護計画④実践 ⑤評価のプロセスの一連の流れを示す  
 【事前・事後学習課題】 看護過程の構成要素について復讐をしておくこと  
 課題：紹介する事例について看護過程の情報収集・問題の明確化と全体像の把握までを展開をする。講義したところまでを個人で展開する
- 第2回 【授業テーマ】 第1回目 継続講義  
 【内容・方法等】 看護過程の展開  
 第1回に引き続き③看護計画④実践 ⑤評価のプロセスの一連の流れを示す  
 講義したところまでを個人で展開する  
 【事前・事後学習課題】 課題：紹介する事例について看護過程の情報収集・問題の明確化と全体像の把握までを展開をする。
- 第3回 【授業テーマ】 事例についてグループワーク 1回目  
 情報収集、全体像の把握、問題点の明確化、について意見交換  
 【内容・方法等】 1クラスを3区分し1教員3:2-33人程度での学習展開/1G(6人)×5=32-33人  
 指定された教室でグループワークの実施  
 担当教員の相談。アドバイスを得ながら進めていく  
 【事前・事後学習課題】 個人学習を必ずして参加する。
- 第4回 【授業テーマ】 事例についてグループ討議 2回目  
 看護計画の具体的な内容について意見交換  
 【内容・方法等】 全体像から浮かび上がった問題点について根拠を確認する  
 それぞれの問題点に対する長期目標・短期目標  
 O-P、T-P、E-Pについて援助内容の確認と共有  
 T-Pからグループの援助内容を決定する。  
 【事前・事後学習課題】 個人学習を必ずして参加する。
- 第5回 【授業テーマ】 全体学習  
 事例を用いた看護過程の実践計画(看護計画)の発表 2コマ続き(4.5時限)  
 【内容・方法等】 ・事例に対する看護計画の発表と意見交換  
 1担当教員のグループ;2~3グループ/5グループの援助計画に対する意見交換  
 【事前・事後学習課題】 講義終了後説明します。
- 第6回 【授業テーマ】 全体学習  
 事例に対する看護過程の実践計画(看護計画)の発表 2コマ続き(4.5時限)  
 【内容・方法等】 ・事例に対する看護計画の発表と意見交換  
 1担当教員のグループ;2~3グループ/5グループの援助計画に対する意見交換  
 計画に基づいた援助の実践について説明  
 【事前・事後学習課題】 演習計画に対する必要物品、手順、評価方法について作成/個人課題。
- 第7回 【授業テーマ】 グループ別演習計画の立案 教室;在宅演習室  
 【内容・方法等】 演習計画書を各グループで作成/教員位演習計画を提出  
 必要物品  
 手順  
 評価方法  
 【事前・事後学習課題】 演習内容の学習をしておくこと。
- 第8回 【授業テーマ】 演習グループ/課題グループ 2コマ続き  
 援助の実際 1援助=30分×2援助の演習  
 【内容・方法等】 看護計画に基づいて援助計画の演習  
 各グループ;役割分担と援助後の評価をもって終了  
 空き時間は、課題への取り組み  
 【事前・事後学習課題】 演習内容の学習をしておくこと。
- 第9回 【授業テーマ】 演習グループ/課題グループ 2コマ続き  
 援助の実際 1援助=30分援助の演習/1G2演習  
 【内容・方法等】 看護計画に基づいて援助計画の演習  
 各グループ;役割分担と援助後の評価をもって終了  
 空き時間は、課題への取り組みと計画に修正評価  
 【事前・事後学習課題】 演習内容の学習をしておくこと。
- 第10回 【授業テーマ】 在宅看護過程の展開のまとめ  
 事例を用いた看護過程の展開と演習から学んだこと-意見交換-  
 【内容・方法等】 グループ学習  
 次回、演習ロールプレイングの説明  
 【事前・事後学習課題】 講義終了後説明します。
- 第11回 【授業テーマ】 ロールプレイ(4コマ)  
 在宅ケアマネジメント  
 初回訪問/サービス担当者会議  
 【内容・方法等】 1年次立案した在宅ケアマネジメントを用いて初回訪問の設定  
 20分の模擬演習(1G10人=9G)  
 役割分担、役づくり:1回目レポート  
 実演:2回目レポート 一部(DLT)  
 【事前・事後学習課題】 講義終了後説明します。
- 第12回 【授業テーマ】 2コマ:継続  
 在宅ケアマネジメント  
 初回訪問/サービス担当者会議

- 【内容・方法 等】** 在宅ケアマネジメント  
初回訪問/サービス担当者会議  
演習20分 (DLT) レポート  
グループ間での意見交換
- 【事前・事後学習課題】** 講義終了後説明します。
- 第13回** **【授業テーマ】** 3コマ  
在宅ケアマネジメント  
初回訪問/サービス担当者会議
- 【内容・方法 等】** 各グループのロールプレイングの学び；映像を通して意見交換
- 【事前・事後学習課題】** 講義終了後説明します。
- 第14回** **【授業テーマ】** 4コマ；3コマの継続  
在宅ケアマネジメント  
初回訪問/サービス担当者会議
- 【内容・方法 等】** 各グループのロールプレイングの学び；映像を通して意見交換
- 【事前・事後学習課題】** 講義終了後説明します。
- 第15回** **【授業テーマ】** 在宅看護学演習のまとめ  
**【内容・方法 等】** 在宅看護援助技術  
地域で生活を支えるということ  
家族、多職種との関わり方についてのまとめ  
**【事前・事後学習課題】** ロールプレイングでの感想や自分なりの意見を持って講義に参加する

**評価方法 (基準)**

グループでの学習成果(提出物)や個人課題の提出物、演習への参加姿勢を含め点数評価：50点  
演習を終えての課題レポート：50点

**教材等**

**教科書**…在宅看護技術 岡崎美智子編 メジカルフレンド社 価格4700円  
新版在宅看護論 木下由美子 試薬出版株式会社 価格2400+税

**参考書**…写真でわかる訪問看護 インターメディアカ 2500円  
よくわかる在宅看護 学研 2600円

**学生へのメッセージ**

演習中心(GW)に学習を進めていきます。  
グループ学習は、個人の参加意識が学習成果に影響します。グループで取り決めた到達目標、自己役割を果たし在宅で療養する人に必要な看護の展開方法や必要な医療処置やセルフケアに必要な支援方法について学習しましょう。

**関連科目**

基礎専門科目。専門科目の全て

**担当者の研究室等**

後閑容子 7号館 3階 第8研究室  
石橋文枝 7号館 3階 第9研究室  
阪上由美 7号館 3階

**備考**

演習内容によっては、4コマ続きや2コマ続きがあります。時間割の確認を怠らないことと全出席ができるように体調管理・生活管理をしてください

**在宅看護学実習**

Practice in Home Care Nursing

後 閑 容 子 (ゴカン ヨウコ)  
石 橋 文 枝 (イシバシ フミエ)  
阪 上 由 美 (サカガミ ユミ)  
山 本 十三代 (ヤマモト トミヨ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

**実習目的**  
在宅で看護を必要としているあらゆるライフステージにある人々やその家族の生活の実態、健康上の問題を理解し在宅における看護の機能と役割の実際を学ぶ。

**到達目標**  
1)訪問看護ステーションの組織・機構の概要について述べられる。  
2)地域看護における訪問看護の特性について述べられる  
3)対象の健康上の問題について述べられる  
4)対象に対する医療・福祉活動の実際について述べられる  
5)対象およびその家族の生活の実際について記述できる  
6)対象およびその家族に対する看護活動の実際について記述できる  
7)社会資源の活用方法について記述できる  
8)関係職種との連携の実際について記述できる

**授業方法と留意点**

1.看護学臨地実習要項をよく読み理解した上で、在宅実習要項で示している実 習目的・目標を達成できるよう務める。

- 2.実習オリエンテーションには、必ず出席する。
- 3.実習目標を理解し必要な事前学習・演習を行い主体的に実習に取り組む。
- 4.実習期間中、訪問看護師に同行し看護の実践を見学/体験をする。
- 5.実習期間中の教員からの指導は時間設定し行う。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

- 1.訪問看護ステーションで2週間(学内演習3日間、臨地実習7日間)の実習。
- 2.実習1日目は、直接実習施設に行くので事前に交通アクセスの把握が必要。
- 3.初日より、訪問看護師に同行し在宅療養者のご自宅へ行き看護の実際を学ぶ。
- 4.訪問は1日2ケース(2ケース×7日のうち1ケースを継続訪問する)。
- 5.2日目からの同行は基礎看護技術を用いて療養者にかかわれるように取り組む。
- 6.継続訪問の利用者に対しては、ケース把握(全体像)問題点の明確化、看護計画の立案という流れを用いて在宅療養者や家族に対する必要な援助を考える。
- 7.他機関、他職種との協働の場面もあるので事前学習は確実にしておく。
- 8.実習施設の最終日には、指導者を交えたカンファレンスの実施。
- 9.学内最終日は、各施設ごとのプレゼンテーションを行い情報の共有と意見交換を行い在宅看護の理解を深める。

**評価方法・評価基準**

1.実習目標の達成度や実習態度を含めて評価  
(実習への出席率によって目標の達成が困難な場合は確認・指導します)

**教材等**

**教科書**…講義で用いたテキスト、資料の全て  
**参考書**…在宅看護学講義全般で紹介した参考書の全て(シラバス参照)

**備考**

体調管理に気をつける。

**地域看護学**

Community Health Nursing

後 閑 容 子 (ゴカン ヨウコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

地域看護学の理念、対象(個人・家族・集団・コミュニティ)、活動の場の特性、法規、活動の展開方法、計画策定と実践などの概要の学習を通して、地域看護学の概念を理解し、看護の役割と機能を学習する。さらに、地域看護学の歴史的発展と現状、今後の課題を社会的現象とのかかわりを通して、地域において看護職が果たす機能や役割を考える。  
また、地域保健における母子保健管理体系の学習と保健・医療・福祉との連携、看護職の役割を理解する。

**授業方法と留意点**

原則として、授業計画に基づき授業を展開する。授業に使用するテキストは「公衆衛生看護学JP」、「国民衛生の動向」を使用し、授業に参加する学生には、予習を促すようにする。毎回、授業の振り返りを行い、さらに学生の質問と授業への感想、要望をとり、授業の内容と進め方に反映させる。  
地域看護学における活動方法などは、実践例を用いた教材を作成し、学生が理解できるように工夫する。さらに、保健指導の方法では、集団や個別の指導方法を実践的に学ぶ機会を設けるなどして、学生の学習を助ける。

**科目学習の効果 (資格)**

地域の理解、地域看護(保健師)の理解により、統合看護に繋がる

**毎回の授業テーマ・内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** **【授業テーマ】** 地域看護の概要  
**【内容・方法 等】** 地域看護学、公衆衛生看護学の理念、活動の概要、活動の対象と場  
**【事前・事後学習課題】** 1.健康とはどのような状態か、健康の定義とは何か、調べてまとめてみてください。2.公衆衛生看護学JP3-13ページを読んでみてください。
- 第2回** **【授業テーマ】** 地域保健活動の歴史  
**【内容・方法 等】** リリアンワールドと公衆衛生看護活動、日本の保健師活動の特徴と歴史  
**【事前・事後学習課題】** 1.公衆衛生看護学JP22-37を読んでみてください。2.保健師の活動について書かれた本を紹介します。
- 第3回** **【授業テーマ】** ヘルスプロモーションと施策  
**【内容・方法 等】** プライマリーヘルスケア、WHOの活動、オタワ憲章、バンコク憲章、世界の健康と看護職の活動  
**【事前・事後学習課題】** 1.ヘルスプロモーションに関する文献

- を読んできてください。第1回授業時に渡します。
- 第4回** 【授業テーマ】 地域診断と保健活動  
 【内容・方法 等】 地域診断の目的・意義を理解する1.地域診断過程、2.コミュニティアズパートナーモデル、プリシード・プロシードモデル、3.地域保健活動でどのように地域診断を活用しているか、事例をととして理解する。  
 【事前・事後学習課題】 1.地域診断に関するテキストの章を読んできてください。
- 第5回** 【授業テーマ】 地域保健活動の方法  
 【内容・方法 等】 健康教育、健康相談、家庭訪問など地域保健活動方法の概要と方法を理解する。  
 【事前・事後学習課題】 1.家庭訪問について学習します。学んだこと、考えたことをまとめて、次回の授業までに提出してください。2.公衆衛生看護学JP137-238ページを読んできてください。
- 第6回** 【授業テーマ】 行動変容と保健指導  
 【内容・方法 等】 地域看護活動と行動変容モデル・看護活動モデル  
 【事前・事後学習課題】 1.自分の保健行動に関して評価します。事後学習としてまとめてください。
- 第7回** 【授業テーマ】 母子保健活動  
 【内容・方法 等】 母子保健の諸指標と保健師活動の概要  
 母子保健における地域の健康問題と保健活動1.母子手帳と保健活動、2.こんにちは赤ちゃん事業、3.乳幼児健康診査・健康相談  
 【事前・事後学習課題】 1.自分の母子手帳を持ってきてください。
- 第8回** 【授業テーマ】 思春期保健・リプロダクティブヘルス  
 【内容・方法 等】 リプロダクティブヘルスにおける健康増進活動について学習します。  
 【事前・事後学習課題】 思春期保健活動の紹介をします。学生によるボランティア活動もありますので、あらかじめ調べてきてください。
- 第9回** 【授業テーマ】 成人保健活動  
 【内容・方法 等】 成人の健康の現状、特定健診・特定保健指導について  
 【事前・事後学習課題】 1.自分の体重、身長、腹囲を計測して来ててください。
- 第10回** 【授業テーマ】 高齢者保健活動  
 【内容・方法 等】 高齢者の健康の現状と課題、介護予防と地域保健活動、地域包括支援センター  
 【事前・事後学習課題】 1.介護者の手記、介護に関する本を読んできてください。
- 第11回** 【授業テーマ】 難病・精神保健活動  
 【内容・方法 等】 地域医療と難病、地域精神保健活動、メンタルヘルス活動  
 【事前・事後学習課題】 ALS療養者の文献を紹介します。あらかじめ読んで、授業に参加してください。
- 第12回** 【授業テーマ】 感染症保健活動  
 【内容・方法 等】 感染症予防法と保健師の活動、1.結核と保健活動、2.HIV・AIDS、3.その他  
 【事前・事後学習課題】 1.結核、又はAIDSに関する学習課題(授業時に提示する内容)について、調べてまとめてください。
- 第13回** 【授業テーマ】 地区組織活動  
 【内容・方法 等】 コミュニティにおける保健師活動、地域住民と健康意識、健康づくり、自助グループ育成への支援などについて理解する。  
 【事前・事後学習課題】 自助グループについて調べてみましょう。地域にはどのようなグループがあるのでしょうか？
- 第14回** 【授業テーマ】 地域看護管理  
 【内容・方法 等】 地域における保健医療福祉計画、事業計画などと保健師の役割  
 【事前・事後学習課題】 あなたの住んでいる市町村のHPから地域保健計画を探してみましょう。どのような計画がありましたか。あらかじめ調べて授業に参加しましょう。
- 第15回** 【授業テーマ】 地域看護における倫理  
 【内容・方法 等】 個人情報保護と保健活動、保健活動における倫理的判断などを理解する。  
 【事前・事後学習課題】 あなたのご家族は健康診査の結果をどのように知りますか？保健師と関わりがあるかどうか、聞いてみましょう。
- 評価方法(基準)**  
 授業で紹介する保健師の活動記録に関する本や論文に関するレポート、講義中の質問に対する回答及び定期試験の結果を基に、総合的に評価する。授業の欠席が多い場合は定期試験を受けることができない。  
 定期試験(80%)、講義の参加状況(10%)、レポート(10%)
- 教材等**  
**教科書**…"荒賀直子、後閑容子 編 『公衆衛生看護学JP第3版』インターメディアカル (4,400円+税)  
 厚生統計協会 『国民衛生の動向』最新号(8月頃発売予定です) 厚生統計協会 (2,286円+税)  
 "
 **参考書**…畑栄一 『行動科学』 南江堂

日本看護協会 監修 『保健師業務要覧』 日本看護協会出版会

**学生へのメッセージ**

地域看護学には公衆衛生看護学、在宅看護学、学校保健、産業看護などたいへん広い看護の活動の場が含まれています。本授業では、地域看護学とは何か、健康と看護とのかわりを理解し、さらに、健康増進や健康づくり、疾病予防に関連する看護活動を広く学習します。看護学への導入とともに地域における看護活動の実際も理解できるように、事前・事後学習として出された課題をしっかりと学習してください。また、授業に出席することは、本科目にとって必須条件です。自身の健康管理に気を付けて、授業を休まないようにしてください。

**関連科目**

看護学概論  
 在宅看護学概論

**担当者の研究室等**

7号館3階 研究室8(後閑)

**家族看護学**  
 Family Nursing

**後 閑 容 子 (ゴカン ヨウコ)**

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

看護職は患者とともに家族を看護の対象として、またチーム医療の構成員として協働する者と捉えて、看護を行う。本科目は、家族看護学の歴史や概念を理解し、家族を理解するための理論を学び、実践のお場において活用できるように、実際例を通して、家族への看護のあり方、看護職の役割りを学ぶ。具体的には、家族看護過程に沿った展開を学習する。

**授業方法と留意点**

講義及び演習を取り入れて、具体的に学習できるようにする。講義においては、既学習における学びをもとに、家族看護学における理論の学びを深め、さらに、実際例をととした看護過程の展開を学ぶ。そのために、看護学の専門領域で学んだことを復習することを期待する。

**科目学習の効果(資格)**

看護学部3年生を対象とした授業科目

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 家族看護学とは何か  
 【内容・方法 等】 家族看護学の定義、目的  
 家族看護学に求められているもの  
 【事前・事後学習課題】 テキスト第1章を読んでくる
- 第2回** 【授業テーマ】 看護学における家族の理解  
 【内容・方法 等】 わが国の家族  
 家族と健康  
 【事前・事後学習課題】 国民衛生の動向から、人口、世帯数、世帯構造の推移を学習
- 第3回** 【授業テーマ】 家族と理論 1  
 【内容・方法 等】 家族発達理論  
 【事前・事後学習課題】 テキストの予習
- 第4回** 【授業テーマ】 家族と理論 2  
 【内容・方法 等】 家族システム理論  
 【事前・事後学習課題】 テキストの予習
- 第5回** 【授業テーマ】 家族と理論 3  
 【内容・方法 等】 家族ストレス理論  
 【事前・事後学習課題】 テキストの予習
- 第6回** 【授業テーマ】 家族看護過程 1  
 【内容・方法 等】 家族看護アセスメント  
 【事前・事後学習課題】 テキストの予習
- 第7回** 【授業テーマ】 家族看護アセスメント  
 【内容・方法 等】 ジェノグラム、エコマップの学習  
 【事前・事後学習課題】 事前配布資料の学習
- 第8回** 【授業テーマ】 家族看護アセスメントモデル  
 【内容・方法 等】 カルガリーアセスメントモデル、等  
 【事前・事後学習課題】 事前配布資料の学習
- 第9回** 【授業テーマ】 家族看護方法  
 【内容・方法 等】 家族への働きかけ等  
 【事前・事後学習課題】 テキスト予習
- 第10回** 【授業テーマ】 家族看護評価  
 【内容・方法 等】 評価の目的、方法  
 【事前・事後学習課題】 テキスト予習
- 第11回** 【授業テーマ】 家族看護の実際例を学ぶ 1  
 【内容・方法 等】 在宅療養の高齢者の家族への看護 グループ学習  
 【事前・事後学習課題】 配布資料の予習
- 第12回** 【授業テーマ】 家族看護の実際例を学ぶ 2  
 【内容・方法 等】 在宅療養の高齢者の家族への看護 グループ学習 共有

**第13回** 【事前・事後学習課題】 グループ検討の資料  
【授業テーマ】 家族看護の実際例を学ぶ 3  
【内容・方法等】 終末期看護の実際例 グループ学習

**第14回** 【事前・事後学習課題】 事前配布資料の予習  
【授業テーマ】 家族看護の実際例を学ぶ 4  
【内容・方法等】 週末期看護の実際例 グループ学習 共有  
【事前・事後学習課題】 グループ検討資料の確認

**第15回** 【授業テーマ】 家族看護学のみとめ  
【内容・方法等】 授業の振り返り  
看護者の役割と援助姿勢  
【事前・事後学習課題】 今までの振り返り

**評価方法（基準）**  
期末試験、グループ学習への参加の程度などを総合的に評価する。  
授業への欠席の多い場合、期末試験を受けることはできない。  
期末試験80%、グループ学習への貢献度20%を予定している。

**教材等**  
教科書…家族看護学 理論と実践 第4版 鈴木和子、渡辺裕子著、日本看護協会出版会  
参考書…国民衛生の動向

**学生へのメッセージ**  
看護学実習に入る前に、家族は看護の対象であり、時には、患者への看護の協働者でもあることを理解し、実際の看護に活用できる学びを期待する。予習復習をすること、グループ学習への積極的な参加を期待する。

**関連科目**  
授業中に紹介する

**担当者の研究室等**  
教員研究室は7号館3階。

国際看護学 International Nursing				
野田 洋子 (ノダ ヨウコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**  
グローバルな視点で世界の人々の健康と生活について理解する。特に開発途上国の人々の健康問題について理解を深め、看護を行う上での基礎的知識、態度、行動を育成する。  
異文化(多文化共生) 地域における保健・医療・看護の現状および在日外国人や海外在留邦人の健康・健康問題について理解を深める。

**授業方法と留意点**  
原則として授業計画に基づき授業を展開する。授業は講義および演習(グループワークと発表、体験学習など)を取り入れる。またDVDやインターネットの利用、テーマによってゲストスピーカーの特別講義を予定する。  
テキスト使用およびプリント配布

**科目学習の効果（資格）**  
「海外医療セミナー」を履修するための必須科目。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

**第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション  
国際看護と異文化(多文化共生) 看護の概念  
【内容・方法等】 自己紹介と授業の進め方の確認  
国際看護、異文化看護の概念、看護の対象  
異文化理解のワークショップ  
【事前・事後学習課題】 「国際看護学」に期待すること、関心あることを各自まとめておくこと

**第2回** 【授業テーマ】 グローバルヘルスの基本概念  
【内容・方法等】 健康に影響する要因  
プライマリヘルスケアとヘルスプロモーション  
国連ミレニアム目標  
【事前・事後学習課題】 既習の知識の復習「公衆衛生看護学.jp」 p. 14-21  
テキスト第1章I

**第3回** 【授業テーマ】 途上国の健康課題  
【内容・方法等】 リプロダクティブヘルス  
感染症、HIV/AIDS  
生活習慣病  
その他  
【事前・事後学習課題】 テキスト第1章II

**第4回** 【授業テーマ】 国際機関と日本のODA  
【内容・方法等】 国際援助・国際協力組織  
日本の国際協力組織；ODA,NGO  
【事前・事後学習課題】 テキスト第2章I

**第5回** 【授業テーマ】 国際保健・看護活動の現状  
【内容・方法等】 途上国への看護職の協力活動の実際  
【事前・事後学習課題】 テキスト第2章II  
海外で活躍している看護職(OA,青年海外協力隊、NGOなど)について

**第6回** 【授業テーマ】 在日外国人、海外在留邦人の健康課題と看護  
【内容・方法等】 在日外国人の母子保健、精神保健  
海外在留邦人の健康課題  
医療ツーリズム など  
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章第4章

**第7回** 【授業テーマ】 世界の保健医療制度・看護制度  
【内容・方法等】 先進国と途上国の保健医療制度  
先進国と途上国の看護制度と看護教育制度  
看護職の国際移動  
【事前・事後学習課題】 各自の関心のある国についての保健医療・看護制度について検索

**第8回** 【授業テーマ】 国際看護・異文化看護の課題  
まとめ  
【内容・方法等】 講義、グループワーク、発表

**第9回** 【授業テーマ】 —  
【内容・方法等】 —

**第10回** 【授業テーマ】 —  
【内容・方法等】 —

**第11回** 【授業テーマ】 —  
【内容・方法等】 —

**第12回** 【授業テーマ】 —  
【内容・方法等】 —

**第13回** 【授業テーマ】 —  
【内容・方法等】 —

**第14回** 【授業テーマ】 —  
【内容・方法等】 —

**第15回** 【授業テーマ】 —  
【内容・方法等】 —

**評価方法（基準）**  
レポート(80%)、グループワーク、プレゼン発表など授業参加度(20%)

**教材等**  
教科書…丸井英二、森口育子、李節子編 「国際看護・国際保健」弘文堂、2012、(2400円+税)  
参考書…日本国際保健医療学会編「国際保健医療学 第3版」杏林書院、2013、(3200+税)  
ビバリー・ヘンリー、上田監訳「国際保健看護」看護の科学社、2005 (1300+税)  
田村やよひ編「看護の統合と実践③ 国際看護学」メヂカルフレンド社、2012 (2100+税)  
青山温子、原ひろ子、喜多悦子「開発と健康 ジェンダーの視点から」ゆうひかく選書、2001、(1600+税)  
(そのほかの参考書、文献は授業時間内に適宜提示する)

**学生へのメッセージ**  
本科目は選択科目であり、学生が主体的に授業に参加されることを期待します。  
選択した学生数および学生のニーズにより授業内容・方法を変更することがあります。

**関連科目**  
公衆衛生学、地域看護学、文化人類学など

**担当者の研究室等**  
7号館3階研究室20

**備考**  
授業は2コマ続きで隔週の開講となります。

海外医療セミナー International Health Care Semina				
小堀 栄子 (コボリ エイコ)				
竹中 泉 (タケナカ イズミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**  
国際看護学を学んだ学生を対象に、実際に海外の臨床現場を訪れ、そこで行われている看護の実践について学ぶ。現地では病院見学・講義等を行い、看護・保健・医療をめぐる事情について学習する。日本とは異なる社会環境の中で実践されている臨床現場での学習を通して、日本の看護とそのあり方についてもう一度振り返り、看護と社会の関わり、看護のあるべき姿とその将来について考える機会とする。

**授業方法と留意点**  
事前研修、海外研修、報告会をおこなう。

科目学習の効果（資格）

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 -  
【内容・方法 等】 渡航前に現地の保健医療事情について学習する。現地で保健医療事情についての講義を受け、さらに理解を深める。病院や高齢者施設を見学し、また現地の大学の看護学生と交流する。グループ学習と発表を通して学んだことの理解を深め、共有する。
- 第2回 【事前・事後学習課題】 -  
【授業テーマ】 -  
【内容・方法 等】 -
- 第3回 【事前・事後学習課題】 -  
【授業テーマ】 -  
【内容・方法 等】 -
- 第4回 【事前・事後学習課題】 -  
【授業テーマ】 -  
【内容・方法 等】 -
- 第5回 【事前・事後学習課題】 -  
【授業テーマ】 -  
【内容・方法 等】 -
- 第6回 【事前・事後学習課題】 -  
【授業テーマ】 -  
【内容・方法 等】 -
- 第7回 【事前・事後学習課題】 -  
【授業テーマ】 -  
【内容・方法 等】 -
- 第8回 【事前・事後学習課題】 -  
【授業テーマ】 -  
【内容・方法 等】 -
- 第9回 【事前・事後学習課題】 -  
【授業テーマ】 -  
【内容・方法 等】 -
- 第10回 【事前・事後学習課題】 -  
【授業テーマ】 -  
【内容・方法 等】 -
- 第11回 【事前・事後学習課題】 -  
【授業テーマ】 -  
【内容・方法 等】 -
- 第12回 【事前・事後学習課題】 -  
【授業テーマ】 -  
【内容・方法 等】 -
- 第13回 【事前・事後学習課題】 -  
【授業テーマ】 -  
【内容・方法 等】 -
- 第14回 【事前・事後学習課題】 -  
【授業テーマ】 -  
【内容・方法 等】 -
- 第15回 【事前・事後学習課題】 -  
【授業テーマ】 -  
【内容・方法 等】 -

評価方法（基準）

事前学習、海外研修、報告会

教材等

教科書…なし

参考書…なし

学生へのメッセージ

国際看護学を履修すること。積極的に学ぶこと。

関連科目

国際看護学

担当者の研究室等

7号館3階24

備考

なし

臨床看護学演習I Clinical Nursing Practice I				
		川 畑 安 正 (カワハタ ヤスマサ)		
		松 本 葉 子 (マツモト ヨウコ)		
		竹 下 裕 子 (タケシタ ヒロコ)		
		河 野 武 幸 (コウノ タケユキ)		
		未決定 (看護学部)	(ミケツテイ カンゴガクブ)	
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

【授業概要】

看護学部学生と薬学部学生との共同演習を通して、医療職の専門性を尊重しつつ、役割分担と連携の必要性を理解し、各健康障がい看護の対象となる人々に関する情報を模擬カルテから読み取り、看護計画及び薬物治療計画の立案に必要な基本的知識と技術を学習する。

【学習目的】

薬学部学生との共同演習を通して、模擬カルテから対象の情報を読み取り、それぞれの医療専門職の視点から明らかになった情報や問題点及び対策を共有し、チーム医療に貢献できる看護師に必要な基本的資質が修得できる。

【一般目標】

1. 提示された事例に関する様々な情報を模擬カルテから収集して、疾患と治療経過および心理的社会的背景といった対象の全体像を説明できる。
2. 対象の情報をアセスメントし、医療上の問題と解決策を明らかにして、チームメンバーに提案できる。
3. 自分の意見をわかりやすくチームメンバーに伝え、メンバーの意見を尊重し、積極的に効果的なグループ討議に主体的に参加できる。
4. 看護師・薬剤師の医療専門職の役割を理解し、相手の立場を尊重したコミュニケーションを行うことができる。
5. 演習を通して、対象を中心とする治療・看護計画について他職種と共通の理解をもつことの重要性や医療チームの協働・連携の必要性と方法を説明できる。

授業方法と留意点

薬学部学生と小グループを編成し討議する。討議結果は全体発表会にて共有する。

討議に積極的に参加すること。個人情報取り扱いについて留意すること。

科目学習の効果（資格）

臨床実習でのカルテ読解が円滑になり、実習の学習効果の促進に貢献する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法 等】 演習の進め方・注意事項について説明する  
【事前・事後学習課題】 -
- 第2回 【授業テーマ】 カルテ読解演習 (1)  
【内容・方法 等】 薬学部学生との小グループ討議によって、一事例の模擬カルテから対象の情報を読み取り、医療上の問題と解決策を導く  
【事前・事後学習課題】 担当する事例の疾患・治療及び看護について資料を収集し、理解する
- 第3回 【授業テーマ】 カルテ読解演習 (2)  
【内容・方法 等】 薬学部学生との小グループ討議によって、一事例の模擬カルテから対象の情報を読み取り、医療上の問題と解決策を導く  
【事前・事後学習課題】 担当する事例の疾患・治療及び看護について資料を収集し、理解する
- 第4回 【授業テーマ】 カルテ読解演習 (3)  
【内容・方法 等】 薬学部学生との小グループ討議によって、一事例の模擬カルテから対象の情報を読み取り、医療上の問題と解決策を導く  
【事前・事後学習課題】 担当する事例の疾患・治療及び看護について資料を収集し、理解する
- 第5回 【授業テーマ】 カルテ読解演習 (4)  
【内容・方法 等】 薬学部学生との小グループ討議によって、一事例の模擬カルテから対象の情報を読み取り、医療上の問題と解決策を導く  
【事前・事後学習課題】 担当する事例の疾患・治療及び看護について資料を収集し、理解する
- 第6回 【授業テーマ】 カルテ読解演習 (5)  
【内容・方法 等】 薬学部学生との小グループ討議によって、一事例の模擬カルテから対象の情報を読み取り、医療上の問題と解決策を導く  
【事前・事後学習課題】 担当する事例の疾患・治療及び看護について資料を収集し、理解する
- 第7回 【授業テーマ】 カルテ読解演習 (6)  
【内容・方法 等】 薬学部学生との小グループ討議によって、一事例の模擬カルテから対象の情報を読み取り、医療上の問題と解決策を導く  
【事前・事後学習課題】 担当する事例の疾患・治療及び看護について資料を収集し、理解する
- 第8回 【授業テーマ】 カルテ読解演習 (7)  
【内容・方法 等】 薬学部学生との小グループ討議によって、一事例の模擬カルテから対象の情報を読み取り、医療上の問題と解決策を導く  
【事前・事後学習課題】 担当する事例の疾患・治療及び看護について資料を収集し、理解する
- 第9回 【授業テーマ】 カルテ読解演習 (8)  
【内容・方法 等】 薬学部学生との小グループ討議によって、一事例の模擬カルテから対象の情報を読み取り、医療上の問題と解決策を導く  
【事前・事後学習課題】 担当する事例の疾患・治療及び看護について資料を収集し、理解する

専  
門  
科  
目

- 第10回 【授業テーマ】 カルテ読解演習 (9)  
【内容・方法 等】 薬学部学生との小グループ討議によって、一事例の模擬カルテから対象の情報を読み取り、医療上の問題と解決策を導く  
【事前・事後学習課題】 担当する事例の疾患・治療及び看護について資料を収集し、理解する
- 第11回 【授業テーマ】 カルテ読解演習 (10)  
【内容・方法 等】 薬学部学生との小グループ討議によって、一事例の模擬カルテから対象の情報を読み取り、医療上の問題と解決策を導く  
【事前・事後学習課題】 担当する事例の疾患・治療及び看護について資料を収集し、理解する
- 第12回 【授業テーマ】 カルテ読解演習 (11)  
【内容・方法 等】 薬学部学生との小グループ討議によって、一事例の模擬カルテから対象の情報を読み取り、医療上の問題と解決策を導く  
【事前・事後学習課題】 担当する事例の疾患・治療及び看護について資料を収集し、理解する
- 第13回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法 等】 発表用資料の作成  
【事前・事後学習課題】 発表練習
- 第14回 【授業テーマ】 発表 (1)  
【内容・方法 等】 学生主体の運営による発表会  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第15回 【授業テーマ】 発表 (2)  
【内容・方法 等】 学生主体の運営による発表会  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 評価方法 (基準)  
レポート・課題成果物・参加態度から総合的に評価する。
- 教材等  
教科書…関連科目で用いた教科書・参考書、資料等  
参考書…
- 学生へのメッセージ  
臨地実習やその後の実践において必ず必要になる知識・技術を修得する機会です。積極的に参加してください。
- 関連科目  
成人看護学概論Ⅰ・Ⅱ、成人看護学援助論Ⅰ・Ⅱ、成人病態看護論、成人看護学援助方法、病理学総論、疾病治療論Ⅰ・Ⅱ、薬物治療学
- 担当者の研究室等  
7号館3階 研究室26 (川畑)

## 臨床看護学演習Ⅱ

### Clinical Nursing Practice II

山本 裕子 (ヤマモト ユウコ)  
竹中 泉 (タケナカ イズミ)  
森谷 利香 (モリヤ リカ)  
埴 由美子 (ハネ ユミコ)  
小森 浩二 (コモリ コウジ)  
未決定 (看護学部) (ミケッテイ カンゴガクブ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	1

#### 授業概要・目的・到達目標

##### 《概要》

看護学生と薬学生との共同演習を通して、医療職の専門性を尊重しつつ、役割分担と連携の必要性を理解し、医療の対象となる人々に対して計画的かつ安定した医療に参画できるようになるために、検査・治療計画の標準化の必要性とクリニカルパス作成に対する看護師と薬剤師の関与を理解し、クリニカルパス作成に必要な基本的知識と技術を学習する。

##### 《学習目的》

薬学部学生との共同演習を通して、計画的かつ安定した医療の提供のための検査・治療の標準化の必要性およびそのツールとしてのクリニカルパスについて理解する。クリニカルパス作成における各医療職種との役割と連携のあり方について理解し、チーム医療に貢献できる看護師に必要な基本的能力を修得できる。

##### 《一般目標》

1. 計画的かつ安定した医療に参画できるようになるために、検査・治療計画の標準化の必要性について理解し、説明できる。
2. クリニカルパス作成およびパスに沿った医療の提供における各医療専門職の役割について理解し、説明できる。
3. クリニカルパス作成を通して、看護の視点に立った患者に有効な指導内容及び方法を他職種に提案できる。
4. 自分の意見をわかりやすくチームメンバーに伝え、メンバーの意見を尊重し、積極的に効果的なグループ討議に主体的に参加できる。

5. 看護師・薬剤師の医療専門職の特性を理解し、相手の立場を尊重したコミュニケーションを行うことができる。
6. 演習を通して、患者を中心とする治療・看護計画について他職種と共通の理解をもつことの重要性や医療チームおよび地域の関連機関との協働・連携の必要性と方法について説明できる。

#### 授業方法と留意点

薬学部学生と小グループを編成してグループワークを行い、課題を作成する。成果物は全体発表会にて共有する。グループワークには積極的に参加すること。  
本授業は集中日程で実施するため、スケジュールや演習場所を間違わないように留意し、教員からの連絡(ポータル・掲示)は必ず確認すること。

#### 科目学習の効果(資格)

臨地実習においてクリニカルパスが適応されている患者を担当することがある。そのため、実習の学習成果の促進に貢献する。

#### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 クリニカルパスの概要・作成・評価(バリエーション)について (1)  
【内容・方法 等】 授業テーマに関する講義  
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第2回 【授業テーマ】 クリニカルパスの概要・作成・評価(バリエーション)について (2)  
【内容・方法 等】 授業テーマに関する講義・演習に関するオリエンテーション  
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第3回 【授業テーマ】 看護におけるクリニカルパスの活用  
【内容・方法 等】 授業テーマに関する講義  
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第4回 【授業テーマ】 患者用クリニカルパス作成 (1)  
【内容・方法 等】 薬学部生との小グループ討議によって、一疾患の医療者用クリニカルパスに基づいて患者用クリニカルパス作成をする。  
【事前・事後学習課題】 担当する疾患・治療及び看護について資料を収集し、理解する。  
グループワークの進捗状況に応じて、課題を行う。  
個人課題を作成する。
- 第5回 【授業テーマ】 患者用クリニカルパス作成 (2)  
【内容・方法 等】 薬学部生との小グループ討議によって、一疾患の医療者用クリニカルパスに基づいて患者用クリニカルパス作成をする。  
【事前・事後学習課題】 担当する疾患・治療及び看護について資料を収集し、理解する。  
グループワークの進捗状況に応じて、事前・事後に課題を作成する。  
個人課題を作成する。
- 第6回 【授業テーマ】 患者用クリニカルパス作成 (3)  
【内容・方法 等】 薬学部生との小グループ討議によって、一疾患の医療者用クリニカルパスに基づいて患者用クリニカルパス作成をする。  
【事前・事後学習課題】 担当する疾患・治療及び看護について資料を収集し、理解する。  
グループワークの進捗状況に応じて、事前・事後に課題を作成する。  
個人課題を作成する。
- 第7回 【授業テーマ】 患者用クリニカルパス作成 (4)  
【内容・方法 等】 薬学部生との小グループ討議によって、一疾患の医療者用クリニカルパスに基づいて患者用クリニカルパス作成をする。  
【事前・事後学習課題】 担当する疾患・治療及び看護について資料を収集し、理解する。  
グループワークの進捗状況に応じて、事前・事後に課題を作成する。  
個人課題を作成する。
- 第8回 【授業テーマ】 患者用クリニカルパス作成 (5)  
【内容・方法 等】 薬学部生との小グループ討議によって、一疾患の医療者用クリニカルパスに基づいて患者用クリニカルパス作成をする。  
【事前・事後学習課題】 担当する疾患・治療及び看護について資料を収集し、理解する。  
グループワークの進捗状況に応じて、事前・事後に課題を作成する。  
個人課題を作成する。
- 第9回 【授業テーマ】 患者用クリニカルパス作成 (6)  
【内容・方法 等】 薬学部生との小グループ討議によって、一疾患の医療者用クリニカルパスに基づいて患者用クリニカルパス作成をする。  
【事前・事後学習課題】 担当する疾患・治療及び看護について資料を収集し、理解する。  
グループワークの進捗状況に応じて、事前・事後に課題を作成する。  
個人課題を作成する。
- 第10回 【授業テーマ】 患者用クリニカルパス作成 (7)  
【内容・方法 等】 薬学部生との小グループ討議によって、一疾患の医療者用クリニカルパスに基づいて患者用クリニカ

ルパス作成をする。  
**【事前・事後学習課題】** 担当する疾患・治療及び看護について資料を収集し、理解する。  
 グループワークの進捗状況に応じて、事前・事後に課題を作成する。  
 個人課題を作成する。

第11回 **【授業テーマ】** 患者用クリニカルパス作成 (8)  
**【内容・方法 等】** 薬学部生との小グループ討議によって、一疾患の医療者用クリニカルパスに基づいて患者用クリニカルパス作成をする。  
**【事前・事後学習課題】** 担当する疾患・治療及び看護について資料を収集し、理解する。  
 グループワークの進捗状況に応じて、事前・事後に課題を作成する。  
 個人課題を作成する。

第12回 **【授業テーマ】** 患者用クリニカルパス作成 (9)  
**【内容・方法 等】** 薬学部生との小グループ討議によって、一疾患の医療者用クリニカルパスに基づいて患者用クリニカルパス作成をする。発表用資料を作成する。  
**【事前・事後学習課題】** 担当する疾患・治療及び看護について資料を収集し、理解する。  
 グループワークの進捗状況に応じて、事前・事後に課題を作成する。  
 個人課題を作成する。

第13回 **【授業テーマ】** 発表 (1)  
**【内容・方法 等】** 学生主体の運営による発表会  
**【事前・事後学習課題】** 課題レポートの作成

第14回 **【授業テーマ】** 発表 (2)  
**【内容・方法 等】** 学生主体の運営による発表会  
**【事前・事後学習課題】** 課題レポートの作成

第15回 **【授業テーマ】** 発表 (3)  
**【内容・方法 等】** 学生主体の運営による発表会  
**【事前・事後学習課題】** 課題レポートの作成

**評価方法 (基準)**  
 レポート・課題成果物・参加態度から総合的に評価する。

**教材等**  
**教科書**…関連科目で用いた教科書・参考書、資料等を活用する。  
 その他、必要な資料は配布する。  
**参考書**…

**学生へのメッセージ**  
 臨地実習やその後の臨床実践において必要な知識・技術を修得する機会です。積極的に参加してください。

**関連科目**  
 成人看護学概論ⅠⅡ、成人看護学援助論ⅠⅡ、病態看護論、成人看護学援助方法、病理学総論、疾病治療論ⅠⅡ、薬物治療学

**担当者の研究室等**  
 7号館3階27研究室 (山本)

研究入門 Introduction to Research				
小 堀 栄 子 (コボリ エイコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**  
**【参考】** 設置認可申請「授業科目の概要」  
 研究とはまだ明らかになっていないことを明らかにするため、科学的手法を用いてデータを収集し、科学的推論によって仮説を検証する一連のプロセスである。本科目では、卒業研究を行う前に理解しておくべき研究についての基本的な事柄について学習し、受講者が研究とは何か、データをどのように収集するのか、集めたデータをどのように要約するのか、要約したデータをどのように解釈するのかなどのプロセスを踏まえて研究を行える能力を養う。

**授業方法と留意点**  
 講義と実習を組み合わせ、理解を深める。

**科目学習の効果 (資格)**  
 研究の意義、目的、方法、プロセスなどを理解し、研究の基礎を習得する。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

第1回 **【授業テーマ】** 研究とは何か  
**【内容・方法 等】** 研究の役割、種類、プロセス  
**【事前・事後学習課題】** 授業をよく聞くこと

第2回 **【授業テーマ】** 研究テーマ (1)  
**【内容・方法 等】** 研究テーマを見つける  
**【事前・事後学習課題】** 授業をよく聞くこと

第3回 **【授業テーマ】** 研究テーマ (2)  
**【内容・方法 等】** リサーチ・クエスションと概念モデル  
**【事前・事後学習課題】** 授業をよく聞くこと

第4回 **【授業テーマ】** 研究の倫理

**【内容・方法 等】** 研究実施に必要な倫理的配慮  
**【事前・事後学習課題】** 授業をよく聞くこと

第5回 **【授業テーマ】** 文献の検索方法  
**【内容・方法 等】** 文献検索の必要性と方法  
**【事前・事後学習課題】** 授業をよく聞くこと

第6回 **【授業テーマ】** 量的研究の概要  
**【内容・方法 等】** 研究の種類、研究デザイン、対象者の抽出  
**【事前・事後学習課題】** 授業をよく聞くこと

第7回 **【授業テーマ】** 量的研究のデータ収集 (1)  
**【内容・方法 等】** 質問票の目的、構成、作成方法  
**【事前・事後学習課題】** 授業をよく聞くこと

第8回 **【授業テーマ】** 量的研究のデータ収集 (2)  
**【内容・方法 等】** 質問票の作成  
**【事前・事後学習課題】** 授業をよく聞くこと

第9回 **【授業テーマ】** 量的研究のデータ分析  
**【内容・方法 等】** データの入力と分析  
**【事前・事後学習課題】** 授業をよく聞くこと

第10回 **【授業テーマ】** 質的研究の概要  
**【内容・方法 等】** 研究の種類、データの収集・分析法  
**【事前・事後学習課題】** 授業をよく聞くこと

第11回 **【授業テーマ】** 質的研究のデータ収集・分析  
**【内容・方法 等】** インタビューガイドとデータ分析  
**【事前・事後学習課題】** 授業をよく聞くこと

第12回 **【授業テーマ】** 文献の読み方  
**【内容・方法 等】** 文献の構造と内容  
**【事前・事後学習課題】** 授業をよく聞くこと

第13回 **【授業テーマ】** 研究計画書の書き方  
**【内容・方法 等】** 研究計画書の構成と内容  
**【事前・事後学習課題】** 授業をよく聞くこと

第14回 **【授業テーマ】** 論文の書き方  
**【内容・方法 等】** 論文の構成とまとめ方、引用文献、図表作成  
**【事前・事後学習課題】** 授業をよく聞くこと

第15回 **【授業テーマ】** 研究発表  
**【内容・方法 等】** 研究発表の準備と実践  
**【事前・事後学習課題】** 授業をよく聞くこと

**評価方法 (基準)**  
 定期試験60%以上で合格。授業全15回出席が前提。出席の扱いは学生便覧のとおり (「出席状況が好ましくない場合は、単位を認めないことがあります」学生便覧より)。

**教材等**  
**教科書**…黒田裕子の看護研究Step by Step. 黒田裕子. 医学書院. 2012年5月15日. 2730円。  
**参考書**…随時紹介する

**学生へのメッセージ**  
 ・授業では、研究入門を学んでいくうえで最低限必要な理解の枠組みと、その枠組みを理解するうえで最低限必要な知識について講義する。教科書を読むだけでは把握しにくいので、毎回の授業には真剣に臨むこと。  
 ・授業中の私語、教室の出入りは厳禁  
 ・授業中にあてられたとき教室にいなかった場合は欠席扱い

**関連科目**  
 情報リテラシーⅡ、疫学・保健統計

**担当者の研究室等**  
 7号館3階24

**備考**  
 なし

看護研究I Nursing Research I				
後 閑 容 子 (ゴカン ヨウコ) 板 倉 勲 子 (イタクラ イサク) 山 本 裕 子 (ヤマモト ユウコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**  
**《概要》**  
 「研究入門」の学びをもとに、看護実践上の問題解決にむけ、看護研究の意義を理解し看護研究の実施 (遂行) に必要な基礎的知識を習得するとともに、研究成果を活用して科学的に探究する基礎的能力を養う。  
**《目標》**  
 1. 看護実践上の問題解決のために、研究成果を活用する意義を理解できる。  
 2. 研究方法の種類と基本的手法を理解できる。  
 3. 研究論文の検索、クリティークの方法を理解できる。

**授業方法と留意点**  
 看護研究の目的や研究方法、研究プロセス、研究手法、看護研

究論文のクリティーク等について、担当教員のもとで学習する。これらの学びを4年次開講の「看護研究Ⅱ」に発展させる。具体的な学習方法や課題、スケジュール、教室は担当教員によって異なるため、担当教員からの授業に関する連絡事項（ポータル・掲示等）を見落とさないように留意すること。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

担当教員の指示を受けること。

**評価方法・評価基準**

課題の達成状況および参加態度等に基づいて総合的に評価する。

**教材等**

教科書…担当教員の指示を受けること。

参考書…担当教員の指示を受けること。

**備考**

看護研究ⅠとⅡは同じ教員が担当する。

**周産期医学**  
Perinatal Medicine

吉田 雅代 (ヨシダ マサヨ)  
杉本 有紀子 (スギモト ユキコ)  
武山 知子 (タケヤマ トモコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**

最新の周産期医療現場で必須の知識を修得し、異常に対する診断および治療法を理解する。

新生児の生理と異常について学習し、異常に対する診断及び治療法を理解する。演習では新生児蘇生を学ぶ

**授業方法と留意点**

産科：各自に割り振られたテーマを調べ、授業で発表可能であれば実症例を提示してディスカッションを行う。実技練習も取り入れていきたい。

新生児科：テキストおよび配布するプリント等により授業を行います。

**科目学習の効果（資格）**

助産師国家試験に合格するとともに、実際の現場で異常を察知し対応できるように、知識ならびに手技・手法を身に付ける

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 内分泌異常・不妊症  
【内容・方法等】 月経異常と排卵障害、月経困難症および子宮内膜症、更年期症状とHRT、出生前診断、環境因子（栄養・化学物質・薬剤など）が妊婦・胎児の健康に及ぼす影響  
【事前・事後学習課題】 1名1テーマを調べ発表する形式
- 第2回 【授業テーマ】 新生児の異常兆候  
【内容・方法等】 新生児の異常兆候（呼吸障害、嘔吐、けいれん、麻痺、黄疸、心雑音、なんとなく元気がない<not doing well>など）  
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第3回 【授業テーマ】 妊娠初期の異常  
【内容・方法等】 不育症、流産、胎状奇胎、悪阻、異所性妊娠  
演習・実技：超音波検査1  
【事前・事後学習課題】 1名1テーマを調べ発表する形式(5名)
- 第4回 【授業テーマ】 妊娠中期・後期の異常  
【内容・方法等】 切迫早産、頸管無力症、前期破水、妊娠高血圧症候群、HELLP症候群  
演習・実技：超音波検査2  
【事前・事後学習課題】 1名1テーマを調べ発表する形式(5名)
- 第5回 【授業テーマ】 新生児蘇生  
【内容・方法等】 新生児蘇生（新生児仮死の診断、新生児蘇生法）  
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第6回 【授業テーマ】 ハイリスク新生児  
【内容・方法等】 ハイリスク新生児とその対応（低出生体重児・早産児など）  
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第7回 【授業テーマ】 妊娠中期・後期の異常  
【内容・方法等】 Rh不適合妊娠、胎児の異常、胎児発育不全、羊水の異常  
演習・実技：胎児心拍数モニタリング演習  
【事前・事後学習課題】 1名1テーマを調べ発表する形式(4名)
- 第8回 【授業テーマ】 合併症妊娠1  
【内容・方法等】 風疹・トキソプラズマ、サイトメガロウイルス・水痘、HBV・HCV、HTLV1・HIV、麻疹・ムンプス・リンゴ病、GBS・クラミジア  
演習・実技：胎児心拍数モニタリング演習  
【事前・事後学習課題】 1名1テーマを調べ発表する形式(6名)
- 第9回 【授業テーマ】 新生児疾患  
【内容・方法等】 新生児疾患－1（呼吸器疾患、分娩外傷、

感染症など）

- 第10回 【事前・事後学習課題】 講義内容の復習  
【授業テーマ】 妊娠合併症2  
【内容・方法等】 子宮筋腫、卵巣嚢腫、てんかん 糖尿病、甲状腺疾患  
演習・実技：縫合練習  
【事前・事後学習課題】 1名1テーマを調べ発表する形式(5名)
- 第11回 【授業テーマ】 妊娠合併症3  
【内容・方法等】 腎疾患、心疾患、ITP、SLE、気管支ぜんそく  
演習・実技：縫合練習  
【事前・事後学習課題】 1名1テーマを調べ発表する形式(5名)
- 第12回 【授業テーマ】 新生児疾患  
【内容・方法等】 新生児疾患－2（循環器疾患、消化器疾患、血液疾患など）  
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第13回 【授業テーマ】 異常分娩－1  
【内容・方法等】 多胎、胎児位置異常(後方後頭位、骨盤位)、遷延分娩  
演習・実技：吸引分娩(縫合練習)  
【事前・事後学習課題】 1名1テーマを調べ発表する形式(3名)
- 第14回 【授業テーマ】 異常分娩－2  
【内容・方法等】 前置胎盤、常位胎盤早期剥離、肩甲難産  
演習・実技：肩甲難産(縫合練習)  
【事前・事後学習課題】 1名1テーマを調べ発表する形式(3名)
- 第15回 【授業テーマ】 産科救急  
【内容・方法等】 子宮内反症、子宮破裂、羊水塞栓、弛緩出血、産科危機的出血と産科DIC  
演習・実技：産科危機的出血への対応  
【事前・事後学習課題】 1名1テーマを調べ発表する形式(4名)

**評価方法（基準）**

産科：レポート作成、実技で評価

新生児科：講義内で行う小テスト等、および演習への参加意欲などにより評価します。

**教材等**

教科書…「日本産科婦人科学会 産科ガイドライン」日本産科婦人科学会

「日本版救急蘇生ガイドラインに基づく新生児蘇生法テキスト（改訂第2版）」メジカルビュー社

参考書…「ウイリアムス臨床産科マニュアル」メジカルビュー社

「新生児学入門（第4版）」医学書院

**学生へのメッセージ**

産科：卒後は、疑問に思ったことは自学自習することが必要です。助産学異常編では、各自が調べ 発表したものに、補足を加える形で進めていきたいと考えています。産科実技を行えるものは実技練習もできるだけ取り入れていく予定です。

新生児科：正しい知識に基づいた、自ら考える医療を実践するために、新生児時期の特徴的な疾患と病態を理解し学習しましょう。

**関連科目**

助産学概論、母性看護学援助論Ⅰ、母性看護学概論、母性看護学援助論Ⅱ

**担当者の研究室等**

1号館2階 非常勤講師室

**助産学概論**

Introduction to Midwifery

赤井 由紀子 (アカイ ユキコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

助産学の理論を理解でき、学んだ理論を助産ケアと関連づけて考えることができる。さらに、助産師の役割を認識することができる。

**授業方法と留意点**

この授業では、助産学の理論と助産学の発展のために必要な、助産ケアの実践能力の基礎への理解を深めます。そして、専門職として社会から期待される助産師の役割について考えていきます。

**科目学習の効果（資格）**

助産師国家試験受験資格

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 助産とは  
【内容・方法等】 助産とは何かを軸に、助産の起源、概念の変遷と社会的背景の関連について述べる。  
【事前・事後学習課題】 事前課題：なし  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第2回 【授業テーマ】 助産の概念

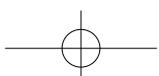
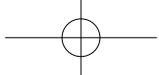
- 【内容・方法 等】 助産に関係する概念（リプロダクティブヘルス/ライツ、ジェンダーなど）と、助産診断について概説する。
- 【事前・事後学習課題】 事前課題：なし  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第3回 【授業テーマ】 ①助産師の歴史と文化 ②母子保健の変遷と動向
- 【内容・方法 等】 ①助産の歴史、産育習俗について説明の後、課題の提示をする。 ②時代背景を踏まえ母子保健の変遷と動向について理解する。
- 【事前・事後学習課題】 事前学習：なし  
事後課題：講義の復習と課題を調べる
- 第4回 【授業テーマ】 助産と法律
- 【内容・方法 等】 ①助産師教育の変遷からの学びを深め、これからの助産師のあり方を考える。②助産師をとりまく法律について理解し、助産業務に関する法律について考える。
- 【事前・事後学習課題】 事前課題：なし  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第5回 【授業テーマ】 助産学の理論
- 【内容・方法 等】 助産学を構成する理論について学習する。
- 【事前・事後学習課題】 事前課題：なし  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第6回 【授業テーマ】 グループワーク1
- 【内容・方法 等】 バイオエシックスの概念について述べる。出生前診断、減数中絶と母体保護法、体外受精の倫理と法的問題やウイメンズヘルス（DV含む）についてグループワークをする
- 【事前・事後学習課題】 事前課題：なし  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第7回 【授業テーマ】 日本と諸外国の母子保健
- 【内容・方法 等】 日本と諸外国の母子保健の現状を把握し、助産師の役割を考える。
- 【事前・事後学習課題】 事前学習：なし該当部分を読んでくる  
事後課題：講義の復習と課題を調べる
- 第8回 【授業テーマ】 グループワーク2
- 【内容・方法 等】 バイオエシックスの概念について述べる。出生前診断、減数中絶と母体保護法、体外受精の倫理と法的問題やウイメンズヘルス（DV含む）についてグループワークをする
- 【事前・事後学習課題】 事前課題：なし  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第9回 【授業テーマ】 専門職としての助産師
- 【内容・方法 等】 専門職のあり方と助産業務について考える。  
講師：日本助産師会会長 岡本喜代子
- 【事前・事後学習課題】 事前課題：なし  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第10回 【授業テーマ】 専門職としての助産師
- 【内容・方法 等】 専門職のあり方と助産業務について考える。  
講師：日本助産師会会長 岡本喜代子
- 【事前・事後学習課題】 事前課題：なし  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第11回 【授業テーマ】 課題発表
- 【内容・方法 等】 助産師活動に携わる時、考えていく必要がある要因について考える
- 【事前・事後学習課題】 事前学習：発表できる準備  
事後課題：講義の復習
- 第12回 【授業テーマ】 グループワークの発表
- 【内容・方法 等】 グループ発表の内容から、我が国の助産師に期待されること、専門職としての課題について考える。
- 【事前・事後学習課題】 事前課題：なし  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第13回 【授業テーマ】 助産と研究
- 【内容・方法 等】 エビデンスは助産ケアをよりよく行うための方法論である。ここでは、エビデンスに基づいた助産ケアの開発と必要性について論じる。
- 【事前・事後学習課題】 エビデンスは助産ケアをよりよく行うための方法論である。ここでは、エビデンスに基づいた助産ケアの開発と必要性について論じる。
- 第14回 【授業テーマ】 助産と漢方
- 【内容・方法 等】 産科領域に関連する東洋医学、漢方について学ぶ  
講師：蔭山医院院長 蔭山充
- 【事前・事後学習課題】 事前課題：なし  
事後学習課題：講義内容の復習
- 第15回 【授業テーマ】 助産と漢方
- 【内容・方法 等】 産科領域に関連する東洋医学、漢方について学ぶ  
講師：蔭山医院院長 蔭山充
- 【事前・事後学習課題】 事前課題：なし  
事後学習課題：講義内容の復習
- 評価方法（基準）  
試験60%、グループワーク・課題発表40%
- 教材等  
教科書…基礎助産学Ⅰ「助産学概論」 医学書院

参考書…「助産師と産む」 岩波ブックレット

学生へのメッセージ  
助産師を目指す皆さんが「助産とはなにか」、「看護とどう違うのか」など、助産のあり方について考えていく科目です。助産師としての課題を明確にしていきます。

関連科目  
母性看護学概論、母性看護学援助論Ⅰ、母性看護学援助論Ⅱ、  
周産期医学

担当者の研究室等  
7号館3階 赤井（研究室14）、村松（研究室15）



## 文章表現法

Academic Japanese

細川 知佐子 (ホソカワ チサコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	1	前期	必修	2

### 授業概要・目的・到達目標

話し言葉とは異なる文章語を習得し、大学でのレポート作成に必要な論理的文章を書く力、及び社会人として必要な文章作成能力を身につけることを目的とする。

### 授業方法と留意点

配布プリントによる講義と合わせ、その実践として課題を作成する。  
毎回、日本語表現や語彙力を養成する小テストを行う。

### 科目学習の効果(資格)

大学や社会で必要な文章作成能力

### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法 等】 授業の目的、方法の説明  
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第2回 【授業テーマ】 文章の基礎1  
【内容・方法 等】 講義と練習問題  
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第3回 【授業テーマ】 文章の基礎2  
【内容・方法 等】 講義と練習問題  
【事前・事後学習課題】 前回の復習  
配布プリントを読む
- 第4回 【授業テーマ】 レポート・論文の書き方1  
【内容・方法 等】 事実の記述と意見の記述について  
【事前・事後学習課題】 前回の復習  
配布プリントを読む
- 第5回 【授業テーマ】 課題1「説明文」  
【内容・方法 等】 与えられたテーマを説明する文章を作成する  
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第6回 【授業テーマ】 レポート・論文の書き方2  
【内容・方法 等】 講義と練習問題  
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第7回 【授業テーマ】 要約  
【内容・方法 等】 講義と練習問題  
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第8回 【授業テーマ】 フィードバック  
【内容・方法 等】 課題1のフィードバック  
要約の練習問題  
【事前・事後学習課題】 返却された課題の反省
- 第9回 【授業テーマ】 レポートの構成について  
【内容・方法 等】 講義と練習問題  
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第10回 【授業テーマ】 引用1  
【内容・方法 等】 講義と練習問題  
レポート作成にあたり、資料や文献を引用する方法  
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第11回 【授業テーマ】 引用2  
【内容・方法 等】 資料を引用しながら文章を書く  
【事前・事後学習課題】 前回の復習  
配布プリントを読む
- 第12回 【授業テーマ】 課題2「資料を引用しながら意見を述べる」  
【内容・方法 等】 資料を引用して意見を述べる課題を作成する  
【事前・事後学習課題】 ここまでの復習
- 第13回 【授業テーマ】 メールと手紙の書き方  
【内容・方法 等】 講義と練習問題  
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第14回 【授業テーマ】 フィードバック  
【内容・方法 等】 課題2のフィードバック  
手紙の作成  
【事前・事後学習課題】 返却された課題の反省
- 第15回 【授業テーマ】 授業の総括  
【内容・方法 等】 レポート作成にあたり、重要なポイントを再確認する  
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
- 評価方法(基準)  
課題60%、小テスト10%、定期試験30%により総合評価する。  
課題提出は必須。場合によっては再提出を求める。
- 教材等  
教科書…配布プリント  
参考書…適宜提示していく。
- 学生へのメッセージ  
作文・感想文とレポート・論文の違いを認識し、論理的文章を書く力を身につけましょう。  
論理的文章を書く力は、練習さえすれば習得できます。苦手意識を持たず書いてみることを。

## 関連科目

コミュニケーションに関する分野

## 担当者の研究室等

1号館2階 非常勤講師室

## 文章表現法

Academic Japanese

細川 知佐子 (ホソカワ チサコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	2	前期	必修	2

### 授業概要・目的・到達目標

話し言葉とは異なる文章語を習得し、大学でのレポート作成に必要な論理的文章を書く力、及び社会人として必要な文章作成能力を身につけることを目的とする。

### 授業方法と留意点

配布プリントによる講義と合わせ、その実践として課題を作成する。  
毎回、日本語表現や語彙力を養成する小テストを行う。

### 科目学習の効果(資格)

大学や社会で必要な文章作成能力

### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法 等】 授業の目的、方法の説明  
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第2回 【授業テーマ】 文章の基礎1  
【内容・方法 等】 講義と練習問題  
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第3回 【授業テーマ】 文章の基礎2  
【内容・方法 等】 講義と練習問題  
【事前・事後学習課題】 前回の復習  
配布プリントを読む
- 第4回 【授業テーマ】 レポート・論文の書き方1  
【内容・方法 等】 事実の記述と意見の記述について  
【事前・事後学習課題】 前回の復習  
配布プリントを読む
- 第5回 【授業テーマ】 課題1「説明文」  
【内容・方法 等】 与えられたテーマを説明する文章を作成する  
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第6回 【授業テーマ】 レポート・論文の書き方2  
【内容・方法 等】 講義と練習問題  
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第7回 【授業テーマ】 要約  
【内容・方法 等】 講義と練習問題  
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第8回 【授業テーマ】 フィードバック  
【内容・方法 等】 課題1のフィードバック  
要約の練習問題  
【事前・事後学習課題】 返却された課題の反省
- 第9回 【授業テーマ】 レポートの構成について  
【内容・方法 等】 講義と練習問題  
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第10回 【授業テーマ】 引用1  
【内容・方法 等】 講義と練習問題  
レポート作成にあたり、資料や文献を引用する方法  
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第11回 【授業テーマ】 引用2  
【内容・方法 等】 資料を引用しながら文章を書く  
【事前・事後学習課題】 前回の復習  
配布プリントを読む
- 第12回 【授業テーマ】 課題2「資料を引用しながら意見を述べる」  
【内容・方法 等】 資料を引用して意見を述べる課題を作成する  
【事前・事後学習課題】 ここまでの復習
- 第13回 【授業テーマ】 メールと手紙の書き方  
【内容・方法 等】 講義と練習問題  
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第14回 【授業テーマ】 フィードバック  
【内容・方法 等】 課題2のフィードバック  
手紙の作成  
【事前・事後学習課題】 返却された課題の反省
- 第15回 【授業テーマ】 授業の総括  
【内容・方法 等】 レポート作成にあたり、重要なポイントを再確認する  
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
- 評価方法(基準)  
課題60%、小テスト10%、定期試験30%により総合評価する。  
課題提出は必須。場合によっては再提出を求める。
- 教材等

教科書…配布プリント  
 参考書…適宜提示していく。

**学生へのメッセージ**  
 作文・感想文とレポート・論文の違いを認識し、論理的な文章を書く力を身につけましょう。  
 論理的な文章を書く力は、練習さえすれば習得できます。苦手意識を持たず書いてみることに。

**関連科目**  
 コミュニケーションに関する分野

**担当者の研究室等**  
 1号館2階 非常勤講師室

**【事前・事後学習課題】** 講義内容の理論確認と実践

**評価方法 (基準)**  
 平常点30%、定期試験70%で評価します。

**教材等**  
 教科書…橋本良明 『コミュニケーション学への招待』 大修館書店 (2,100円+税)  
 参考書…特になし。

**学生へのメッセージ**  
 積極的な参加を求めます。

**関連科目**  
 国語学、言語学、日本語学、社会学、コミュニケーション学など

**担当者の研究室等**  
 1号館2階 非常勤講師室

教養科目

コミュニケーション論 Study of Communication				
櫻井清華 (サクライ キョウカ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**  
 生命に関わる職業人となることを自覚し、それにふさわしい行動・態度をとることができるようになるために、人との共感的態度を身につけ、信頼関係を醸成し、さらに生涯にわたってそれらを向上させる習慣を身につける。  
 本科目では、日常的に行っているコミュニケーションの特性や仕組みを知り、表現のスキルを向上させていくことを目指す。コミュニケーションの諸場面に生じる問題を通して、円滑な意志疎通のあり方を探る。

**授業方法と留意点**  
 講義による授業方法。適宜小テストをおこなう。

**科目学習の効果 (資格)**  
 特になし

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション  
 コミュニケーションとはどのような現象をさすのか考えてみましょう。  
 【内容・方法 等】 講義  
 【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
- 第2回** 【授業テーマ】 言語的および非言語的コミュニケーションの方法を概説。コミュニケーションモデルを通じてメッセージの流通、応答経路の仕組みを学ぶ。  
 【内容・方法 等】 講義  
 【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
- 第3回** 【授業テーマ】 言葉が認知される過程を図を用いて理解する。  
 【内容・方法 等】 講義  
 【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
- 第4回** 【授業テーマ】 非言語コミュニケーションの可能性  
 【内容・方法 等】 講義  
 【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
- 第5回** 【授業テーマ】 言語の生得性について  
 【内容・方法 等】 講義  
 【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
- 第6回** 【授業テーマ】 コミュニケーションの相互交通について  
 【内容・方法 等】 講義  
 【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
- 第7回** 【授業テーマ】 言葉の記号性  
 【内容・方法 等】 講義  
 【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
- 第8回** 【授業テーマ】 言語の象徴性  
 【内容・方法 等】 講義  
 【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
- 第9回** 【授業テーマ】 言語認識の諸相  
 【内容・方法 等】 講義  
 【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
- 第10回** 【授業テーマ】 スキーマとスクリプト  
 【内容・方法 等】 講義  
 【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
- 第11回** 【授業テーマ】 非言語と言語の相乗効果  
 【内容・方法 等】 講義  
 【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
- 第12回** 【授業テーマ】 非言語の影響力  
 【内容・方法 等】 講義  
 【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
- 第13回** 【授業テーマ】 非言語コミュニケーションと文化の関係  
 【内容・方法 等】 講義  
 【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
- 第14回** 【授業テーマ】 メディア戦略を読み解く  
 【内容・方法 等】 講義  
 【事前・事後学習課題】 講義内容の理論確認と実践
- 第15回** 【授業テーマ】 うわさの構造  
 【内容・方法 等】 講義

心理学 Psychology				
小牧一裕 (コマキ カズヒロ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 患者、同僚、地域社会との信頼関係を確立できるようになるために、相手の心理、立場、環境を理解するための基本的知識、技能、態度を修得する。  
 心理学とは、われわれが周囲のさまざまな環境とのかかわりの中でとる行動やその背景にある心を客観的に理解しようとする学問である。授業では人間の心と行動に関して科学的に認められる傾向性や法則性について検討し、心理学における専門的基礎知識を学習することを目的とする。現代社会での実際的な問題、日常的な話題を多く取り上げ、個人・対人間・集団関係での行動と心理の理解を目指す。

**授業方法と留意点**  
 講義方式で教科書と資料を併用する。講義中には、心理学的知見を実際に体感するため、グループワークや調査も行う予定にしている。積極的に参加すること。

**科目学習の効果 (資格)**  
 講義を通して自己理解・他者理解を深め、自分と社会との関わりを考えるきっかけを得ることができる。分析力と対人関係力を身につけることができる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 イントロダクション 心理学概論  
 【内容・方法 等】 心理学とはどのような学問なのかについて概説を行う。  
 【事前・事後学習課題】 授業内容の復習
- 第2回** 【授業テーマ】 パーソナリティの心理  
 【内容・方法 等】 パーソナリティの諸説を解説した後、形成に影響を与える外的要因について、文化、家庭、学校、地域に分けて説明する。われわれがいかにして現在の自分になったのかについて考える。  
 【事前・事後学習課題】 授業内容の復習
- 第3回** 【授業テーマ】 発達と青年の心理  
 【内容・方法 等】 人とうまく関わっていく能力は、主には小さい子どものころに培われる。この社会性の発達について、人の生涯をいくつかの時期（乳幼児期、児童期、青年期）に分けて学ぶ。  
 【事前・事後学習課題】 授業内容の復習
- 第4回** 【授業テーマ】 自己の心理  
 【内容・方法 等】 自分のことは自分が一番良く知っていると考える人は多いが、本当にそうだろうか？ 自分の気づかない自分について知り、また、自分の情報を他の人に言う自己開示や他の人に良い印象を与える過程についても考える。  
 【事前・事後学習課題】 授業内容の復習
- 第5回** 【授業テーマ】 対人認知  
 【内容・方法 等】 われわれが人と良い関係を築いていくためには、まず自分を取り巻く環境や他者を知る（認知）することが必要となる。ここでは、他者を理解するプロセスに働く、心理的な規則やルールについて学ぶ。  
 【事前・事後学習課題】 授業内容の復習
- 第6回** 【授業テーマ】 対人魅力  
 【内容・方法 等】 われわれは印象形成の次の行動として、相手の人に対する評価的な感情を抱く。ここでは、人に対する好意的や非好意的な態度である対人魅力の規定因について考えてみる。  
 【事前・事後学習課題】 授業内容の復習
- 第7回** 【授業テーマ】 コミュニケーションの心理  
 【内容・方法 等】 人とうまくいかないときに、その原因はコミュニケーションにあることが多い。コミュニケーションの障害や歪みについてその原因を理解し、より良い人間関

- 係を築くための対策を考えてみよう。
- 第8回** 【事前・事後学習課題】 授業内容の復習  
【授業テーマ】 説得的コミュニケーション  
【内容・方法 等】 われわれ一人ひとりの態度はさまざまに異なっている。自分と意見が違う人と接することはよくあることだが、そのときにどのような行動を取るだろうか。ここでは説得に関して、影響する要因とその応用について学ぶ。
- 第9回** 【事前・事後学習課題】 授業内容の復習およびレポート作成  
【授業テーマ】 対人関係の心理  
【内容・方法 等】 対人関係において、うまくいかなかったときの対応や注意点について学ぶ。トラブルがもたらしたときの対応、さらに苦情処理で気をつけることについて理解を深める。
- 第10回** 【事前・事後学習課題】 授業内容の復習  
【授業テーマ】 集団の心理  
【内容・方法 等】 集団の条件や集団規範、まとまり（凝集性）をよくするにはどうしたらいいかなどについて理解を深める。
- 第11回** 【事前・事後学習課題】 授業内容の復習  
【授業テーマ】 組織の心理  
【内容・方法 等】 リーダーシップや組織社会化、メンタリングについて学び、集団の中でどのようにリーダーシップを発揮したり、組織にどのように適応していくのかについて理解を深める。
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 授業内容の復習  
【授業テーマ】 ITとコミュニケーション  
【内容・方法 等】 われわれが日常的に用いるコミュニケーションツールとして、ケータイやネットがある。それらを使うときにどのようなプラス面、マイナス面があるのかについて考えてみる。
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 授業内容の復習およびレポート作成  
【授業テーマ】 ストレスと健康の心理  
【内容・方法 等】 人間関係は、ストレスの原因にもなるし、やる気の源にもなる。ここではストレスの原因とその結果に影響を及ぼす要因として人間関係や個人特性に注目し、どのようにしたらストレスに強くなれるのかについて学ぶ。
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 授業内容の復習  
【授業テーマ】 ポジティブ心理学  
【内容・方法 等】 人が幸せになるためにはどのようなことが必要だろうか？ 幸福の心理を中心に、ポジティブ心理学から考える。
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 授業内容の復習  
【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法 等】 これまでの授業に関して、伝えたいポイントを再確認し、言い足りなかったところについて補足説明を行う。さらに、われわれが心理学をどのように日常生活に活用できるのかについて考える。
- 【事前・事後学習課題】 授業内容の復習
- 評価方法（基準）  
学期末試験60%、レポート40%で評価する。
- 教材等  
教科書…西川一廉・小牧一裕 「コミュニケーションプロセス」二瓶社（¥2100）  
参考書…講義中に適宜紹介する。
- 学生へのメッセージ  
できるだけ身近な例を取り上げながら講義を進める予定です。自分や自分を取り巻く社会と心理的事象を結びつけながら、理解を深めてください。
- 関連科目  
臨床心理学、カウンセリング論
- 担当者の研究室等  
1号館2階 非常勤講師室

哲学 Philosophy				
柿本佳美 (カキモト ヨシミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
「哲学」という営みを「西洋という文化圏の特定の時代に成立した特殊な知の様式」としてとらえる反哲学の立場から、2500年に及ぶ哲学の歴史をそのはじまりから辿り直すとともに、現代社会において一市民として哲学的な思考を行うとはどういうことであるのかを受講者とともに考えていきます。哲学の本来の意味である「愛知」という意味に立ち帰ることで、改めて現代世界の諸問題を考えるに不可欠な視点を取り戻していきます。

**授業方法と留意点**

- 哲学は、言葉の概念と論理構造の分析を通じて、存在の根源的な意味、とりわけ「自己」と「世界」の意味を問いつづけてきました。これは、私たちの日常生活からかけ離れているように見えるかもしれませんが、日常生活を断ち切るような大きな出来事が生じたときに私たちが見出す、「生」とは何か、「人間」とはどのような存在なのかという問いに相通じるものでもあるのです。
- この授業では、「人間の尊厳」と「共同体」を軸に哲学の歴史を講義形式でたどりながら、受講者が諸概念についてより理解を深め、俯瞰的に思考できるよう、ディスカッションとミニレポートを取り入れます。
- 科目学習の効果（資格）**  
・ 既成概念を論理的に検討することで哲学の思考形式に慣れ、物事について多角的に把握する視点を身につける。  
・ 毎回のミニレポート提出により、与えられたテーマに対し、短時間で自分の考えをまとめることに慣れる。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 はじめに：「生」とは何か  
【内容・方法 等】 私たちは、動物と同じように生理的欲求を満たすだけの存在ではない。私たちが求めるのは、できる限り「意義ある生」、「幸福な生」である。ところで、人は他者とともに、共同体のなかで生きる存在である。そこで、この回では、「幸福」という概念を通して、「私」と「他者」とのかかわりを考えてみよう。
- 【事前・事後学習課題】 「幸福」とは何か、そして「幸福」は「私」1人だけで成り立つのか、「他者」と「社会」の存在が必要ならば、その理由は何か、考えておくこと。
- 第2回** 【授業テーマ】 論理と言語（その1）  
【内容・方法 等】 哲学で用いられる思考形式に慣れるため、論理学の最初歩を学ぶ。
- 【事前・事後学習課題】 配布プリントの練習問題を解く。
- 第3回** 【授業テーマ】 論理と言語（その2）  
【内容・方法 等】 否定と対偶を学ぶ。
- 【事前・事後学習課題】 配布プリントの練習問題を解く。
- 第4回** 【授業テーマ】 「生きる」とは何か：ソクラテス  
【内容・方法 等】 ソクラテスが指した「生きる」とは、単に「生きている」という状態を目指すのではなく、「よく生きること」であった。ここでは、『クリトン』を通して、「生きる」ことの多面的な意味を考えよう。
- 【事前・事後学習課題】 プラトン『クリトン』を読んでおくこと。
- 第5回** 【授業テーマ】 「社会的動物」としての人間：アリストテレス  
【内容・方法 等】 人間は、単独で生きることができず、必ず共同体を作る存在である。そうすると、「共同体」は何を目的に帰納するのだろうか。ここでは『政治学』を題材に、彼の共同体論を見てみよう。
- 【事前・事後学習課題】 配布プリントを読んでおくこと。
- 第6回** 【授業テーマ】 「私」の発見と世界：デカルト  
【内容・方法 等】 「私は考える、ゆえに私は存在する」というデカルトの言葉はよく知られているが、デカルト哲学における「考える私」の発見の役割については、誤解されていることも多い。デカルトの思索をたどり、理性によって思考するという近代の人間のモデルがもたらす影響について、考えていこう。
- 【事前・事後学習課題】 デカルト『方法序説』を読んでおくこと。
- 第7回** 【授業テーマ】 人はなぜ社会をつくるのか：ルソー  
【内容・方法 等】 私たちが社会を形成するのはなぜなのだろうか。ルソーは、社会のはじまりに、人々が自分の全てを集団全体にゆだねる意志があったと考える。ここでは、社会を形成するにあたって、人間はどのような存在と見なされているのか、そして社会全体が目指すものは何か、ルソーの思想のなかに探ってみよう。
- 【事前・事後学習課題】 ルソー『社会契約論』のはじめの部分を読んでおくこと。
- 第8回** 【授業テーマ】 他者を尊重する理由：カント  
【内容・方法 等】 カントによる人間の人格の尊厳は、現代の生命倫理における「尊厳」概念のルーツである。ここでは、カントの道徳律と幸福論を見ていこう。
- 【事前・事後学習課題】 カント『道徳形而上学原論』のなかの指定した章を読んでおくこと。
- 第9回** 【授業テーマ】 労働と価値：マルクス  
【内容・方法 等】 ものの価値には絶対的な基準があるのではない、交換によって価値が発生するのだというマルクスの発見は、社会がさまざまな関係から成り立っていることを浮き彫りにした。ここでは、近代社会において労働が商品となるということはどのようなことであったのか、マルクスの見解をたどってみよう。
- 【事前・事後学習課題】 配布するプリントを読んでおくこと。
- 第10回** 【授業テーマ】 自らが作り出す秩序への意志：ニーチェ  
【内容・方法 等】 神の恩寵に人間の幸福のよりどころを求めていた近世までの哲学とは異なり、ニーチェは、人間の生きようとする意志に、人間の望ましい生のあり方を見よう

とする。ニーチェのこうした思想は、人間の生を肯定する思想として、庇護状態にある人がそこから抜け出す上での支えともなりうる。ニーチェの「超人」を検討し、生への意志とは何か、考えてみよう。

**【事前・事後学習課題】** ニーチェ『ツァラストゥトラはこう言った』の冒頭部分を読んでおくこと。  
**第11回 【授業テーマ】** 自己と他者を肯定し、他者を迎え入れる思想とは：実存主義からレヴィナスへ

**【内容・方法 等】** 実存主義は、人間の存在がどのようなものであるのかという問いではなく、この世界のなかに人間が存在するという現実から出発し、個々人が自分の生の条件を進んで引き受ける哲学として発展した。しかし、この思想では、なぜ私たちが他者の呼ぶ声に応えなければならないか、説明しがたい。ここでは、レヴィナスの思想も参照し、他者存在を肯定する思考の可能性を考えてみよう。

**【事前・事後学習課題】** 配布するプリントを読んでおくこと。  
**第12回 【授業テーマ】** ケア倫理とは：ギリガン  
**【内容・方法 等】** ギリガンは、「誰も傷つけられてはならない」という原則のもと、さまざまな当事者の間の利害の対立を解決するよりよい方法を探る倫理的思考を「ケア」という倫理として確立した。人間関係のなかに働く「思いやり」を重視する倫理の可能性を考えてみよう。

**【事前・事後学習課題】** 配布するプリントを読んでおくこと。  
**第13回 【授業テーマ】** 社会的排除とは：フーコーとゴッフマン  
**【内容・方法 等】** 近代以降の産業化は、生産活動に適さない人間を排除する過程でもあった。フーコーは、医療が人間の生に政治的な力となって影響を与えることを指摘した。また、ゴッフマンは、社会的排除が当事者を原因として生じるのではなく、社会関係において発生することを明らかにする。ここでは、フーコーとゴッフマンを手がかりに、「排除」について考えてみよう。

**【事前・事後学習課題】** 配布するプリントを読んでおくこと。  
**第14回 【授業テーマ】** 科学技術の進歩と未来世代に：ヨナス  
**【内容・方法 等】** 私たちが資源や環境などを守らなければならないと考えるのは、現在世代で全てを使い果たすのではなく、次の世代に残さなければならないと考えるからである。しかし、医療を含む科学技術は、現在世代の利益を確保することに重点を置く傾向にある。ここでは、ヨナスの思想を手がかりに、未来世代への影響を考慮した技術のあり方について考えてみよう。

**【事前・事後学習課題】** 配布するプリントを読んでおくこと。  
**第15回 【授業テーマ】** 歓待とは何か：レイン『自己と他者』と鷺田清一『聴くことの力』  
**【内容・方法 等】** 「聴く」という行為は、他者の存在を受け入れることでもある。他者の声を「聴く」ことによって得られる存在への肯定は、私達に「幸福」をもたらす。しかしながら、現代の慌ただしい日本社会では、時間をかけて相手に向き合うことが難しくなっている。ここでは、鷺田清一『聴くことの力』を通して、「聴く」という行為の意味と可能性を検討してみよう。

**【事前・事後学習課題】** 「聴く」という行為と、相手の存在を受け止めるということの間には、どのような関係があるのか、考えておくこと。

**評価方法 (基準)**  
 ミニレポート (20%)、課題提出 (20%)、定期試験 (60%) により総合評価する。

**教材等**  
**教科書**…木田元『反哲学史』講談社学術文庫 (945円+税)  
**参考書**…読むべき文献については、授業のなかで随時挙げる。

**学生へのメッセージ**  
 はじめて「哲学」という学問領域に出会う人にとっては、言葉の意味がとりにくく、とっつきにくいように思われるかもしれませんが、あなたが分からないと思ったら、他の人も分からない可能性が大きいと思われれます。授業中の説明がよく分からないと思ったら、そのときにいつでも質問してください。

**関連科目**  
 法学入門、倫理学  
**担当者の研究室等**  
 1号館2階 非常勤講師室  
**備考**  
 授業開始後30分以降の入室はお断りすることがあります。

文学 Literature				
中 嶋 謙 昌 (ナカシマ ケンスケ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

中学校や高等学校の「古典」「古文」の授業では、文法に悩まされた人が多いと思いますが、この講義は文法を学ぶことが目的ではありません。「古典文学」を味わい、楽しむことがねらいです。具体的には百人一首をとりあげ、主要な和歌を中心に読んでいきます。和歌に表現された世界がどんなものか、考えてみましょう。  
 学科の学習・教育目標との対応：[II]

**授業方法と留意点**  
 講義形式です。不定期に小テストを行い、平常点(出席点)とします。

**科目学習の効果(資格)**  
 大学生として必要最低限の「古典文学」の知識を身につけることができます。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

**第1回 【授業テーマ】** 「古典文学」を楽しむ  
**【内容・方法 等】** 百人一首がどんな作品なのか、大きく捉えます。

**【事前・事後学習課題】** 事典等で概要を把握すること。  
**第2回 【授業テーマ】** 百人一首の成り立ちを知る  
**【内容・方法 等】** 百人一首がどのように作られているのか、考えてみます。

**【事前・事後学習課題】** 百人一首全体を概観。  
**第3回 【授業テーマ】** 天皇の歌を読む  
**【内容・方法 等】** 冒頭と末尾にある天皇の歌を読み、百人一首の構成について考えます。

**【事前・事後学習課題】** 百人一首の該当部分を熟読。  
**第4回 【授業テーマ】** 万葉集時代の歌を読む  
**【内容・方法 等】** 万葉集時代の歌人が詠んだ歌を読み、鑑賞します。

**【事前・事後学習課題】** 百人一首の該当部分を熟読。  
**第5回 【授業テーマ】** 六歌仙の歌を読む  
**【内容・方法 等】** 平安初期の歌人が詠んだ歌を読み、鑑賞します。

**【事前・事後学習課題】** 百人一首の該当部分を熟読。  
**第6回 【授業テーマ】** 古今集時代の歌を読む  
**【内容・方法 等】** 平安前期の歌人が詠んだ歌を読み、鑑賞します。

**【事前・事後学習課題】** 百人一首の該当部分を熟読。  
**第7回 【授業テーマ】** 古今集撰者たちの歌を読む  
**【内容・方法 等】** 古今集の編集にかかわった歌人が詠んだ歌を読み、鑑賞します。

**【事前・事後学習課題】** 百人一首の該当部分を熟読。  
**第8回 【授業テーマ】** 後撰集時代の歌を読む  
**【内容・方法 等】** 平安中期の歌人が詠んだ歌を読み、鑑賞します。

**【事前・事後学習課題】** 百人一首の該当部分を熟読。  
**第9回 【授業テーマ】** 拾遺集時代の歌を読む  
**【内容・方法 等】** 平安中期の歌人が詠んだ歌を読み、鑑賞します。

**【事前・事後学習課題】** 百人一首の該当部分を熟読。  
**第10回 【授業テーマ】** 女流歌人たちの歌を読む  
**【内容・方法 等】** 平安中期の女流歌人たちが詠んだ歌を読み、鑑賞します。

**【事前・事後学習課題】** 百人一首の該当部分を熟読。  
**第11回 【授業テーマ】** 後拾遺集時代の歌を読む  
**【内容・方法 等】** 平安後期の歌人が詠んだ歌を読み、鑑賞します。

**【事前・事後学習課題】** 百人一首の該当部分を熟読。  
**第12回 【授業テーマ】** 金葉・詞花集時代の歌を読む  
**【内容・方法 等】** 平安後期の歌人が詠んだ歌を読み、鑑賞します。

**【事前・事後学習課題】** 百人一首の該当部分を熟読。  
**第13回 【授業テーマ】** 千載集時代の歌を読む  
**【内容・方法 等】** 平安後期の歌人が詠んだ歌を読み、鑑賞します。

**【事前・事後学習課題】** 百人一首の該当部分を熟読。  
**第14回 【授業テーマ】** 新古今集時代の歌を読む  
**【内容・方法 等】** 平安後期～鎌倉初期の歌人が詠んだ歌を読み、鑑賞します。

**【事前・事後学習課題】** 百人一首の該当部分を熟読。  
**第15回 【授業テーマ】** 百人一首とはどんな作品か  
**【内容・方法 等】** 百人一首全体を通して、どのような作品であるのか、改めて考えます。

**【事前・事後学習課題】** 百人一首全体を熟読。

**評価方法 (基準)**  
 平常点(主に小テスト)と試験によって、総合的に評価します。(平常点30%、定期試験70%)

**教材等**  
**教科書**…資料を配付します。  
**参考書**…適宜、講義のなかで紹介いたします。

**学生へのメッセージ**  
 人間の住む世界について、感覚に訴えかけるように言葉で表現したものが、文学です。文学を勉強することよりも、文学をき

っかけに、皆さん自身の人生や美意識について考えてもらえれば、うれしいです。

関連科目

なし

担当者の研究室等

1号館2階 非常勤講師室

**ボランティア活動論**  
Study of Volunteer Activity

柿本佳美 (カキモト ヨシミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

ボランティア活動の現状と課題について、具体的事例に即して学びます。社会への参加と貢献の在り方の多様性や、ボランティア活動における役割について知ることを通じて、リーダーシップやマネジメントの仕方と重要性を学ぶとともに、ボランティアを行うことの意義をプラス・マイナスの両面について理解することを目的とします。受講生は、実際にボランティア活動を行えるよう、シミュレーションとして、グループごとに模擬ボランティア組織の計画立案までを行います。

**授業方法と留意点**

ボランティアは、この言葉の語源が意味するように、市民である私達が主体となり、自らの意志で他の人々とともに問題と向き合い、解決する糸口を探る活動と言えます。とはいえ、ボランティアと言っても、援助が必要な当事者の困難はさまざまですから、当事者のニーズに応じて異なる活動グループを立ち上げる必要があります。

そこで、前半期では、ボランティアを支える理念と思想的基盤とともに、ボランティア組織の運営の方法を学びます。後半期では、グループごとに模擬ボランティア組織の計画を立ててみましょう。

**科目学習の効果（資格）**

当事者の多様なニーズを理解し、さまざまな視点から問題の解決を探る。

組織マネジメントができる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 はじめに  
【内容・方法 等】 近年、どのような人であっても社会の一部であり、排除されてはならないという視点から、福祉のなかに「社会的包摂」という考え方が浸透しつつある。なぜ私たちは、困っている人を見逃すことができないのか、考えてみよう。  
【事前・事後学習課題】 できれば阿部彩『弱者の居場所がない社会』（岩波新書、2011）を読んでおくこと。
- 第2回** 【授業テーマ】 ボランティアと公共性  
【内容・方法 等】 ボランティアの歴史について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 教科書を読んでおくこと。  
ナイチンゲールについて調べておくこと。
- 第3回** 【授業テーマ】 人権と尊厳  
【内容・方法 等】 ボランティア活動をはじめの理由として、「人権」と「尊厳」が守られなければならないにもかかわらず、守られていない状況がある、という認識がある。私達は、「人権」と「尊厳」という概念をどのようにして形成してきたのか、見てみよう。  
【事前・事後学習課題】 湯浅誠『反貧困』（岩波新書）および『国連世界人権宣言』を読んでおくこと。できれば、『国連女性差別撤廃条約』、『国連子どもの権利条約（児童権利条約）』、『国連障害者権利条約』も読んでおくこと。
- 第4回** 【授業テーマ】 一市民として関わる：ボランティア活動のニーズの発見  
【内容・方法 等】 身近なところで日常生活を送る上で困難を抱えている人がいることを知るには、「気づき」が必要である。そして、「気づき」が相手との関係のきっかけとなり、相互理解へと進む。「気づき」を生活支援に発展させるにはどのようにすればよいのか、考えてみよう。  
【事前・事後学習課題】 プリント、あるいは参考文献の『福祉ボランティア論』の指定する箇所を読んでおくこと。
- 第5回** 【授業テーマ】 市民活動としてのボランティア  
【内容・方法 等】 ボランティア活動は、利益を目的とする企業の有償サービスになじまないために行政が引き受けるさまざまなサービスにも関わる。とはいえ、ボランティアは行政の下請けではない。ボランティアは、行政にサービスに関する提言やアドバイスをを行う存在として、行政のパートナーでもなければならない。ボランティアと行政との関わりについて考えてみよう。  
【事前・事後学習課題】 ボランティア組織と行政の役割分担について考えておくこと。
- 第6回** 【授業テーマ】 災害とボランティア

【内容・方法 等】 ボランティアと言えば、大災害後の住民の支援を行う災害ボランティアを思い浮かべる人も多いだろう。とはいえ、個々人が被災地で効率的に活動するには、災害直後にボランティア組織を立ち上げる必要がある。ここでは、災害時のボランティア組織と行政との連携について見ていく。

【事前・事後学習課題】 震災や大水害などの被害を受けた地域では何が必要とされていたか、調べること。

**第7回** 【授業テーマ】 障がい学に見るノーマライゼーション

【内容・方法 等】 障がい学は、社会が健常者に適したシステムとなっているために、身体的・精神的障がいを持つ人々が生活のなかで困難な状態に陥っているという認識から出発する。そうすると、障がい者支援は、全ての人が生まれながら持つ権利を十分に行使できることを目的としていると言えよう。障がい者の権利はどのようにして守られるべきか、考えてみよう。

【事前・事後学習課題】 『国連障害者条約』を読んでおくこと。  
【授業テーマ】 子ども福祉とボランティア

**第8回** 【内容・方法 等】 子どもは、特別な保護を必要とする存在である。しかし、少子化が進む現代の日本社会においては、子どもの生活の質は、手厚く守られているようでありながら、そうではない面もある。また、子どもの生活の質を守るには、母親への支援も必要である。そこで、母子を対象とする支援、そして子どもを対象とする支援について、活動計画を立ててみよう。  
【事前・事後学習課題】 『国連子どもの権利条約』を読んでおくこと。できれば、阿部彩『子どもの貧困』（岩波新書）にも目を通しておくこと。

**第9回** 【授業テーマ】 生活支援としてのボランティア  
【内容・方法 等】 ボランティア活動は、地域社会との連携が欠かせないだけでなく、地域社会そのものを対象とすることもある。地域社会の抱えるさまざまな問題を理解した上で、地域を再生する計画を立ててみよう。  
【事前・事後学習課題】 地域の再生に関わる活動を調べておくこと。プリント、あるいは参考文献の『福祉ボランティア論』の指定する箇所を読んでおくこと。

**第10回** 【授業テーマ】 ボランティア組織のマネジメント  
【内容・方法 等】 ボランティア活動の場合、個人がそれぞれ活動するよりも集団で行うほうがさまざまなニーズに応える機動性と効率性に富む。しかしながら、各人が自らの意思で参加する以上、方針や運営の手法に関する見解の違いにより仲間割れしたり、1人または数人に責任がかり、燃え尽きることも少なくない。ボランティア組織を運営する上で留意すべきことは何か、考えてみよう。  
【事前・事後学習課題】 教科書第3章を読んでおくこと。

**第11回** 【授業テーマ】 ボランティア活動計画を立てよう  
【内容・方法 等】 ボランティアにはさまざまなニーズに応じて決め細やかな各種の活動がある。ここではグループごとにどのような活動を行うのか、大まかな活動計画を立ててみよう。  
【事前・事後学習課題】 関心のあるボランティア活動について調べておくこと。

**第12回** 【授業テーマ】 ボランティア組織のプランを立ててみよう：組織作り  
【内容・方法 等】 ボランティア活動の場合、リーダーと言っても一人のボランティアであり、ボランティアは互いに対等な関係にあることが望ましい。互いに対等であるということを含頭に置きつつ、グループごとに選んだボランティア活動の内容を検討し、必要な役割を書き出し、分担を決めよう。  
【事前・事後学習課題】 各自でボランティア計画を作成しておくこと。

**第13回** 【授業テーマ】 ボランティア組織のプランを立ててみよう：発表  
【内容・方法 等】 グループごとに作成したボランティア計画を発表し、ディスカッションを行う。  
【事前・事後学習課題】 グループごとに、模擬ボランティア組織の計画を完成させ、レジュメを作る。

**第14回** 【授業テーマ】 国際NGOとボランティア  
【内容・方法 等】 国際NGOの活動マネジメントの実態を理解し、地域社会との連携という視点から、国際支援のあり方を考える。  
【事前・事後学習課題】 カント『永遠平和のために』を読んでおくこと。

**第15回** 【授業テーマ】 まとめ：尊厳を守る社会を目指して  
【内容・方法 等】 ボランティア活動が目指す社会とは、各人が尊厳を持って生きることのできる社会である。各人の幸福を可能にするシステムを構築するには、狭い意味でのボランティアだけでなく、社会のなかでボランティアの理念が認知されることも必要である。ソーシャルビジネスを分析し、社会において共有される理想とは何か、考えてみよう。  
【事前・事後学習課題】 プリント、あるいは参考文献の『福祉ボランティア論』の指定する箇所を読んでおくこと。

**第16回** 【授業テーマ】 評価方法（基準）

授業中のミニレポート(20%)、課題提出(20%)、定期試験(60%)により総合評価する。

**教材等**

**教科書**…内海成治・入江幸男・水野義之 『ボランティア学を学ぶ人のために』 世界思想社 (2,310円+税)  
**参考書**…三本松政之・朝倉美江 『福祉ボランティア論』 有斐閣アルマ (1,800円+税)

**学生へのメッセージ**

私達の身近なところにある問題は何か、そしてそれについてどのような行動が可能か、皆さん自身で発見し、考えてみましょう。

**関連科目**

コミュニケーション論、心理学

**担当者の研究室等**

1号館2階 非常勤講師室

**備考**

授業開始後30分以降の入室はお断りすることがあります。

女性学 Women's Study				
荒木 菜穂 (アラキ ナホ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	1	後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

女性学とは、男女ともが、社会のしくみについて考える場である。社会の「主人公」が男性であることが自明であった時代、「見えない存在」とされていた女性のあり方に目を向けることが女性学のきっかけとなった。しかし、それは、性別によって個人が生き方を決められてしまう社会のしくみそのものを問う学問および活動を意味する。現在では、性をめぐる社会のしくみは、男女それぞれの個人としての「生きにくさ」と何かしら関係があるのかもしれないと捉えられる一方、「もはや性別による不都合など存在しない」という意見も多く見られる。本授業では、1970年代以降、女性学において語られてきた様々なトピックをヒントに、性をめぐるの、今日的な社会のしくみについて、家族、恋愛、仕事、セクシュアリティなど様々な角度から理解を深める。また、一般論としての「あたりまえ」ではなく、自分を主語としてそれらの問題について語るができるようになることを目標とする。

**授業方法と留意点**

各回、テーマに関して、女性学等においてこれまで語られてきたことの振り返りと並行させ、ニュースや図表や文献資料、映像など、今日的な問題に沿った資料を使用し授業を進める。授業終了後に、そのテーマについて、各人が自分の考えをまとめる時間を設ける。

**科目学習の効果(資格)**

様々な角度からの議論を紹介していきたいと思います。自分とは異なる価値観を持つ他者と柔軟に向き合うことができ、幅広い視野で社会を読み解くことができるようになればよいと考えます。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 **【授業テーマ】** イントロダクション/女性学とは何か  
**【内容・方法 等】** 女性学について、また、日本における女性学誕生からジェンダー概念の普及までの簡単な歴史的な振り返りを行う。  
**【事前・事後学習課題】** 配布プリントの復習
- 第2回 **【授業テーマ】** メディアの中の男女のイメージ(1)  
**【内容・方法 等】** 様々なメディアの中で、男性、女性のイメージがどのように描き分けられているか、またなぜそうなっているのかについて考える。  
**【事前・事後学習課題】** 配布プリントの復習・意識的にメディアを視聴し次回に備える。
- 第3回 **【授業テーマ】** メディアの中の男女のイメージ(2)  
**【内容・方法 等】** メディアにおける表現の問題性、また、メディアと接する際のリテラシーについて考える。  
**【事前・事後学習課題】** 配布プリントの復習・意識的にメディアを視聴する
- 第4回 **【授業テーマ】** 女性運動から学ぶこと  
**【内容・方法 等】** 過去および現在のフェミニズム運動やその主張の多様性から平等とは何かを学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 配布プリントの復習
- 第5回 **【授業テーマ】** 恋愛・結婚・家族とジェンダー(1)  
**【内容・方法 等】** モテ非モテ、愛と暴力など、日常的な問題の背景にある社会のしくみを知る。  
**【事前・事後学習課題】** 配布プリントの復習
- 第6回 **【授業テーマ】** 恋愛・結婚・家族とジェンダー(2)  
**【内容・方法 等】** 恋愛意識、経済、家族のあり方など、様々な社会の問題と結びつく「結婚」という制度について、結婚が困難になりつつある近年の現状をデータなどで振り返り、その構造について考える。

- 第7回 **【事前・事後学習課題】** 配布プリントの復習  
**【授業テーマ】** 恋愛・結婚・家族とジェンダー(3)  
**【内容・方法 等】** 結婚・家族などをめぐる「あたりまえ」を疑ってみる。  
**【事前・事後学習課題】** 配布プリントの復習
- 第8回 **【授業テーマ】** 個人の外見と身体と社会  
**【内容・方法 等】** 個人の「見た目」がジェンダーや社会による制約を受ける問題について、単に批判するだけでなく、我々が積極的に表現する行為としての意味を考える。  
**【事前・事後学習課題】** 配布プリントの復習
- 第9回 **【授業テーマ】** 身体と性  
**【内容・方法 等】** 出産・健康・医療をめぐる、男女の身体や性が社会とどのような関係にあったのかを学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 配布プリントの復習
- 第10回 **【授業テーマ】** セクシュアリティとジェンダー  
**【内容・方法 等】** 快楽の性、性的なものをめぐる差別など、性と社会に関する様々なことを学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 配布プリントの復習
- 第11回 **【授業テーマ】** 労働と社会(1)  
**【内容・方法 等】** 個人が生きる上での仕事、労働、生活について、現代の男女のライフコースとの関わりで考える。  
**【事前・事後学習課題】** 配布プリントの復習・事例を探すレポート
- 第12回 **【授業テーマ】** 労働と社会(2)  
**【内容・方法 等】** 格差社会と男女共同参画といった観点から、資本主義社会の中のジェンダーと労働について学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 配布プリントの復習
- 第13回 **【授業テーマ】** グローバリゼーションとジェンダー  
**【内容・方法 等】** 様々な文化における男女を取り巻く社会状況に目を向け、「私」とは、どのような立ち位置の女性(男性)か、について考える。  
**【事前・事後学習課題】** 配布プリントの復習
- 第14回 **【授業テーマ】** 教育とジェンダー  
**【内容・方法 等】** 日本の教育に関するジェンダーの問題について考える。  
**【事前・事後学習課題】** 配布プリントの復習
- 第15回 **【授業テーマ】** 今日の課題と向き合う  
**【内容・方法 等】** 震災、貧困、ネット社会など、社会の変化をもたらした様々なキーワードを、女性学、ジェンダーの切り口から再考する。  
**【事前・事後学習課題】** 配布プリントの復習

**評価方法(基準)**

授業内レポートおよび課題レポート(30%)、定期試験(70%)により総合評価する。

**教材等**

**教科書**…指定なし  
**参考書**…授業中に適宜指示する。

**学生へのメッセージ**

難解な理論を把握することよりも、日常生活の中の問題を、「あたりまえ」だけではない様々な視点で考えることができるようになることが本授業の目的です。この問題はなぜ起っているのだろう、世の中ってどうなってるんだろう、と一緒に考えていけたらと思います。

**関連科目**

社会と個人について考える科目全てに関連性があるといえます。

**担当者の研究室等**

1号館2階 非常勤講師室

女性学 Women's Study				
荒木 菜穂 (アラキ ナホ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	2	後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

女性学とは、男女ともが、社会のしくみについて考える場である。社会の「主人公」が男性であることが自明であった時代、「見えない存在」とされていた女性のあり方に目を向けることが女性学のきっかけとなった。しかし、それは、性別によって個人が生き方を決められてしまう社会のしくみそのものを問う学問および活動を意味する。現在では、性をめぐる社会のしくみは、男女それぞれの個人としての「生きにくさ」と何かしら関係があるのかもしれないと捉えられる一方、「もはや性別による不都合など存在しない」という意見も多く見られる。本授業では、1970年代以降、女性学において語られてきた様々なトピックをヒントに、性をめぐるの、今日的な社会のしくみについて、家族、恋愛、仕事、セクシュアリティなど様々な角度から理解を深める。また、一般論としての「あたりまえ」ではなく、自分を主語としてそれらの問題について語るができるようになることを目標とする。

**授業方法と留意点**

各回、テーマに関して、女性学等においてこれまで語られてきたことの振り返りと並行させ、ニュースや図表や文献資料、映像など、今日的な問題に沿った資料を使用し授業を進める。授業終了後に、そのテーマについて、各人が自分の考えをまとめる時間を設ける。

**科目学習の効果（資格）**

様々な角度からの議論を紹介していきたいと思います。自分とは異なる価値観を持つ他者と柔軟に向き合うことができ、幅広い視野で社会を読み解くことができるようになればよいと考えます。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 イントロダクション／女性学とは何か  
 【内容・方法 等】 女性学について、また、日本における女性学誕生からジェンダー概念の普及までの簡単な歴史的な振り返りを行う。  
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第2回** 【授業テーマ】 メディアの中の男女のイメージ（1）  
 【内容・方法 等】 様々なメディアの中で、男性、女性のイメージがどのように描き分けられているか、またなぜそうなっているのかについて考える。  
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習・意識的にメディアを視聴し次回に備える。
- 第3回** 【授業テーマ】 メディアの中の男女のイメージ（2）  
 【内容・方法 等】 メディアにおける表現の問題性、また、メディアと接する際のリテラシーについて考える。  
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習・意識的にメディアを視聴する
- 第4回** 【授業テーマ】 女性運動から学ぶこと  
 【内容・方法 等】 過去および現在のフェミニズム運動やその主張の多様性から平等とは何かを学ぶ。  
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第5回** 【授業テーマ】 恋愛・結婚・家族とジェンダー（1）  
 【内容・方法 等】 モテ非モテ、愛と暴力など、日常的な問題の背景にある社会のしくみを知る。  
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第6回** 【授業テーマ】 恋愛・結婚・家族とジェンダー（2）  
 【内容・方法 等】 恋愛意識、経済、家族のあり方など、様々な社会の問題と結びつく「結婚」という制度について、結婚が困難になりつつある近年の現状をデータなどで振り返り、その構造について考える。  
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第7回** 【授業テーマ】 恋愛・結婚・家族とジェンダー（3）  
 【内容・方法 等】 結婚・家族などをめぐる「あたりまえ」を疑ってみる。  
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第8回** 【授業テーマ】 個人の外見と身体と社会  
 【内容・方法 等】 個人の「見た目」がジェンダーや社会による制約を受ける問題について、単に批判するだけでなく、我々が積極的に表現する行為としての意味を考える。  
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第9回** 【授業テーマ】 身体と性  
 【内容・方法 等】 出産・健康・医療をめぐる、男女の身体や性が社会とどのような関係にあったのかを学ぶ。  
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第10回** 【授業テーマ】 セクシュアリティとジェンダー  
 【内容・方法 等】 快楽の性、性的なものをめぐる差別など、性と社会に関する様々なことを学ぶ。  
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第11回** 【授業テーマ】 労働と社会（1）  
 【内容・方法 等】 個人が生きる上での仕事、労働、生活について、現代の男女のライフコースとの関わりで考える。  
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習・事例を探すレポート
- 第12回** 【授業テーマ】 労働と社会（2）  
 【内容・方法 等】 格差社会と男女共同参画といった観点から、資本主義社会の中のジェンダーと労働について学ぶ。  
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第13回** 【授業テーマ】 グローバリゼーションとジェンダー  
 【内容・方法 等】 様々な文化における男女を取り巻く社会状況に目を向け、「私」とは、どのような立ち位置の女性（男性）か、について考える。  
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第14回** 【授業テーマ】 教育とジェンダー  
 【内容・方法 等】 日本の教育に関するジェンダーの問題について考える。  
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第15回** 【授業テーマ】 今日の課題と向き合う  
 【内容・方法 等】 震災、貧困、ネット社会など、社会の変化をもたらした様々なキーワードを、女性学、ジェンダーの切り口から再考する。  
 【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習

**評価方法（基準）**

授業内レポートおよび課題レポート（30%）、定期試験（70%）

により総合評価する。

**教材等**

教科書…指定なし  
 参考書…授業中に適宜指示する。

**学生へのメッセージ**

難解な理論を把握することよりも、日常生活の中の問題を、「あたりまえ」だけではない様々な視点で考えることができるようになることが本授業の目的です。この問題はなぜ起こっているのだろう、世の中ってどうなってるんだらう、と一緒に考えていただけたらと思います。

**関連科目**

社会と個人について考える科目全てに関連性があるといえます。

**担当者の研究室等**

1号館2階 非常勤講師室

日本国憲法 Constitutional Law				
小宮山 直子 (コミヤマ ナオコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

本科目では、日本国憲法の基礎的知識を習得し、さらにその知識を活用して、社会における多様な問題について、自分の言葉で発言できるようになることを目標とする。憲法に関する学習を通して、様々な考え方にふれ、物事を多角的にみる能力を養い、そして見識のある人間としての基礎を築くために、自分自身についての洞察を深め、生涯にわたって自己研鑽に努める習慣を身につける。

**授業方法と留意点**

成績評価は、期末テストだけではなく、通常の授業のなかで提出してもらう小テストやミニ・レポートの筆記内容も重視します。授業での教員の説明をよく聞き、その内容をノートにしっかりとまとめましょう。日頃から、新聞・テレビ・雑誌などのさまざまなメディアを通して、政治・社会問題に関心をもちよう心がけてください。

**科目学習の効果（資格）**

専門基礎科目の保健医療行政論、専門科目の看護関係法規を学ぶ上での基礎となる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 はじめに  
 【内容・方法 等】 講義の進め方及び成績評価について  
 現代日本の法制度の概要について  
 【事前・事後学習課題】 日本法全体における憲法の位置づけを確認する。
- 第2回** 【授業テーマ】 憲法とは何か  
 【内容・方法 等】 近代憲法の特徴について  
 明治憲法および日本国憲法の歴史について  
 【事前・事後学習課題】 明治憲法と日本国憲法の違いについて整理しておく
- 第3回** 【授業テーマ】 日本国憲法の基本原理  
 【内容・方法 等】 日本国憲法の基本原理である国民主権・平和主義を中心に考察する。  
 戦後からこれまでの憲法にかかわる重要判例を概観する。  
 【事前・事後学習課題】 日本国憲法成立に関わった人物を各自で調べる。
- 第4回** 【授業テーマ】 自由権①信教の自由・政教分離の原則  
 【内容・方法 等】 教育現場で問題になった信教の自由をめぐる判例を検討する。また政教分離にかかわる重要判例を取り上げる。  
 【事前・事後学習課題】 政教分離にかかわる最近の判例を調べる。
- 第5回** 【授業テーマ】 自由権②：表現の自由  
 【内容・方法 等】 表現の自由の重要性とその限外を、わいせつ物の規制とプライバシー権に関わる点から考える。  
 【事前・事後学習課題】 わいせつ物が規制される理由について賛否両論の意見を整理しておく。
- 第6回** 【授業テーマ】 自由権③：人身の自由  
 【内容・方法 等】 適正手続の保障について考察する。  
 【事前・事後学習課題】 死刑制度をめぐる様々な意見についてまとめる。
- 第7回** 【授業テーマ】 自由権④：職業選択の自由・経済活動の自由  
 【内容・方法 等】 職業選択の自由に関する重量判例を中心に考察する。  
 【事前・事後学習課題】 職業選択の自由など経済的自由権が制限を受ける理由をまとめておく。
- 第8回** 【授業テーマ】 社会権①：生存権と生活保護  
 【内容・方法 等】 生活保護をめぐる事例を検討するとともに、生活保護の諸問題を考える。  
 【事前・事後学習課題】 講義の中で取り上げた「中嶋学資保険

- 訴訟」判決の重要点を各自で整理しておく。
- 第9回 【授業テーマ】 社会権②：教育を受ける権利  
【内容・方法 等】 教育権をめぐる重要判例を考察する。  
【事前・事後学習課題】 社会権が登場する歴史的背景について整理しておく。
- 第10回 【授業テーマ】 法の下での平等  
【内容・方法 等】 平等権に関わる最重要判例を考察する。  
【事前・事後学習課題】 戦前からこれまでの女性の社会的地位の変化についても整理しておく。
- 第11回 【授業テーマ】 人権の享有主体（外国人の人権）、その他  
【内容・方法 等】 外国人に関わる憲法問題を考察する。また、新しい人権について検討する。  
【事前・事後学習課題】 憲法に関する新聞記事を調べる。
- 第12回 【授業テーマ】 統治のしくみ①：国会・内閣  
【内容・方法 等】 国会・内閣の基本的機能について考察する。  
【事前・事後学習課題】 憲法に関する新聞記事を調べる。
- 第13回 【授業テーマ】 統治のしくみ②：裁判所  
【内容・方法 等】 裁判所の組織、司法権の独立などについて考察する。また、裁判員制度の問題点等を検討する。  
【事前・事後学習課題】 裁判員制度の概要について整理しておく。
- 第14回 【授業テーマ】 憲法改正の問題  
【内容・方法 等】 戦後からこれまでの憲法改正の動向を概観する。また国民投票法について考察する。  
【事前・事後学習課題】 人権規定に関わる改正案を考えてみる。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法 等】 これまでの講義のまとめと復習を行う。  
【事前・事後学習課題】 授業で扱った憲法の条文をもう一度確認する。

評価方法（基準）

定期試験（90%）、課題提出（10%）により総合評価します。詳しくは初回の授業で説明します。

教材等

教科書…松井茂記『日本国憲法を考える（最新版）』（大阪大学出版会）

参考書…芦部信喜編『憲法』 岩波書店

『別冊ジュリスト 憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ』 有斐閣

学生へのメッセージ

日頃から、新聞・テレビ・雑誌などのさまざまなメディアを通して、政治・社会問題に関心をもつよう心がけましょう。

関連科目

法学入門、保健医療福祉行政論、看護関係法規

担当者の研究室等

1号館2階 非常勤講師室

法学入門 Introduction to Jurisprudence				
菅原 絵美 (スガワラ エミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

法は堅く不動のイメージがつきまとう。しかし、実際に法を理解するためには、法が社会のなかでどんな機能を果たしているのかについて、憲法や民法・刑法といった法律の条文（「規範」）に加え、法律の定立・適用・執行などの「制度」、法的思考などの「技術」、さらにはどういう人が法律を扱っているのかという「主体」など、動態的な視点が必要になる。この法がもつダイナミズムを重視し、具体的な事例（学生の関心事例や医療に関する事例など）を用い、今後の社会生活で活用できるような法学の基礎的知識を身につけることを目標とする。

授業方法と留意点

教科書は用いず、参考書は講義中に適宜紹介する。なお、講義レジュメ・資料を毎回配布する。  
なお、授業では毎回アンケートを課し、講義テーマと関連する関心事例（事件・ニュース）を尋ねるので、新聞等で確認し、準備しておく。

科目学習の効果（資格）

法律の基本的知識やその活用について学ぶことは、今後の社会生活（私生活、卒業後の社会人生活ともに）に必須である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション  
【内容・方法 等】 講義の目的、進め方や成績評価／私たちの生活と法・法律  
【事前・事後学習課題】 予習として今後の講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認
- 第2回 【授業テーマ】 法および法律とは（1）  
【内容・方法 等】 法および法律の基礎知識／法的思考（リーガルマインド）とは  
【事前・事後学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する

- 関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認
- 第3回 【授業テーマ】 法および法律とは（2）  
【内容・方法 等】 日本社会と法・法律の歩み／日本の法制度  
【事前・事後学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認
- 第4回 【授業テーマ】 憲法（1）  
【内容・方法 等】 国民主権／平和主義／権力分立  
【事前・事後学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認
- 第5回 【授業テーマ】 憲法（2）  
【内容・方法 等】 基本的人権の保障  
【事前・事後学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認
- 第6回 【授業テーマ】 刑法  
【内容・方法 等】 罪刑法定主義／犯罪の成立要件／刑事手続  
【事前・事後学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認
- 第7回 【授業テーマ】 民法（1）  
【内容・方法 等】 契約の自由／財産関係と法  
【事前・事後学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認
- 第8回 【授業テーマ】 民法（2）  
【内容・方法 等】 家族関係（結婚、離婚、相続など）と法  
【事前・事後学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認
- 第9回 【授業テーマ】 損害賠償  
【内容・方法 等】 「もし交通事故をおこしてしまったら…」の場合をめぐる法律問題を考える  
【事前・事後学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認
- 第10回 【授業テーマ】 労働法  
【内容・方法 等】 労働法の理念／労働する権利の保障／労働基本権（団結権、団体交渉権、争議権）  
【事前・事後学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認
- 第11回 【授業テーマ】 国際法  
【内容・方法 等】 国際社会と法／領域と海洋法／国際貿易・投資体制  
【事前・事後学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認
- 第12回 【授業テーマ】 裁判員制度  
【内容・方法 等】 「裁判員に選ばれたら…」の場合をめぐる、裁判員制度の概要および「法律を扱う立場」を考える  
【事前・事後学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認
- 第13回 【授業テーマ】 医療と法・法律  
【内容・方法 等】 医療活動に関わる法律問題（薬事法をめぐる事例・事件など）  
【事前・事後学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認
- 第14回 【授業テーマ】 その他の社会生活とかかわる法律  
【内容・方法 等】 環境やジェンダーなど社会生活とかかわる法律問題を考える  
【事前・事後学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法 等】 これまでの授業の復習  
【事前・事後学習課題】 前回の復習

評価方法（基準）

成績は、毎回の授業アンケートの提出状況、不定期に課すレポートの成績および定期試験で、総合的に評価する。

教材等

教科書…特に指定しない。

参考書…適宜講義のなかで紹介する。

学生へのメッセージ

学生のみなさんの関心事項・事件に配慮した、生きた法・法律の講義にしたいと考えています。  
法・法律は、私生活においても、今後の社会人生活においても、常に関わってくる問題です。この授業を通じて、そのことを実感するとともに、社会生活を問いなおす視点を身につけてください。

関連科目

日本国憲法

担当者の研究室等

1号館2階 非常勤講師室

**経済学**  
Economics

田中 鮎 夢 (タナカ アユム)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

経済分析の枠組みを理解することを目標とする。具体的には消費者がどのようにして財の購入量を決定するのか、企業は利潤最大化のために生産量をどのようにして決めるのか、また政府は経済厚生のためにどのような政策を用いるのかなどを学びます。

**授業方法と留意点**

基本的には講義形式で進めるが、時事問題や時の話題等について、経済学ではどのような考えでどのような分析が出来るのかを解説する。また、これらと並行して課題を課す。適宜、レジュメを配布する。

**科目学習の効果(資格)**

すべての経済学の基礎となる考え方が身に付きます。公務員試験(警察、消防、市役所、地方上級、国家II種)教養経済。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 経済学の対象と考え方、学び方  
【内容・方法等】 授業の進め方、成績評価方法、経済学説史  
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第2回 【授業テーマ】 ミクロ経済学1  
【内容・方法等】 最適消費  
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第3回 【授業テーマ】 ミクロ経済学2  
【内容・方法等】 最適生産  
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第4回 【授業テーマ】 ミクロ経済学3  
【内容・方法等】 需要と供給、厚生経済学の基本定理  
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第5回 【授業テーマ】 ミクロ経済学4  
【内容・方法等】 市場の失敗  
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第6回 【授業テーマ】 マクロ経済学1  
【内容・方法等】 マクロ経済変数、総需要・総供給分析  
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第7回 【授業テーマ】 マクロ経済学2  
【内容・方法等】 45度線分析、乗数理論  
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第8回 【授業テーマ】 マクロ経済学3  
【内容・方法等】 貨幣市場  
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第9回 【授業テーマ】 マクロ経済学4  
【内容・方法等】 景気  
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第10回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法等】 経済理論の総括  
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第11回 【授業テーマ】 財政  
【内容・方法等】 財政の3機能、税、公債、地方財政  
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第12回 【授業テーマ】 財政政策・金融政策  
【内容・方法等】 IS-LM分析と財政・金融  
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第13回 【授業テーマ】 国際経済1  
【内容・方法等】 国際経済体制  
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第14回 【授業テーマ】 国際経済2  
【内容・方法等】 国際通貨制度、為替相場の決定と影響  
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法等】 全体の総括  
【事前・事後学習課題】 講義内容の復習

**評価方法(基準)**

定期試験または講義内試験(100%)を主として、平常点を含む総合評価による。

**教材等**

教科書…授業中に適宜指示する。  
参考書…授業中に適宜指示する。

**学生へのメッセージ**

疑問点・わからない点があれば授業中でもかまいませんので聞いてください。

**関連科目**

特にありません。

**担当者の研究室等**

寝屋川キャンパス 1号館7階 田中講師室(経済学部)

**備考**

受講生の理解度によって、講義の内容と進行に変更がありうる。

**生命科学概論**

Introduction to Life Science

大塚 正 人 (オオツカ マサト)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

近年、遺伝子診断や遺伝子組換え食品などのような、生物学に関連する様々な事項が日常的に取り上げられている。本科目では、「生物とは何か」という基本的な事から、メディアで取り上げられた生物学に関連する話題までを紹介する。そして、その話題の生物学的な意義や背景を解説し、関連する最新の学術研究にも言及する。さらに、日常生活に関連深い生物学的研究・技術について、その発展の歴史も交えて概説する。これによって、生命現象の基本について理解を深め、日常生活で遭遇する生物学的な諸問題を正確に理解し、適切に判断できる素養を養成する。

**授業方法と留意点**

教科書を用いた講義を中心とする。毎回、出席確認を行います。

**科目学習の効果(資格)**

医療人の教養として必須である。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 プロローグ  
【内容・方法等】 講師紹介、この講義の学習の仕方・評価方法、生命科学とは何かについて説明する。  
【事前・事後学習課題】 なし
- 第2回 【授業テーマ】 人類はどうやって生まれてきたか  
【内容・方法等】 生命の起源から地球環境と生命の進化について説明する。  
【事前・事後学習課題】 教科書や授業資料による復習。レポート課題を出す場合がある。
- 第3回 【授業テーマ】 細胞の成り立ちと遺伝の仕組み  
【内容・方法等】 細胞を構成する物質から遺伝子の転写翻訳、エピジェネティクス等について説明する。  
【事前・事後学習課題】 教科書や授業資料による復習。レポート課題を出す場合がある。
- 第4回 【授業テーマ】 進化の理論  
【内容・方法等】 ダーウィンの進化論・分子進化学・環境適応と進化等について説明する。  
【事前・事後学習課題】 教科書や授業資料による復習。レポート課題を出す場合がある。
- 第5回 【授業テーマ】 細胞が増える仕組み  
【内容・方法等】 増殖シグナルの伝達様式や細胞周期・染色体の分離と細胞分裂について説明する。  
【事前・事後学習課題】 教科書や授業資料による復習。レポート課題を出す場合がある。
- 第6回 【授業テーマ】 性と生殖の不思議  
【内容・方法等】 生殖細胞と減数分裂及び幹細胞やES細胞・クローン、発生工学や遺伝子ノックアウト生物について説明する。  
【事前・事後学習課題】 教科書や授業資料による復習。レポート課題を出す場合がある。
- 第7回 【授業テーマ】 老化と病  
【内容・方法等】 なぜ老化するのか? 抗老化ホルモンやアルツハイマー病、狂牛病や夢のやせ薬について説明する。  
【事前・事後学習課題】 教科書や授業資料による復習。レポート課題を出す場合がある。
- 第8回 【授業テーマ】 なぜ、がんになるのか?  
【内容・方法等】 がんをとりまく遺伝子や浸潤と転移の仕組み、がんの分子標的治療について説明する。  
【事前・事後学習課題】 教科書や授業資料による復習。レポート課題を出す場合がある。
- 第9回 【授業テーマ】 生体防御と感染  
【内容・方法等】 免疫を担う細胞群や自然免疫・獲得免疫の仕組み、アレルギーやアトピー性皮膚炎について説明する。  
【事前・事後学習課題】 教科書や授業資料による復習。レポート課題を出す場合がある。
- 第10回 【授業テーマ】 遺伝子医療と感染症  
【内容・方法等】 遺伝子診断とオーダーメイド医療や遺伝子治療、再生医療と感染性疾患、インフルエンザ等について説明する。  
【事前・事後学習課題】 教科書や授業資料による復習。レポート課題を出す場合がある。
- 第11回 【授業テーマ】 先端バイオ技術の応用  
【内容・方法等】 個人識別と犯罪捜査、遺伝子組換え植物や不毛の地の緑地化、青いバラ等について説明する。  
【事前・事後学習課題】 教科書や授業資料による復習。レポート課題を出す場合がある。
- 第12回 【授業テーマ】 ナノテクが拓くバイオの未来  
【内容・方法等】 ナノテクノロジー、ナノ医療、RNA創薬などについて説明する。  
【事前・事後学習課題】 教科書や授業資料による復習。レポート課題を出す場合がある。

教養科目

- 第13回 【授業テーマ】 植物の発生  
【内容・方法 等】 植物の基本体制や種子形成、発芽、分枝、植物ホルモンの等について説明する。  
【事前・事後学習課題】 教科書や授業資料による復習。レポート課題を出す場合がある。
- 第14回 【授業テーマ】 人類はどこに行くのか  
【内容・方法 等】 人類と科学技術、地球上の生命にとっての人類の役割、メタンハイドレート、核融合、バイオマス等について説明する。  
【事前・事後学習課題】 教科書や授業資料による復習。レポート課題を出す場合がある。
- 第15回 【授業テーマ】 エピローク  
【内容・方法 等】 この講義の総括、補習講義、全員による討論を行う。  
【事前・事後学習課題】 レポート課題を出す場合がある。
- 評価方法 (基準)  
定期試験 (60%) レポート (20%) 小テスト (20%)  
シャトルカードにより出席確認を行う。
- 教材等  
教科書…『生命科学の基礎』 東京化学同人 (2,400円+税)  
参考書…『理系総合のための生命科学』 羊土社 (3,800円+税)
- 学生へのメッセージ  
シャトルカードにより授業に関する質問および要望を受け付けます。
- 関連科目  
生化学、人体の構造と機能、化学と生物
- 担当者の研究室等  
1号館5階 生化学研究室

生物・化学の基礎  
Biology and Chemistry

佐久間 信 至 (サクマ シンジ)  
安原 智 久 (ヤスハラ トモヒサ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

生物、化学は、看護師を目指す学生が専門科目を学ぶ上で基礎となる学問である。したがって、十分な生物、化学の基礎知識を有することが必須であるが、高校での履修科目のみでは不十分な点も多い。更には、高校時代に生物、化学を選択しなかった、あるいは生物I、化学Iのみを選択した学生もいる。従って、本科目では、以後の専門科目の履修に必要な生物、化学に関する基礎力を身につける。  
(オムニバス方式/全15回)  
(佐久間信至/7回)

生物では、細胞、組織、器官、個体における生命現象や誕生から死への過程、遺伝に関する事象などの基礎的な知識を修得する。  
(安原智久/8回)

化学では、原子の構成から分子の成り立ち、無機及び有機化合物の構造、物性、反応性などに関する基礎的な知識を修得する。

授業方法と留意点

講義 (講義室)

科目学習の効果 (資格)

生物、化学は、職業人の教養として必要であり、また、専門家を目指す上での基礎となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 場という考え方、物質の状態(純物質・混合物・元素・化合物)  
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 安原)  
【事前・事後学習課題】 教科書、配布資料の予習復習・配布演習問題の自習
- 第2回 【授業テーマ】 細胞の構造と生命誕生  
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 佐久間)  
【事前・事後学習課題】 教科書、参考書の予習復習
- 第3回 【授業テーマ】 原子と電子、電子の居場所  
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 安原)  
【事前・事後学習課題】 教科書、配布資料の予習復習・配布演習問題の自習
- 第4回 【授業テーマ】 生命体を構成する物質  
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 佐久間)  
【事前・事後学習課題】 教科書、参考書の予習復習
- 第5回 【授業テーマ】 化学結合、溶質の化学  
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 安原)  
【事前・事後学習課題】 教科書、配布資料の予習復習・配布演習問題の自習
- 第6回 【授業テーマ】 細胞の分裂・情報伝達・がん化  
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 佐久間)  
【事前・事後学習課題】 教科書、参考書の予習復習

- 第7回 【授業テーマ】 電磁波の科学、電磁波の使い方  
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 安原)  
【事前・事後学習課題】 教科書、配布資料の予習復習・配布演習問題の自習
- 第8回 【授業テーマ】 生命体の受精と成長  
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 佐久間)  
【事前・事後学習課題】 教科書、参考書の予習復習
- 第9回 【授業テーマ】 仕事をする能力、熱のエネルギー、自由エネルギー、生体内のエネルギー  
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 安原)  
【事前・事後学習課題】 教科書、配布資料の予習復習・配布演習問題の自習
- 第10回 【授業テーマ】 遺伝の仕組みと遺伝病  
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 佐久間)  
【事前・事後学習課題】 教科書、参考書の予習復習
- 第11回 【授業テーマ】 物質変化の速さ、溶液の化学  
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 安原)  
【事前・事後学習課題】 教科書、配布資料の予習復習・配布演習問題の自習
- 第12回 【授業テーマ】 遺伝の仕組みと遺伝病、遺伝子の構造と機能  
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 佐久間)  
【事前・事後学習課題】 教科書、参考書の予習復習
- 第13回 【授業テーマ】 化学式、構造式の読み方  
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 安原)  
【事前・事後学習課題】 教科書、配布資料の予習復習・配布演習問題の自習
- 第14回 【授業テーマ】 遺伝子の構造と機能  
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 佐久間)  
【事前・事後学習課題】 教科書、参考書の予習復習
- 第15回 【授業テーマ】 リメディアル演習・試験 (生物・化学)  
【内容・方法 等】 講義 (講義室) (担当: 安原)  
【事前・事後学習課題】 リメディアル演習用冊子・プリント

評価方法 (基準)

リメディアル演習・試験時に実施する演習と試験、および授業修了後の定期試験で総合的に評価する。100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…生物: 南雲 保 ほか 『やさしい基礎生物学』 羊土社 (2,900円+税)  
化学: 小池 透 『やさしい物理化学—自然を楽しむための12講』 共立出版 (2,300円+税)  
参考書…生物: 木下勉ほか 『ZEROからの生命科学』 南山堂 (2,400円+税)  
化学: 野島高彦 『はじめて学ぶ化学』 化学同人 (2,000円+税)

学生へのメッセージ

看護師を目指す上で、生物、化学の基礎は必要である。特に高等学校時代にこれらの科目を履修していない、あるいは3年間履修していない学生は、この機会に、高等学校の教科書や参考書も含めて、しっかりと学習することをすすめる。また、履修した学生でも、受験科目として勉強していない場合、自分が思うよりも力がついていないことが多いので、予習、復習を欠かさずに行うことをすすめる。

関連科目

人体の構造と機能 (1年次前後期)、代謝栄養学 (1年次後期)、感染と防御 (1年次後期)、薬理学総論 (2年次前期)、薬物治療学 (2年次後期)

担当者の研究室等

生物: 佐久間信至 1号館4階 薬剤学研究室  
化学: 安原智久 1号館2階 薬学教育研究室・Academic Support Center(枚方キャンパス)

備考

看護に関係する範囲を中心に、高等学校で学ぶ内容の復習から専門性の高い内容まで幅広い講義になります。限られた回数での早足の講義になります。また、大学の学習は、講義だけではなく、学生各自の自学自習をもって完結するものです。特に高等学校で生物、化学を十分に学習していない学生は、予習 (教科書を読むだけでも構いません)、復習をしっかりと行うこと。高等学校の理科 (生物・化学) の内容に自信がない者は、高校で用いた教科書、参考書、資料集等を残しておくこと。また、別途、生物・化学を未履修および苦手な学生を対象にしたリメディアル演習プログラムが用意されるので、そちらにも積極的に参加して基礎知識を補うこと。

生命倫理  
Bioethics

遠 矢 和 希 (トオヤ ワキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

医療・ケアの専門職者としてその社会的な責務を果たすためには、ケアの実践において人々の人権を尊重することが求められる。また科学技術の急速な進歩に伴う、医療現場における多くの倫理的な課題についての理解が必要である。本科目では、生命倫理と患者主体の医療について、看護職の果たす役割について学習する。生殖補助医療、出生前診断、安楽死・尊厳死、臓器移植・脳死、ターミナルケア等について事例を交えてこれらの歴史的・社会的背景を学び、より良いケアを考える力を育てる。

**授業方法と留意点**

G supple編集委員会編『事例でまなぶ ケアの倫理』メディカ出版(2,200円+税)を教科書とし、レジュメを配布する。講義中心。

**科目学習の効果(資格)**

看護職に就くものとしての倫理観の醸成となり、看護の専門科目を学ぶ上での基礎となる

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 **【授業テーマ】** 医療倫理・生命倫理の基本原則と課題  
**【内容・方法 等】** 講義：医療・生命科学研究が守るべき原則を理解し、患者主体の医療に必要な事を説明できる(4原則、インフォームドコンセント等)。薬剤師の倫理規定を理解する。  
**【事前・事後学習課題】** 本日の講義と次回の講義について、テキストで確認しておくこと
- 第2回 **【授業テーマ】** 生殖補助医療技術  
**【内容・方法 等】** 講義：生殖補助医療技術について説明できる(AIHとAID、体外受精、代理懐胎)。女性の身体の道具化、ビジネス化、児の出自を知る権利、保険適用と技術の拡大について考える。  
**【事前・事後学習課題】** 本日の講義と次回の講義について、テキストで確認しておくこと
- 第3回 **【授業テーマ】** 着床前診断と出生前診断  
**【内容・方法 等】** 講義：胚・胎児の異常の有無を調べる診断と、胚選択・選択の中絶について説明できる。優生思想、優生保護法の倫理的問題、胎児条項、中絶にかかわるリプロダクティブ・ライツ、胚と胎児の道徳的地位について考える。  
**【事前・事後学習課題】** 本日の講義と次回の講義について、テキストで確認しておくこと
- 第4回 **【授業テーマ】** 重症新生児治療の差し控え・中止  
**【内容・方法 等】** 講義：新生児医療、NICUにおける医療倫理、治療方針の決定(代理決定)ガイドライン  
**【事前・事後学習課題】** 本日の講義と次回の講義について、テキストで確認しておくこと
- 第5回 **【授業テーマ】** 安楽死と尊厳死  
**【内容・方法 等】** 講義：安楽死と尊厳死の違いについて説明できる。海外における主要な出来事と関連法、日本における横浜地裁判決による要件を理解する。患者と家族に対して医療者ができることを考える。  
**【事前・事後学習課題】** 本日の講義と次回の講義について、テキストで確認しておくこと
- 第6回 **【授業テーマ】** 脳死と臓器移植  
**【内容・方法 等】** 講義：生体・死体・脳死臓器移植の違いを理解する。脳死の定義と判定、臓器移植法改正について説明できる。脳死は人の死か、脳死患者と移植待機患者とそれぞれの家族の苦悩について考える。  
**【事前・事後学習課題】** 本日の講義と次回の講義について、テキストで確認しておくこと
- 第7回 **【授業テーマ】** 小児医療  
**【内容・方法 等】** 講義：子どもに対するインフォームドコンセント(アセント)・・・病気説明・告知、思春期の自己決定と親権、医療現場における児童虐待の発見と課題  
**【事前・事後学習課題】** 本日の講義と次回の講義について、テキストで確認しておくこと
- 第8回 **【授業テーマ】** 病気と差別  
**【内容・方法 等】** 講義：エイズ(HIV/AIDS)の発生と臨床的経過、薬害HIV事件、今後の問題点、強制HIV検査の是非、守秘義務と警告義務  
**【事前・事後学習課題】** 本日の講義と次回の講義について、テキストで確認しておくこと
- 第9回 **【授業テーマ】** 難病を生きる  
**【内容・方法 等】** 講義：映像資料鑑賞：ALS(筋萎縮性側索硬化症)患者の生活  
難治性疾患の療養に関して医療者ができることについて考える。  
**【事前・事後学習課題】** 本日の講義と次回の講義について、テキストで確認しておくこと
- 第10回 **【授業テーマ】** 遺伝子診断  
**【内容・方法 等】** 講義：遺伝性疾患の発症前診断と遺伝カウンセリングの重要性、知らないでいる権利について理解する。個人情報取り扱い、DTC、遺伝子差別  
**【事前・事後学習課題】** 本日の講義と次回の講義について、テキストで確認しておくこと

- 第11回 **【授業テーマ】** 認知症を抱えて  
**【内容・方法 等】** 講義：認知症患者のQOL、抑制、在宅医療  
**【事前・事後学習課題】** 本日の講義と次回の講義について、テキストで確認しておくこと
- 第12回 **【授業テーマ】** ターミナルケア  
**【内容・方法 等】** 講義：緩和ケア、苦痛の種類、死の受容と延命治療、鎮静(セデーション)、家族の悲嘆援助  
**【事前・事後学習課題】** 本日の講義と次回の講義について、テキストで確認しておくこと
- 第13回 **【授業テーマ】** リスクマネジメント  
**【内容・方法 等】** 講義：インシデントと医療事故、医療関連訴訟、失敗に学ぶ医療安全体制構築  
**【事前・事後学習課題】** 本日の講義と次回の講義について、テキストで確認しておくこと
- 第14回 **【授業テーマ】** 患者のQOLとは何か  
**【内容・方法 等】** 講義、映像資料鑑賞：映像資料を通して、患者のQOLとは何か、自分が当事者であればどう考え行動するか、専門職医療者としては何が出来るかを考える。  
**【事前・事後学習課題】** レポート提出
- 第15回 **【授業テーマ】** 医療倫理に関する事例の検討  
**【内容・方法 等】** 講義：症例(事例)検討を通して患者(また家族)の抱える倫理的問題を分析し、専門職種としての自分の考えを整理し、チームカンファレンス等に対応する態勢を持つ。  
**【事前・事後学習課題】** 本日の講義について、テキストで確認しておくこと

**評価方法(基準)**  
授業中のレポート(30%)、定期試験(70%)により評価する。100点満点の60点以上で合格。

**教材等**  
教科書…G supple編集委員会編『事例でまなぶ ケアの倫理』メディカ出版(2,200円+税)  
参考書…なし

**学生へのメッセージ**  
医療・ケアの現場で起きている、あるいはこれから起きる可能性がある諸問題について学びます。病気や障害を抱える人に接するうえで大事にしなければならない専門職としての考え方・視点とともに、様々な立場の当事者の視点や社会の関わりについても理解していく一助となればと思います。

**関連科目**  
看護倫理をはじめとした看護専門科目すべて

**担当者の研究室等**  
1号館2階 非常勤講師室

情報リテラシー I Information Literacy I				
小堀 栄子(コボリ エイコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	2	前期	必修	1

- 授業概要・目的・到達目標**  
今日、高等教育機関での勉強や社会人としての仕事において、パソコンを使えるスキルは必要不可欠である。本科目では、パソコン初心者者を想定し、パソコンでの文書作成ソフトや表計算ソフトの基本的な使い方、また発表の場で広く使用されるようになったプレゼンテーション資料作成ソフトの使い方を中心に学ぶ。実践力をつけるため課題を中心に行い、グループを作って互いにサポートし合いながら進める。
- 授業方法と留意点**  
講義と実習を組み合わせ、理解とスキルの習得を高める。
- 科目学習の効果(資格)**  
コンピューターを使って、レポートや発表資料の作成が適切に行えるようになる。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 **【授業テーマ】** PC、インターネットの基礎(1)  
**【内容・方法 等】** しくみ、機能、著作権、基本操作(1)  
**【事前・事後学習課題】** 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
  - 第2回 **【授業テーマ】** PC、インターネットの基礎(2)  
**【内容・方法 等】** インターネット、電子メール、基本操作(2)  
**【事前・事後学習課題】** 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
  - 第3回 **【授業テーマ】** ワードの使い方(1)  
**【内容・方法 等】** Windowsの基礎、文書の作成(1)  
**【事前・事後学習課題】** 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
  - 第4回 **【授業テーマ】** ワードの使い方(2)  
**【内容・方法 等】** 文書の作成(2)  
**【事前・事後学習課題】** 授業に出席してコンピューターに慣れること。

- ること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第5回 【授業テーマ】 ワードの使い方 (3)  
【内容・方法 等】 図表・グラフの作成、文書の作成 (3)  
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第6回 【授業テーマ】 パワーポイントの使い方 (1)  
【内容・方法 等】 プレゼンテーション資料の作成 (文章)  
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第7回 【授業テーマ】 パワーポイントの使い方 (2)  
【内容・方法 等】 プレゼンテーション資料の作成 (図表)  
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第8回 【授業テーマ】 パワーポイントの使い方 (3)  
【内容・方法 等】 プレゼンテーションの構成と方法  
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第9回 【授業テーマ】 エクセルの使い方 (1)  
【内容・方法 等】 データの入力・計算  
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第10回 【授業テーマ】 エクセルの使い方 (2)  
【内容・方法 等】 表の作成  
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第11回 【授業テーマ】 エクセルの使い方 (3)  
【内容・方法 等】 図の作成  
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第12回 【授業テーマ】 エクセルの使い方 (4)  
【内容・方法 等】 グラフの作成  
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第13回 【授業テーマ】 エクセルの使い方 (5)  
【内容・方法 等】 エクセル関数  
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第14回 【授業テーマ】 エクセルの使い方 (6)  
【内容・方法 等】 データベースの利用、ワード文書への貼り付け  
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法 等】 まとめの演習  
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。

**評価方法 (基準)**

定期試験60%以上で合格。授業全15回出席が前提。出席の扱いは学生便覧のとおり(「出席状況が好ましくない場合は、単位を認めないことがあります」学生便覧より)。

**教材等**

教科書…30時間アカデミック 情報リテラシー Office 2010 Windows 7対応。実務教育出版。2012年4月10日。1300円。  
参考書…随時紹介する

**学生へのメッセージ**

授業に出席してコンピューターに慣れるようにすること。授業中に疑問点を解決すること。個人的にしっかり学ぶことはもとより、グループメンバー間でサポートし、グループ全員で知識を共有しながら理解を深めていくこと。授業時間以外にも積極的にパソコンを使うこと。

**関連科目**

なし

**担当者の研究室等**

7号館3階24

**情報リテラシー I  
Information Literacy I**

小堀 栄子 (コボリ エイコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	1	前期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

今日、高等教育機関での勉学や社会人としての仕事において、パソコンを使えるスキルは必要不可欠である。本科目では、パソコン初心者者を想定し、パソコンでの文書作成ソフトや表計算ソフトの基本的な使い方、また発表の場で広く使用されるようになったプレゼンテーション資料作成ソフトの使い方を中心に学ぶ。実践力をつけるため課題を中心に行い、グループを作って互いにサポートし合いながら進める。

**授業方法と留意点**

講義と実習を組み合わせ、理解とスキルの習得を高める。

**科目学習の効果 (資格)**

コンピューターを使って、レポートや発表資料の作成が適切に行えるようになる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 PC、インターネットの基礎 (1)  
【内容・方法 等】 しくみ、機能、著作権、基本操作 (1)  
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第2回 【授業テーマ】 PC、インターネットの基礎 (2)  
【内容・方法 等】 インターネット、電子メール、基本操作 (2)  
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第3回 【授業テーマ】 ワードの使い方 (1)  
【内容・方法 等】 Windowsの基礎、文書の作成 (1)  
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第4回 【授業テーマ】 ワードの使い方 (2)  
【内容・方法 等】 文書の作成 (2)  
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第5回 【授業テーマ】 ワードの使い方 (3)  
【内容・方法 等】 図表・グラフの作成、文書の作成 (3)  
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第6回 【授業テーマ】 パワーポイントの使い方 (1)  
【内容・方法 等】 プレゼンテーション資料の作成 (文章)  
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第7回 【授業テーマ】 パワーポイントの使い方 (2)  
【内容・方法 等】 プレゼンテーション資料の作成 (図表)  
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第8回 【授業テーマ】 パワーポイントの使い方 (3)  
【内容・方法 等】 プレゼンテーションの構成と方法  
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第9回 【授業テーマ】 エクセルの使い方 (1)  
【内容・方法 等】 データの入力・計算  
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第10回 【授業テーマ】 エクセルの使い方 (2)  
【内容・方法 等】 表の作成  
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第11回 【授業テーマ】 エクセルの使い方 (3)  
【内容・方法 等】 図の作成  
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第12回 【授業テーマ】 エクセルの使い方 (4)  
【内容・方法 等】 グラフの作成  
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第13回 【授業テーマ】 エクセルの使い方 (5)  
【内容・方法 等】 エクセル関数  
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第14回 【授業テーマ】 エクセルの使い方 (6)  
【内容・方法 等】 データベースの利用、ワード文書への貼り付け  
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法 等】 まとめの演習  
【事前・事後学習課題】 授業に出席してコンピューターに慣れること。授業外でも積極的にコンピューターを使うこと。

**評価方法 (基準)**

定期試験60%以上で合格。授業全15回出席が前提。出席の扱いは学生便覧のとおり(「出席状況が好ましくない場合は、単位を認めないことがあります」学生便覧より)。

**教材等**

教科書…30時間アカデミック 情報リテラシー Office 2010 Windows 7対応。実務教育出版。2012年4月10日。1300円。  
参考書…随時紹介する

**学生へのメッセージ**

授業に出席してコンピューターに慣れるようにすること。授業中に疑問点を解決すること。個人的にしっかり学ぶことはもとより、グループメンバー間でサポートし、グループ全員で知識を共有しながら理解を深めていくこと。授業時間以外にも積極的にパソコンを使うこと。

**関連科目**

なし

**担当者の研究室等**

7号館3階24

## 備考

なし

情報リテラシーII  
Information Literacy II

小堀 栄子 (コボリ エイコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	イ	前期	必修	1

## 授業概要・目的・到達目標

この授業では統計理論の基本を学び、また実際にエクセルを使ったデータの基本的な統計解析が行えるようになることを目的とする。

## 授業方法と留意点

講義と実習を組み合わせ、理解を深める。

## 科目学習の効果 (資格)

統計の基本を理解し、エクセルを使って正しく統計解析を行えるようになる。

## 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 統計とは  
【内容・方法等】 統計の役割と種類、尺度  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第2回 【授業テーマ】 統計の基本 (1)  
【内容・方法等】 度数分布、ヒストグラム  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第3回 【授業テーマ】 統計の基本 (2)  
【内容・方法等】 代表値 (平均値、中央値、最頻値など)  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第4回 【授業テーマ】 統計の基本 (3)  
【内容・方法等】 代表値と散布度 (分散、標準偏差など)  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第5回 【授業テーマ】 相関と回帰  
【内容・方法等】 相関係数と回帰直線  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第6回 【授業テーマ】 確率分布 (1)  
【内容・方法等】 正規分布、標準正規分布、確率、累積確率  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第7回 【授業テーマ】 確率分布 (2)  
【内容・方法等】 二項分布、 $\chi^2$ 乗分布  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第8回 【授業テーマ】 確率分布 (3)  
【内容・方法等】 F分布、t分布  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第9回 【授業テーマ】 母集団と標本 (1)  
【内容・方法等】 標本抽出、母平均と標本平均、母分散と標本分散  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第10回 【授業テーマ】 母集団と標本 (2)  
【内容・方法等】 中心極限定理  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第11回 【授業テーマ】 母集団と標本 (3)  
【内容・方法等】 母分散と標本分散  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第12回 【授業テーマ】 推定 (1)  
【内容・方法等】 母集団の平均値の推定、95%信頼区間  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第13回 【授業テーマ】 推定 (2)  
【内容・方法等】 母集団の分散・比率の推定  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第14回 【授業テーマ】 検定 (1)  
【内容・方法等】 Z検定、F検定  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第15回 【授業テーマ】 検定 (2)  
【内容・方法等】  $\chi^2$ 乗検定、t検定  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。

## 評価方法 (基準)

定期試験60%以上で合格。授業全15回出席が前提。出席の扱いは学生便覧のとおり (「出席状況が好ましくない場合は、単位を認めないことがあります」学生便覧より)。

## 教材等

教科書…仕事に役立つExcel統計解析 第3版. 日花弘子. ソフトバンククリエイティブ. 2012年9月14日. 2604円.

参考書…随時紹介する

## 学生へのメッセージ

エクセルに慣れるようにすること。授業中に疑問点を解決すること。個人的にしっかり学ぶことはもとより、グループメンバー間でサポートし、グループ全員で知識を共有しながら理解を深めていくこと。授業時間以外にも積極的にエクセルを使うこと。

## 関連科目

疫学・保健統計

## 担当者の研究室等

7号館3階24

## 備考

なし

情報リテラシーII  
Information Literacy II

小堀 栄子 (コボリ エイコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	ロ	前期	必修	1

## 授業概要・目的・到達目標

この授業では統計理論の基本を学び、また実際にエクセルを使ったデータの基本的な統計解析が行えるようになることを目的とする。

## 授業方法と留意点

講義と実習を組み合わせ、理解を深める。

## 科目学習の効果 (資格)

統計の基本を理解し、エクセルを使って正しく統計解析を行えるようになる。

## 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 統計とは  
【内容・方法等】 統計の役割と種類、尺度  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第2回 【授業テーマ】 統計の基本 (1)  
【内容・方法等】 度数分布、ヒストグラム  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第3回 【授業テーマ】 統計の基本 (2)  
【内容・方法等】 代表値 (平均値、中央値、最頻値など)  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第4回 【授業テーマ】 統計の基本 (3)  
【内容・方法等】 代表値と散布度 (分散、標準偏差など)  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第5回 【授業テーマ】 相関と回帰  
【内容・方法等】 相関係数と回帰直線  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第6回 【授業テーマ】 確率分布 (1)  
【内容・方法等】 正規分布、標準正規分布、確率、累積確率  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第7回 【授業テーマ】 確率分布 (2)  
【内容・方法等】 二項分布、 $\chi^2$ 乗分布  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第8回 【授業テーマ】 確率分布 (3)  
【内容・方法等】 F分布、t分布  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第9回 【授業テーマ】 母集団と標本 (1)  
【内容・方法等】 標本抽出、母平均と標本平均、母分散と標本分散  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第10回 【授業テーマ】 母集団と標本 (2)  
【内容・方法等】 中心極限定理  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。
- 第11回 【授業テーマ】 母集団と標本 (3)  
【内容・方法等】 母分散と標本分散  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。

極的にエクセルを使うこと。

第12回 【授業テーマ】 推定 (1)  
【内容・方法 等】 母集団の平均値の推定、95%信頼区間  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。

第13回 【授業テーマ】 推定 (2)  
【内容・方法 等】 母集団の分散・比率の推定  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。

第14回 【授業テーマ】 検定 (1)  
【内容・方法 等】 Z検定、F検定  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。

第15回 【授業テーマ】 検定 (2)  
【内容・方法 等】  $\chi^2$ 乗検定、t検定  
【事前・事後学習課題】 エクセルに慣れること。授業外でも積極的にエクセルを使うこと。

評価方法 (基準)  
定期試験60%以上で合格。授業全15回出席が前提。出席の扱いは学生便覧のとおり (「出席状況が好ましくない場合は、単位を認めないことがあります」学生便覧より)。

教材等  
教科書…仕事に役立つExcel統計解析 第3版。日花弘子。ソフトバンククリエイティブ。2012年9月14日。2604円。  
参考書…随時紹介する

学生へのメッセージ  
エクセルに慣れるようにすること。授業中に疑問点を解決すること。個人的にしっかり学ぶことはもとより、グループメンバー間でサポートし、グループ全員で知識を共有しながら理解を深めていくこと。授業時間以外にも積極的にエクセルを使うこと。

関連科目  
疫学・保健統計

担当者の研究室等  
7号館3階24

備考  
なし

キャリアデザイン  
Career Design

西 鶴 智 香 (ニシツル チカ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

現在の世の中は、働く個人に「キャリア=人生」を自分でデザインすること、を要請していて、それは医療人である看護師も同じである。「自分のキャリアは自己責任の時代」であることを理解し、周りの価値観に惑わされず、自分自身はどんな人生を送りたいのか、を考え目標設定してみる。

キャリアは、職業だけではなく、職業と家庭を通じた自己実現の過程すべて、と捉えることができる。

- ・自分で自分のキャリアデザインを考えることができるようになる
- ・働くこと、の意義を考えることができる
- ・講師、学外の人たちに対して積極的にコミュニケーションとることができる
- ・グループディスカッションで他人の目を気にせず発言することができる
- ・自分がどんな人になりたいかを具体的に想像できる
- ・何事についても自分の意見を持つことができる を目標とする。

授業方法と留意点

毎回、講義のほか、少人数でのグループワークによる講義 (ワークショップ形式)、全体でのディスカッションを実施。配布したワークシートを記入しながらディスカッションもあります。毎回終了時に、A4サイズ・プリント1枚のレポート提出あります。

科目学習の効果 (資格)

看護師としての生涯キャリアを学生時代にデザインできていることで、職業人としてのスタート時に、迷うことなく、職業キャリアを積み重ねることができます。自分の力で人生を切り拓いていくことができる力を養います。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法 等】 講義概要、講師自身のキャリア形成、社会の現状とキャリアデザインの重要性  
【事前・事後学習課題】 「働く」ということはどういうことなのか、社会はどういうふう動いているのか、しっかりと理解しましょう。

第2回 【授業テーマ】 自分自身を知る①  
【内容・方法 等】 自己分析、自己イメージを高める、価値観

や行動パターンについて考える

【事前・事後学習課題】 自分が気づいていなかった自分、をしっかり見つめてみましょう。

第3回 【授業テーマ】 他者理解とコミュニケーションスキル  
【内容・方法 等】 コミュニケーションスキルの理解、言語的・非言語的スキルの習得、カウンセリングスキルの習得  
【事前・事後学習課題】 身につけたコミュニケーションスキルは日常に活かしましょう。

第4回 【授業テーマ】 自分自身を知る②  
【内容・方法 等】 自分の成功パターン、成功体験の整理、自信のつけ方、についてグループディスカッション  
【事前・事後学習課題】 率直に意見を言い合う面白さ、を実感しましょう。

第5回 【授業テーマ】 日本の医療業界の現状、今後のゆくえ  
【内容・方法 等】 日本の世界に誇る国民皆保険制度を理解。看護師を取り巻く医療業界の現状、看護師職のビジョン、医療業界の問題点についてディスカッション。  
【事前・事後学習課題】 ①新聞記事等にある内容から、現在の医療業界の現状を読んでおいて下さい。その中で看護師職がどのように職域を拡げようとしているか調べておいて下さい。②自分が総理大臣だったら、日本の医療制度をどのように変化させたいか、意見を考えておいて下さい。

第6回 【授業テーマ】 リーダーシップを考える  
【内容・方法 等】 社会で求められるリーダーになるには何を身につければいいのか。  
【事前・事後学習課題】 今まで自分が見てきたリーダーはどんなところが優れていたのか、まとめてみましょう。リーダーのタイプを観察し、まとめてみましょう。

第7回 【授業テーマ】 ゲストスピーカー  
【内容・方法 等】 現役看護師を講師と全員で、インタビュー。どのようにキャリアデザインしてきたのか、意志決定のポイントをお聞きます。  
【事前・事後学習課題】 「プロ職業人」は、今までどう意志決定してきたのか、皆なでインタビューしてみましょう。看護師として、女性として、一人の人間として、どうキャリアを考えているのか、どう迷っているのか、悩んでいるのか、自分と比較しながらインタビューして下さい。

第8回 【授業テーマ】 自分の生涯キャリアを考える  
【内容・方法 等】 自分のキャリアデザインシート作成  
【事前・事後学習課題】 友人、家族にも意見をもらい、参考にしながら作成してみましょう。

第9回 【授業テーマ】 事前オリエンテーション  
【内容・方法 等】 講義形式  
【事前・事後学習課題】 テーマにそって、考えをまとめましょう。

第10回 【授業テーマ】 看護学部と薬学部との共同ディスカッション  
【内容・方法 等】 ディスカッション形式  
【事前・事後学習課題】 事前に与えられたテーマについて、意見を考えておいて下さい。

第11回 【授業テーマ】 ディスカッション内容の発表①  
【内容・方法 等】 ディスカッション形式  
【事前・事後学習課題】 論理的に話せるよう、自分の意見をまとめておくようにして下さい。

第12回 【授業テーマ】 ディスカッション内容の発表②  
【内容・方法 等】 ディスカッション形式  
【事前・事後学習課題】 論理的に話せるよう、自分の意見をまとめておくようにして下さい。

第13回 【授業テーマ】 「自分はこんな人、こんな看護師になりたい」  
①  
【内容・方法 等】 発表  
【事前・事後学習課題】 誰からの評価も気にせず、自分の意見を発表しましょう。今の自分の意見、で構わないのです。

第14回 【授業テーマ】 「自分はこんな人、こんな看護師になりたい」  
②  
【内容・方法 等】 発表  
【事前・事後学習課題】 誰からの評価も気にせず、自分の意見を発表しましょう。今の自分の意見、で構わないのです。

第15回 【授業テーマ】 まとめ～「自分のキャリア」は何を目指しているのか  
【内容・方法 等】 「自分のキャリアは自己責任」を理解し、セルフカウンセリング力をつける重要性について  
【事前・事後学習課題】 常に、「なぜそうなのか？」を考えるクセをつけましょう。

評価方法 (基準)  
・講義を通じて作成するワークシートを完成させ、提出することを必須要件とする。  
・講義終了後レポート 60% ワークショップにおける発言、態度 40%  
・レポートには、正しい日本語で、自分の考えを論理的に記入する。  
・ワークショップで自分の考えを積極的に発言し、また他人の意見に耳を傾け、コミュニケーションをとる。

教材等  
教科書…「大学1年生からのコミュニケーション入門」 中野

美香 著 ナカニシヤ出版 1900円  
 参考書…「一生折れない自信のつくり方」 青木仁志 著 ア  
 チーブメント出版 1000円

**学生へのメッセージ**

自分の人生プランを一から描けるのは、若い時にだけできること。  
 この講義を通して、自分自身のこと、人生で絶対やりたいこと、  
 等を整理し、これからの人生を、自立できて、明るく進んでほ  
 しいと思います。  
 ・遅刻厳禁！ワークショップの進行に影響が出るので慎むこと。  
 ・大人の常識として、誰かが発言している際には、私語を慎む  
 こと。  
 ・意見を言いたい時には、手を挙げて発言すること。

**関連科目**

特記なし

**担当者の研究室等**

非常勤講師

英語 I English I				
沢田 美保子 (サワダ ミホコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	前期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

本科目では、英語の基本的な発音の仕方、表現方法、語彙につ  
 いて学習し、リーディング・ライティング・リスニング・スピー  
 キングの4技能を高め、看護の現場で使える英語の基礎を身  
 につける。  
 科学のニュースが簡単にまとめられているアメリカの科学雑誌  
*Odyssey*から選んだ英語教材。丁寧に読むことで読解力を高め、  
 内容確認の問題、リスニングの問題、ライティングの問題、ス  
 ピーキングの問題をこなすことで、4技能の習得を図る。

**授業方法と留意点**

しっかり予習をして授業に臨んでください。辞書は必携。

**科目学習の効果(資格)**

TOEIC等

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション (授業の進め方、評価に  
 ついて)  
 Unit 1: Chocolate Power!  
 【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピー  
 キング  
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第2回 【授業テーマ】 Unit 2: An End to Malaria?  
 【内容・方法 等】 単語小テスト  
 読解・リスニング・ライティング・スピーキング  
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第3回 【授業テーマ】 Unit 3: Spiders in Space?  
 【内容・方法 等】 単語小テスト  
 読解・リスニング・ライティング・スピーキング  
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第4回 【授業テーマ】 Unit 4: Feeling Stressed or Annoyed?  
 【内容・方法 等】 単語小テスト  
 読解・リスニング・ライティング・スピーキング  
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第5回 【授業テーマ】 Unit 5: Speeding Sharks  
 【内容・方法 等】 単語小テスト  
 読解・リスニング・ライティング・スピーキング  
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第6回 【授業テーマ】 Unit 6: Asteroid Special Delivery  
 【内容・方法 等】 単語小テスト  
 読解・リスニング・ライティング・スピーキング  
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第7回 【授業テーマ】 Unit 7: "Dung Beetle"  
 【内容・方法 等】 単語小テスト  
 読解・リスニング・ライティング・スピーキング  
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第8回 【授業テーマ】 Unit 1~7の復習  
 【内容・方法 等】 まとめのテスト1  
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第9回 【授業テーマ】 Unit 8: Robot Scientist  
 【内容・方法 等】 単語小テスト  
 読解・リスニング・ライティング・スピーキング  
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第10回 【授業テーマ】 Unit 9: Skyscraper Farms  
 【内容・方法 等】 単語小テスト  
 読解・リスニング・ライティング・スピーキング  
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第11回 【授業テーマ】 Unit 10: Thanks to Your Twin Brothe  
 【内容・方法 等】 単語小テスト

読解・リスニング・ライティング・スピーキング  
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第12回 【授業テーマ】 Unit 11: Butterflies Find a Cure  
 【内容・方法 等】 単語小テスト

読解・リスニング・ライティング・スピーキング  
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第13回 【授業テーマ】 Unit 12: Warning: Sticky Dust!  
 【内容・方法 等】 単語小テスト

読解・リスニング・ライティング・スピーキング  
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第14回 【授業テーマ】 Unit 13: From the Jungles of Mount  
 Samkos

【内容・方法 等】 単語小テスト  
 読解・リスニング・ライティング・スピーキング

第15回 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。  
 【授業テーマ】 Unit 8~13の復習

全体のまとめ  
 【内容・方法 等】 まとめのテスト2

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

評価方法 (基準)  
 平常点 (授業参加度・小テスト・課題等) 40%

単語小テスト 10%  
 まとめのテスト2回 50%

教材等  
 教科書…『Science for Everyone (最新科学は面白い)』  
 KINSEIDO

『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC  
 Test:Word Book』成美堂

参考書…なし

**学生へのメッセージ**

遅刻をせず、休まずに積極的な態度で臨んでください。  
 辞書は必携。

**関連科目**

他の英語科目

**担当者の研究室等**

1号館2階 非常勤講師室

英語 I English I				
神谷 佳郎 (カミタニ ヨシロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	前期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

本科目では、英語の基本的な発音の仕方、表現方法、語彙につ  
 いて学習し、リーディング・ライティング・リスニング・スピー  
 キングの4技能を高め、看護の現場で使える英語の基礎を身  
 につける。  
 テキストは健康と環境を取り上げたものです。丁寧に読むことで、  
 読解力を高め、内容確認の問題やリスニングの問題、ライティ  
 ングの問題、スピーキングの問題も含めた練習問題をこなすこ  
 とで、4技能の習得を図る。

**授業方法と留意点**

毎回、テキストの予習をして授業にのぞむこと。  
 辞書は各自持参すること。  
 第1回目に予習の方法や授業の進め方など詳しく説明するので、  
 必ず出席するように。

**科目学習の効果(資格)**

TOEIC等

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 導入  
 【内容・方法 等】 テキストの予習の仕方、授業の進め方、評  
 価の方法などについて説明する。  
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第2回 【授業テーマ】 Unit 1: The Mystery of Dreams  
 【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピー  
 キング  
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第3回 【授業テーマ】 Unit 2: Headaches  
 【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピー  
 キング  
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第4回 【授業テーマ】 Unit 3: Studying Happiness  
 【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピー  
 キング  
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第5回 【授業テーマ】 Unit 4: The Marathon Craze  
 【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピー  
 キング  
 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

教養科目

- 第6回 【授業テーマ】 Unit 5: Can Air Pollution Cause Heart Disease?  
【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング  
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第7回 【授業テーマ】 Unit 6: Heat  
【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング  
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第8回 【授業テーマ】 Unit 1'6の復習  
【内容・方法等】 まとめのテスト1  
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第9回 【授業テーマ】 Unit 7: Aspirin  
【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング  
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第10回 【授業テーマ】 Unit 8: Vitamins  
【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング  
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第11回 【授業テーマ】 Unit 9: Dieting  
【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング  
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第12回 【授業テーマ】 Unit 10: A Cervical  
【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング  
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第13回 【授業テーマ】 Unit 11: Growing Replacement Organs  
【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング  
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第14回 【授業テーマ】 Unit 14: A New Malaria Drug  
【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング  
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第15回 【授業テーマ】 Unit 7-12の復習  
全体のまとめ  
【内容・方法等】 まとめのテスト2  
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

**評価方法 (基準)**

平常点 (授業参加度・小テスト・課題等) (30%)、まとめのテスト2回 (60%)、単語小テスト(10%)により総合的に評価する。

**教材等**

教科書…『Our Sacred Health and Environment』 成美堂(1,900円+税)

『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test:Word Book』成美堂(1,700円+税)

参考書…英和、和英辞典の両方を準備しておくこと。

**学生へのメッセージ**

指示に従って、しっかりと予習をし、休まずに積極的な態度で臨んでください。辞書は必携。

**関連科目**

他の英語科目

**担当者の研究室等**

1号館2階 非常勤講師室

**英語 I**  
English I

中道 英美子 (ナカミチ エミコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	C	前期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

災害看護や医療ツーリズムの進展により、看護に携わる者にとって英語学習の必要性はますます高まっている。本科目では、英語の基本的な発音の仕方、表現方法、語彙について学習し、リーディング・ライティング・リスニング・スピーキングの4技能を高め、看護の現場で使える英語の基礎を身につける。また、日常的に使用される基礎的なコミュニケーション方法を修得する。

**授業方法と留意点**

これまでに学んだ基礎的な文法を総復習しつつ、英語のReading, Writing, Listening, Speaking をトータルに向上させるためのトレーニングを行います。文化や社会といった身近な話題を題材にした英語の土台作りをします。授業や予習への積極的な取り組みを期待します。

**科目学習の効果 (資格)**

英語の4技能 (Reading, Writing, Listening, Speaking) をしっかり学ぶことにより、基礎的なコミュニケーション能力や自己

表現能力も高めていきます。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション  
【内容・方法等】 授業の目標、進め方、評価方法などについて説明  
【事前・事後学習課題】 授業中に指示
- 第2回 【授業テーマ】 Unit 1: Greetings  
【内容・方法等】 Grammar, Speaking, Listening  
【事前・事後学習課題】 授業中に指示
- 第3回 【授業テーマ】 Unit 2: Giving Explanations  
【内容・方法等】 Grammar, Speaking, Reading  
【事前・事後学習課題】 授業中に指示
- 第4回 【授業テーマ】 Unit 3: Test(X-ray)  
【内容・方法等】 Grammar, Speaking, Writing  
【事前・事後学習課題】 授業中に指示
- 第5回 【授業テーマ】 Unit 4: Inviting the patient to Talk  
【内容・方法等】 Lstening, reading, grammar, vocabulary  
【事前・事後学習課題】 授業中に指示
- 第6回 【授業テーマ】 Unit 5 Nursing care and asking permission  
【内容・方法等】 Grammar, Speaking, Listening  
【事前・事後学習課題】 授業中に指示
- 第7回 【授業テーマ】 Unit 6 Injection  
【内容・方法等】 Grammar, Speaking, Reading  
【事前・事後学習課題】 授業中に指示
- 第8回 【授業テーマ】 Unit 7 Vital signs  
【内容・方法等】 Grammar, Speaking, Writing  
【事前・事後学習課題】 授業中に指示
- 第9回 【授業テーマ】 Unit 8 Rehabilaition and asking questions  
【内容・方法等】 Listening, reading, grammar, vocabulary  
【事前・事後学習課題】 授業中に指示
- 第10回 【授業テーマ】 Unit 9 Operation  
【内容・方法等】 Grammar, Speaking, Listening  
【事前・事後学習課題】 授業中に指示
- 第11回 【授業テーマ】 Unit 10 Positioning the patient and giving instructions  
【内容・方法等】 Grammar, Speaking, Reading  
【事前・事後学習課題】 授業中に指示
- 第12回 【授業テーマ】 Unit11Medication 9  
【内容・方法等】 Grammar, Speaking, Writing  
【事前・事後学習課題】 授業中に指示
- 第13回 【授業テーマ】 Unit 12 discharge and goodbye  
【内容・方法等】 Listening, reading, grammar, vocabulary  
【事前・事後学習課題】 授業中に指示
- 第14回 【授業テーマ】 Unit 13 Negotiation Management  
【内容・方法等】 Grammar, Speaking, Reading, Writing  
【事前・事後学習課題】 授業中に指示
- 第15回 【授業テーマ】 Unit 14 Consultation  
【内容・方法等】 Listening, reading, grammar, vocabulary  
【事前・事後学習課題】 授業中に指示

**評価方法 (基準)**

出席および受講態度50%、定期試験50%

**教材等**

教科書…『Everyday English for Nursing on DVD (Seibido)

『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Tset:Word Book』成美堂

参考書…初回講義で指示する。

**学生へのメッセージ**

映画、音楽、スポーツ中継などを原語のまま楽しむ習慣を身につけましょう。興味のあるものを通して語学力をアップさせることができます。

**関連科目**

詳細は第1回のイントロダクションで説明します。

**担当者の研究室等**

1号館2階 非常勤講師室

**備考**

遅刻をせず、授業中の私語を慎むという最低限のマナーを守ること。

**英語 II**  
English II

沢田 美保子 (サワタ ミホコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	後期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

本科目では、「英語 I」で培った能力を土台にして、英語による作文や会話による学習を行い、英語4技能を一層高めるとともに医療で用いられる語彙や表現についても学習し、専門通訳者がある場面において看護職者に必要とされる英語コミュニケーション能力を身につける

**授業方法と留意点**

しっかり予習をして授業に臨んでください。辞書は必携。

**科目学習の効果 (資格)**

TOEIC等

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション (授業の進め方、評価について)

Unit 1: What Worries Barbara?

【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第2回 【授業テーマ】 Unit 2: That's Mama's Hair!

【内容・方法 等】 単語小テスト

読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第3回 【授業テーマ】 Unit 3: Menstrual Problems

【内容・方法 等】 単語小テスト

読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第4回 【授業テーマ】 Unit 4: Right or Left?

【内容・方法 等】 単語小テスト

読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第5回 【授業テーマ】 Unit 5: How to Give First Aid

【内容・方法 等】 単語小テスト

読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第6回 【授業テーマ】 Unit 6: A Blind Pianist

【内容・方法 等】 単語小テスト

読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第7回 【授業テーマ】 Unit 7: Are You Being Abused?

【内容・方法 等】 単語小テスト

読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第8回 【授業テーマ】 Unit 1~7の復習

【内容・方法 等】 まとめのテスト1

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第9回 【授業テーマ】 Unit 8: Giving Blood

【内容・方法 等】 単語小テスト

読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第10回 【授業テーマ】 Unit 9: Living a Healthy Life

【内容・方法 等】 単語小テスト

読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第11回 【授業テーマ】 Unit 10: Is the Treatment Different or Not?

【内容・方法 等】 単語小テスト

読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第12回 【授業テーマ】 Unit 11: Oh, Poor Elderly People!

【内容・方法 等】 単語小テスト

読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第13回 【授業テーマ】 Unit 12: What Is Homeopathy?

【内容・方法 等】 単語小テスト

読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第14回 【授業テーマ】 Unit 13: You Need a Breast Self-Examination

【内容・方法 等】 単語小テスト

読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第15回 【授業テーマ】 Unit 14: AEDs Save Lives

全体のまとめ

【内容・方法 等】 まとめのテスト2

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

**評価方法 (基準)**

平常点 (授業参加度・小テスト・課題等) 40%

単語小テスト 10%

まとめのテスト2回 50%

**教材等**

教科書…『Take Care (医療と看護の総合英語)』SANSHUSA

『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test: Word Book』成美堂

参考書…なし

**学生へのメッセージ**

遅刻をせず、休まずに積極的な態度で臨んでください。

辞書は必携。

**関連科目**

他の英語科目

**担当者の研究室等**

1号館2階 非常勤講師室

**英語 I I**  
English II

神谷佳郎 (カミタニ ヨシロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	後期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

本科目では、「英語I」で培った能力を土台にして、英語による作文や会話による学習を行い、リーディング・ライティング・リスニング・スピーキングの4技能を一層高めるとともに、医療で用いられる語彙や表現についても学習し、看護職者に必要とされる基本的な英語コミュニケーション能力を身につける。

**授業方法と留意点**

毎回、テキストの予習をして授業にのぞむこと。  
辞書は各自持参すること。

**科目学習の効果 (資格)**

TOEIC等

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

第1回 【授業テーマ】 Unit 13: Tornadoes

【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第2回 【授業テーマ】 Unit 14: Hurricanes

【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第3回 【授業テーマ】 Unit 15: Volcanoes

【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第4回 【授業テーマ】 Unit 16: The story of Seedless Fruit

【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第5回 【授業テーマ】 Unit 17: The Unique Qualities of Cork

【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第6回 【授業テーマ】 医療で用いられる基本的な語彙や表現

(プリント教材を使用)

【内容・方法 等】 読解・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第7回 【授業テーマ】 医療で用いられる基本的な語彙や表現

(プリント教材を使用)

【内容・方法 等】 読解・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第8回 【授業テーマ】 前半授業のまとめと復習

【内容・方法 等】 まとめのテスト1

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第9回 【授業テーマ】 Unit 18: Jojoba

【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第10回 【授業テーマ】 Unit 19: Biofuels

【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第11回 【授業テーマ】 Unit 20: Agritourism

【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第12回 【授業テーマ】 Unit 21: Building Healthier Houses

【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第13回 【授業テーマ】 医療で用いられる基本的な語彙や表現

(プリント教材を使用)

【内容・方法 等】 読解・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第14回 【授業テーマ】 医療で用いられる基本的な語彙や表現

(プリント教材を使用)

【内容・方法 等】 読解・スピーキング

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

第15回 【授業テーマ】 後半授業のまとめと復習

【内容・方法 等】 まとめのテスト2

【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

**評価方法 (基準)**

平常点 (授業参加度・小テスト・課題等) (30%)、まとめのテスト2回 (60%)、単語小テスト(10%)により総合的に評価する。

**教材等**

教科書…『Our Sacred Health and Environment』成美堂(1,900円+税)

教養科目

『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test:Word Book』成美堂(1,700円+税)  
(前期のテキストを継続して使用)

参考書…英和、和英辞典の両方を準備しておくこと。

**学生へのメッセージ**

指示に従って、しっかりと予習をし、休まずに積極的な態度で臨んでください。辞書は必携。

**関連科目**

他の英語科目

**担当者の研究室等**

1号館2階 非常勤講師室

英語ⅠⅠ English Ⅱ				
村上 幸太郎(ムラカミ コウタロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	C	後期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

病院を舞台に、看護師にとって必要な英語の語彙、表現などを実践的に習得することを目指します。国際化する医療現場において、日本語が話せない患者さんが病院を訪れた際、的確な対応ができるよう、体の部位や、病院の案内、診察科の種類から、痛みの表現にいたるまで、様々なシチュエーションで使われる英語について学んでいきます。スムーズに患者さんと英語でコミュニケーションが図れるよう、トータルに看護英語を学びます。

**授業方法と留意点**

毎回トピックごとに必須語彙・表現を学んだ後、リーディング、リスニング、スピーキングの練習を行い、効果的なコミュニケーション・ストラテジーを学びます。また、TOEICなどの検定試験にも対応できる英語力を養うため、単語の小テストを行います。必ず予習してください。

**科目学習の効果(資格)**

- ①病院で日本語が話さない患者さんと英語でコミュニケーションが図れるようになる。
- ②医療の現場やTOEICで必要となるような基礎的な語彙、英語表現について学ぶ。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション  
【内容・方法 等】 授業の目標、進め方、評価方法などについて説明  
【事前・事後学習課題】 授業で指示
- 第2回 【授業テーマ】 Lesson 1: Visit to a Hospital  
【内容・方法 等】 来院  
【事前・事後学習課題】 授業で指示
- 第3回 【授業テーマ】 Lesson 2: How to Fill in a Registration Form  
【内容・方法 等】 初診受付  
【事前・事後学習課題】 授業で指示
- 第4回 【授業テーマ】 Lesson 3: Let's Ask about Mr. Brown's Daily Activities  
【内容・方法 等】 生活習慣を尋ねる  
【事前・事後学習課題】 授業で指示
- 第5回 【授業テーマ】 Lesson 4: Mr. Brown's Symptoms  
【内容・方法 等】 問診の際のコミュニケーション (1)  
【事前・事後学習課題】 授業で指示
- 第6回 【授業テーマ】 Lesson 5: Medical Check Up 1  
【内容・方法 等】 脈拍・血圧・体重の測定  
【事前・事後学習課題】 授業で指示
- 第7回 【授業テーマ】 Lesson 6: Medical Check Up 2  
【内容・方法 等】 採血・採尿  
【事前・事後学習課題】 授業で指示
- 第8回 【授業テーマ】 Lesson 7: Mr. Brown's Diagnosis  
【内容・方法 等】 診断の際のコミュニケーション (1)  
【事前・事後学習課題】 授業で指示
- 第9回 【授業テーマ】 Lesson 8: Mr. Anderson's Symptoms  
【内容・方法 等】 問診の際のコミュニケーション (2)  
【事前・事後学習課題】 授業で指示
- 第10回 【授業テーマ】 Lesson 9: Let's Ask More about Mr. Anderson's Symptoms  
【内容・方法 等】 症状をより詳しく聞く  
【事前・事後学習課題】 授業で指示
- 第11回 【授業テーマ】 Lesson 10: Explaining Blood Test Results  
【内容・方法 等】 診断の際のコミュニケーション (2)  
【事前・事後学習課題】 授業で指示
- 第12回 【授業テーマ】 Lesson 11: How to Take Medicine  
【内容・方法 等】 薬の効用の説明  
【事前・事後学習課題】 授業で指示
- 第13回 【授業テーマ】 Lesson 12: Mrs. Johnson Feels Dizzy  
【内容・方法 等】 問診の際のコミュニケーション (3)  
【事前・事後学習課題】 授業で指示

- 第14回 【授業テーマ】 Lesson 13: An MRI Test  
【内容・方法 等】 MRIを受ける  
【事前・事後学習課題】 授業で指示
- 第15回 【授業テーマ】 後期のまとめ  
【内容・方法 等】 今までの学習内容の総復習  
【事前・事後学習課題】 期末試験の準備
- 評価方法 (基準)  
授業中の課題、小テスト、定期試験などにより総合評価します。詳細は第1回のイントロダクションで説明します。

**教材等**

教科書…『First Aid! English for Nursing』Akihiko Higuchi, John Tremarco 著 金星堂  
『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test:Word Book』成美堂  
参考書…授業で適宜、紹介します。

**学生へのメッセージ**

日本語が話せない患者さんが病院に行くときの不安や恐れを想像してください。完璧な英語は必要ありません。きちんと的確なコミュニケーションが英語でできるように頑張りましょう。

**関連科目**

詳細は第1回のイントロダクションで説明します。

**担当者の研究室等**

1号館2階 非常勤講師室

**備考**

遅刻をせず、授業中の私語を慎むという最低限のマナーを守ること。

英語Ⅲ English Ⅲ				
神谷 佳郎(カミタニ ヨシロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A	前期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

本科目では、「英語Ⅱ」での学習をもとに、より高度なリーディング・ライティング・リスニング・スピーキングの4技能を修得し、専門通訳者のいない場面において看護職者に必要とされる英語コミュニケーション能力を身につける。

**授業方法と留意点**

毎回、テキストの予習をして授業にのぞむこと。  
辞書は各自持参すること。  
第1回目に予習の方法や授業の進め方など詳しく説明するので、必ず出席するように。

**科目学習の効果(資格)**

TOEIC等

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 導入  
【内容・方法 等】 テキストの予習の仕方、授業の進め方、評価の方法などについて説明する。  
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第2回 【授業テーマ】 Unit 1: 来院  
【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング  
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第3回 【授業テーマ】 Unit 2: 初診受付  
【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング  
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第4回 【授業テーマ】 Unit 3: 生活習慣を聞く  
【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング  
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第5回 【授業テーマ】 Unit 4: 問診 (1)  
【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング  
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第6回 【授業テーマ】 Unit 5: 脈拍、血圧、体重の測定  
【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング  
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第7回 【授業テーマ】 Unit 6: 採血、採尿  
【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング  
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第8回 【授業テーマ】 Unit 1~6の復習  
【内容・方法 等】 まとめのテスト1  
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。
- 第9回 【授業テーマ】 Unit 7: 診断 (1)  
【内容・方法 等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング

- 第10回 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。  
【授業テーマ】 Unit 8: 問診 (2)  
【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
- 第11回 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。  
【授業テーマ】 Unit 9: 症状をより詳しく聞く  
【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
- 第12回 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。  
【授業テーマ】 Unit 10: 診断 (2)  
【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
- 第13回 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。  
【授業テーマ】 Unit 11: 薬の説明  
【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
- 第14回 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。  
【授業テーマ】 Unit 12: 問診 (3)  
【内容・方法等】 読解・リスニング・ライティング・スピーキング
- 第15回 【事前・事後学習課題】 授業で提示します。  
【授業テーマ】 Unit 7-12の復習  
全体のまとめ  
【内容・方法等】 まとめテスト2  
【事前・事後学習課題】 授業で提示します。

**評価方法 (基準)**

平常点 (授業参加度・小テスト・課題等) (30%)、まとめのテスト2回 (60%)、単語小テスト(10%)により総合的に評価する。

**教材等**

教科書…『First Aid! English for Nursing』 金星堂(1,900円+税)  
『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test:Word Book』成美堂(1,700円+税)  
(1年次使用の単語集を継続して使用するので購入の必要はありません。)

参考書…英和、和英辞典の両方を準備しておくこと。

**学生へのメッセージ**

指示に従って、しっかりと予習をし、休まずに積極的な態度で臨んでください。辞書は必携。

**関連科目**

他の英語科目

**担当者の研究室等**

1号館2階 非常勤講師室

- 第3回 【授業テーマ】 Unit 3 The Cardiovascular System: The Heart, Pump for Life-giving Blood  
Toaic Quiz 2  
【内容・方法等】 本Unitを通して、医療・介護英単語を増やし、さらに医療について英語を通して進んだ理解を深める。本Unitからの小テスト、そしてToaic単語の小テストも行う。  
【事前・事後学習課題】 次回の授業と小テストに向けて予習すること。
- 第4回 【授業テーマ】 Unit 4 The Neurological System: Neuroscience  
Toaic Quiz 3  
【内容・方法等】 本Unitを通して、医療・介護英単語を増やし、さらに医療について英語を通して進んだ理解を深める。本Unitからの小テスト、そしてToaic単語の小テストも行う。  
【事前・事後学習課題】 次回の授業と小テストに向けて予習すること。
- 第5回 【授業テーマ】 Unit 5 The Urinary System: Kidney Transplantation  
Toaic Quiz 4  
【内容・方法等】 本Unitを通して、医療・介護英単語を増やし、さらに医療について英語を通して進んだ理解を深める。本Unitからの小テスト、そしてToaic単語の小テストも行う。  
【事前・事後学習課題】 次回の授業と小テストに向けて予習すること。
- 第6回 【授業テーマ】 Unit 6 The Reproductive System: Infertility Treatments  
Toaic Quiz 5  
【内容・方法等】 本Unitを通して、医療・介護英単語を増やし、さらに医療について英語を通して進んだ理解を深める。本Unitからの小テスト、そしてToaic単語の小テストも行う。  
【事前・事後学習課題】 次回のまとめテストに向けて復習すること。その際にSpeakingもテストがあるので、必ず英文を見ないで発音できるようにしておくこと。
- 第7回 【授業テーマ】 まとめテスト (Unit 1-6)  
【内容・方法等】 今までのテキストからの内容とコミュニケーション能力をテストする。  
【事前・事後学習課題】 次回の授業と小テストに向けて予習すること。
- 第8回 【授業テーマ】 Unit 7 The Skeletal System: Bone Health  
Toaic Quiz 6  
【内容・方法等】 本Unitを通して、医療・介護英単語を増やし、さらに医療について英語を通して進んだ理解を深める。本Unitからの小テスト、そしてToaic単語の小テストも行う。  
【事前・事後学習課題】 次回の授業と小テストに向けて予習すること。
- 第9回 【授業テーマ】 Unit 8 The Immune System: Allergies  
Toaic Quiz 7  
【内容・方法等】 本Unitを通して、医療・介護英単語を増やし、さらに医療について英語を通して進んだ理解を深める。本Unitからの小テスト、そしてToaic単語の小テストも行う。  
【事前・事後学習課題】 次回の授業と小テストに向けて予習すること。
- 第10回 【授業テーマ】 Unit 9 The Endocrine System: Diabetes  
Toaic Quiz 8  
【内容・方法等】 本Unitを通して、医療・介護英単語を増やし、さらに医療について英語を通して進んだ理解を深める。本Unitからの小テスト、そしてToaic単語の小テストも行う。  
【事前・事後学習課題】 次回の授業と小テストに向けて予習すること。
- 第11回 【授業テーマ】 Unit 10 Preventing the Spread of Infectious Disease  
Toaic Quiz 9  
【内容・方法等】 本Unitを通して、医療・介護英単語を増やし、さらに医療について英語を通して進んだ理解を深める。本Unitからの小テスト、そしてToaic単語の小テストも行う。  
【事前・事後学習課題】 次回の授業と小テストに向けて予習すること。
- 第12回 【授業テーマ】 Unit 11 Cancer Detection  
Toaic Quiz 10  
【内容・方法等】 本Unitを通して、医療・介護英単語を増やし、さらに医療について英語を通して進んだ理解を深める。本Unitからの小テスト、そしてToaic単語の小テストも行う。  
【事前・事後学習課題】 次回の授業と小テストに向けて予習すること。
- 第13回 【授業テーマ】 Unit 12 Robotic Surgery  
【内容・方法等】 本Unitを通して、医療・介護英単語を増やし、さらに医療について英語を通して進んだ理解を深める。本Unitからの小テスト。  
【事前・事後学習課題】 次回の授業と小テストに向けて予習すること。
- 第14回 【授業テーマ】 Unit 15 Health Care for the Aging: Geriatric

英語III English III				
木村 理恵子 (キムラ リエコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	B	前期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

災害看護や医療ツーリズムの進展により、看護に携わる者にとって英語学習の必要性はますます高まっている。本科目では、「英語II」での学習をもとに、医療関連の英語の新聞・雑誌記事から関心のある内容を選びプレゼンテーションを行うなど、より高度なリーディング・ライティング・リスニング・スピーキングの4技能を修得し、専門通訳者のいない場面において看護職者に必要とされる英語コミュニケーション能力を身につける。

**授業方法と留意点**

Toaicに出題される単語を学びそして小テストを受けながら (1年生に引き続き)、さらに医療、そして看護という点からさまざまな場面の読解、そして英語活動を行う。積極的に参加することで評価を受けることができる。

**科目学習の効果 (資格)**

Toaicの単語力を上げる。  
医療英語を理解したり、話したりするなどのコミュニケーション能力を向上させることができる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 授業の概要の説明 1年生からのコミュニケーションの復習  
Unit 1 Basic for Health Care Professionals  
【内容・方法等】 テキストを実際に利用して (Unit 1)、授業の進め方を理解する。  
尚、小テストの方法などもこの時に説明する。  
【事前・事後学習課題】 次回の授業と小テストに向けて予習すること。
- 第2回 【授業テーマ】 Unit 2 The Digestive System: How It Works  
Toaic Quiz 1  
【内容・方法等】 本Unitを通して、医療・介護英単語を増やし、さらに医療について英語を通して進んだ理解を深める。

Nursing  
**【内容・方法 等】** 本Unitを通して、医療・介護英単語を増やし、さらに医療について英語を通して進んだ理解を深める。本Unitからの小テスト。  
**【事前・事後学習課題】** 次回のまとめテストに向けて復習すること。その際にSpeakingもテストがあるので、必ず英文を見ないで発音できるようにしておくこと。  
**第15回 【授業テーマ】** まとめテスト (Unit 7以降について)  
**【内容・方法 等】** Unit 7以降について、テキストからの内容とコミュニケーション能力をテストする。  
**【事前・事後学習課題】** 特になし  
**評価方法 (基準)**  
 まとめテスト40%小テスト30%TOEIC単語テスト20%提出10%  
**教材等**  
**教科書**…Understanding Health Care (朝日出版 1800円)  
**参考書**…The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test (成美堂 1700円)  
**学生へのメッセージ**  
 予習が必要になる部分が出てくるので、テキストに記入してもよいのでしっかり予習しておくこと。さらに、speakingの場面では自分なりに言える、またはメッセージを伝える言い回しを確実に獲得できるように努力すること。  
**関連科目**  
 N/A  
**担当者の研究室等**  
 非常勤講師室  
**備考**  
 英語I I Iでは TOEICの単語はLevel 3を順次指定して小テストを行う。

英語III  
 English III

中道 英美子 (ナカミチ エミコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	C	前期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

災害看護や医療ツーリズムの進展により、看護に携わる者にとって英語学習の必要性はますます高まっている。本科目では、英語の基本的な発音の仕方、表現方法、語彙について学習し、リーディング・ライティング・リスニング・スピーキングの4技能を高め、看護の現場で使える英語の基礎を身につける。また、日常的に使用される基礎的なコミュニケーション方法を修得する。

**授業方法と留意点**

これまでに学んだ基礎的な文法を総復習しつつ、英語のReading, Writing, Listening, Speaking をトータルに向上させるためのトレーニングを行います。文化や社会といった身近な話題を題材にした英語の土台作りをします。授業や予習への積極的な取り組みを期待します。

**科目学習の効果 (資格)**

英語の4技能 (Reading, Writing, Listening, Speaking) をしっかり学ぶことにより、基礎的なコミュニケーション能力や自己表現能力も高めていきます。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】** イントロダクション  
**【内容・方法 等】** 授業の目標、進め方、評価方法などについて説明  
**【事前・事後学習課題】** 授業中に指示  
**第2回 【授業テーマ】** Unit 1: Greetings  
**【内容・方法 等】** Grammar, Speaking, Listening  
**【事前・事後学習課題】** 授業中に指示  
**第3回 【授業テーマ】** Unit 2: Giving Explanations  
**【内容・方法 等】** Grammar, Speaking, Reading  
**【事前・事後学習課題】** 授業中に指示  
**第4回 【授業テーマ】** Unit 3: Test(X-ray)  
**【内容・方法 等】** Grammar, Speaking, Writing  
**【事前・事後学習課題】** 授業中に指示  
**第5回 【授業テーマ】** Unit 4: Inviting the patient to Talk  
**【内容・方法 等】** Listening, reading, grammar, vocabulary  
**【事前・事後学習課題】** 授業中に指示  
**第6回 【授業テーマ】** Unit 5 Nursing care and asking permission  
**【内容・方法 等】** Grammar, Speaking, Listening  
**【事前・事後学習課題】** 授業中に指示  
**第7回 【授業テーマ】** Unit 6 Injection  
**【内容・方法 等】** Grammar, Speaking, Reading  
**【事前・事後学習課題】** 授業中に指示  
**第8回 【授業テーマ】** Unit 7 Vital signs

- 【内容・方法 等】** Grammar, Speaking, Writing  
**【事前・事後学習課題】** 授業中に指示  
**第9回 【授業テーマ】** Unit 8 Rehabilitation and asking questions  
**【内容・方法 等】** Listening, reading, grammar, vocabulary  
**【事前・事後学習課題】** 授業中に指示  
**第10回 【授業テーマ】** Unit 9 Operation  
**【内容・方法 等】** Grammar, Speaking, Listening  
**【事前・事後学習課題】** 授業中に指示  
**第11回 【授業テーマ】** Unit 10 Positioning the patient and giving instructions  
**【内容・方法 等】** Grammar, Speaking, Reading  
**【事前・事後学習課題】** 授業中に指示  
**第12回 【授業テーマ】** Unit 11 Medication 9  
**【内容・方法 等】** Grammar, Speaking, Writing  
**【事前・事後学習課題】** 授業中に指示  
**第13回 【授業テーマ】** Unit 12 discharge and goodbye  
**【内容・方法 等】** Listening, reading, grammar, vocabulary  
**【事前・事後学習課題】** 授業中に指示  
**第14回 【授業テーマ】** Unit 13 Negotiation Management  
**【内容・方法 等】** Grammar, Speaking, Reading, Writing  
**【事前・事後学習課題】** 授業中に指示  
**第15回 【授業テーマ】** Unit 14 Consultation  
**【内容・方法 等】** Listening, reading, grammar, vocabulary  
**【事前・事後学習課題】** 授業中に指示  
**評価方法 (基準)**  
 出席および受講態度50%、定期試験50%

**教材等**

**教科書**…Everyday English for Nursing on DVD (Seibido) 『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Tset:Word Book』成美堂  
**参考書**…初回講義で指示する。

**学生へのメッセージ**

映画、音楽、スポーツ中継などを原語のまま楽しむ習慣を身につけましょう。興味のあるものを通して語学力をアップさせることができます。

**関連科目**

詳細は第1回のイントロダクションで説明します。

**担当者の研究室等**

1号館2階 非常勤講師室

**備考**

遅刻をせず、授業中の私語を慎むという最低限のマナーを守ること。

中国語 I  
 Chinese I

今中 崇文 (イマナカ タカフミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	1	前期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**

中国語を初めて学ぶ者にとって、中国語の基本的な発音や文法を理解することや一定の語彙数を早期に修得することが重要である。この授業では、中国語の発音や文法について学習するとともに、日常における中国語の表現方法の学習を通して、読む・書く・聴く・話すための基礎的な能力を修得する。

**授業方法と留意点**

授業中集中して聴くこと、間違いを気にせず大きな声を出すことが授業の中心となる。

**科目学習の効果 (資格)**

1年終了時には中国語検定試験準4級の受験が可能。2年目以降の継続学習のための基礎力がつく。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】** 第1課発音(1)  
**【内容・方法 等】** 1.簡体字と普通話 2.発音の表記 3.声調 4.単母音 5.つづりの規則  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること  
**第2回 【授業テーマ】** 第2課発音(2)  
**【内容・方法 等】** 1.子音 2.無気音と有気音 3.捲舌音の要領 4.つづりの規則  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること  
**第3回 【授業テーマ】** 第3課発音(3)  
**【内容・方法 等】** 1.複母音 2.r化音 3.声調記号のつけ方 4.つづりの規則  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること  
**第4回 【授業テーマ】** 第4課発音(4)  
**【内容・方法 等】** 1.nとngの違い 2.nとngをともなう母音

- 3.声調の変化 4.隔音記号 5.つづりの規則
- 【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第5回 【授業テーマ】** 第5課発音の復習チェックシート  
**【内容・方法 等】** 1課～4課の復習  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第6回 【授業テーマ】** 第6課こんにちは!(1)  
**【内容・方法 等】** 発音.不の声調変化1.人称代名詞 2.「shi」の文 3.「ma」を用いた疑問文 4.名前の言い方 5.副詞「也」の用法  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第7回 【授業テーマ】** 第6課こんにちは!(2)  
**【内容・方法 等】** 発音.不の声調変化1.人称代名詞 2.「shi」の文 3.「ma」を用いた疑問文 4.名前の言い方 5.副詞「也」の用法  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第8回 【授業テーマ】** 第6課こんにちは!(3)  
**【内容・方法 等】** 発音.不の声調変化1.人称代名詞 2.「shi」の文 3.「ma」を用いた疑問文 4.名前の言い方 5.副詞「也」の用法  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第9回 【授業テーマ】** 第7課これは何ですか?(1)  
**【内容・方法 等】** 1.指示代名詞 2.疑問詞疑問文 3.助詞「的」の用法 4.副詞「都」の用法  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第10回 【授業テーマ】** 第7課これは何ですか?(2)  
**【内容・方法 等】** 1.指示代名詞 2.疑問詞疑問文 3.助詞「的」の用法 4.副詞「都」の用法  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第11回 【授業テーマ】** 第7課これは何ですか?(3)  
**【内容・方法 等】** 1.指示代名詞 2.疑問詞疑問文 3.助詞「的」の用法 4.副詞「都」の用法  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第12回 【授業テーマ】** 第8課今日は何日ですか?(1)  
**【内容・方法 等】** 1.年, 月, 日, 曜日の言い方 2.数の数え方 3.「是」の省略  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第13回 【授業テーマ】** 第8課今日は何日ですか?(2)  
**【内容・方法 等】** 1.年, 月, 日, 曜日の言い方 2.数の数え方 3.「是」の省略  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第14回 【授業テーマ】** 第8課今日は何日ですか?(3)  
**【内容・方法 等】** 1.年, 月, 日, 曜日の言い方 2.数の数え方 3.「是」の省略  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第15回 【授業テーマ】** 第9課復習チェックシート  
**【内容・方法 等】** 第6課～第8課の復習  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

**評価方法 (基準)**  
 定期試験 (80%)、出席、授業態度 (20%) により総合評価する。

**教材等**  
 教科書…本学外国語学中国語教室編『摂南大学初級中国語』  
 参考書…とくになし

**学生へのメッセージ**  
 「聴く」「話す」に力を入れてほしい。これがある程度できるようになってから「読む」「書く」に取り組んでも遅くはない。

**関連科目**  
 中国語  
**担当者の研究室等**  
 1号館2階 非常勤講師室

<b>中国語 I</b> Chinese I				
<b>今 中 崇 文 (イマナカ タカフミ)</b>				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	2	前期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**  
 中国語を初めて学ぶ者にとって、中国語の基本的な発音や文法

を理解することや一定の語彙数を早期に修得することが重要である。  
 この授業では、中国語の発音や文法について学習するとともに、日常における中国語の表現方法の学習を通して、読む・書く・聴く・話すための基礎的な能力を修得する。

**授業方法と留意点**  
 授業中集中して聴くこと、間違いを気にせず大きな声を出すことが授業の中心となる。

**科目学習の効果 (資格)**  
 1年終了時には中国語検定試験準4級の受験が可能。2年日以降の継続学習のための基礎力がつく。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】** 第1課発音(1)  
**【内容・方法 等】** 1.簡体字と普通話 2.発音の表記 3.声調 4.単母音 5.つづりの規則  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第2回 【授業テーマ】** 第2課発音(2)  
**【内容・方法 等】** 1.子音 2.無気音と有気音 3.捲舌音の要領 4.つづりの規則  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第3回 【授業テーマ】** 第3課発音(3)  
**【内容・方法 等】** 1.複母音 2.r化音 3.声調記号のつけ方 4.つづりの規則  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第4回 【授業テーマ】** 第4課発音(4)  
**【内容・方法 等】** 1.nとngの違い 2.nとngをともなう母音 3.声調の変化 4.隔音記号 5.つづりの規則  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第5回 【授業テーマ】** 第5課発音の復習チェックシート  
**【内容・方法 等】** 1課～4課の復習  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第6回 【授業テーマ】** 第6課こんにちは!(1)  
**【内容・方法 等】** 発音.不の声調変化1.人称代名詞 2.「shi」の文 3.「ma」を用いた疑問文 4.名前の言い方 5.副詞「也」の用法  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第7回 【授業テーマ】** 第6課こんにちは!(2)  
**【内容・方法 等】** 発音.不の声調変化1.人称代名詞 2.「shi」の文 3.「ma」を用いた疑問文 4.名前の言い方 5.副詞「也」の用法  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第8回 【授業テーマ】** 第6課こんにちは!(3)  
**【内容・方法 等】** 発音.不の声調変化1.人称代名詞 2.「shi」の文 3.「ma」を用いた疑問文 4.名前の言い方 5.副詞「也」の用法  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第9回 【授業テーマ】** 第7課これは何ですか?(1)  
**【内容・方法 等】** 1.指示代名詞 2.疑問詞疑問文 3.助詞「的」の用法 4.副詞「都」の用法  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第10回 【授業テーマ】** 第7課これは何ですか?(2)  
**【内容・方法 等】** 1.指示代名詞 2.疑問詞疑問文 3.助詞「的」の用法 4.副詞「都」の用法  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第11回 【授業テーマ】** 第7課これは何ですか?(3)  
**【内容・方法 等】** 1.指示代名詞 2.疑問詞疑問文 3.助詞「的」の用法 4.副詞「都」の用法  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第12回 【授業テーマ】** 第8課今日は何日ですか?(1)  
**【内容・方法 等】** 1.年, 月, 日, 曜日の言い方 2.数の数え方 3.「是」の省略  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第13回 【授業テーマ】** 第8課今日は何日ですか?(2)  
**【内容・方法 等】** 1.年, 月, 日, 曜日の言い方 2.数の数え方 3.「是」の省略  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第14回 【授業テーマ】** 第8課今日は何日ですか?(3)  
**【内容・方法 等】** 1.年, 月, 日, 曜日の言い方 2.数の数え方 3.「是」の省略  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

**第15回** 【授業テーマ】 第9課復習チェックシート  
 【内容・方法 等】 第6課～第8課の復習  
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

**評価方法 (基準)**  
 定期試験 (80%)、出席、授業態度 (20%) により総合評価する。

**教材等**  
 教科書…本学外国語学中国語教室編『摂南大学初級中国語』  
 参考書…とくになし

**学生へのメッセージ**  
 「聴く」「話す」に力を入れてほしい。これがある程度できるようになってから「読む」「書く」に取り組んでも遅くはない。

**関連科目**  
 中国語  
**担当者の研究室等**  
 1号館2階 非常勤講師室

中国語 I I Chinese II				
今 中 崇 文 (イマナカ タカフミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	1	後期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**  
 中国語を初めて学ぶ者にとって、中国語の基本的な発音や文法を理解することや一定の語彙数を早期に修得することが重要である。  
 この授業では、中国語の発音や文法について学習するとともに、日常における中国語の表現方法の学習を通して、読む・書く・聴く・話すための基礎的な能力を修得する。

**授業方法と留意点**  
 授業中集中して聴くこと、間違いを気にせず大きな声を出すことが授業の中心となる。

**科目学習の効果 (資格)**  
 1年終了時には中国語検定試験準4級の受験が可能。2年日以降の継続学習のための基礎力がつく。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

**第1回** 【授業テーマ】 第10課四人家族です(1)  
 【内容・方法 等】 「一」の声調変化1.所有を表「有」の用法 2.助数詞 3.「ne」を用いた疑問文 4.家族の呼び方  
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

**第2回** 【授業テーマ】 第10課四人家族です(2)  
 【内容・方法 等】 「一」の声調変化1.所有を表「有」の用法 2.助数詞 3.「ne」を用いた疑問文 4.家族の呼び方  
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

**第3回** 【授業テーマ】 第11課コーヒーを飲みます(1)  
 【内容・方法 等】 1.動詞が述語になる文 2.時間の言い方 3.時間詞の用法 4.「在」の用法  
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

**第4回** 【授業テーマ】 第11課コーヒーを飲みます(2)  
 【内容・方法 等】 1.動詞が述語になる文 2.時間の言い方 3.時間詞の用法 4.「在」の用法  
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

**第5回** 【授業テーマ】 第12課うれしいです(1)  
 【内容・方法 等】 1.形容詞が述語になる文 2.反復疑問文 3.助詞「ba」の用法 4.「有点兒」の用法  
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

**第6回** 【授業テーマ】 第12課うれしいです(2)  
 【内容・方法 等】 1.形容詞が述語になる文 2.反復疑問文 3.助詞「ba」の用法 4.「有点兒」の用法  
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

**第7回** 【授業テーマ】 第13課復習チェックシート  
 【内容・方法 等】 第10課～第12課の復習  
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

**第8回** 【授業テーマ】 第14課どこで勉強していますか?(1)  
 【内容・方法 等】 1.連動文 2.前置詞「離」の用法 3.前置詞「在」の用法 4.存在を表す「有」の用法  
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

**第9回** 【授業テーマ】 第14課どこで勉強していますか?(2)  
 【内容・方法 等】 1.連動文 2.前置詞「離」の用法 3.前置詞「在」の用法 4.存在を表す「有」の用法  
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

**第10回** 【授業テーマ】 第15課何をしていたの?(1)  
 【内容・方法 等】 1.完了を表す「了」2.前置詞「給」の用法 3.疑問詞+「也」4.疑問詞「多少」と「幾」  
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

**第11回** 【授業テーマ】 第15課何をしていたの?(2)  
 【内容・方法 等】 1.完了を表す「了」2.前置詞「給」の用法 3.疑問詞+「也」4.疑問詞「多少」と「幾」  
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

**第12回** 【授業テーマ】 第16課中国に行ったことは?(1)  
 【内容・方法 等】 1.過去の経験を表す「過」2.「快～了」の用法 3.前置詞「從～到～」の用法 4.時間の長さの表現  
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

**第13回** 【授業テーマ】 第16課中国に行ったことは?(2)  
 【内容・方法 等】 1.過去の経験を表す「過」2.「快～了」の用法 3.前置詞「從～到～」の用法 4.時間の長さの表現  
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

**第14回** 【授業テーマ】 第17課復習チェックシート  
 【内容・方法 等】 第14課～第16課の復習  
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

**第15回** 【授業テーマ】 第14課～第16課の復習  
 【内容・方法 等】 期末試験に備えた学習項目の確認  
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

**評価方法 (基準)**  
 定期試験 (80%)、出席、授業態度 (20%) により総合評価する。

**教材等**  
 教科書…本学外国語学中国語教室編『摂南大学初級中国語』  
 参考書…とくになし

**学生へのメッセージ**  
 「聴く」「話す」に力を入れてほしい。これがある程度できるようになってから「読む」「書く」に取り組んでも遅くはない。

**関連科目**  
 中国語  
**担当者の研究室等**  
 1号館2階 非常勤講師室

中国語 I I Chinese II				
今 中 崇 文 (イマナカ タカフミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	2	後期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**  
 中国語を初めて学ぶ者にとって、中国語の基本的な発音や文法を理解することや一定の語彙数を早期に修得することが重要である。  
 この授業では、中国語の発音や文法について学習するとともに、日常における中国語の表現方法の学習を通して、読む・書く・聴く・話すための基礎的な能力を修得する。

**授業方法と留意点**  
 授業中集中して聴くこと、間違いを気にせず大きな声を出すことが授業の中心となる。

**科目学習の効果 (資格)**  
 1年終了時には中国語検定試験準4級の受験が可能。2年日以降の継続学習のための基礎力がつく。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

**第1回** 【授業テーマ】 第10課四人家族です(1)  
 【内容・方法 等】 「一」の声調変化1.所有を表「有」の用法 2.助数詞 3.「ne」を用いた疑問文 4.家族の呼び方  
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

**第2回** 【授業テーマ】 第10課四人家族です(2)  
 【内容・方法 等】 「一」の声調変化1.所有を表「有」の用法 2.助数詞 3.「ne」を用いた疑問文 4.家族の呼び方  
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

**第3回** 【授業テーマ】 第11課コーヒーを飲みます(1)  
 【内容・方法 等】 1.動詞が述語になる文 2.時間の言い方 3.時間詞の用法 4.「在」の用法  
 【事前・事後学習課題】 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

**第4回** 【授業テーマ】 第11課コーヒーを飲みます(2)  
 【内容・方法 等】 1.動詞が述語になる文 2.時間の言い方 3.時間詞の用法 4.「在」の用法

- 【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第5回 **【授業テーマ】** 第12課うれしいです(1)  
**【内容・方法 等】** 1.形容詞が述語になる文 2.反復疑問文 3.助詞「ba」の用法 4.「有点兒」の用法  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第6回 **【授業テーマ】** 第12課うれしいです(2)  
**【内容・方法 等】** 1.形容詞が述語になる文 2.反復疑問文 3.助詞「ba」の用法 4.「有点兒」の用法  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第7回 **【授業テーマ】** 第13課復習チェックシート  
**【内容・方法 等】** 第10課～第12課の復習  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第8回 **【授業テーマ】** 第14課どこで勉強していますか?(1)  
**【内容・方法 等】** 1.連動文 2.前置詞「離」の用法 3.前置詞「在」の用法 4.存在を表す「有」の用法  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第9回 **【授業テーマ】** 第14課どこで勉強していますか?(2)  
**【内容・方法 等】** 1.連動文 2.前置詞「離」の用法 3.前置詞「在」の用法 4.存在を表す「有」の用法  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第10回 **【授業テーマ】** 第15課何をしていたの?(1)  
**【内容・方法 等】** 1.完了を表す「了」2.前置詞「給」の用法 3.疑問詞+「也」4.疑問詞「多少」と「幾」  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第11回 **【授業テーマ】** 第15課何をしていたの?(2)  
**【内容・方法 等】** 1.完了を表す「了」2.前置詞「給」の用法 3.疑問詞+「也」4.疑問詞「多少」と「幾」  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第12回 **【授業テーマ】** 第16課中国に行ったことは?(1)  
**【内容・方法 等】** 1.過去の経験を表す「過」2.「快～了」の用法 3.前置詞「從～到～」の用法 4.時間の長さの表現  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第13回 **【授業テーマ】** 第16課中国に行ったことは?(2)  
**【内容・方法 等】** 1.過去の経験を表す「過」2.「快～了」の用法 3.前置詞「從～到～」の用法 4.時間の長さの表現  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第14回 **【授業テーマ】** 第17課復習チェックシート  
**【内容・方法 等】** 第14課～第16課の復習  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること
- 第15回 **【授業テーマ】** 第14課～第16課の復習  
**【内容・方法 等】** 期末試験に備えた学習項目の確認  
**【事前・事後学習課題】** 授業中学習した項目を復習し、よく練習すること

**評価方法 (基準)**  
 定期試験 (80%)、出席、授業態度 (20%) により総合評価する。

**教材等**  
**教科書**… 本学外国語学中国語教室編 『撰南大学初級中国語』  
**参考書**… とくになし

**学生へのメッセージ**  
 「聴く」「話す」に力を入れてほしい。これがある程度できるようになってから「読む」「書く」に取り組んでも遅くはない。

**関連科目**

中国語  
**担当者の研究室等**  
 1号館2階 非常勤講師室

韓国語 I Korean I				
北 島 由 紀 子 (キタジマ ユキコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	2	前期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**  
 本授業では、初めて韓国語を学ぶ上で不可欠な文字と発音、基本的な文法事項を学ぶ。授業スケジュールは目安であり、学習進度、習熟度に合わせて調整する。

**授業方法と留意点**  
 教科書に基づいて文法説明を加えつつ、講読、作文練習等を行う。欠席すると次回の受講に困難をきたすので、欠席しないことが

望ましい。  
**科目学習の効果 (資格)**  
 韓国語の基礎的知識を習得すると共に、語学を通して韓国への理解を深めることができる

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 **【授業テーマ】** 韓国語について  
**【内容・方法 等】** ハングル文字の仕組み  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 基礎 1課
- 第2回 **【授業テーマ】** 母音  
**【内容・方法 等】** 基本母音  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 基礎 2課
- 第3回 **【授業テーマ】** 子音  
**【内容・方法 等】** 子音 (激音・濃音を含む)  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 基礎 3課
- 第4回 **【授業テーマ】** 母音  
**【内容・方法 等】** 複合母音  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 基礎 4課
- 第5回 **【授業テーマ】** 終声  
**【内容・方法 等】** 終声と発音の変化  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 基礎 5課 - 6課
- 第6回 **【授業テーマ】** 「～です」  
**【内容・方法 等】** 体言文 (平叙)  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 1課
- 第7回 **【授業テーマ】** 「～ですか?」  
**【内容・方法 等】** 体言文 (疑問)  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 2課
- 第8回 **【授業テーマ】** 「～ではありません」  
**【内容・方法 等】** 体言文 (否定)  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 3課
- 第9回 **【授業テーマ】** 「います (あります)」・「いません (ありません)」  
**【内容・方法 等】** 存在詞  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 4課
- 第10回 **【授業テーマ】** 文の確認  
**【内容・方法 等】** 体言文の復習と確認  
**【事前・事後学習課題】** 体言文の復習・確認 テスト
- 第11回 **【授業テーマ】** 「～します」・「～しますか?」  
**【内容・方法 等】** 動詞「する」(平叙・疑問)  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 5課
- 第12回 **【授業テーマ】** 「～ます」・「～ますか?」  
**【内容・方法 等】** 用言文 (平叙・疑問)  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 7課
- 第13回 **【授業テーマ】** 「～します」・「～しますか?」  
**【内容・方法 等】** 動詞「する」(平叙・疑問)  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 6課
- 第14回 **【授業テーマ】** 「～ます」・「～ますか?」  
**【内容・方法 等】** 用言文 (平叙・疑問)  
**【事前・事後学習課題】** 様々な用言文・用言文の復習・確認 テスト
- 第15回 **【授業テーマ】** 韓国語の実際  
**【内容・方法 等】** 韓国ドラマを見る  
**【事前・事後学習課題】** なし

**評価方法 (基準)**  
 平常点、授業時の各種テスト等、総合的に判断して評価

**教材等**  
**教科書**… 木内明 『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』 国書刊行会 (2,100円+税)  
**参考書**… 韓日辞典

**学生へのメッセージ**  
 韓流で韓国に興味を持った人、興味はあつたけど習う機会がなかった人、これを機に一緒に学びましょう。本授業では、語学の勉強を淡々と進めるだけでなく、時には、最新の韓国事情、歌などの紹介を織り交ぜ、幅広い韓国への知識を養ってきたいと思います。

**関連科目**  
 韓国語関連科目  
**担当者の研究室等**  
 1号館2階 非常勤講師室

韓国語 I Korean I				
北 島 由 紀 子 (キタジマ ユキコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	1	前期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**  
 本授業では、初めて韓国語を学ぶ上で不可欠な文字と発音、基本的な文法事項を学ぶ。授業スケジュールは目安であり、学習進度、習熟度に合わせて調整する。

**授業方法と留意点**

教科書に基づいて文法説明を加えつつ、講読、作文練習等を行う。欠席すると次回の受講に困難をきたすので、欠席しないことが望ましい。

**科目学習の効果（資格）**

韓国語の基礎的知識を習得すると共に、語学を通して韓国への理解を深めることができる

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 韓国語について  
【内容・方法等】 ハングル文字の仕組み  
【事前・事後学習課題】 教科書 基礎 1課
- 第2回 【授業テーマ】 母音  
【内容・方法等】 基本母音  
【事前・事後学習課題】 教科書 基礎 2課
- 第3回 【授業テーマ】 子音  
【内容・方法等】 子音（激音・濃音を含む）  
【事前・事後学習課題】 教科書 基礎 3課
- 第4回 【授業テーマ】 母音  
【内容・方法等】 複合母音  
【事前・事後学習課題】 教科書 基礎 4課
- 第5回 【授業テーマ】 終声  
【内容・方法等】 終声と発音の変化  
【事前・事後学習課題】 教科書 基礎 5課－6課
- 第6回 【授業テーマ】 「～です」  
【内容・方法等】 体言文（平叙）  
【事前・事後学習課題】 教科書 1課
- 第7回 【授業テーマ】 「～ですか？」  
【内容・方法等】 体言文（疑問）  
【事前・事後学習課題】 教科書 2課
- 第8回 【授業テーマ】 「～ではありません」  
【内容・方法等】 体言文（否定）  
【事前・事後学習課題】 教科書 3課
- 第9回 【授業テーマ】 「～います（あります）」・「～いません（ありません）」  
【内容・方法等】 存在詞  
【事前・事後学習課題】 教科書 4課
- 第10回 【授業テーマ】 文の確認  
【内容・方法等】 体言文の復習と確認  
【事前・事後学習課題】 体言文の復習・確認 テスト
- 第11回 【授業テーマ】 「～します」・「～しますか？」  
【内容・方法等】 動詞「する」（平叙・疑問）  
【事前・事後学習課題】 教科書 5課
- 第12回 【授業テーマ】 「～ます」・「～ますか？」  
【内容・方法等】 用言文（平叙・疑問）  
【事前・事後学習課題】 教科書 7課
- 第13回 【授業テーマ】 「～します」・「～しますか？」  
【内容・方法等】 動詞「する」（平叙・疑問）  
【事前・事後学習課題】 教科書 6課
- 第14回 【授業テーマ】 「～ます」・「～ますか？」  
【内容・方法等】 用言文（平叙・疑問）  
【事前・事後学習課題】 様々な用言文・用言文の復習・確認 テスト
- 第15回 【授業テーマ】 韓国語の実際  
【内容・方法等】 韓国のドラマを見る  
【事前・事後学習課題】 なし

**評価方法（基準）**

平常点、授業時の各種テスト等、総合的に判断して評価

**教材等**

教科書…木内明 『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』 国書刊行会 (2,100円+税)  
参考書…韓日辞典

**学生へのメッセージ**

韓流で韓国に興味を持った人、興味はあったけど習う機会が無かった人、これを機に一緒に学びましょう。本授業では、語学の勉強を淡々と進めるだけでなく、時には、最近の韓国事情、歌などの紹介を織り交ぜ、幅広い韓国への知識を養っていきたいと思います。

**関連科目**

韓国語関連科目

**担当者の研究室等**

1号館2階 非常勤講師室

韓国語ⅠⅠ Korean II				
北 島 由 紀 子 (キタジマ ユキコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	2	後期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**

前期に引き続き、韓国語の構造、文法と表現の特色を学習しながら、日常韓国語の運用（特に読む、書く）能力を養うことを

目指す。授業スケジュールは目安であり、学習進度、習熟度に合わせて調整する。

**授業方法と留意点**

教科書に基づいて文法説明を加えつつ、講読、作文練習等を行う。欠席すると次回の受講に困難をきたすので、欠席しないことが望ましい。辞書を持参すること。

**科目学習の効果（資格）**

韓国語の基礎的知識を習得すると共に、語学を通して韓国への理解を深めることができる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 復習  
【内容・方法等】 前期の復習  
【事前・事後学習課題】 教科書 1課－4課
- 第2回 【授業テーマ】 復習  
【内容・方法等】 前期の復習  
【事前・事後学習課題】 教科書 5課－7課
- 第3回 【授業テーマ】 「～ます」・「～ますか？」  
【内容・方法等】 用言文（平叙・疑問）  
【事前・事後学習課題】 教科書 8課
- 第4回 【授業テーマ】 「～ます」・「～ますか？」  
【内容・方法等】 用言文（平叙・疑問）  
【事前・事後学習課題】 様々な用言文
- 第5回 【授業テーマ】 「～ました」  
【内容・方法等】 用言文（過去）  
【事前・事後学習課題】 教科書 13課
- 第6回 【授業テーマ】 「～ません」  
【内容・方法等】 用言文（否定）  
【事前・事後学習課題】 教科書 12課
- 第7回 【授業テーマ】 文の確認  
【内容・方法等】 用言文の確認と復習  
【事前・事後学習課題】 用言文の復習・確認 テスト
- 第8回 【授業テーマ】 数詞  
【内容・方法等】 漢数詞  
【事前・事後学習課題】 教科書 9課
- 第9回 【授業テーマ】 数詞  
【内容・方法等】 固有数詞  
【事前・事後学習課題】 教科書 10課
- 第10回 【授業テーマ】 敬語の表現  
【内容・方法等】 敬語  
【事前・事後学習課題】 教科書 11課
- 第11回 【授業テーマ】 「～しましょう」  
【内容・方法等】 勧誘  
【事前・事後学習課題】 教科書 14課
- 第12回 【授業テーマ】 「～しています」  
【内容・方法等】 現在進行形  
【事前・事後学習課題】 教科書 15課
- 第13回 【授業テーマ】 「～できます」・「～できません」  
【内容・方法等】 可能・不可能  
【事前・事後学習課題】 教科書 16課
- 第14回 【授業テーマ】 総合復習  
【内容・方法等】 様々な文・表現の確認と復習  
【事前・事後学習課題】 様々な文・表現の復習・確認 テスト
- 第15回 【授業テーマ】 韓国語の実際  
【内容・方法等】 韓国のドラマを見る  
【事前・事後学習課題】 なし

**評価方法（基準）**

平常点、授業時の各種テスト等、総合的に判断して評価

**教材等**

教科書…木内明 『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』 国書刊行会 (2,100円+税)  
参考書…韓日辞典

**学生へのメッセージ**

韓流で韓国に興味を持った人、興味はあったけど習う機会が無かった人、これを機に一緒に学びましょう。本授業では、語学の勉強を淡々と進めるだけでなく、時には、最近の韓国事情、歌などの紹介を織り交ぜ、幅広い韓国への知識を養っていきたいと思います。

**関連科目**

韓国語関連科目

**担当者の研究室等**

1号館2階 非常勤講師室

韓国語ⅠⅠ Korean II				
北 島 由 紀 子 (キタジマ ユキコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	1	後期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**

前期に引き続き、韓国語の構造、文法と表現の特色を学習しな

が、日常韓国語の運用（特に読む、書く）能力を養うことを目指す。授業スケジュールは目安であり、学習進度、習熟度に合わせて調整する。

**授業方法と留意点**

教科書に基づいて文法説明を加えつつ、購読、作文練習等を行う。欠席すると次回の受講に困難をきたすので、欠席しないことが望ましい。辞書を持参すること。

**科目学習の効果（資格）**

韓国語の基礎的知識を習得すると共に、語学を通して韓国への理解を深めることができる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 復習  
【内容・方法 等】 前期の復習  
【事前・事後学習課題】 教科書 1課 - 4課
- 第2回 【授業テーマ】 復習  
【内容・方法 等】 前期の復習  
【事前・事後学習課題】 教科書 5課 - 7課
- 第3回 【授業テーマ】 「～ます」「～ますか？」  
【内容・方法 等】 用言文（平叙・疑問）  
【事前・事後学習課題】 教科書 8課
- 第4回 【授業テーマ】 「～ます」「～ますか？」  
【内容・方法 等】 用言文（平叙・疑問）  
【事前・事後学習課題】 様々な用言文
- 第5回 【授業テーマ】 「～ました」  
【内容・方法 等】 用言文（過去）  
【事前・事後学習課題】 教科書 13課
- 第6回 【授業テーマ】 「～ません」  
【内容・方法 等】 用言文（否定）  
【事前・事後学習課題】 教科書 12課
- 第7回 【授業テーマ】 文の確認  
【内容・方法 等】 用言文の確認と復習  
【事前・事後学習課題】 用言文の復習・確認 テスト
- 第8回 【授業テーマ】 数詞  
【内容・方法 等】 漢数詞  
【事前・事後学習課題】 教科書 9課
- 第9回 【授業テーマ】 数詞  
【内容・方法 等】 固有数詞  
【事前・事後学習課題】 教科書 10課
- 第10回 【授業テーマ】 敬語の表現  
【内容・方法 等】 敬語  
【事前・事後学習課題】 教科書 11課
- 第11回 【授業テーマ】 「～しましょう」  
【内容・方法 等】 勧誘  
【事前・事後学習課題】 教科書 14課
- 第12回 【授業テーマ】 「～しています」  
【内容・方法 等】 現在進行形  
【事前・事後学習課題】 教科書 15課
- 第13回 【授業テーマ】 「～できます」「～できません」  
【内容・方法 等】 可能・不可能  
【事前・事後学習課題】 教科書 16課
- 第14回 【授業テーマ】 総合復習  
【内容・方法 等】 様々な文・表現の確認と復習  
【事前・事後学習課題】 様々な文・表現の復習・確認 テスト
- 第15回 【授業テーマ】 韓国語の実際  
【内容・方法 等】 韓国のドラマを見る  
【事前・事後学習課題】 なし

**評価方法（基準）**

平常点、授業時の各種テスト等、総合的に判断して評価

**教材等**

教科書…木内明 『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』 国書刊行会 (2,100円+税)

参考書…韓日辞典

**学生へのメッセージ**

韓流で韓国に興味を持った人、興味はあったけど習う機会が無かった人、これを機に一緒に学びましょう。本授業では、語学の勉強を淡々と進めるだけでなく、時には、最近の韓国事情、歌などの紹介を織り交ぜ、幅広い韓国への知識を養っていきたいと思います。

**関連科目**

韓国語関連科目

**担当者の研究室等**

1号館2階 非常勤講師室

**スポーツ科学  
Sports Science**

藤 林 真 美 (フジバヤシ マミ)  
横 山 喬 之 (ヨコヤマ タカユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	2	後期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

生活習慣にとって大切なスポーツが、健康の維持・増進や体力向上に効果があることは多くの研究で明らかにされている。本科目は、慢性的な運動不足によっておこる身体機能の低下が、生活習慣病に繋がることを踏まえ、健康づくりのために運動習慣を持つことの大切さと、運動療法を安全かつ効果的に進めることの重要性を学ぶ。さらに外見の健康だけでなく、身体の内面についての理解を深め、生涯にわたり、運動習慣が継続できるように、健康の維持・増進をスポーツ科学の知識を生かした身体活動の側面から学ぶ。

**授業方法と留意点**

スポーツ科学は、実技形式で行う。(雨天の場合、講義形式を行う場合がある。)

**科目学習の効果（資格）**

生活していくうえでの基礎体力の養成、運動技術の獲得、健康の保持・増進ができる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス  
【内容・方法 等】 各履修コースの決定  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第2回 【授業テーマ】 体力測定①  
【内容・方法 等】 50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ  
【事前・事後学習課題】 体力測定評価
- 第3回 【授業テーマ】 体力測定②  
【内容・方法 等】 20mシャトルラン、上体起こし、長座体前屈、反復横跳  
【事前・事後学習課題】 体力測定評価
- 第4回 【授業テーマ】 フットサル  
【内容・方法 等】 基礎技術（パス・ドリブル・シュート）、ゲーム  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第5回 【授業テーマ】 フットサル  
【内容・方法 等】 基礎技術（パス・ドリブル・シュート）、ゲーム  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第6回 【授業テーマ】 フットサル  
【内容・方法 等】 基礎技術（パス・ドリブル・シュート）、ゲーム  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第7回 【授業テーマ】 バレーボール  
【内容・方法 等】 基礎技術（パス・レシーブ・サーブ）、ゲーム  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第8回 【授業テーマ】 バレーボール  
【内容・方法 等】 基礎技術（パス・レシーブ・サーブ）、ゲーム  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第9回 【授業テーマ】 バレーボール  
【内容・方法 等】 基礎技術（パス・レシーブ・サーブ）、ゲーム  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第10回 【授業テーマ】 コンディショニング1  
【内容・方法 等】 ヨガやピラティスを体験する。(大阪工業大情報学部体育館にて行う)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第11回 【授業テーマ】 コンディショニング2  
【内容・方法 等】 ヨガやスポーツマッサージを行う。(大阪工業大情報学部体育館にて行う)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第12回 【授業テーマ】 レジスタンス運動  
【内容・方法 等】 レジスタンス運動の有用性を修得し、自重を用いたレジスタンス運動を行う。(大阪工業大情報学部体育館にて行う)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第13回 【授業テーマ】 ウォーキング  
【内容・方法 等】 ウォーキングの運動効果など基礎知識を学ぶ。歩数計をつけてウォークラリーなどを行い、効果的な強度を修得する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第14回 【授業テーマ】 レクリエーション1  
【内容・方法 等】 対人・グループによるゲーム系運動を行い、広義の「体力」のうち、柔軟性、平衡感覚、敏捷性を養うことを目的とする。(大阪工業大情報学部体育館にて行う)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第15回 【授業テーマ】 レクリエーション2  
【内容・方法 等】 対人・グループによるゲーム系運動を行い、広義の「体力」のうち、柔軟性、平衡感覚、敏捷性を養うことを目的とする。(大阪工業大情報学部体育館にて行う)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

**評価方法（基準）**

単位取得条件は技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。  
100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…使用しない  
参考書…使用しない  
**学生へのメッセージ**  
トレーニングウェアの着用およびトレーニングシューズを用意してください。

**関連科目**

人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ

**担当者の研究室等**

枚方学舎グリーンハウス(体育準備室)。ただし授業開講曜日のみ、他の曜日は、寝屋川学舎総合体育館1階 藤林研究室・横山研究室。

<b>スポーツ科学</b> Sports Science				
藤林真美(フジバヤシ マミ) 横山喬之(ヨコヤマ タカユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	1	後期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

生活習慣にとって大切なスポーツが、健康の維持・増進や体力向上に効果があることは多くの研究で明らかにされている。本科目は、慢性的な運動不足によっておこる身体機能の低下が、生活習慣病に繋がることを踏まえ、健康づくりのために運動習慣を持つことの大切さと、運動療法を安全かつ効果的に進めることの重要性を学ぶ。さらに外見の健康だけでなく、身体の内面についての理解を深め、生涯にわたり、運動習慣が継続できるように、健康の維持・増進をスポーツ科学の知識を生かした身体活動の側面から学ぶ。

**授業方法と留意点**

スポーツ科学は、実技形式で行う。(雨天の場合、講義形式を行う場合がある。)

**科目学習の効果(資格)**

生活していくうえでの基礎体力の養成、運動技術の獲得、健康の保持・増進ができる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス  
【内容・方法等】 各履修コースの決定  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第2回 【授業テーマ】 体力測定①  
【内容・方法等】 50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ  
【事前・事後学習課題】 体力測定評価
- 第3回 【授業テーマ】 体力測定②  
【内容・方法等】 20mシャトルラン、上体起こし、長座体前屈、反復横跳  
【事前・事後学習課題】 体力測定評価
- 第4回 【授業テーマ】 コンディショニング1  
【内容・方法等】 ヨガやピラティスを体験する。(大阪工大情報科学部体育館にて行う)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第5回 【授業テーマ】 コンディショニング2  
【内容・方法等】 ヨガやスポーツマッサージを行う。(大阪工大情報科学部体育館にて行う)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第6回 【授業テーマ】 レジスタンス運動  
【内容・方法等】 レジスタンス運動の有用性を修得し、自重を用いたレジスタンス運動を行う。(大阪工大情報科学部体育館にて行う)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第7回 【授業テーマ】 ウォーキング  
【内容・方法等】 ウォーキングの運動効果など基本知識を学ぶ。歩数計をつけてウォークラリーなどを行い、効果的な強度を修得する。  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第8回 【授業テーマ】 レクリエーション1  
【内容・方法等】 対人・グループによるゲーム系運動を行い、広義の「体力」のうち、柔軟性、平衡感覚、敏捷性を養うことを目的とする。(大阪工大情報科学部体育館にて行う)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第9回 【授業テーマ】 レクリエーション2  
【内容・方法等】 対人・グループによるゲーム系運動を行い、広義の「体力」のうち、柔軟性、平衡感覚、敏捷性を養うことを目的とする。(大阪工大情報科学部体育館にて行う)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第10回 【授業テーマ】 フットサル  
【内容・方法等】 基礎技術(パス・ドリブル・シュート)、ゲーム  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第11回 【授業テーマ】 フットサル

- 【内容・方法等】 基礎技術(パス・ドリブル・シュート)、ゲーム  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第12回 【授業テーマ】 フットサル  
【内容・方法等】 基礎技術(パス・ドリブル・シュート)、ゲーム  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第13回 【授業テーマ】 バレーボール  
【内容・方法等】 基礎技術(パス・レシーブ・サーブ)、ゲーム  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第14回 【授業テーマ】 バレーボール  
【内容・方法等】 基礎技術(パス・レシーブ・サーブ)、ゲーム  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第15回 【授業テーマ】 バレーボール  
【内容・方法等】 基礎技術(パス・レシーブ・サーブ)、ゲーム  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

**評価方法(基準)**

単位取得条件は技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。  
100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…使用しない  
参考書…使用しない

**学生へのメッセージ**

トレーニングウェアの着用およびトレーニングシューズを用意してください。

**関連科目**

人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ

**担当者の研究室等**

枚方学舎グリーンハウス(体育準備室)。ただし授業開講曜日のみ、他の曜日は、寝屋川学舎総合体育館1階、藤林研究室・横山研究室